

**三菱重工**

# 2013ガスヒートポンプエアコン テクニカルマニュアル

記載形式

**室内ユニット**

GRP224M1A,284M1A,364M1A,454M1A,564M1A,714M1A,  
904M1A,1124M1A,1404M1A  
GUP454M1A,564M1A,714M1A,904M1A,1124M1A,1404M1A

本テクニカルマニュアルは室内ユニットに関する事項を記載しております。  
記載事項以外については、2012年冷熱ハンドブック GHP 編をご覧ください。

4-448-1-D

'13-7 発行

# 総目次

## 1 概要編の目次

<b>1. 室内ユニット仕様</b> .....	<b>1-2</b>
1-1 室内ユニットバリエーション .....	1-2
1-2 室内・室外ユニットの組合せ .....	1-2
1-3 仕様 .....	1-5
1-4 外形図 .....	1-11
1-5 塗装色 .....	1-30
1-6 送風機特性 .....	1-31
1-7 運転音 .....	1-43
1-8 電気配線図 .....	1-46
1-9 防振設計用参考資料 .....	1-52

## 2 特性・機能編の目次

<b>1. 機能</b> .....	<b>2-2</b>
1-1 室内マイコン運転制御機能 .....	2-2
1-2 リモコン機能 .....	2-14

## 3 故障診断編の目次

<b>1. トラブル項目と診断</b> .....	<b>3-2</b>
1-1 異常表示内容 .....	3-2
1-2 異常項目一覧表 .....	3-3
1-3 リモコンによる異常運転データの確認 .....	3-5
1-4 電装品故障診断要領 .....	3-6

## 4 据付編の目次

<b>1. 据付用別売部品一覧</b> .....	<b>4-2</b>
<b>2. 室内ユニットの据付</b> .....	<b>4-3</b>
<b>3. 電気配線工事</b> .....	<b>4-21</b>
<b>4. リモコンの取付</b> .....	<b>4-29</b>
<b>5. リモコンによる機能設定</b> .....	<b>4-34</b>
<b>6. リモコンによる操作要領</b> .....	<b>4-51</b>

## 5 別売部品編の目次

<b>1. ワイヤレスキット (RCN-KIT3G)</b> .....	<b>5-2</b>
<b>2. コンパクトリモコン (RCH-D3)</b> .....	<b>5-4</b>
<b>3. フィルタキット (天埋カセテリア用)</b> .....	<b>5-8</b>
<b>4. 丸ダクト変換キット (高静圧ダクト形用)</b> .....	<b>5-9</b>

# 1 概要編の目次

<b>1. 室内ユニット仕様</b> .....	<b>1-2</b>
1-1 室内ユニットバリエーション .....	1-2
1-2 室内・室外ユニットの組合せ .....	1-2
1-3 仕 様 .....	1-5
1-4 外 形 図 .....	1-11
1-5 塗 装 色 .....	1-30
1-6 送風機特性 .....	1-31
1-7 運 転 音 .....	1-43
1-8 電気配線図 .....	1-46
1-9 防振設計用参考資料 .....	1-52

# 1. 室内ユニット仕様

## 1-1 室内ユニットバリエーション

機種	容量									
	22	28	36	45	56	71	80	90	112	140
天埋カセテリア (GR)	○	○	○	○	○	○		○	○	○
高静圧ダクト形 (GU)				○	○	○		○	○	○

## 1-2 室内・室外ユニットの組合せ

### (1) マルチ仕様

#### (a) ECO1 シリーズ

室外ユニット		項目	室内ユニット		
			組合可能ユニット容量	接続可能台数	容量合計
2241シリーズ	8馬力	22~280		1~20(13)	112~448(291)
2801シリーズ	10馬力			1~25(16)	140~560(364)
3551シリーズ	13馬力			1~32(20)	178~710(462)
4501シリーズ	16馬力			1~40(26)	224~900(585)
5601シリーズ	20馬力			1~50(33)	280~1120(728)
7101シリーズ	25馬力			2~63(41)	355~1420(923)

注(1) ( )内数値は寒冷地仕様を示します。

- (2) 室内ユニット容量 560 を使用する場合、室外ユニットは 5601 シリーズ 1 台との組合せです。  
 室内ユニット容量 900 を使用する場合、室外ユニットは 4501 シリーズ 2 台との組合せです。  
 室内ユニット容量 1120 を使用する場合、室外ユニットは 5601 シリーズ 2 台との組合せです。  
 室内ユニット容量 1600 を使用する場合、室外ユニットは 5601 シリーズ 3 台との組合せです。

#### (b) ECO1 エグゼアシリーズ

室外ユニット		項目	室内ユニット		
			組合可能ユニット容量	接続可能台数	容量合計
4502シリーズ	16馬力	22~280		1~40	224~900
5602シリーズ	20馬力			1~50	280~1120
7102シリーズ	25馬力			2~63	355~1420

注(1) 室内ユニット容量 560 を使用する場合、室外ユニットは 5602 シリーズ 1 台との組合せです。  
 室内ユニット容量 900 を使用する場合、室外ユニットは 4502 シリーズ 2 台との組合せです。  
 室内ユニット容量 1120 を使用する場合、室外ユニットは 5602 シリーズ 2 台との組合せです。  
 室内ユニット容量 1600 を使用する場合、室外ユニットは 5602 シリーズ 3 台との組合せです。

### (2) 組合せ仕様

#### (a) マルチ仕様

室外ユニット		室内ユニット					
		450形×2	450形+560形	560形×2	450形+710形	560形+710形	710形×2
kW		90kW	101kW	112kW	116kW	127kW	142kW
項目							
系統数		1	1	1	1	1	1
室内ユニット接続可能合計容量範囲 (kW)		45.0~144.0 (117.0)	50.5~161.6 (131.3)	56.0~179.2 (145.6)	58.0~185.6 (150.8)	63.5~203.2 (165.1)	71.0~227.2 (184.6)
室内ユニット同時運転可能合計容量 (kW)		144.0以下 (117.0以下)	161.6以下 (131.3以下)	179.2以下 (145.6以下)	185.6以下 (150.8以下)	203.2以下 (165.1以下)	227.2以下 (184.6以下)
室内ユニット接続可能台数		1~63 (53)	1~63 (59)	1~63	1~63	1~63	1~63
接続可能室内ユニット容量		22~280	22~280	22~280	22~280	22~280	22~280

注(1) ( )内数値は寒冷地仕様を示します。

## (b) ハイパワーマルチ仕様

	室外ユニット	450形×2	450形+560形	560形×2	450形+710形	560形+710形	710形×2
項目	kW	90kW	101kW	112kW	116kW	127kW	142kW
	系統数	1	1	1	1	1	1
	室内ユニット接続可能合計容量範囲 (kW)	45.0~144.0	50.5~161.6	56.0~179.2	58.0~185.6	63.5~203.2	71.0~227.2
	室内ユニット同時運転可能合計容量 (kW)	144.0以下	161.6以下	179.2以下	185.6以下	203.2以下	227.2以下
	室内ユニット接続可能台数	1~63	1~63	1~63	1~63	1~63	1~63
	接続可能室内ユニット容量	22~280	22~280	22~280	22~280	22~280	22~280

### ●分岐管セット（別売品）

(注) 分岐管サイズは室内ユニットの接続容量（下流の合計容量）により異なりますので下表より選定してください。

室内ユニット下流の合計容量	分岐管セット形式
～ 180 未満	DIS-22-1G
180 以上～ 371 未満	DIS-180-1G
371 以上～ 540 未満	DIS-371-1G
540 以上	DIS-540-2G

注(1) 室内ユニットと室内側分岐管の配管サイズは室内ユニットの接続配管サイズに合わせてください。

(2) 分岐継手（ガス・液共）は必ず“水平分岐”または“垂直分岐”するように設置してください。

### ●ヘッドセット（別売品）

室内ユニット下流の合計容量	ヘッドセット形式	分岐数
～ 180 未満	HEAD4-22-1G	最大 4 分岐
180 以上～ 371 未満	HEAD6-180-1G	最大 6 分岐
371 以上～ 540 未満	HEAD8-371-1G	最大 8 分岐
540 以上	HEAD8-540-2G	最大 8 分岐

注(1) 接続台数により分岐部（室内ユニット接続側）につぶし管（現地手配）を接続してください。

(2) つぶし管のサイズはヘッドセット（別売品）を参照してください。

(3) ヘッダーと室内ユニット間は室内ユニットの接続配管サイズに合わせてください。

(4) ヘッダー（ガス・液共）は必ず“水平分岐”するように設置してください。

(5) ヘッダーには 224, 280 の室内ユニットは接続できません。

### ●室外ユニット組合せ用分岐管セット（別売品）

室外ユニット合計容量 (kW)	分岐管
90～142(2 台用)	DOS-2A-1G

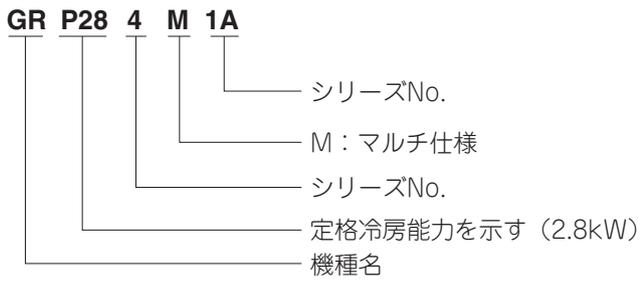
注(1) 室外ユニットとの接続管は室外ユニットの接続配管サイズに合わせてください。

(2) 室内ユニット側への配管は主管サイズに合わせてください。

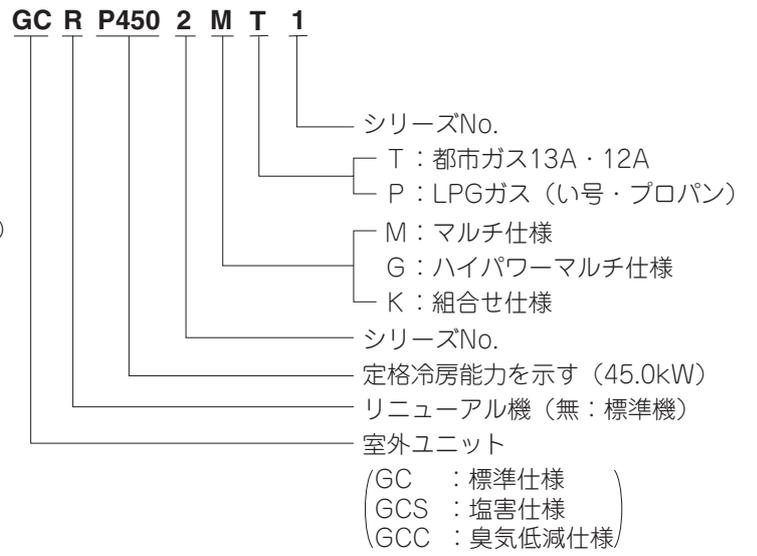
(3) 分岐継手（ガス・液共）は必ず“水平分岐”または“垂直分岐”するように設置してください。

## ・形式名称の見方（例）

### ◆室内ユニット



### ◆室外ユニット



# 1-3 仕様

## (1) 天埋カセテリア (GR)

(50/60Hz)

相当馬力	0.8		1.0		1.25		1.6		2.0			
メーカー形式	GRP224M1A		GRP284M1A		GRP364M1A		GRP454M1A		GRP564M1A			
据付形態	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル		
定格冷房能力(kW)	2.2		2.8		3.6		4.5		5.6			
定格暖房能力(kW)	2.5		3.2		4.0		5.0		6.3			
定格冷房時の顕熱比	0.96		0.85		0.87		0.78		0.71			
電気特性	電源	単相200V 50/60Hz										
	消費電力(kW)	最大	0.04		0.035		0.06					
			0.07[静圧100Pa]	0.065[静圧100Pa]		0.095[静圧100Pa]						
	運転電流(A)	最大	0.3		0.2		0.5					
		0.5[静圧100Pa]	0.4[静圧100Pa]		0.6[静圧100Pa]							
熱交換器形式	アルミフィン&銅チューブ式											
空気吸込口	下面											
空気吹出口	前面(φ200フレキシブルダクト接続) 22:1スポット 28, 36, 45, 56:2スポット											
エアフィルタ	プラスチックネット(洗浄可能)											
運転音(dB(A))	P急	37	38	37	38	42	43	42	43	42	43	
	急	35	36	35	36	37	38	37	38	37	38	
	強	33	34	33	34	36	37	36	37	36	37	
	弱	30	31	31	32	34	35	34	35	34	35	
送風機	送風機形式	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×1										
	風量(m³/min)	P急	10				13					
		急	9				10					
		強	8				9					
		弱	7				8					
機外静圧(Pa)	最小10, 最大100(リモコンから設定)											
電動機定格出力(W)	100											
配管関係	冷媒ガス管(mm)	φ9.52(フレア接続)				φ12.7(フレア接続)						
	冷媒液管(mm)	φ6.35(フレア接続)										
	冷媒配管位置	右側										
	ドレン配管口(mm)	VP25(I.D.25, O.D.32)の排水管接続可能										
オートスイング(有・無)	-											
ドレンアップ	ドレンポンプ	標準装備										
	アップ高さ(mm)	ドレン口より	-									
		サイレントパネル:850以下(天井面より), キャンバスパネル:850以下(ユニット下面より)										
外装塗装色(本体)	-											
外装塗装色(パネル)	1-30 ページ参照											
外形寸法	高さ(mm)	348	348+α	348	348+α	348	348+α	348	348+α	348	348+α	
	幅(mm)	750										
	奥行(mm)	635										
パネル寸法	高さ(mm)	20										
	幅(mm)	1040	864	1040	864	1040	864	1040	864	1040	864	
	奥行(mm)	750	585	750	585	750	585	750	585	750	585	
本体質量(kg)	29											
パネル質量(kg)	10	7.6	10	7.6	10	7.6	10	7.6	10	7.6		
リモコン	ワイヤードリモコン:RC-DX2											
IPコード	IPX0											

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性は JIS B 8627 条件によります。

(2) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し天井内部分は本体高さに含まれます。

(3) キャンバスパネル使用時の外形寸法室内高キャンバスダクト(別売)分が+αされます(外形図参照)。

(4) 運転音は、JIS規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(5) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

PJG000Z199

PJG000Z200

相当馬力	2.5		3.2		4.0		5.0			
メーカ形式	GRP714M1A		GRP904M1A		GRP1124M1A		GRP1404M1A			
据付形態	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル	サイレントパネル	キャンバスパネル		
定格冷房能力(kW)	7.1		9.0		11.2		14.0			
定格暖房能力(kW)	8.0		10.0		12.5		16.0			
定格冷房時の顕熱比	0.83		0.74		0.79		0.73			
電源	単相200V 50/60Hz									
電気特性	消費電力(kW)		0.125		0.20		0.25			
	最大		0.19[静圧100Pa]		0.30[静圧100Pa]		0.36[静圧100Pa]			
	運転電流(A)		0.9		1.5		1.8			
	最大		1.3[静圧100Pa]		2.0[静圧100Pa]		2.4[静圧100Pa]			
熱交換器形式	アルミフィン&銅チューブ式									
空気吸込口	下面									
空気吹出口	前面(Φ200フレキシブルダクト接続) 71, 90:3スポット 112, 140:4スポット									
エアフィルタ	プラスチックネット(洗浄可能)									
運転音(dB(A))	P急		46	47	46	47	48	49	49	50
	急		42	43	42	43	42	43	45	46
	強		36	37	36	37	39	40	39	40
	弱		30	31	30	31	34	35	35	36
送風機形式	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×2				両吸込多翼遠心式(モータ直結)×3					
	P急		24		36		39			
	急		19		28		32			
	強		15		25		25			
機外静圧(Pa)	弱		10		19		20			
	最小10, 最大100(リモコンから設定)									
電動機定格出力(W)	130				100+130		100+200			
配冷媒ガス管(mm)	Φ15.88(フレア接続)									
配冷媒液管(mm)	Φ9.52(フレア接続)									
配冷媒配管位置	右側									
関係ドレン配管口(mm)	VP25(I.D.25, O.D.32)の排水管接続可能									
オートスイング(有・無)	-									
ドレンアップ	標準装備									
	アップ高さ(mm)		-							
	ドレン口より		-							
外装塗装色(本体)	-									
外装塗装色(パネル)	1-30 ページ参照									
外形寸法	高さ(mm)	348	348+α	348	348+α	348	348+α	348	348+α	
	幅(mm)	950				1370				
	奥行(mm)	635				738				
パネル寸法	高さ(mm)	20								
	幅(mm)	1240	1064	1240	1064	1658	1484	1658	1484	
	奥行(mm)	750	585	750	585	850	585	850	585	
本体質量(kg)	34				54					
パネル質量(kg)	11.4	9.3	11.4	9.3	17	13.5	17	13.5		
リモコン	ワイヤードリモコン:RC-DX2									
IPコード	IPX0									

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性はJIS B 8627条件によります。

(2) パネルの外形寸法は天井から露出する部分の寸法を示し天井内部分は本体高さに含まれます。

(3) キャンバスパネル使用時の外形寸法室内高キャンバスダクト(別売)分が+αされます(外形図参照)。

(4) 運転音は、JIS規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(5) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

PJG000Z199

PJG000Z200

相 当 馬 力	0.8	1.0	1.25	1.6	2.0	
メーカ形式	GRP224M1A	GRP284M1A	GRP364M1A	GRP454M1A	GRP564M1A	
据付形態	天井リターン変換キット組合せ仕様					
フィルタキット	R-FL-2A					
定格冷房能力(kW)	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6	
定格暖房能力(kW)	2.5	3.2	4.0	5.0	6.3	
定格冷房時の顕熱比	0.96	0.85	0.87	0.78	0.71	
電 源	単相200V 50/60Hz					
	消費電力 (kW)	0.04	0.035	0.06		
		最大	0.07[静圧100Pa]	0.065[静圧100Pa]	0.095[静圧100Pa]	
	運転電流 (A)	0.3	0.2	0.5		
最大		0.5[静圧100Pa]	0.4[静圧100Pa]	0.6[静圧100Pa]		
熱交換器形式	アルミフィン&銅チューブ式					
空気吸込口	下面					
空気吹出口	前面(Φ200フレキシブルダクト接続) 22:1スポット 28, 36, 45, 56:2スポット					
エアフィルタ	プラスチックネット(洗浄可能)					
運 転 音 (dB(A))	P急	41	41	48		
	急	39	39	43		
	強	37	37	41		
	弱	34	35	38		
送 風 機 形 式	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×1					
	風 量 (m³/min)	P急	10		13	
		急	9		10	
		強	8		9	
弱		7		8		
機 外 静 圧 (Pa)	最小15, 最大95 (リモコンから設定)					
電動機定格出力 (W)	100					
配 管 関 係	冷媒ガス管 (mm)	Φ9.52 (フレア接続)		Φ12.7 (フレア接続)		
	冷媒液管 (mm)	Φ6.35 (フレア接続)				
	冷媒配管位置	右側				
	ドレン配管口 (mm)	VP25 (I.D.25, O.D.32) の排水管接続可能				
オートスイング(有・無)	-					
ドレンアップ	ドレンポンプ 標準装備					
	アップ高さ (mm)	ドレン口より -				
		850以下(ユニット下面より)				
外装塗装色(本体)	-(クロメートフリー鋼板)					
外装塗装色(パネル)	1-30 ページ参照					
外形寸法	高さ(mm)	348+37				
	幅(mm)	750				
	奥行(mm)	635				
パネル寸法	高さ(mm)	-				
	幅(mm)	-				
	奥行(mm)	-				
本体質量(kg)	29					
パネル質量(kg)	-					
リモコン	ワイヤードリモコン: RC-DX2					
IPコード	IPX0					

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性は JIS B 8627 条件によります。

(2) 運転音は、JIS 規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(3) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(4) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対し機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は据付説明書 4-12 ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	15	25	35	45	55	65	75	85	95	
リモコンの設定 (Pa)	GRP22,28,36,45,56,64M1A	10	20	30	40	50	60	70	80	90

相 当 馬 力	2.5		3.2		4.0		5.0		
メーカ形式	GRP714M1A		GRP904M1A		GRP1124M1A		GRP1404M1A		
据付形態	天井リターン変換キット組合せ仕様								
フィルタキット	R-FL-3A				R-FL-4A				
定格冷房能力(kW)	7.1		9.0		11.2		14.0		
定格暖房能力(kW)	8.0		10.0		12.5		16.0		
定格冷房時の顕熱比	0.83		0.74		0.79		0.73		
電 源 電 源 消 費 電 力 (kW) 最大 運 転 電 流 (A) 最大	単相200V 50/60Hz								
	0.125		0.20		0.25		0.25		
	0.19[静圧100Pa]		0.30[静圧100Pa]		0.36[静圧100Pa]		0.36[静圧100Pa]		
	0.9		1.5		1.8		1.8		
熱 交 換 器 形 式	アルミフィン&銅チューブ式								
	下面								
空 気 吸 込 口	前面(Φ200フレキシブルダクト接続) 71, 90:3スポット 112, 140:4スポット								
エ ア フ ィ ル タ	プラスチックネット(洗浄可能)								
運 転 音 (dB(A))	P急	52		55		56			
	急	48		49		52			
	強	42		45		45			
	弱	36		40		41			
送 風 機 形 式	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×2				両吸込多翼遠心式(モータ直結)×3				
	風 量 (m <sup>3</sup> /min)	P急	24		36		39		
		急	19		28		32		
		強	15		25		25		
弱		10		19		20			
機 外 静 圧 (Pa)	最小20, 最大100(リモコンから設定)								
電 動 機 定 格 出 力 (W)	130		100+130		100+200				
配 管 関 係	冷 媒 ガ ス 管 (mm)	Φ15.88 (フレア接続)							
	冷 媒 液 管 (mm)	Φ9.52 (フレア接続)							
	冷 媒 配 管 位 置	右側							
	ド レ ン 配 管 口 (mm)	VP25 (I.D.25, O.D.32) の排水管接続可能							
オ ー ト ス イ ン グ (有・無)	-								
ド レ ン ア ッ プ	ド レ ン ポ ン プ	標準装備							
	ア ッ プ 高 さ (mm)	-							
	ド レ ン 口 よ り	850以下(ユニット下面より)							
外 装 塗 装 色 (本 体)	-(クロメートフリー鋼板)								
外 装 塗 装 色 (パ ネ ル)	1-30 ページ参照								
外 形 寸 法	高 さ (mm)	348+37							
	幅 (mm)	950				1370			
	奥 行 (mm)	635				738			
パ ネ ル 寸 法	高 さ (mm)	-							
	幅 (mm)	-							
	奥 行 (mm)	-							
本 体 質 量 (kg)	34				54				
パ ネ ル 質 量 (kg)	-								
リ モ コ ン	ワイヤードリモコン: RC-DX2								
I P コ ー ド	IPX0								

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性は JIS B 8627 条件によります。

(2) 運転音は、JIS 規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(3) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(4) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対し機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。

実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は据付説明書 4-12 ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100	
リモコンの設定 (Pa)	GRP71,904M1A	10	20	30	40	50	60	70	80	90
	GRP112,1404M1A	10	20	30	40	50	60	70	80	90

## (2) 高静圧ダクト形 (GU)

(50/60Hz)

相当馬力	1.6	2.0	2.5	3.2	4.0	5.0		
メーカー形式	GUP454M1A	GUP564M1A	GUP714M1A	GUP904M1A	GUP1124M1A	GUP1404M1A		
ダクト変換キット	-							
定格冷房能力(kW)	4.5	5.6	7.1	9.0	11.2	14.0		
定格暖房能力(kW)	5.0	6.3	8.0	10.0	12.5	16.0		
定格冷房時の顕熱比	0.78	0.71	0.83	0.74	0.79	0.73		
電源	単相200V 50/60Hz							
電気特性	消費電力(kW)	最大	0.06	0.115	0.145	0.17		
			0.10[静圧200Pa]	0.25[静圧200Pa]	0.32[静圧200Pa]	0.36[静圧200Pa]		
	運転電流(A)	最大	0.5	0.9	1.1	1.3		
			0.7[静圧200Pa]	1.7[静圧200Pa]	2.1[静圧200Pa]	2.4[静圧200Pa]		
熱交換器形式	アルミフィン&銅チューブ式							
空気吸込口	右側(吸込ダクト接続)							
空気吹出口	左側(吹出ダクト接続)							
エアフィルタ	-(現地手配)							
運転音(dB(A))	P急	35	38	40	41			
	急	30	33	36	37			
	強	27	28	31	32			
	弱	25	24	27	27			
送風機形式	送風機形式	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×1		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×2		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×3		
	風量(m³/min)	P急	13	24	36	39		
		急	10	19	28	32		
		強	9	15	25	26		
弱		8	10	19	20			
機外静圧(Pa)	機外静圧(Pa)	最小10, 最大200(リモコンから設定)						
	電動機定格出力(W)	100	130	100+130	100+200			
配管関係	冷媒ガス管(mm)	Φ12.7(フレア接続)		Φ15.88(フレア接続)				
	冷媒液管(mm)	Φ6.35(フレア接続)		Φ9.52(フレア接続)				
	冷媒配管位置	前面						
ドレン配管口(mm)	VP25 (I.D.25, O.D.32) の排水管接続可能							
オートスイング(有・無)	-							
ドレンアップ	ドレンポンプ	標準装備						
	アップ高さ(mm)	ドレン口より	-					
			850以下(ユニット下面より)					
外装塗装色(本体)	-(クロメートフリー鋼板)							
外形寸法	外装塗装色(パネル)	-						
	高さ(mm)	280						
	幅(mm)	750	950	1370				
パネル寸法	奥行(mm)	635				738		
	高さ(mm)	-						
	幅(mm)	-						
本体質量(kg)	奥行(mm)	-						
	質量(kg)	29	34	54				
パネル質量(kg)	-							
リモコン	ワイヤードリモコン: RC-DX2							
IPコード	IPX0							

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性は JIS B 8627 条件によります。

(2) 運転音は、JIS 規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(3) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P 急モードをご使用の場合は高天井設定(P 急・急・強)としてください。

PJG000Z202

相当馬力	1.6	2.0	2.5	3.2	4.0	5.0		
メーカー形式	GUP454M1A	GUP564M1A	GUP714M1A	GUP904M1A	GUP1124M1A	GUP1404M1A		
据付形態	丸ダクト変換キット組合せ仕様							
ダクト変換キット	U-UM-2A		U-UM-3A		U-UM-4A			
定格冷房能力(kW)	4.5	5.6	7.1	9.0	11.2	14.0		
定格暖房能力(kW)	5.0	6.3	8.0	10.0	12.5	16.0		
定格冷房時の顕熱比	0.78	0.71	0.83	0.74	0.79	0.73		
電気特性	電源	単相200V 50/60Hz						
	消費電力(kW)	0.06		0.115		0.145		
		最大	0.10[静圧100Pa]		0.25[静圧100Pa]		0.32[静圧100Pa]	
運転電流(A)	0.5		0.9		1.1			
	最大	0.7[静圧100Pa]		1.7[静圧100Pa]		2.1[静圧100Pa]		
熱交換器形式	アルミフィン&銅チューブ式							
空気吸込口	右側(吸込ダクト接続)							
空気吹出口	左側(Φ200フレキシブルダクト接続) 45, 56 : 2スポット 71, 90 : 3スポット 112, 140 : 4スポット							
エアフィルタ	-(現地手配)							
運転音(dB(A))	P急	36		39		41		
	急	31		34		37		
	強	28		29		32		
	弱	26		25		28		
送風機形式	送風機形式	両吸込多翼遠心式(モータ直結)×1		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×2		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×3		
	風量(m <sup>3</sup> /min)	P急	13		24		36	
		急	10		19		28	
		強	9		15		25	
弱	8		10		19			
機外静圧(Pa)	最小10, 最大100(リモコンから設定)							
電動機定格出力(W)	100		130		100+130			
配管関係	冷媒ガス管(mm)	Φ12.7(フレア接続)		Φ15.88(フレア接続)				
	冷媒液管(mm)	Φ6.35(フレア接続)		Φ9.52(フレア接続)				
オートスイング(有・無)	冷媒配管位置	前面						
	ドレン配管口(mm)	VP25(I.D.25, O.D.32)の排水管接続可能						
ドレンアップ	ドレンポンプ	標準装備						
	アップ高さ(mm)	ドレン口より	-					
		-	850以下(ユニット下面より)					
外装塗装色(本体)	-(クロメートフリー鋼板)							
外装塗装色(パネル)	-							
外形寸法	高さ(mm)	280						
	幅(mm)	750		950		1370		
	奥行(mm)	635				738		
パネル寸法	高さ(mm)	-						
	幅(mm)	-						
	奥行(mm)	-						
本体質量(kg)	29		34		54			
パネル質量(kg)	-							
リモコン	ワイヤードリモコン: RC-DX2							
IPコード	IPX0							

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性はJIS B 8627条件によります。

(2) 運転音は、JIS規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(3) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

(4) 丸ダクト変換キットを使用する場合は、標準機(角ダクト)に対し機内圧損が増加するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は据付説明書4-20ページをご覧ください。

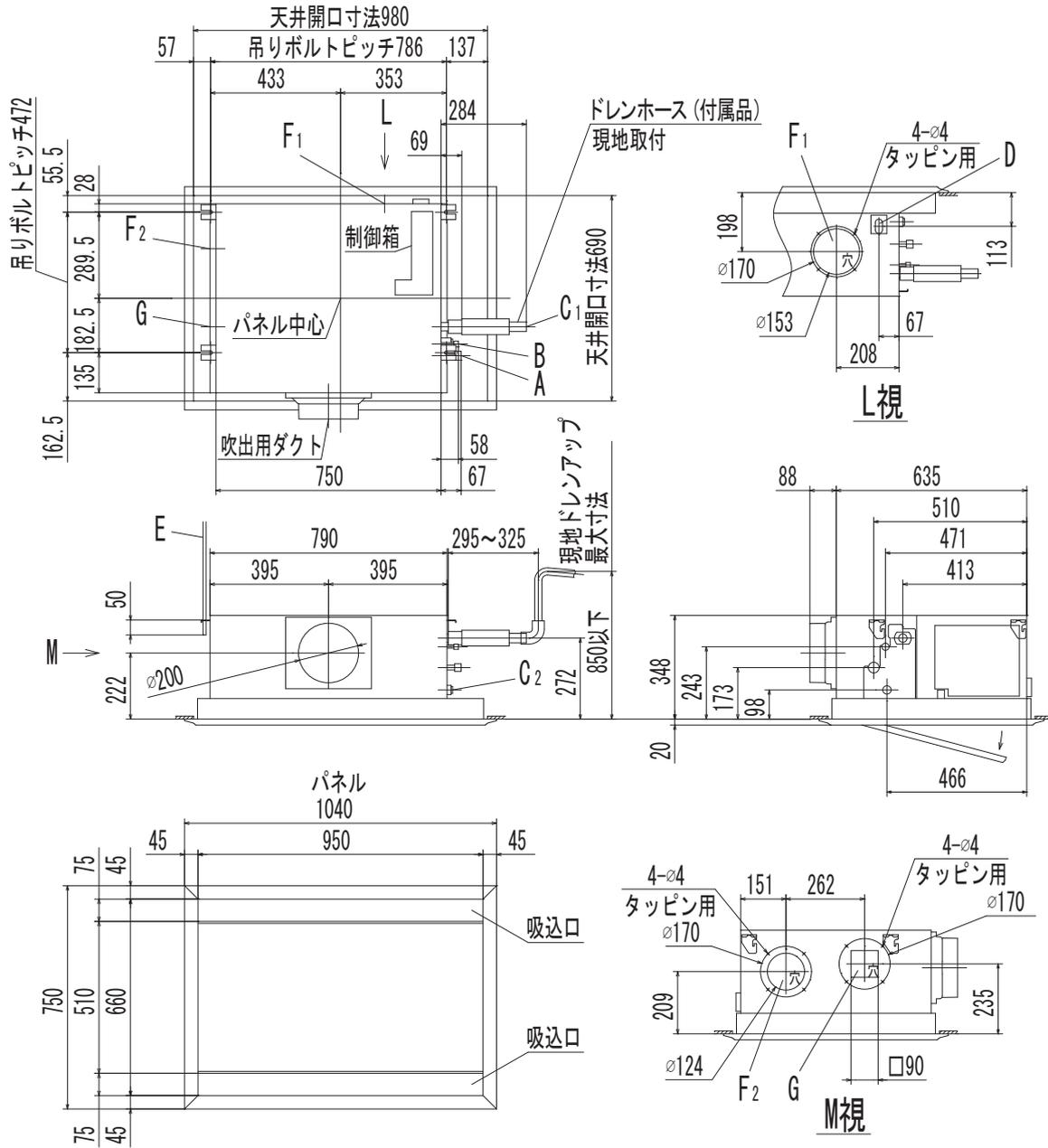
必要な機外静圧(Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定(Pa)	GUP454M1A, 564M1A	30	40	50	60	70	80	90	100	110
	GUP714M1A, 904M1A, 1124M1A	20	30	40	50	60	70	80	90	100
	GUP1404M1A	30	40	50	60	70	80	90	110	130

# 1-4 外形図

## (1) 天埋カセテリア(GR)

GRP224M1A

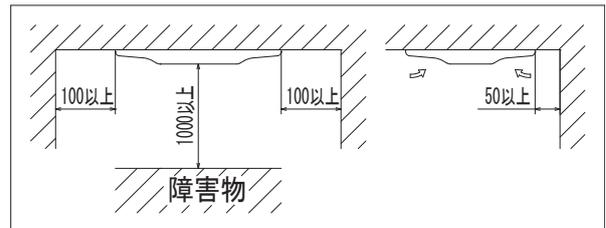
サイレントパネル(品番: R-PNS-2AW)使用の場合



### ●記号説明

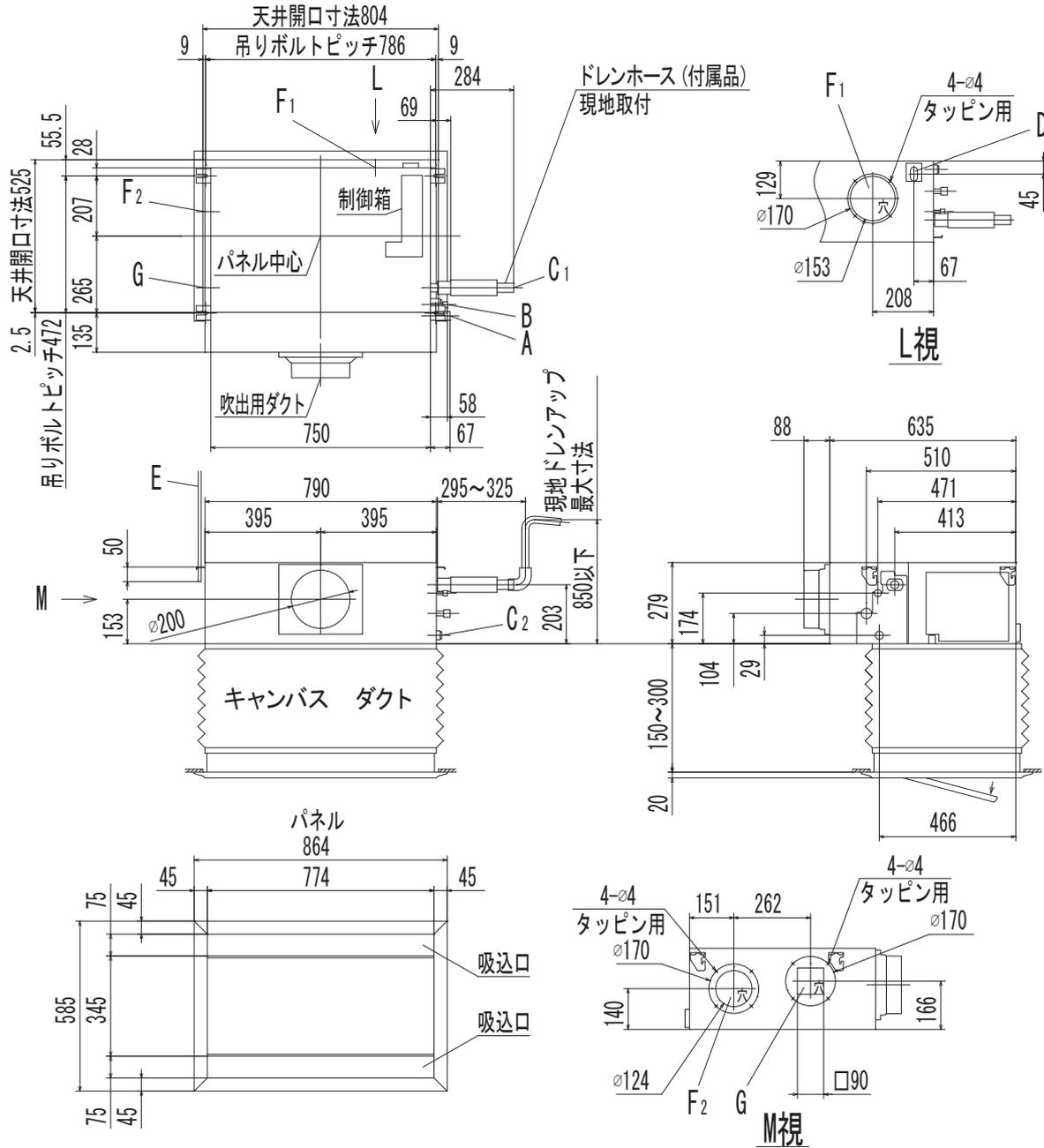
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F <sub>1</sub>	OA取入口	φ150用ノックアウト
F <sub>2</sub>		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

### 据付スペース



注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

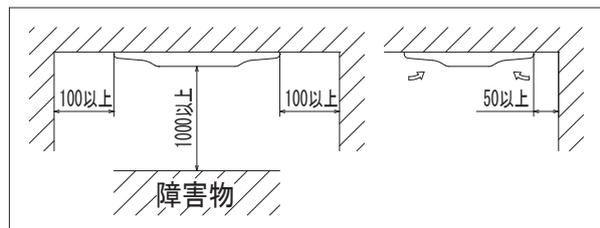
PJG000Z171



●記号説明

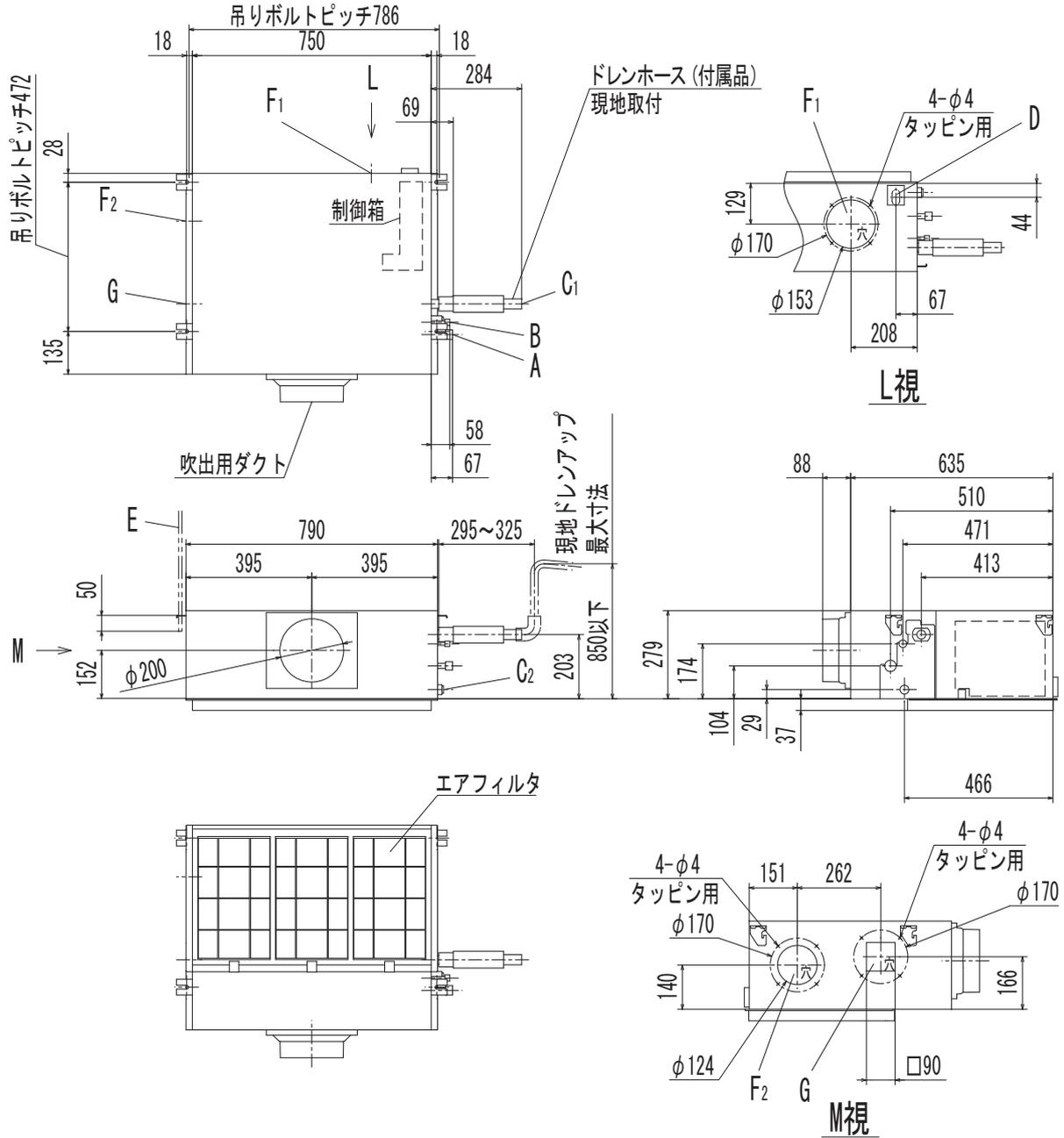
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F <sub>1</sub>	OA取入口	φ150用ノックアウト
F <sub>2</sub>		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



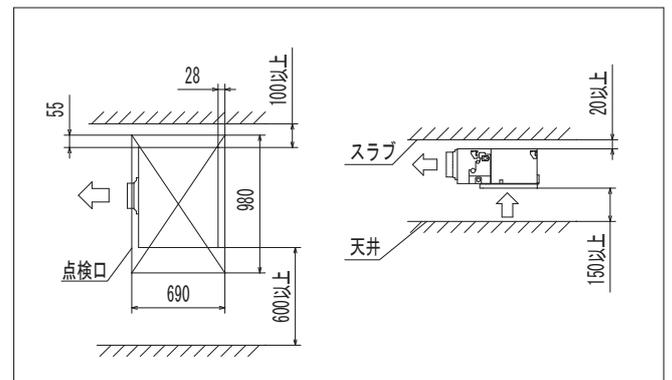
注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

GRP224M1A 天井リターン変換キット(品番：R-FL-2A)使用の場合



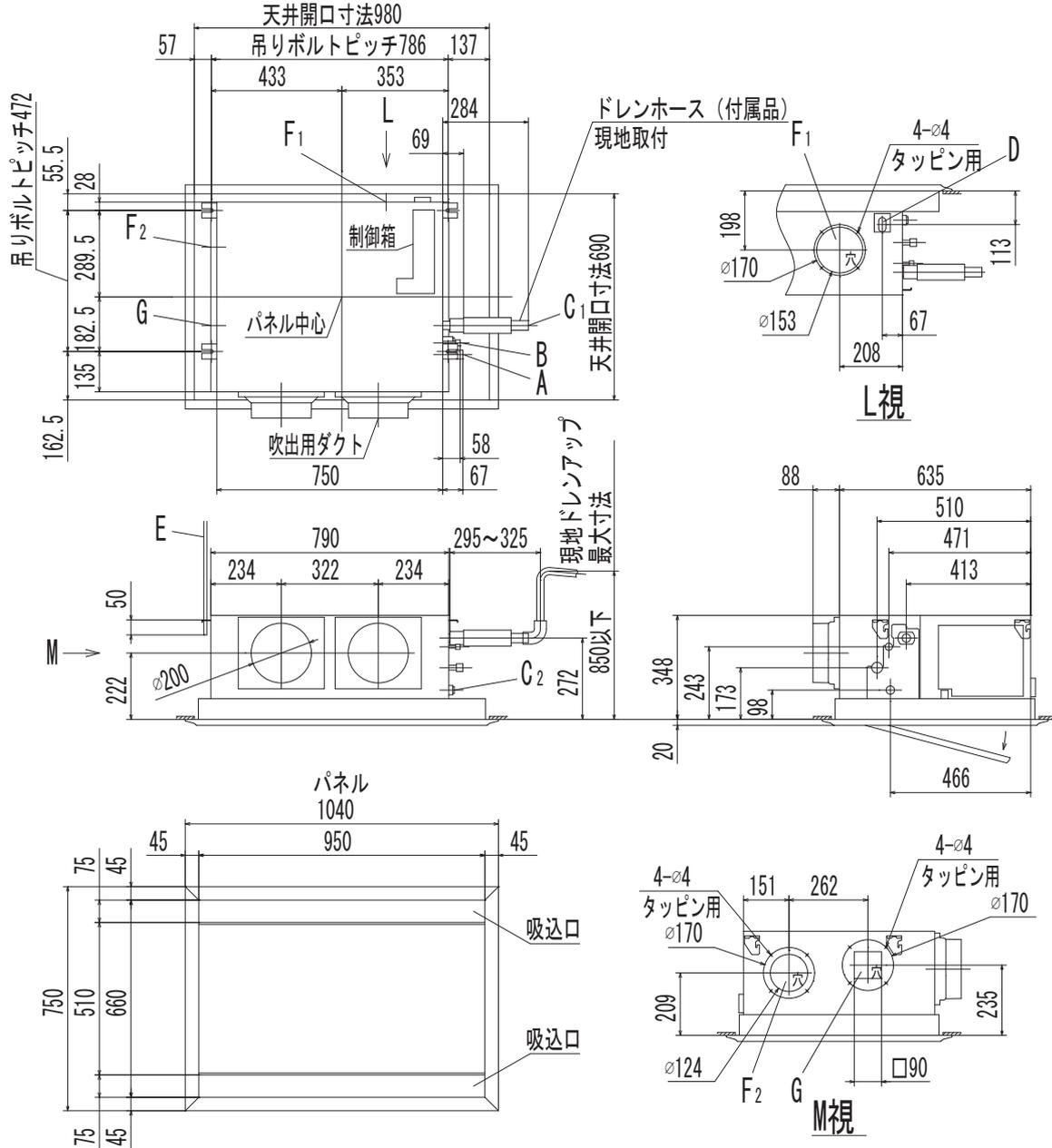
●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C2	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト



注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

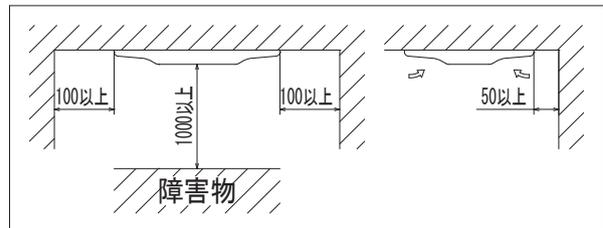
PJG000Z182



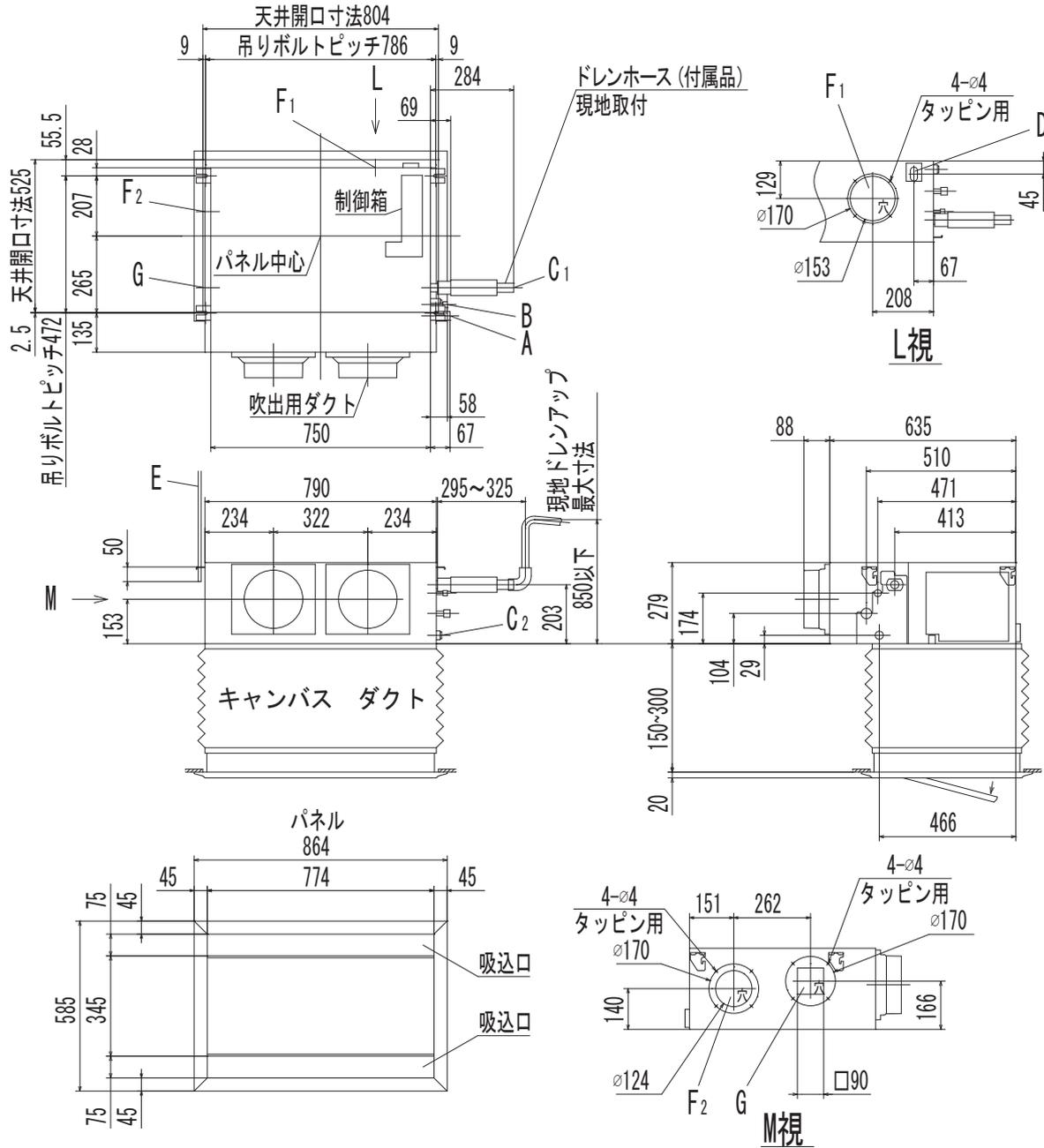
●記号説明

記号	機種	内容	
		P28	P36, 45, 56
A	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)	φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)	
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)	
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F <sub>1</sub>	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F <sub>2</sub>	OA取入口	φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

据付スペース



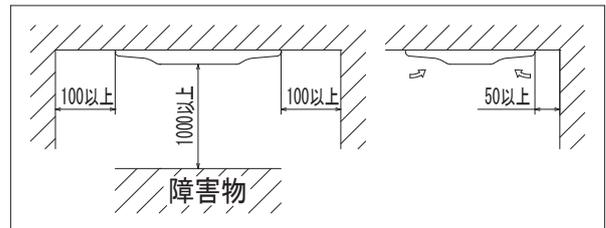
注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。



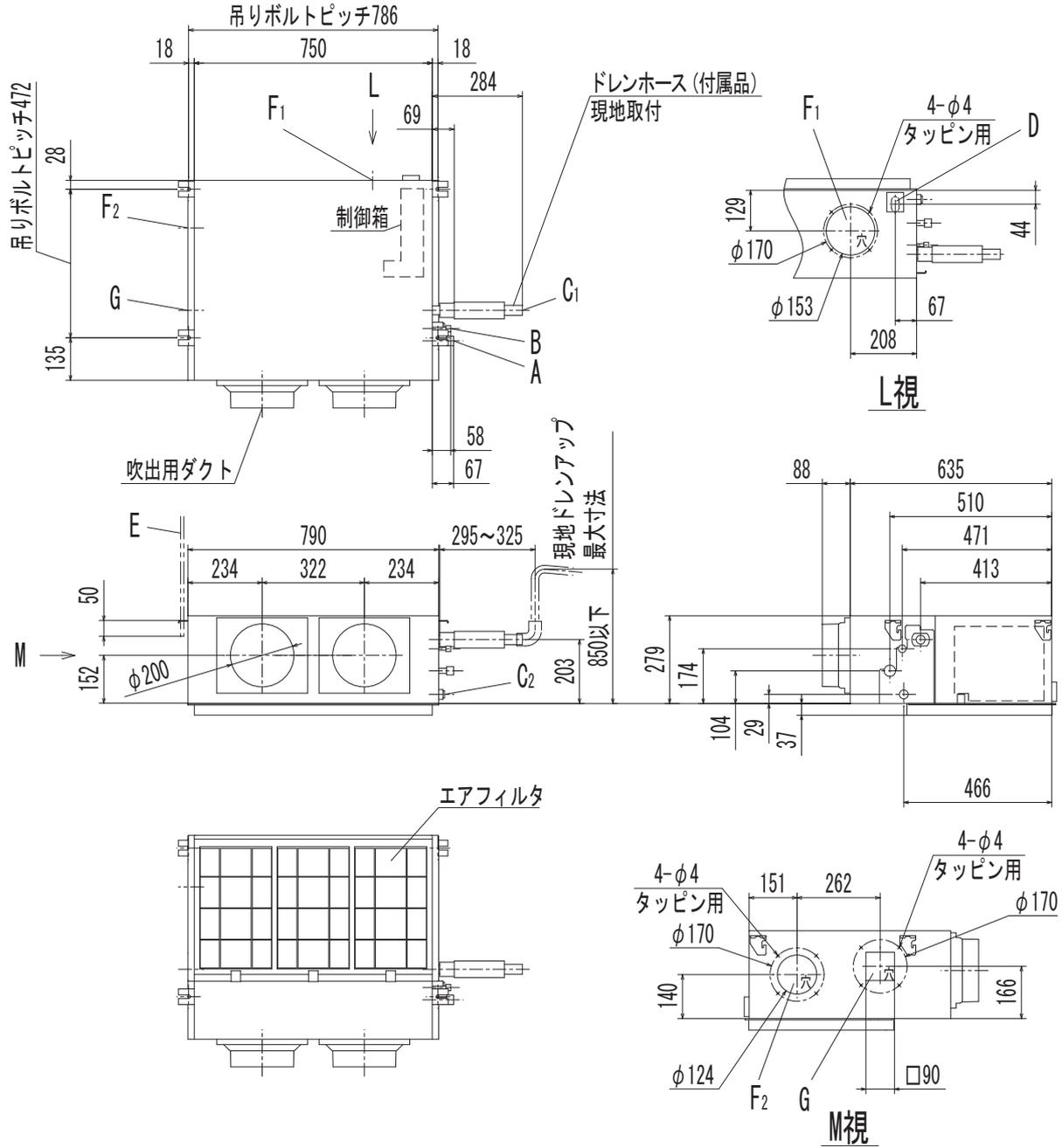
●記号説明

記号	機種	内容
		P28      P36, 45, 56
A	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)    φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C2	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



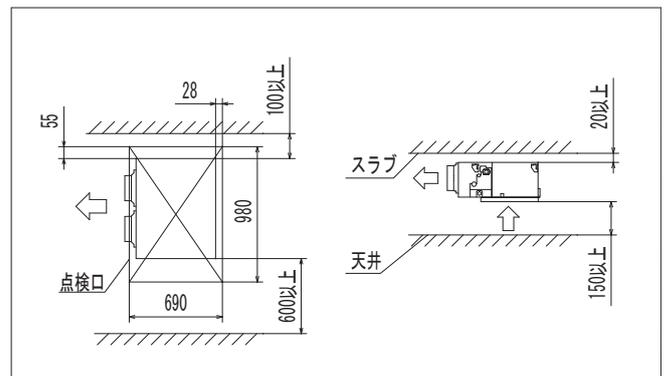
注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。



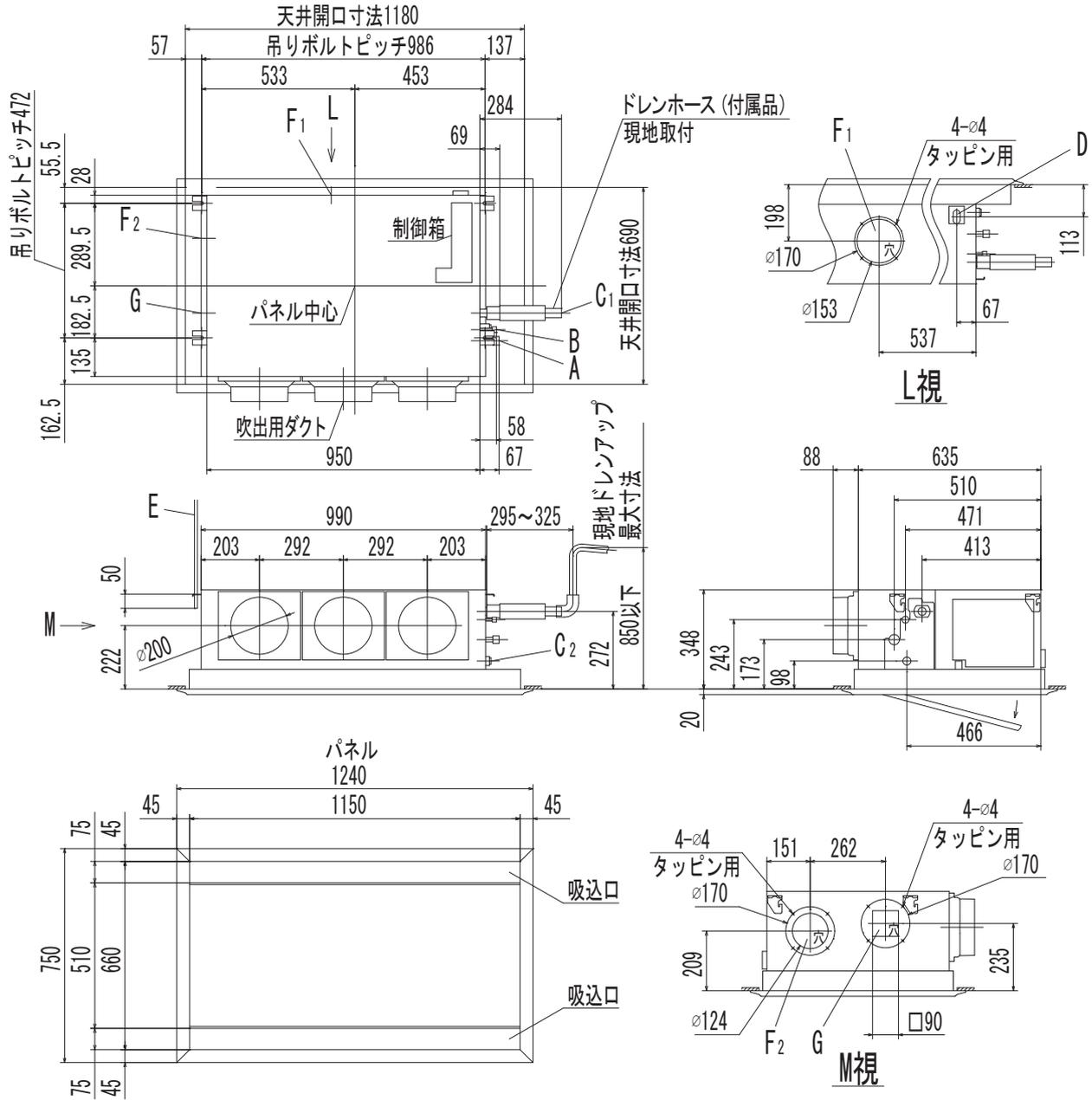
●記号説明

記号	機種	内容	
		P28	P36, 45, 56
A	冷媒ガス側配管	φ9.52 (フレア)	φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)	
C1	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)	
C2	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)	
D	電源取入口		
E	吊りボルト	M10	
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト	
F2		φ125用ノックアウト	
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト	

据付スペース



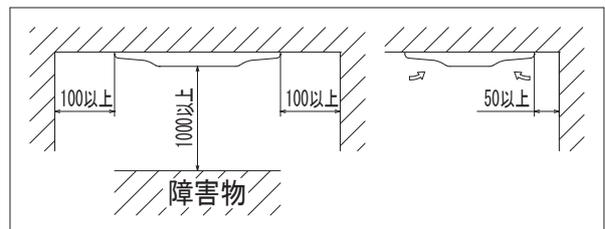
注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。



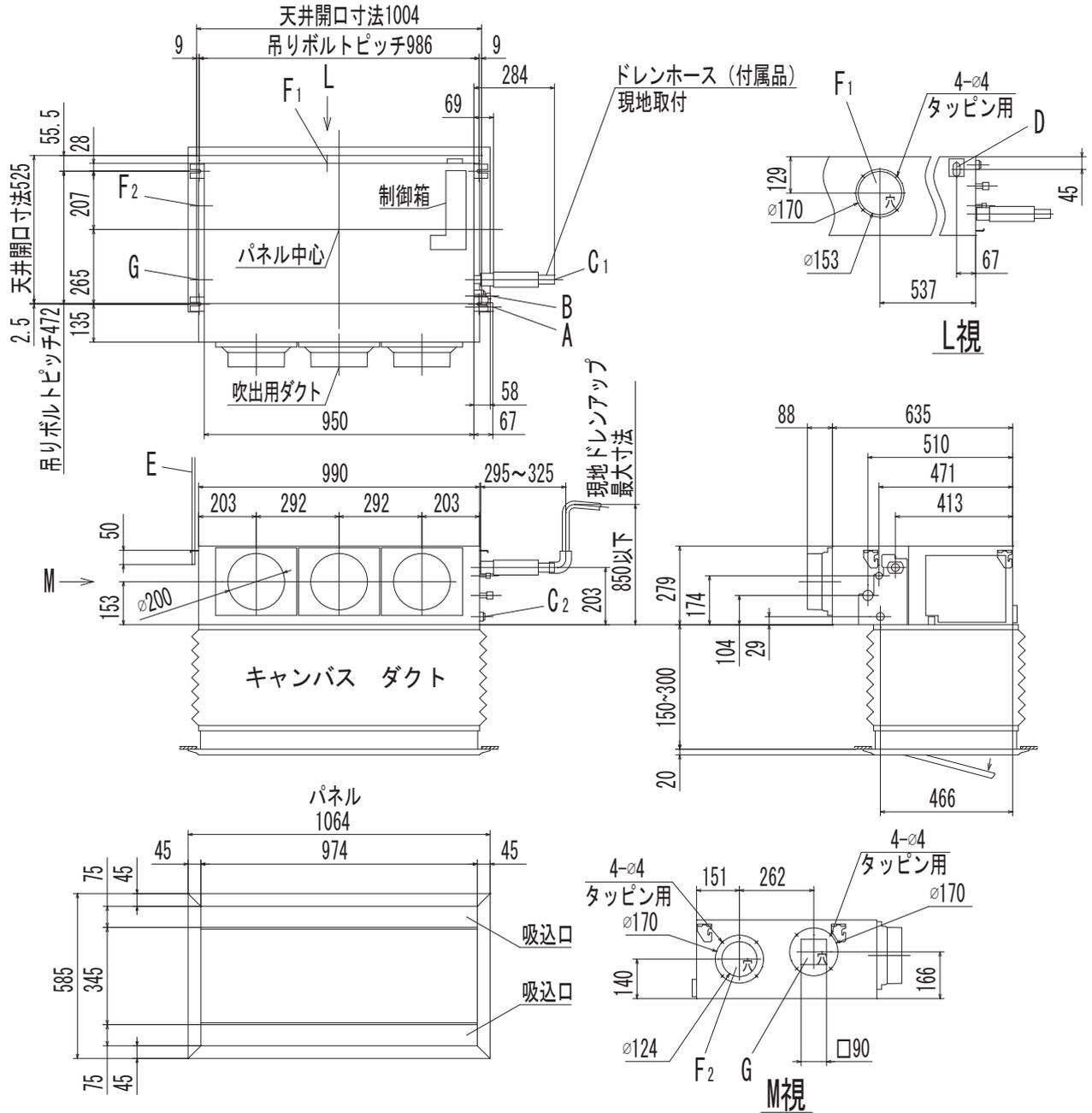
●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F <sub>1</sub>	OA取入口	φ150用ノックアウト
F <sub>2</sub>		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



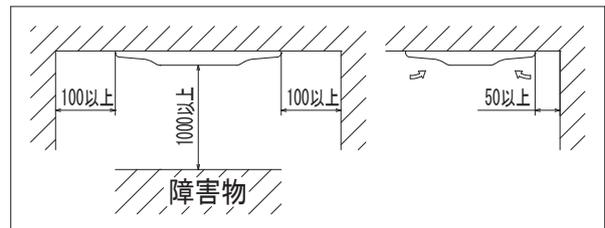
注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。



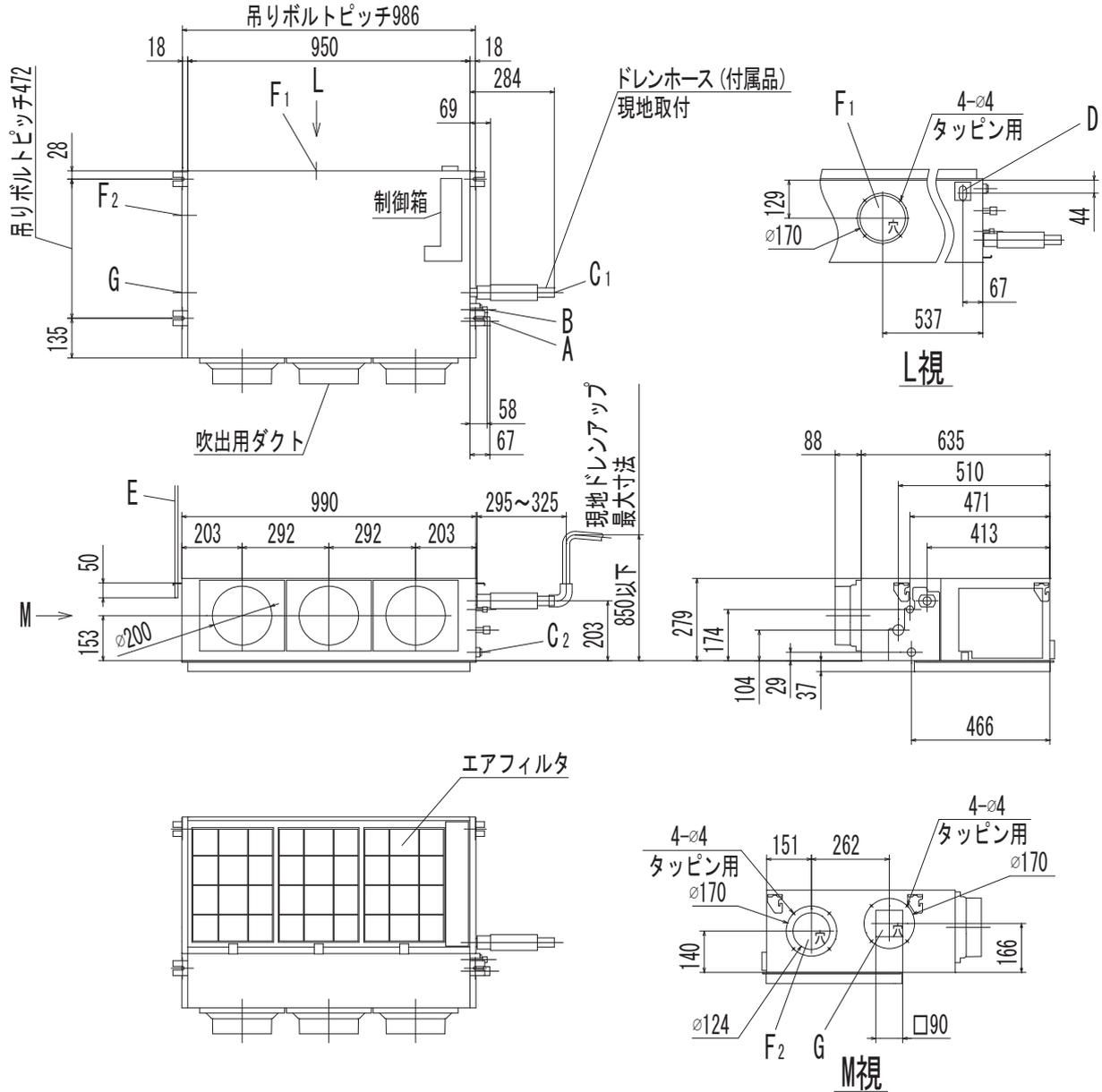
●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F <sub>1</sub>	OA取入口	φ150用ノックアウト
F <sub>2</sub>		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



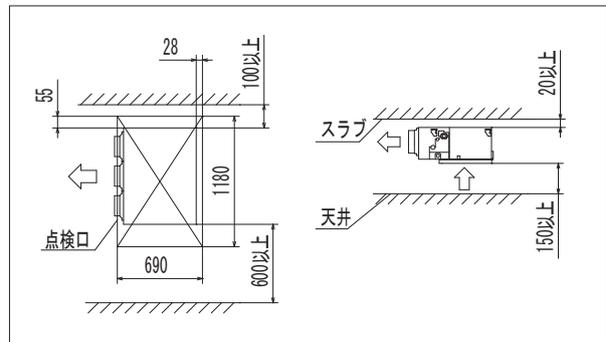
注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。



●記号説明

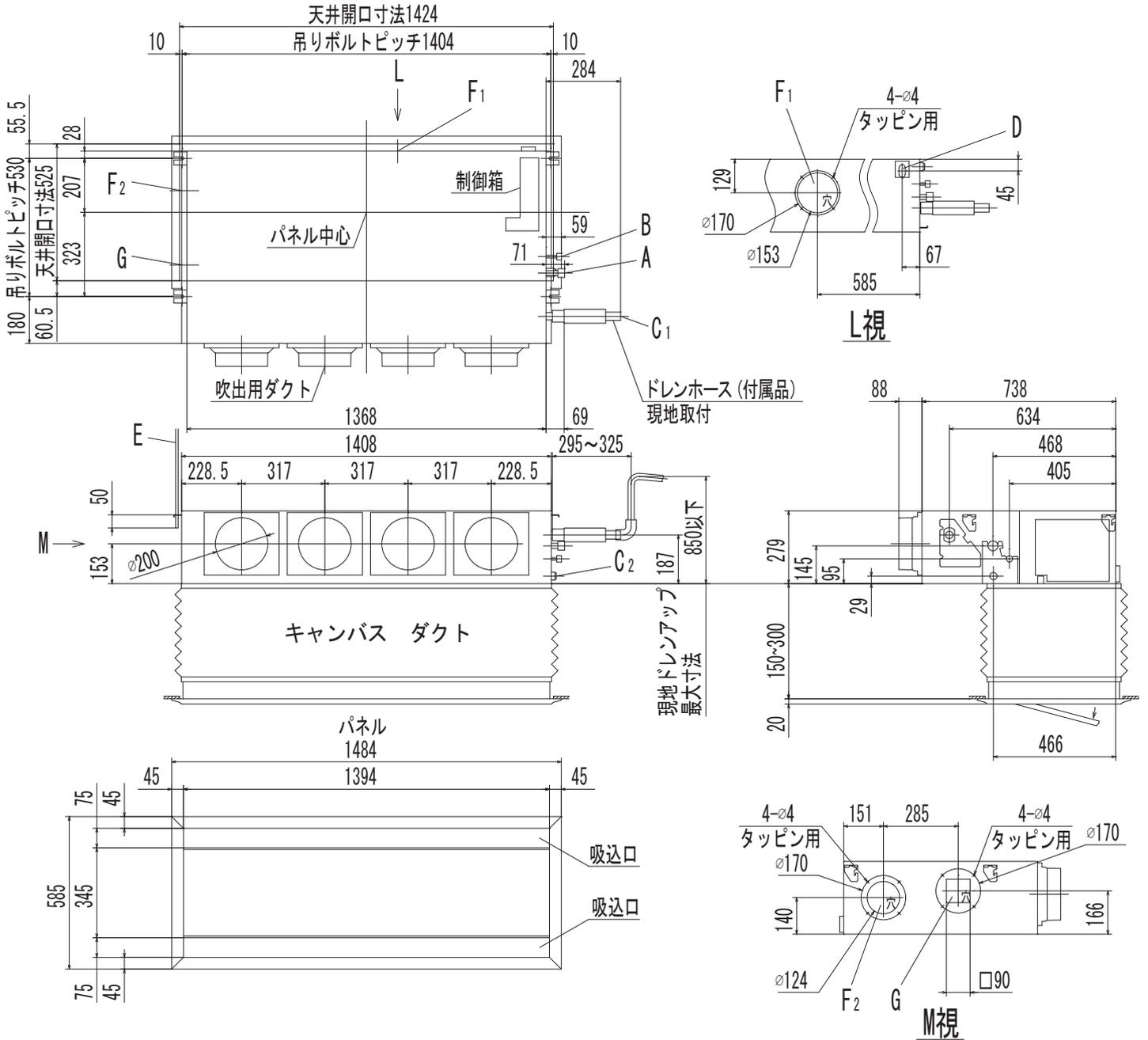
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25 (I.D. 25, O.D. 32)
C2	ドレン自然排水用	VP20 (I.D. 20, O.D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F1	OA取入口	φ150用ノックアウト
F2		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

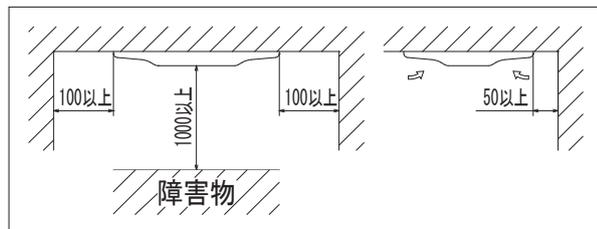




●記号説明

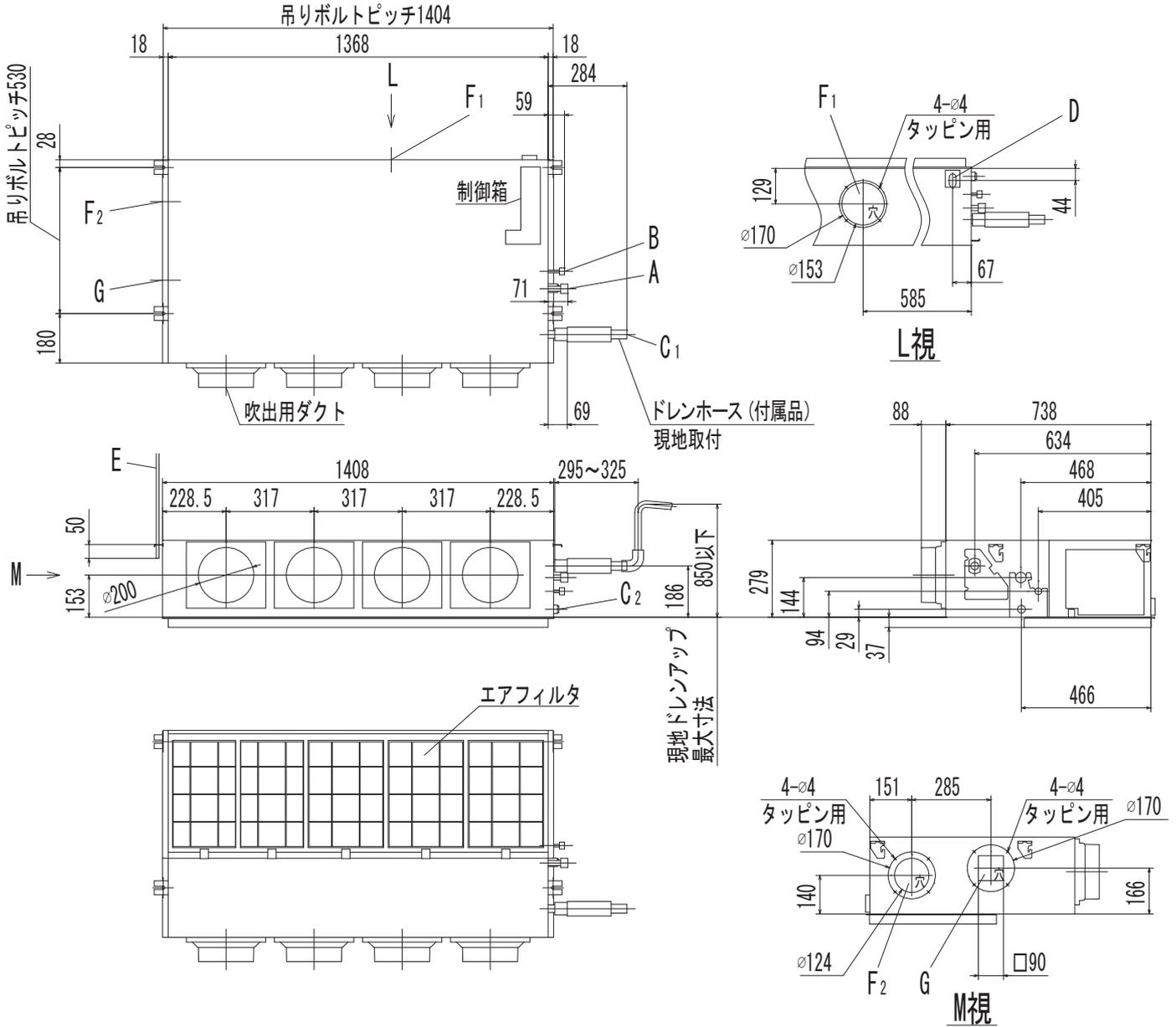
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F <sub>1</sub>	0A取入口	φ150用ノックアウト
F <sub>2</sub>		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース



注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

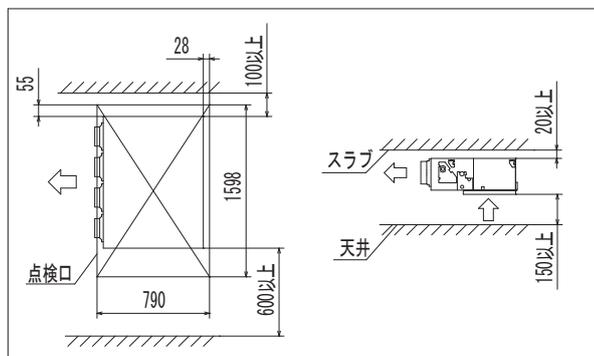
GRP1124, 1404M1A 天井リターン変換キット(品番: R-FL-4A)使用の場合



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I. D. 25, O. D. 32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I. D. 20, O. D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F <sub>1</sub>	OA取入口	φ150用ノックアウト
F <sub>2</sub>		φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト

据付スペース

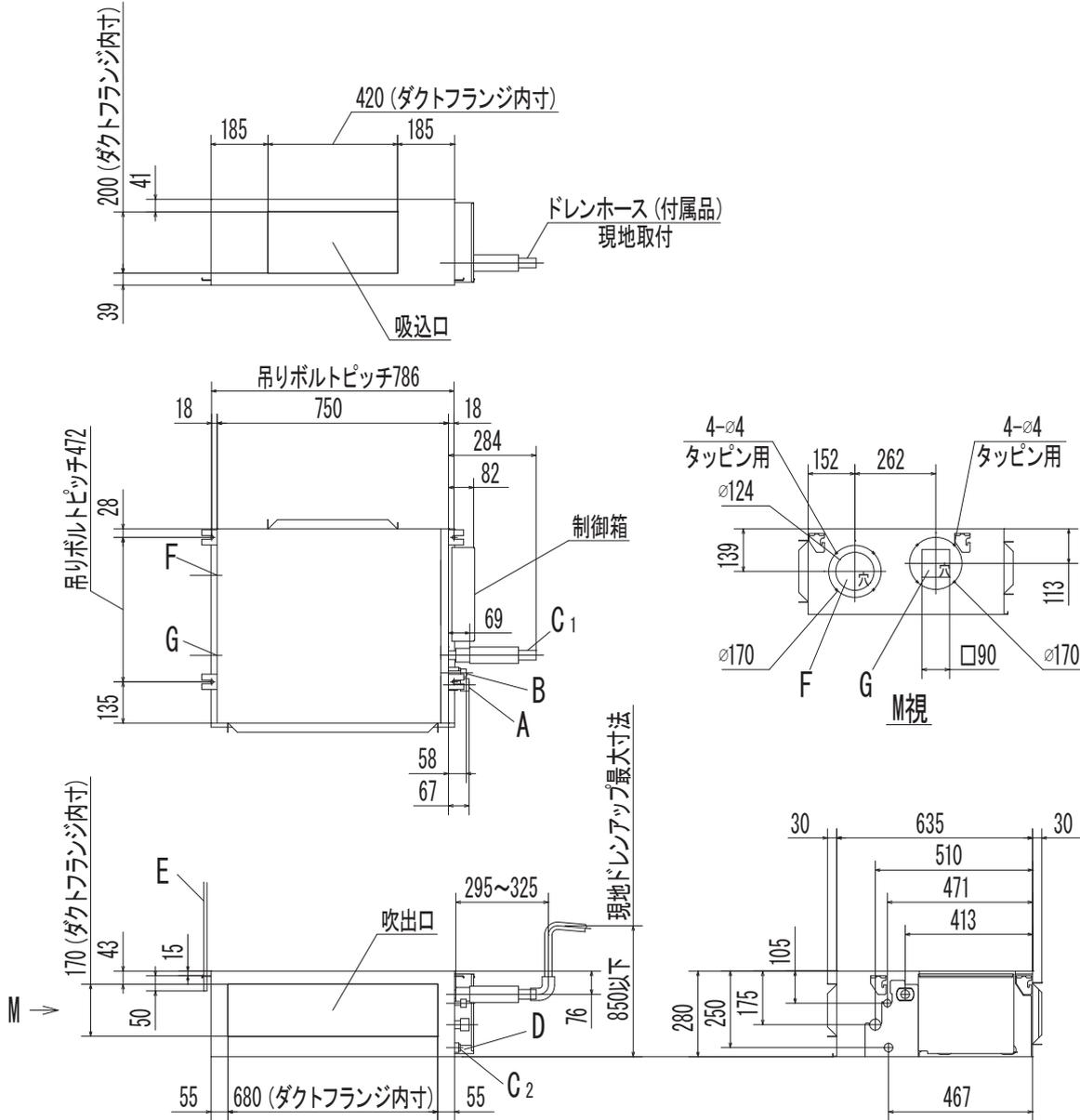


注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

## (2)高静圧ダクト形(GU)

### (a) 標準仕様

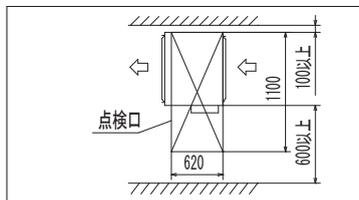
GUP454, 564M1A



### ●記号説明

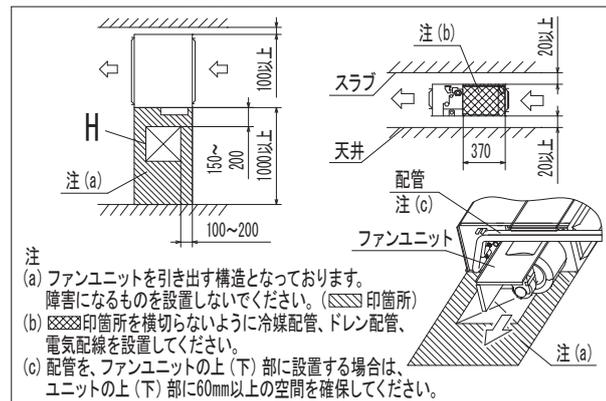
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I.D.25, O.D.32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I.D.20, O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450

### (ケース2) ユニット下面から



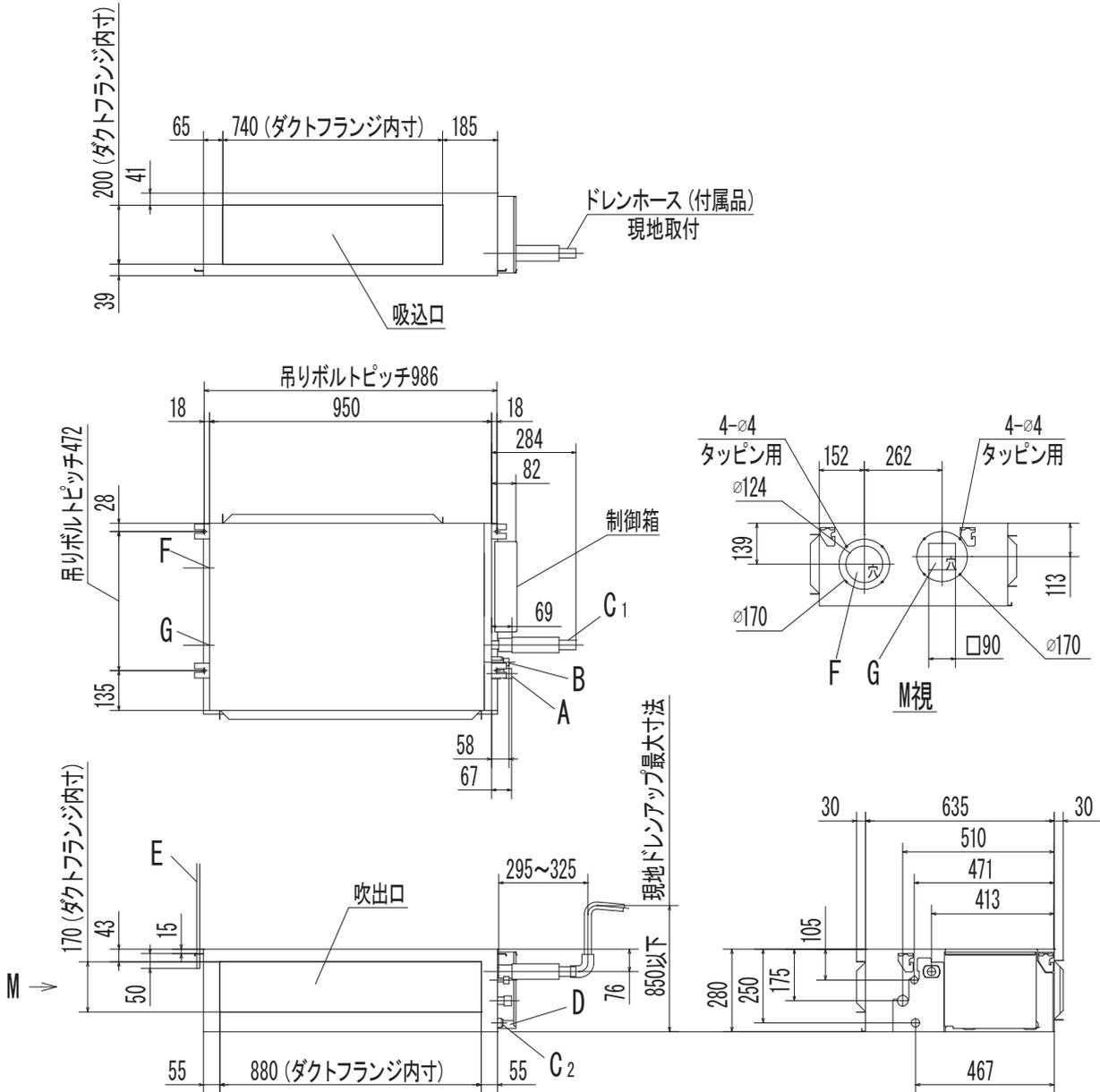
### 室内ユニット据付スペース

吸込・吹出口にダクトを接続し、ファン及び他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。  
(ケース1) ユニット側面から



注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

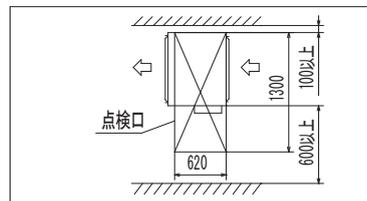
PJG000Z161



●記号説明

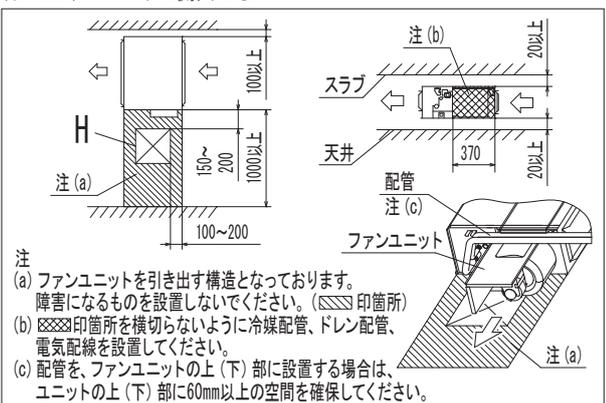
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25 (I.D.25, O.D.32)
C2	ドレン自然排水用	VP20 (I.D.20, O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450

(ケース2) ユニット下面から



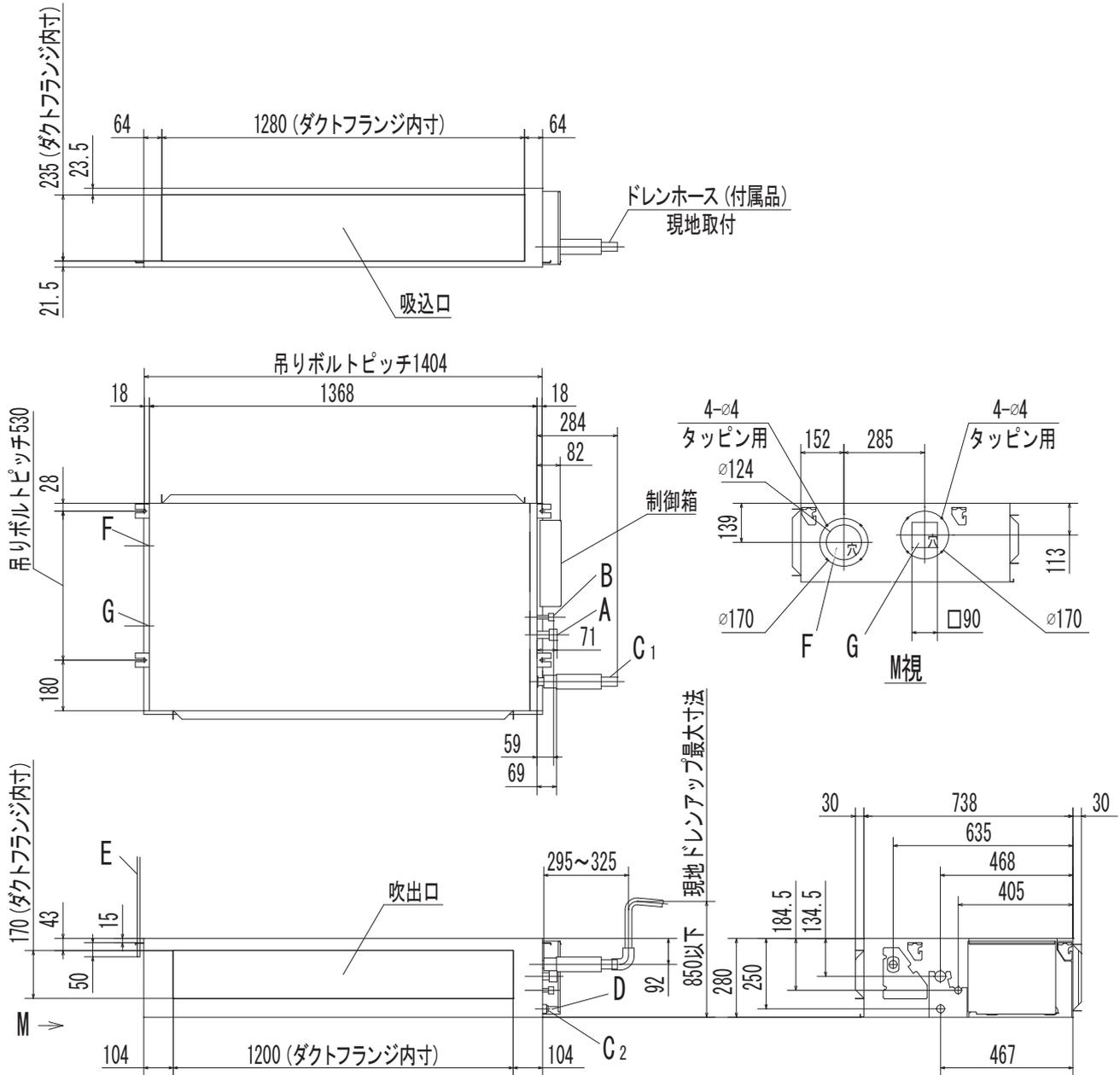
室内ユニット据付スペース

吸込・吹出口にダクトを接続し、ファン及び他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。  
 (ケース1) ユニット側面から



注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

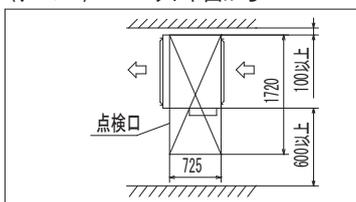
GUP1124, 1404M1A



●記号説明

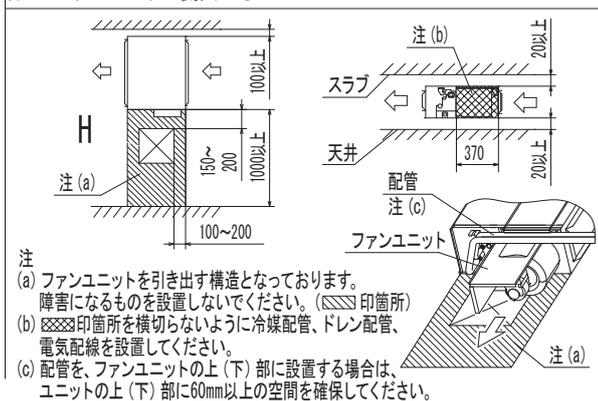
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25 (I.D.25.O.D.32)
C2	ドレン自然排水用	VP20 (I.D.20.O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450

(ケース2) ユニット下面から



室内ユニット据付スペース

吸込・吹出口にダクトを接続し、ファン及び他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。  
(ケース1) ユニット側面から



注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

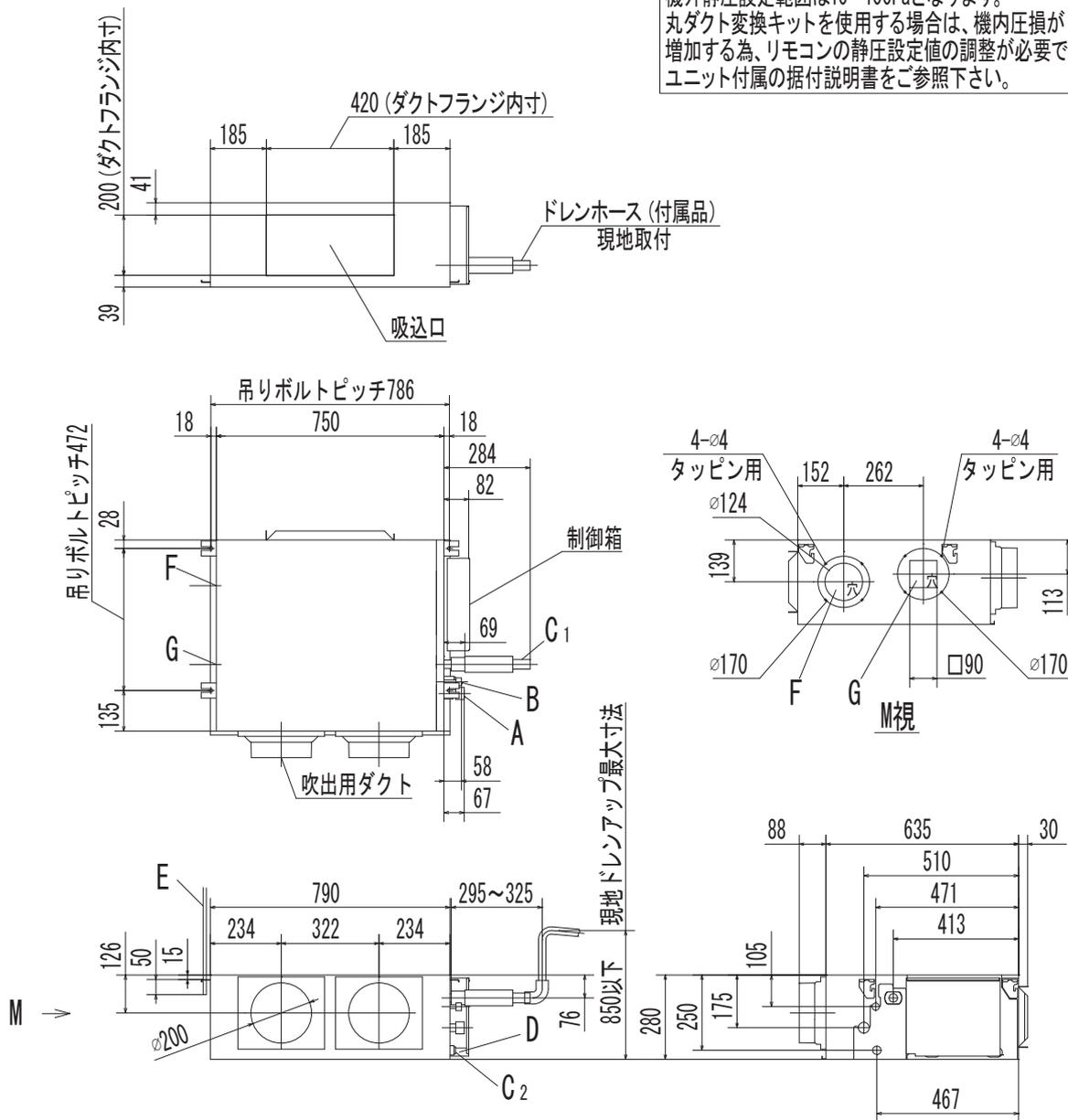
PJG000Z163

(b) 丸ダクト仕様

GUP454, 564M1A

丸ダクト変換キット(品番: U-UM-2A)使用の場合

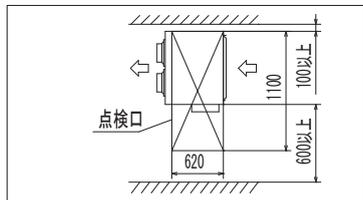
機外静圧設定範囲は10~100Paとなります。  
丸ダクト変換キットを使用する場合は、機内圧損が増加する為、リモコンの静圧設定値の調整が必要です。  
ユニット付属の据付説明書をご参照下さい。



●記号説明

記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ12.7 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ6.35 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I.D.25, O.D.32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I.D.20, O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450

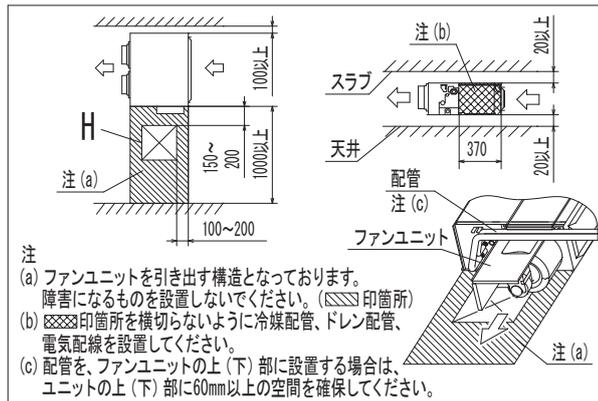
(ケース2) ユニット下面から



室内ユニット据付スペース

吸込・吹出口にダクトを接続し、ファン及び他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。

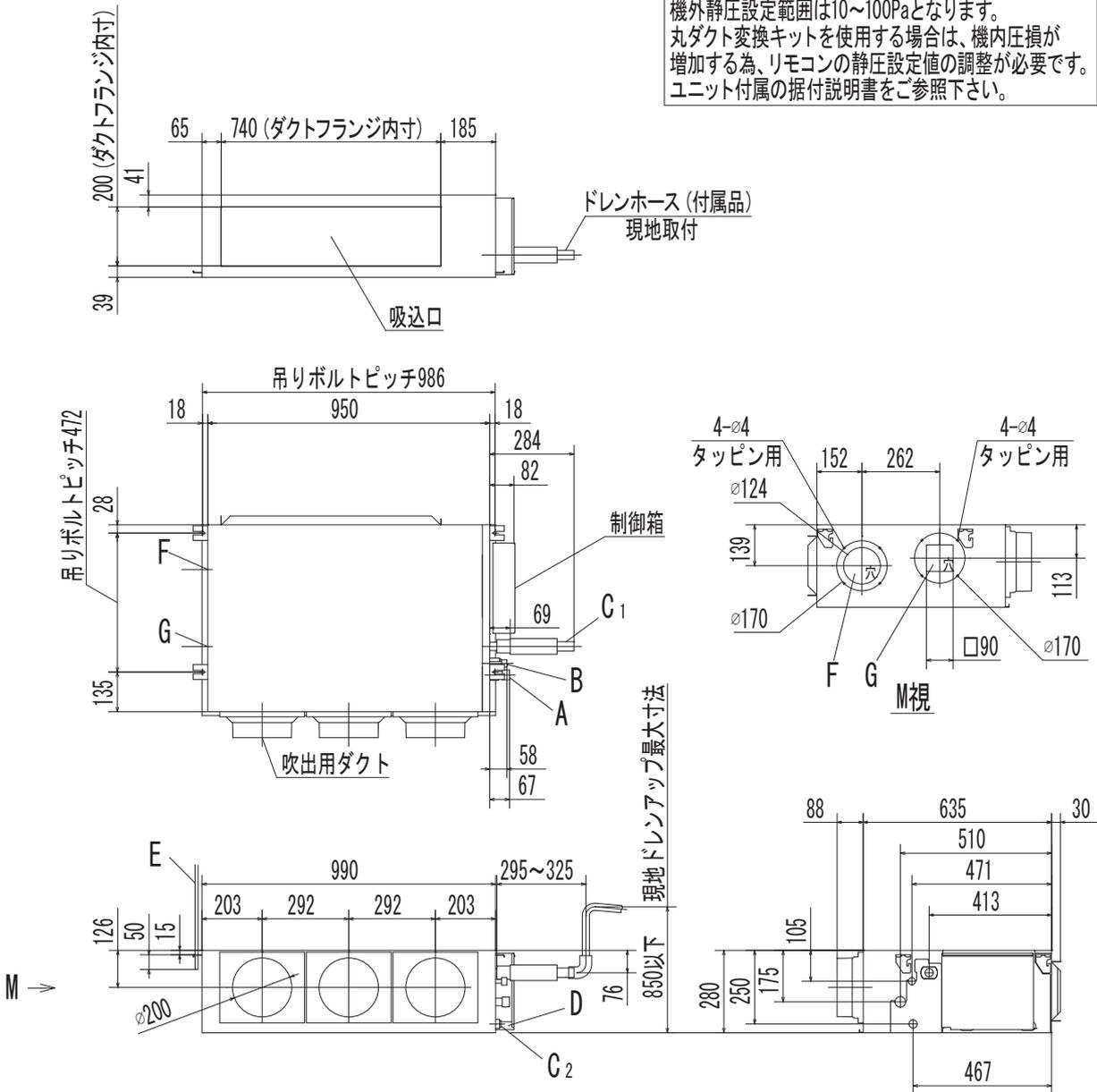
(ケース1) ユニット側面から



注 (1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

PJG000Z186

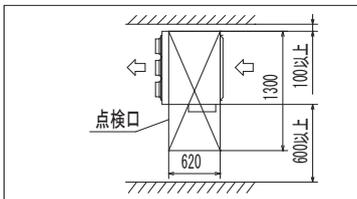
機外静圧設定範囲は10~100Paとなります。  
丸ダクト変換キットを使用する場合は、機内圧損が増加する為、リモコンの静圧設定値の調整が必要です。  
ユニット付属の据付説明書をご参照下さい。



●記号説明

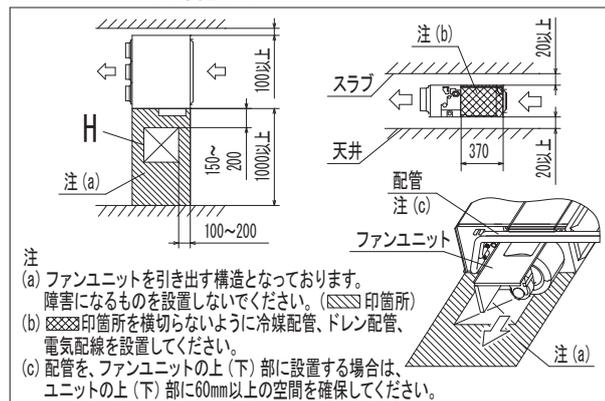
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C <sub>1</sub>	ドレン配管接続口	VP25 (I.D.25, O.D.32)
C <sub>2</sub>	ドレン自然排水用	VP20 (I.D.20, O.D.26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450

(ケース2) ユニット下面から



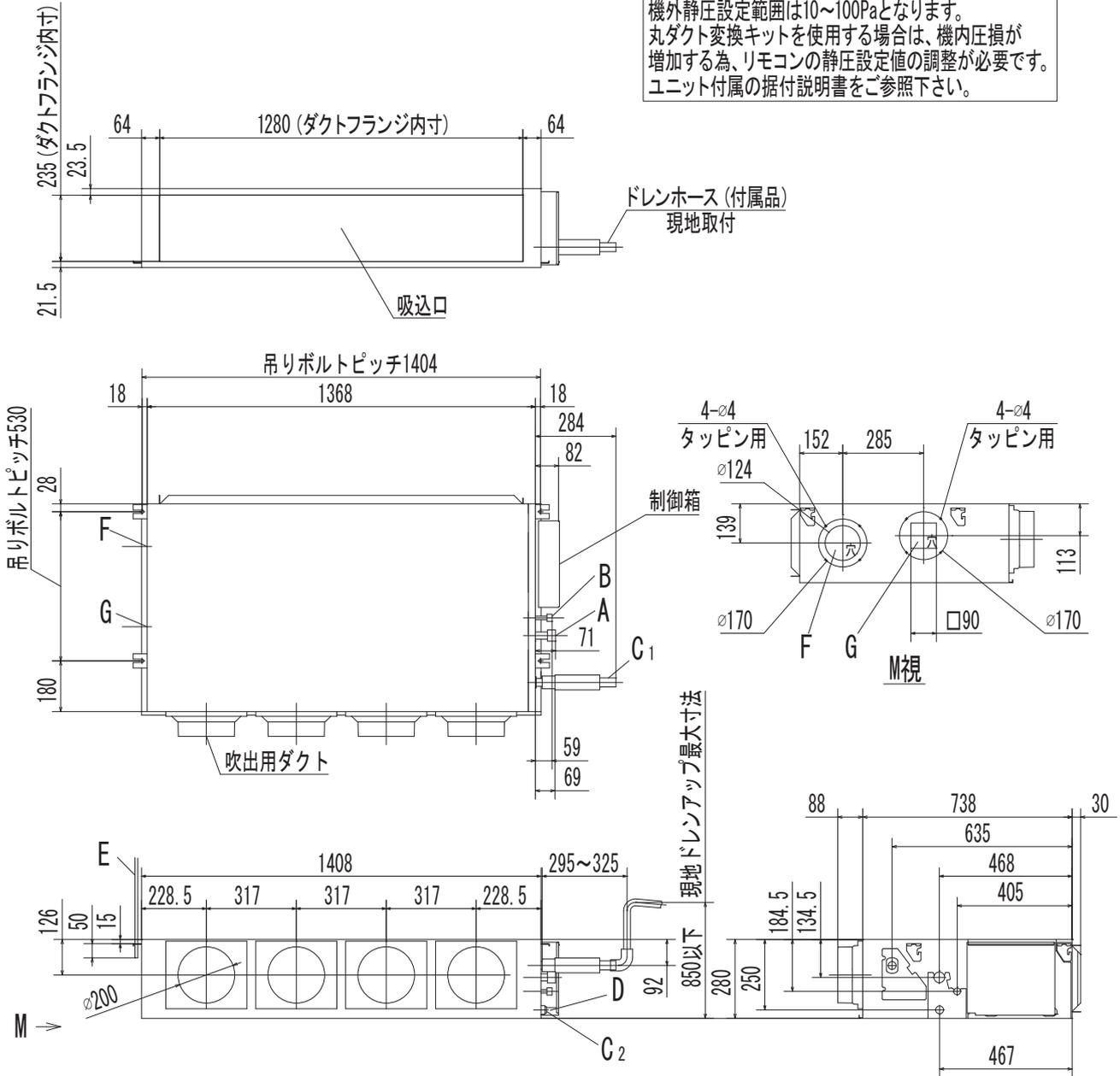
室内ユニット据付スペース

吸込・吹出口にダクトを接続し、ファン及び他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。  
(ケース1) ユニット側面から



注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

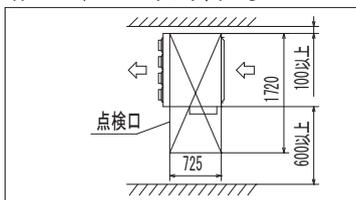
機外静圧設定範囲は10~100Paとなります。  
丸ダクト変換キットを使用する場合は、機内圧損が増加する為、リモコンの静圧設定値の調整が必要です。  
ユニット付属の据付説明書をご参照下さい。



●記号説明

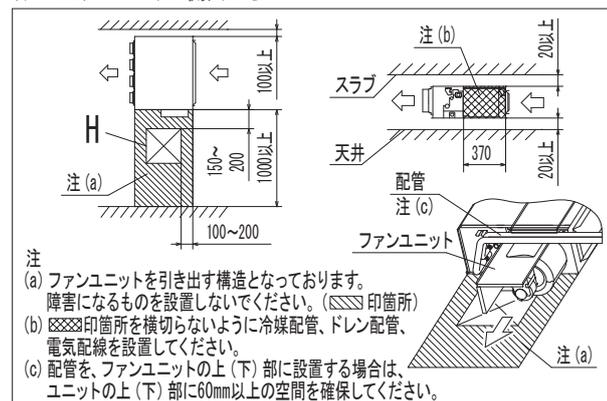
記号	内容	
A	冷媒ガス側配管	φ15.88 (フレア)
B	冷媒液側配管	φ9.52 (フレア)
C1	ドレン配管接続口	VP25 (I.D. 25, O.D. 32)
C2	ドレン自然排水用	VP20 (I.D. 20, O.D. 26)
D	電源取入口	
E	吊りボルト	M10
F	OA取入口	φ125用ノックアウト
G	排気ダクト接続口	φ125用ノックアウト
H	点検口	450X450

(ケース2) ユニット下面から



室内ユニット据付スペース

吸込・吹出口にダクトを接続し、ファン及び他の内部部品に手が触れない様に配慮してください。また、吸込ダクトにはエアフィルタを取付けてください。吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。据付時には、下記2ケースのどちらかのサービススペースを確保してください。(ケース1) ユニット側面から

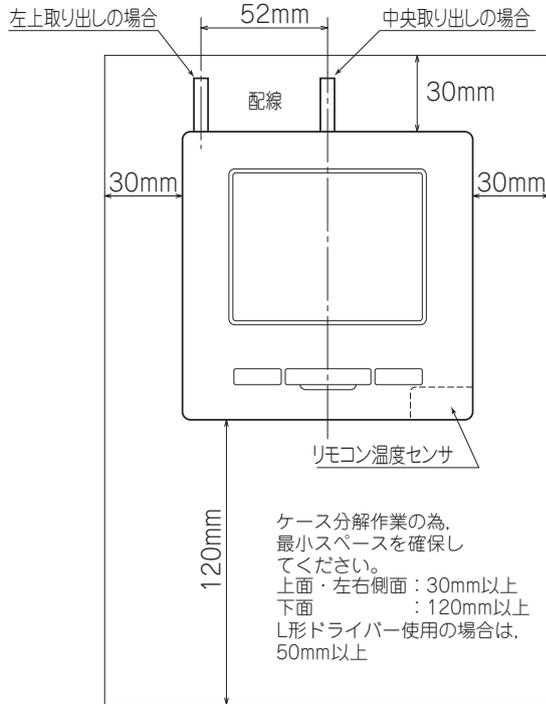


注(1) 装置銘板は制御箱蓋に付いています。

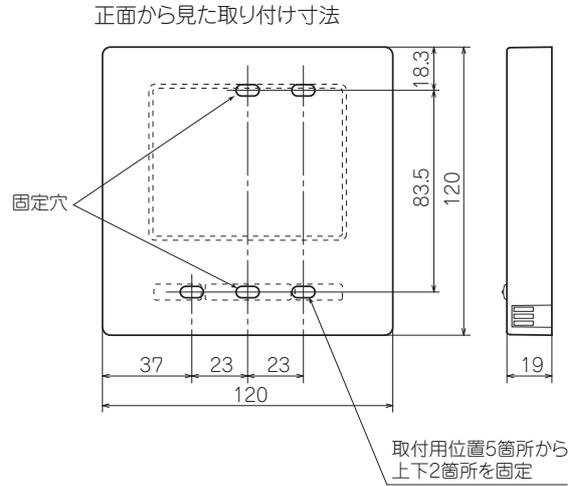
### (3) リモートコントローラ (別売品)

・RC-DX2

#### 設置スペース



#### リモコン取付寸法



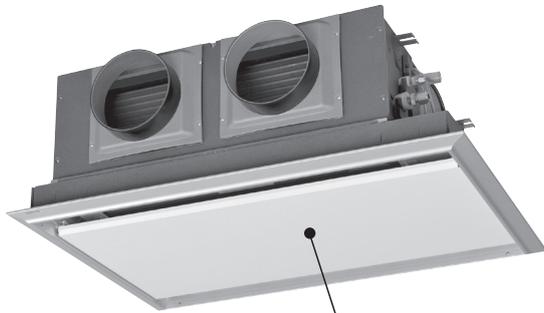
#### リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長600m

- リモコンコードは $0.3\text{mm}^2 \times 2$ 心です。
- 延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 $0.5\text{mm}^2$ 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。
- 100~200m以内… $0.50\text{mm}^2 \times 2$ 心
  - ~300m以内… $0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心
  - ~400m以内… $1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心
  - ~600m以内… $2.00\text{mm}^2 \times 2$ 心

# 1-5 塗装色

## (1) 天埋カセテリア(GR)

(i) サイレントパネル仕様



パネル  
プラスターホワイト  
(マンセル 6.8Y8.9/0.2 近似)

(ii) キャンバスパネル仕様



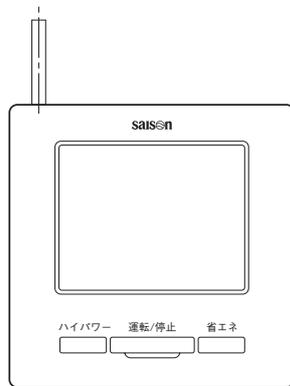
パネル  
プラスターホワイト  
(マンセル 6.8Y8.9/0.2 近似)

(iii) 天井リターン仕様……………クロメートフリー鋼板

## (2) 高静圧ダクト形 (GU)……………クロメートフリー鋼板

## (3) リモコン (別売品)

RC - DX2



パールホワイト  
(マンセルN8.5近似)

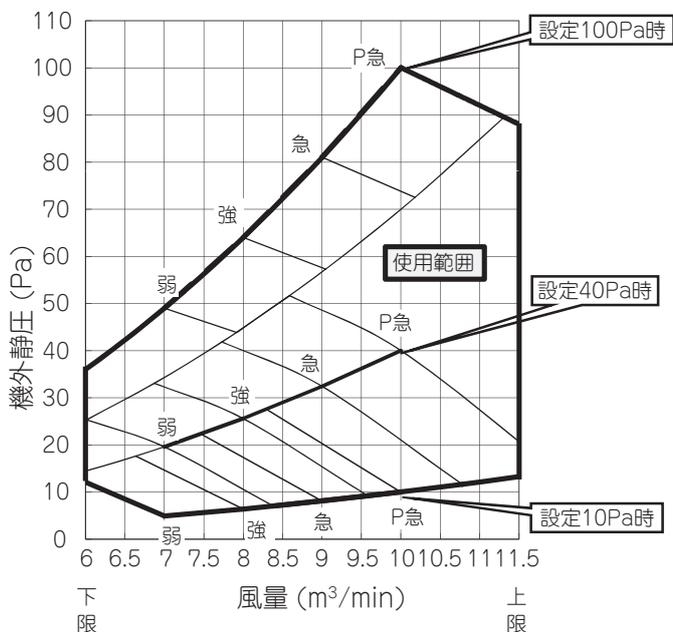
# 1-6 送風機特性

## (1) 天埋カセテリア (GR)

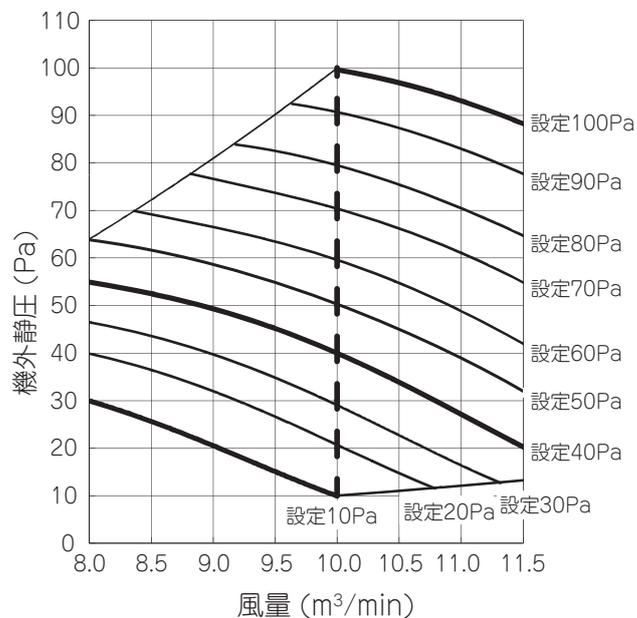
### (a) サイレントパネル・キャンバスパネル仕様

#### GRP224M1A

##### ①各タップの機外静圧特性



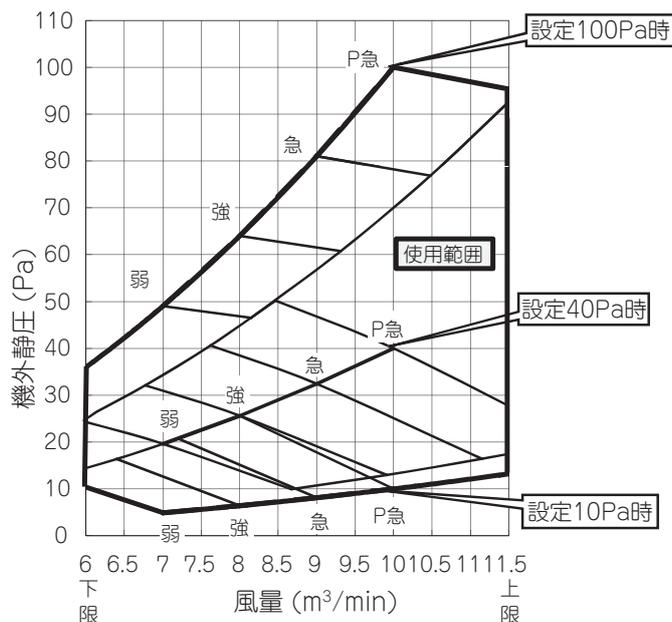
##### ②P急タップの機外静圧特性



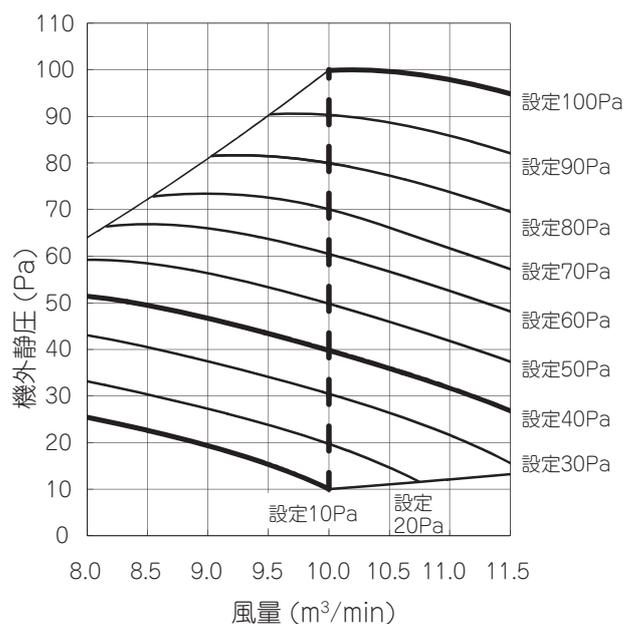
注(1) 表中の [設定00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

#### GRP284M1A

##### ①各タップの機外静圧特性



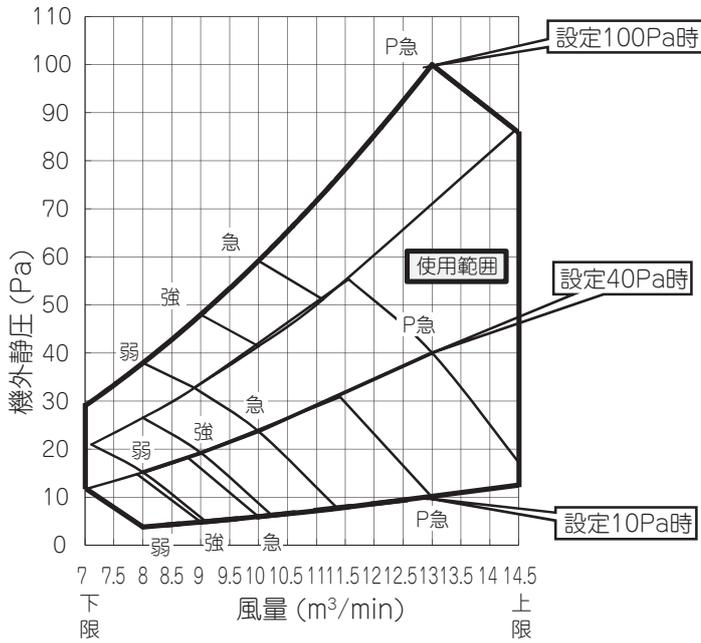
##### ②P急タップの機外静圧特性



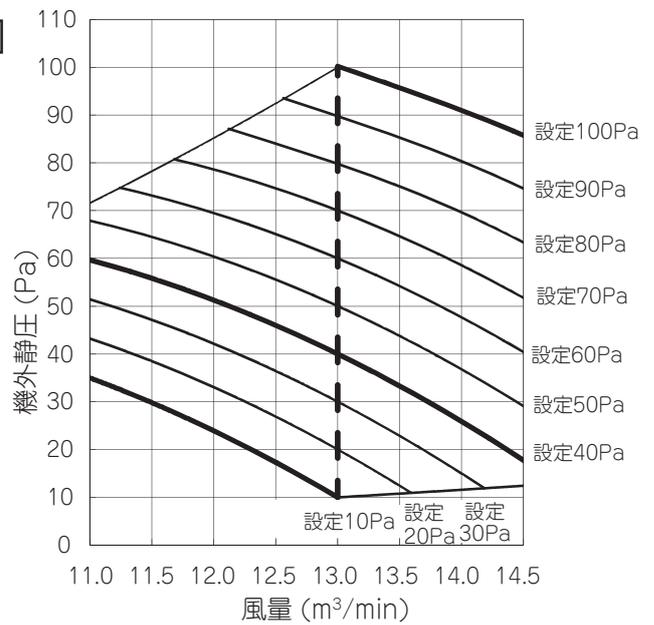
注(1) 表中の [設定00Pa] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

GRP364, 454, 564M1A

①各タップの機外静圧特性



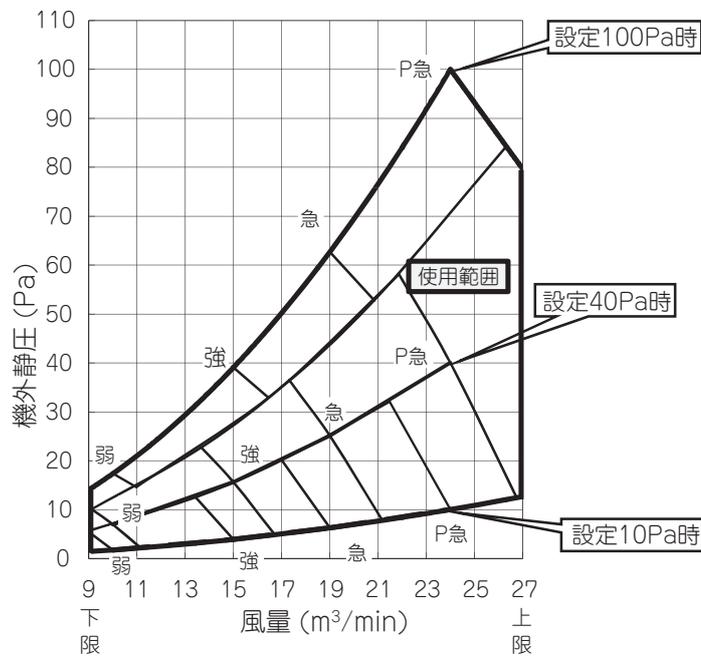
②P急タップの機外静圧特性



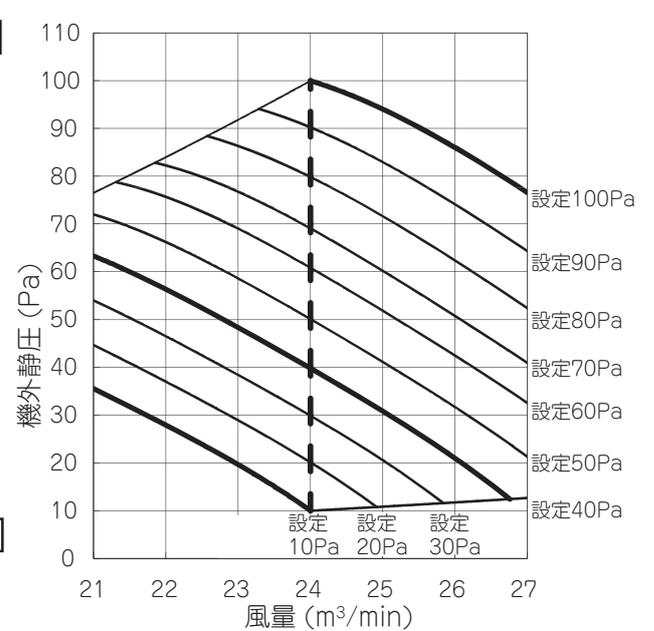
注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

GRP714, 904M1A

①各タップの機外静圧特性



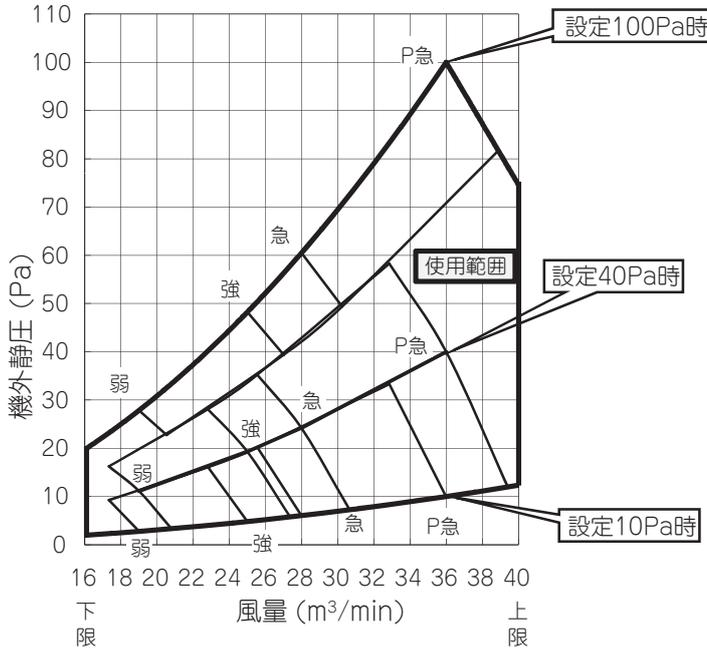
②P急タップの機外静圧特性



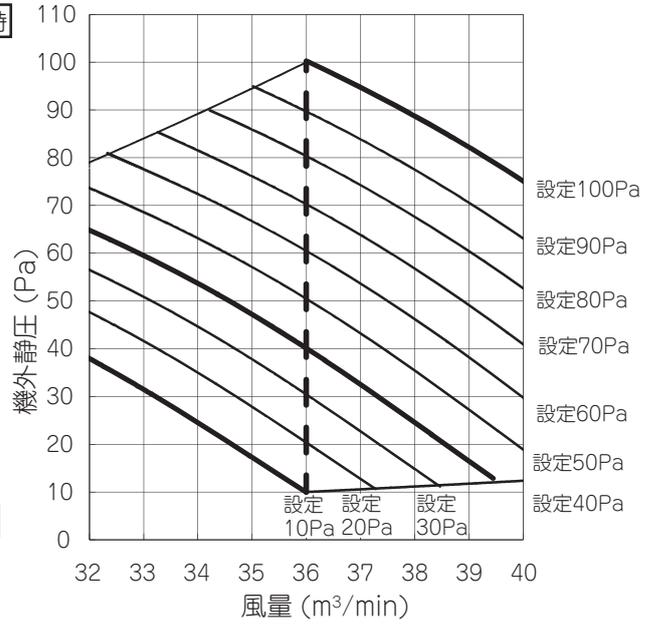
注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

# GRP1124M1A

## ①各タップの機外静圧特性



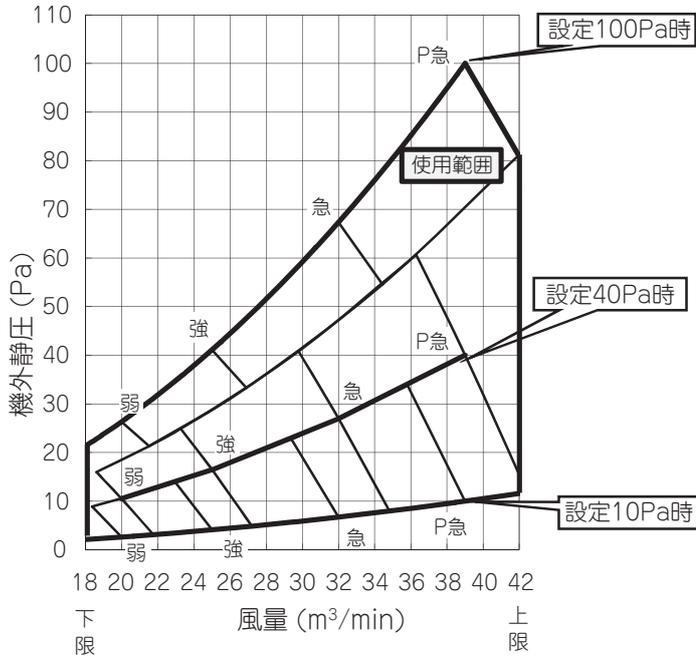
## ②P急タップの機外静圧特性



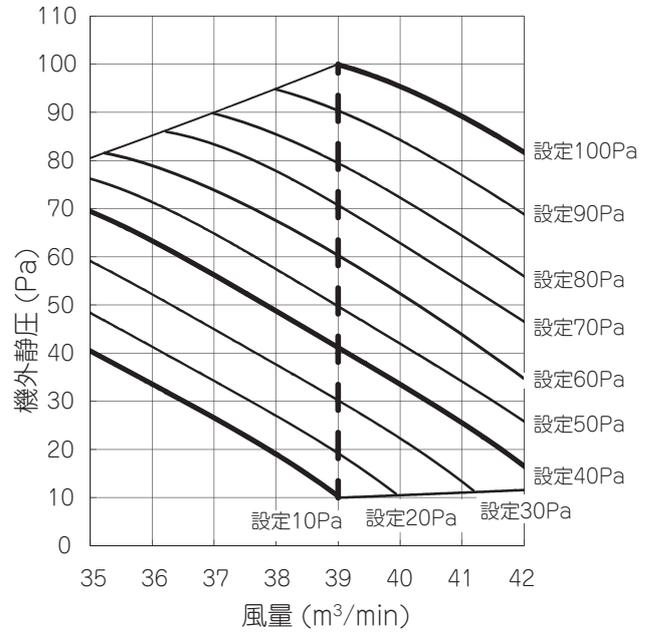
注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

# GRP1404M1A

## ①各タップの機外静圧特性



## ②P急タップの機外静圧特性

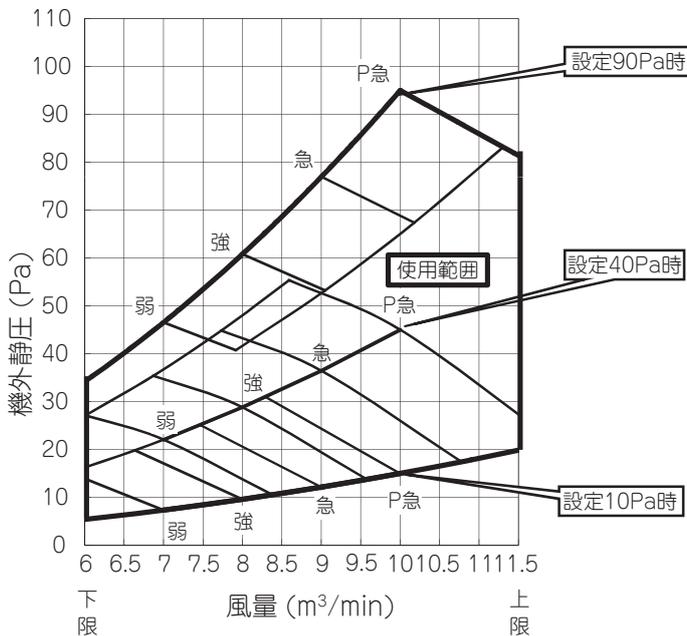


注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

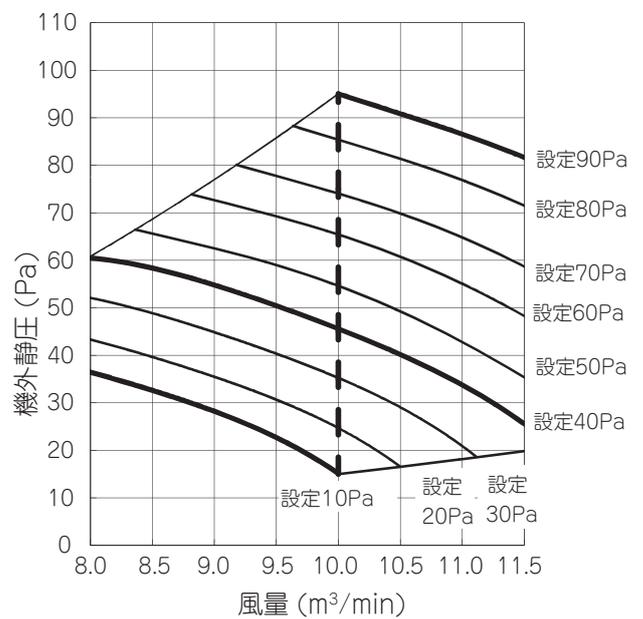
(b) 天井リターン仕様

GRP224M1A

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

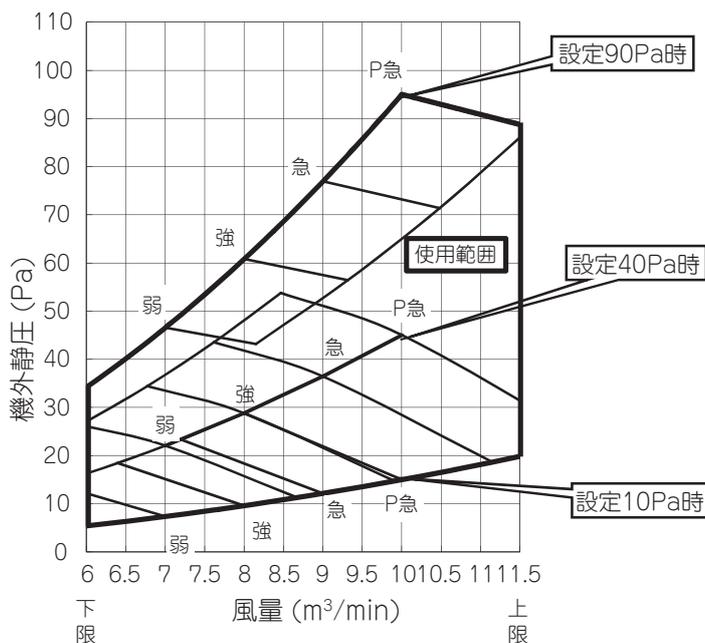
(2) 専用のフィルターキット(別売品)を必ず装着してください。

(3) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対して機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書 4-12 ページをご覧ください。

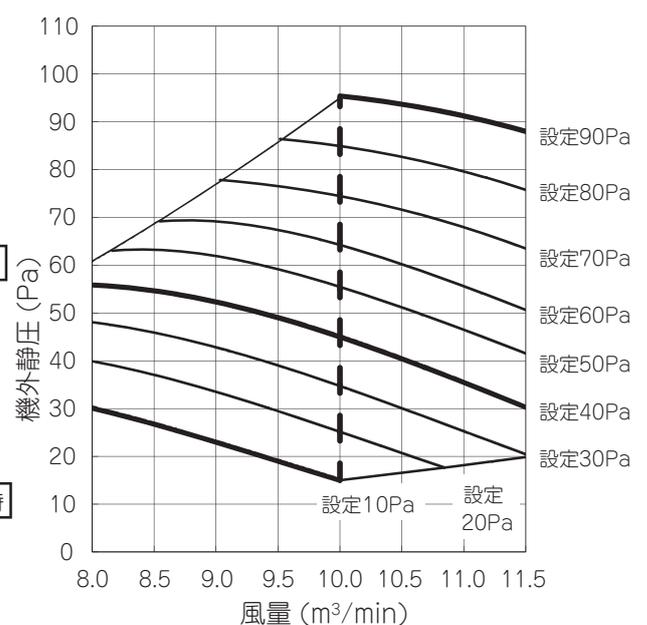
必要な機外静圧 (Pa)	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

GRP284M1A

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

(2) 専用のフィルターキット(別売品)を必ず装着してください。

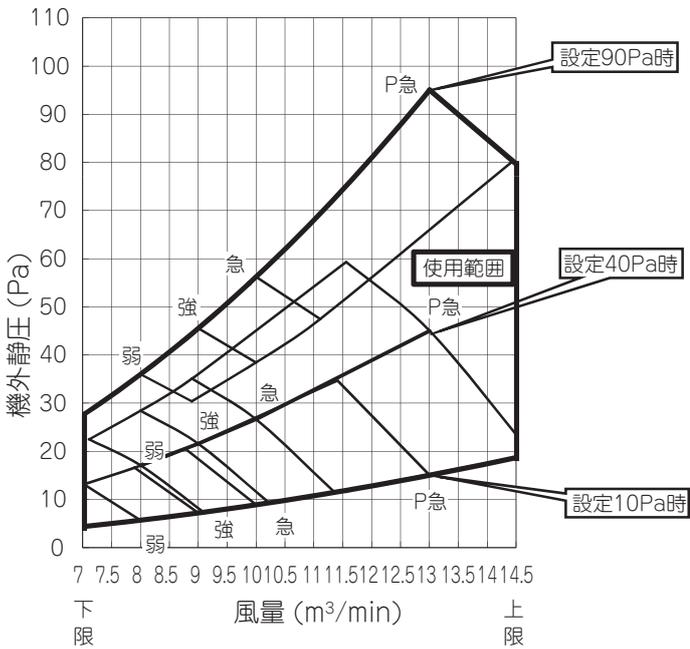
(3) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対して機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書 4-12 ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

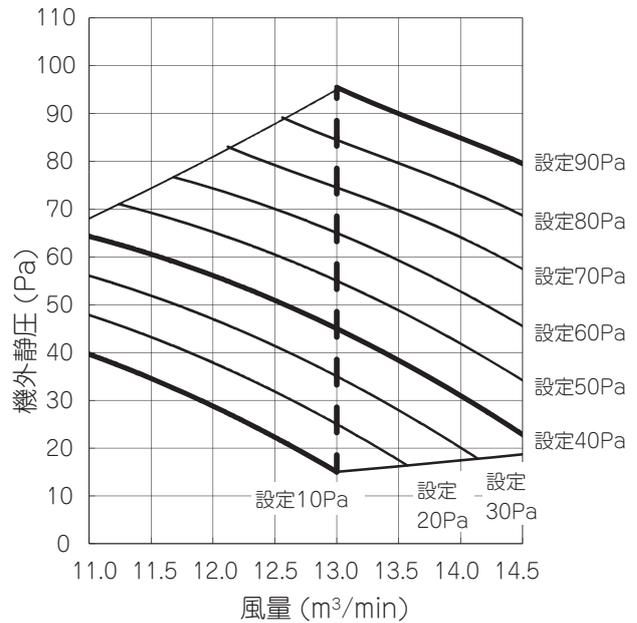
PJG000Z193

GRP364, 454, 564M1A

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

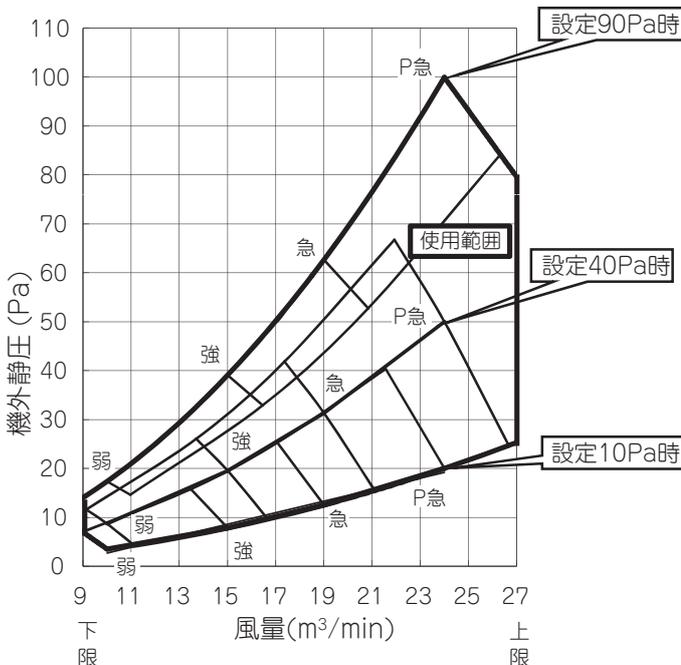


- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) 専用のフィルターキット(別売品)を必ず装着してください。  
 (3) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対して機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書4-12ページをご覧ください。

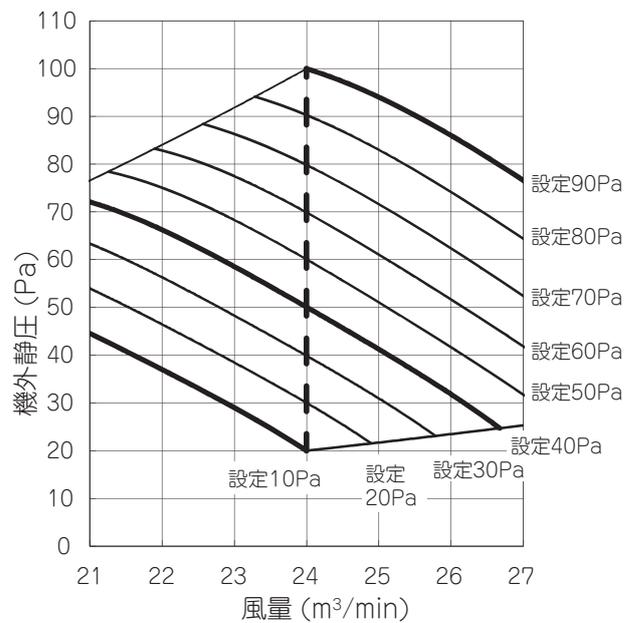
必要な機外静圧 (Pa)	15	25	35	45	55	65	75	85	95
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

GRP714, 904M1A

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



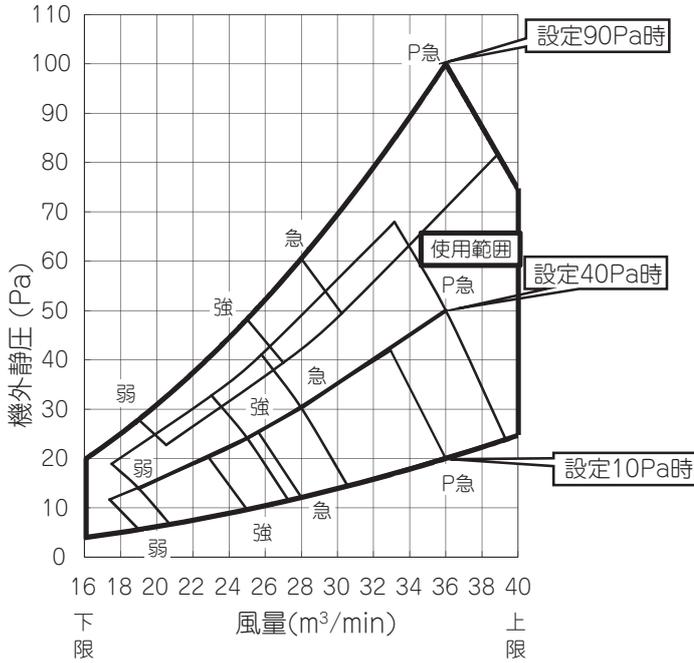
- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) 専用のフィルターキット(別売品)を必ず装着してください。  
 (3) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対して機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書4-12ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

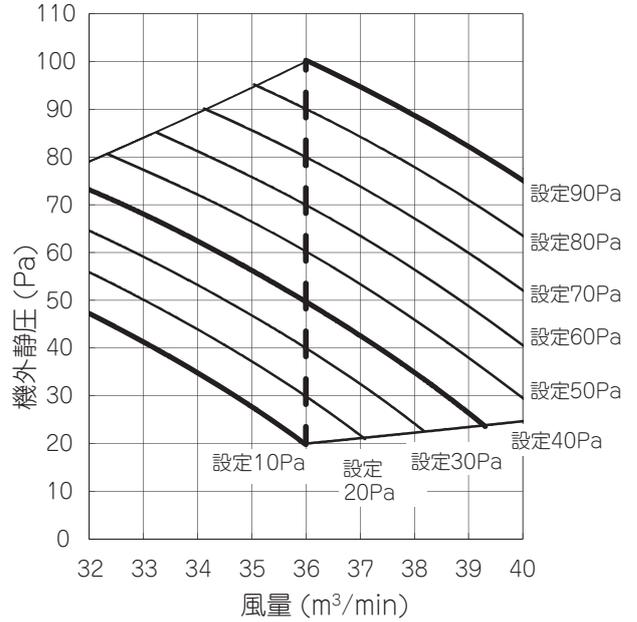
PJG000Z193

GRP1124M1A

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

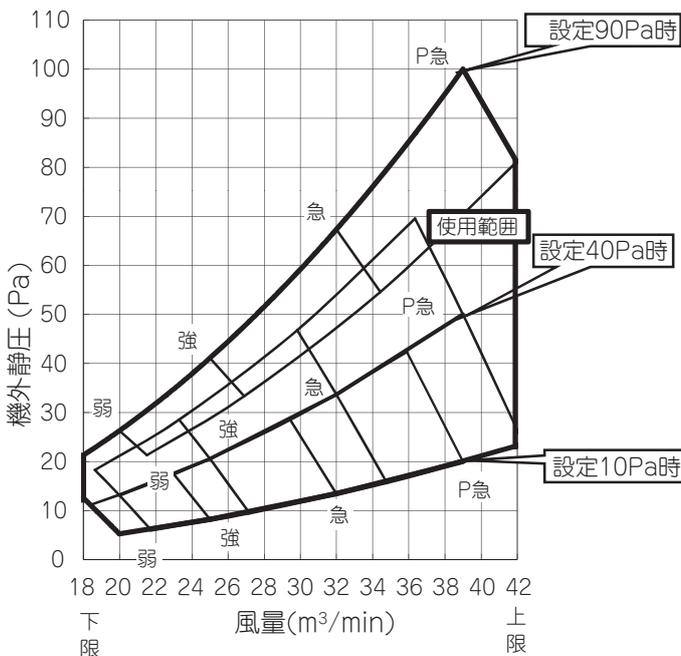


- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
- (2) 専用のフィルターキット(別売品)を必ず装着してください。
- (3) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対して機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書4-12ページをご覧ください。

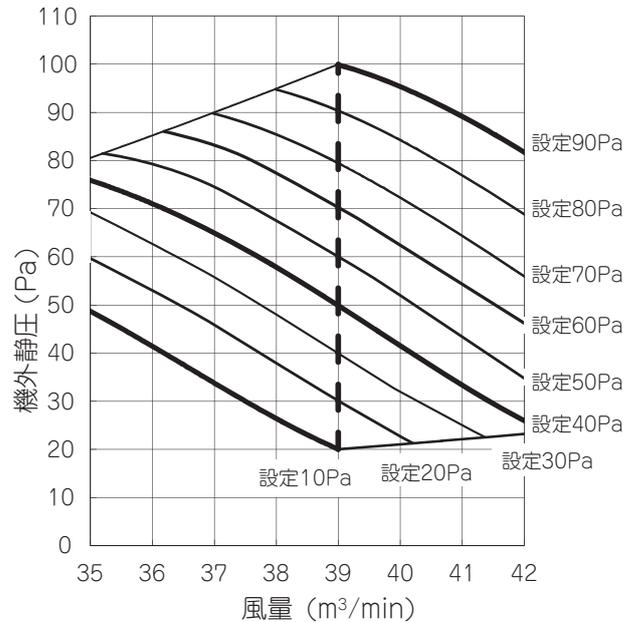
必要な機外静圧 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

GRP1404M1A

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。
- (2) 専用のフィルターキット(別売品)を必ず装着してください。
- (3) 天井リターン仕様の場合は、標準機に対して機内圧損が低減するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書4-12ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90

PJG000Z193

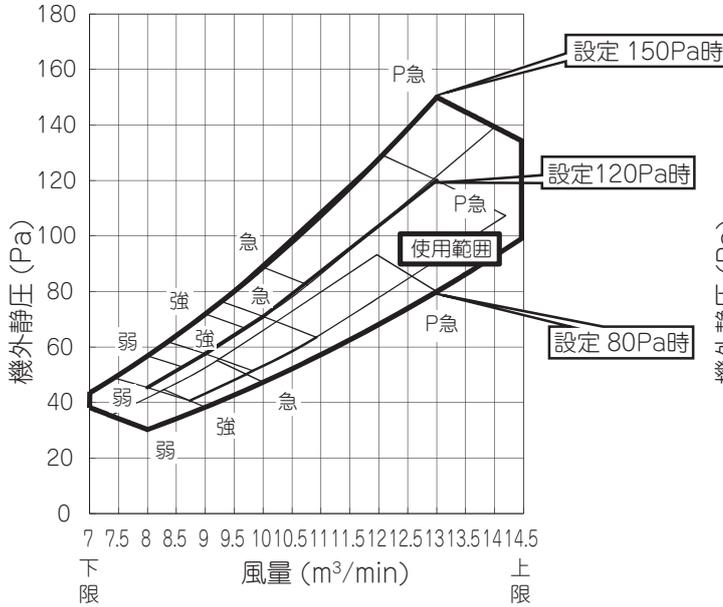
## (2) 高静圧ダクト形 (GU)

### (a) 標準仕様

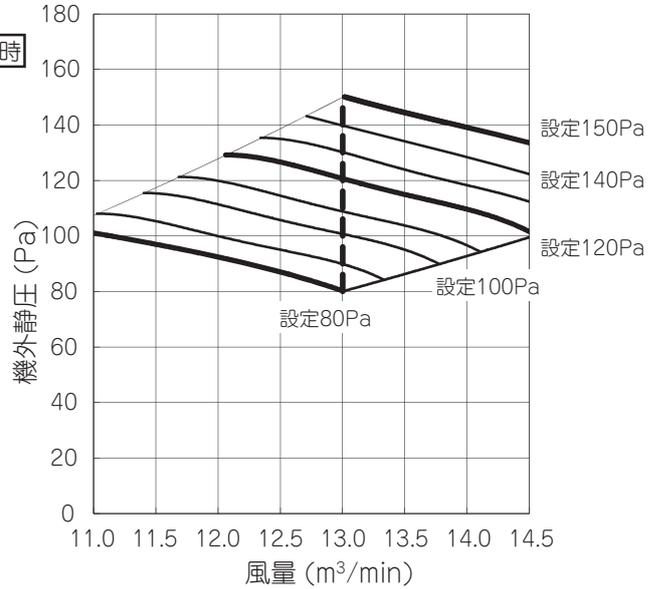
GUP454, 564M1A

#### a) SW8-4:OFF(出荷状態)の場合

##### ①各タップの機外静圧特性



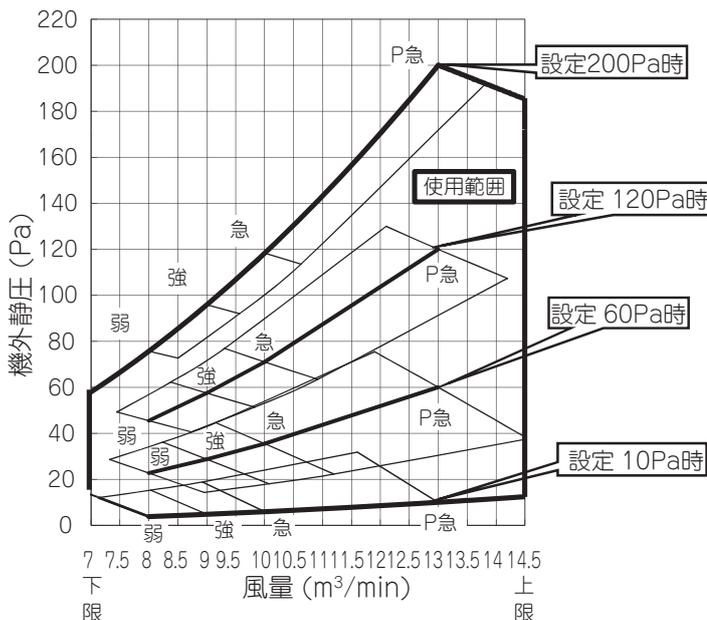
##### ②P急タップの機外静圧特性



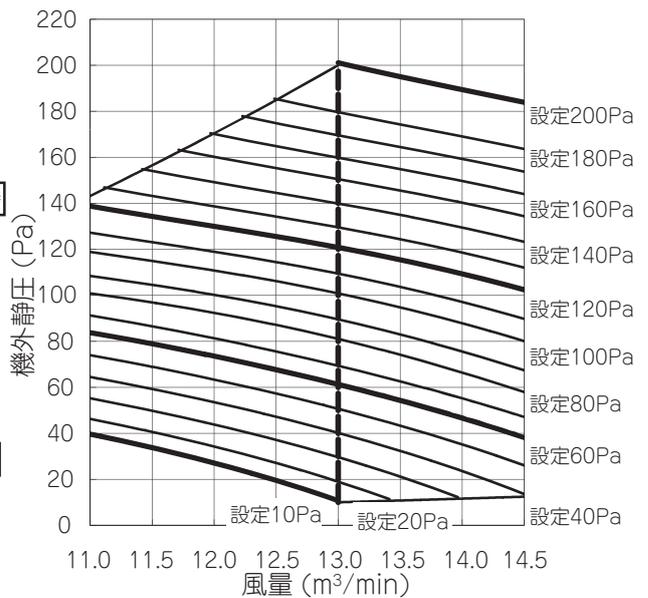
- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。  
 リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を 80 ~ 150Pa としています。

#### b) SW8-4:ONの場合

##### ①各タップの機外静圧特性



##### ②P急タップの機外静圧特性

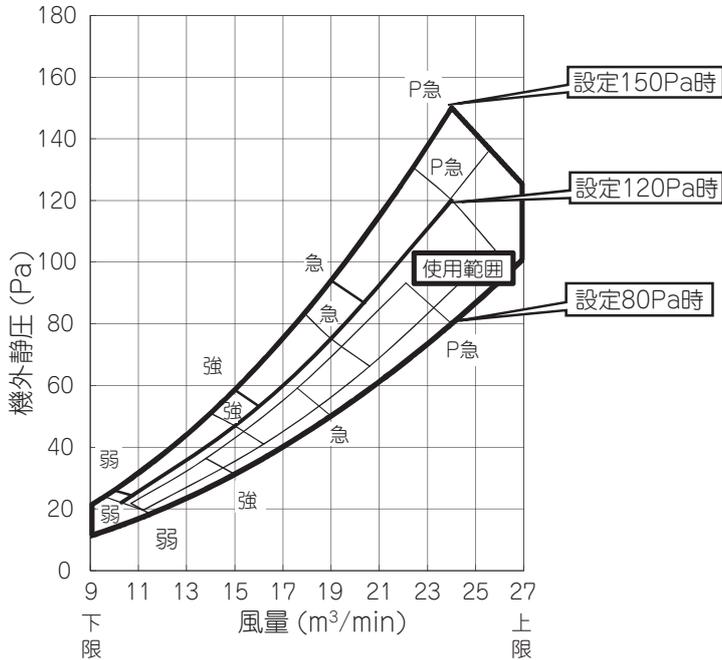


- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。  
 (3) 基板上的 SW8-4 を ON にすることにより、機外静圧設定範囲を 10 ~ 200Pa にすることも可能です。  
 切替方法は据付説明書 4-19 ページを参照ください。

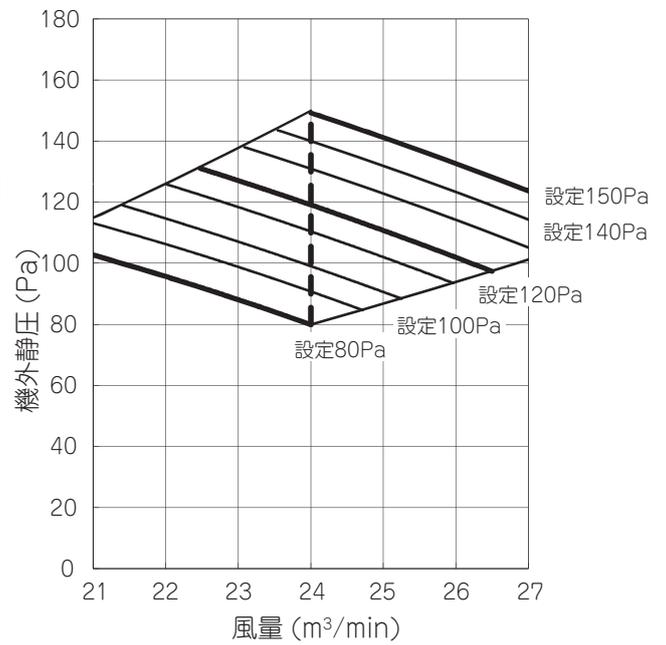
GUP714, 904M1A

a) SW8-4:OFF (出荷状態) の場合

①各タップの機外静圧特性



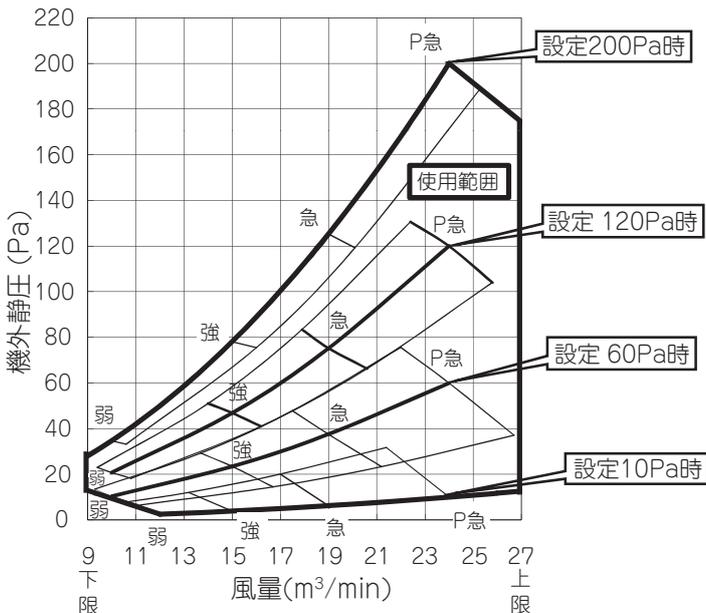
②P急タップの機外静圧特性



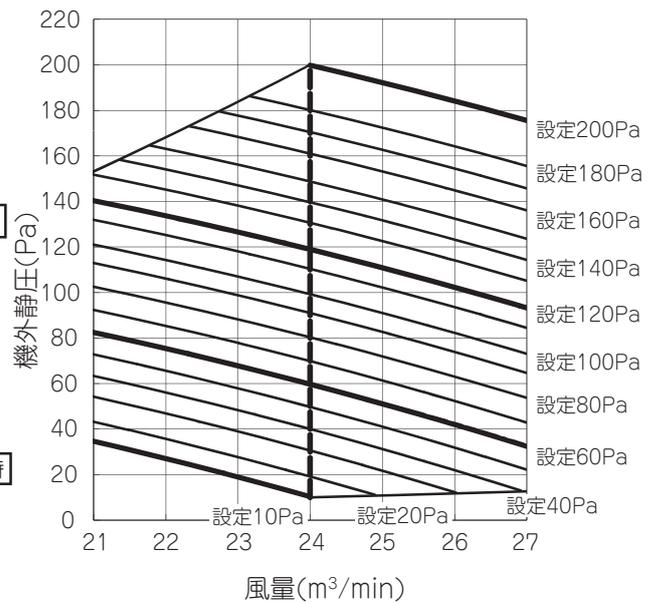
- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80～150Paとしています。

b) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

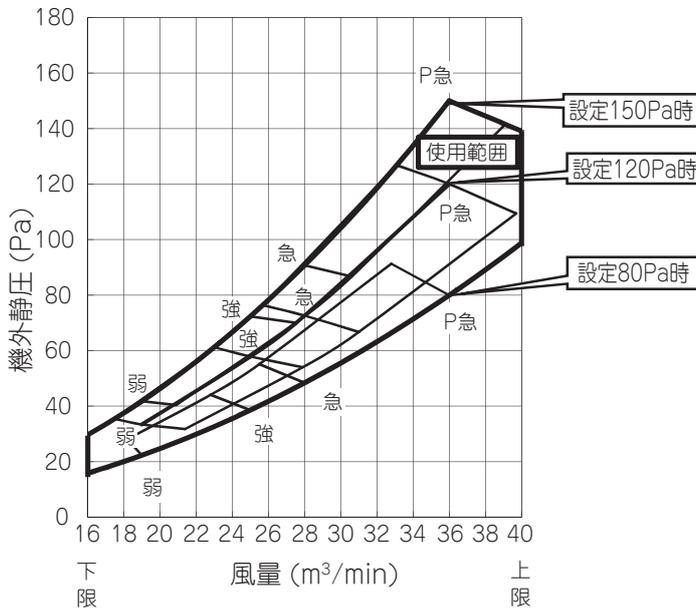


- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。  
 (3) 基板上の SW8-4をON にすることにより、機外静圧設定範囲を10～200Paにすることも可能です。切替方法は据付説明書4-19 ページを参照ください。

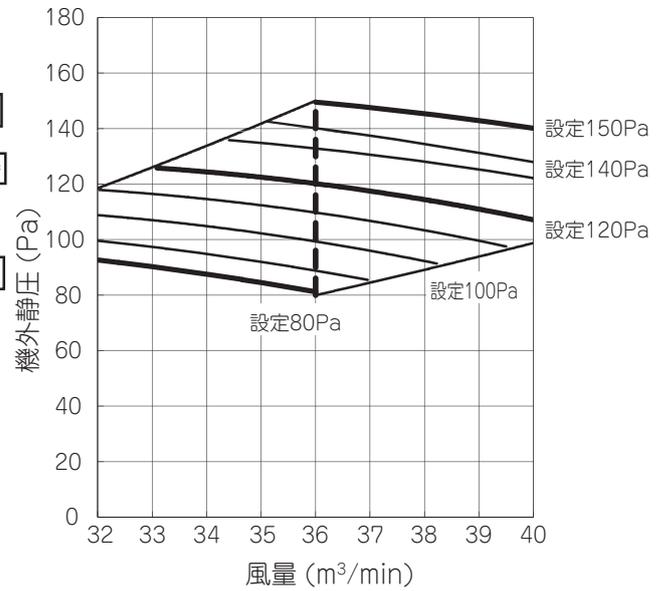
GUP1124M1A

a)SW8-4:OFF( 出荷状態)の場合

①各タップの機外静圧特性



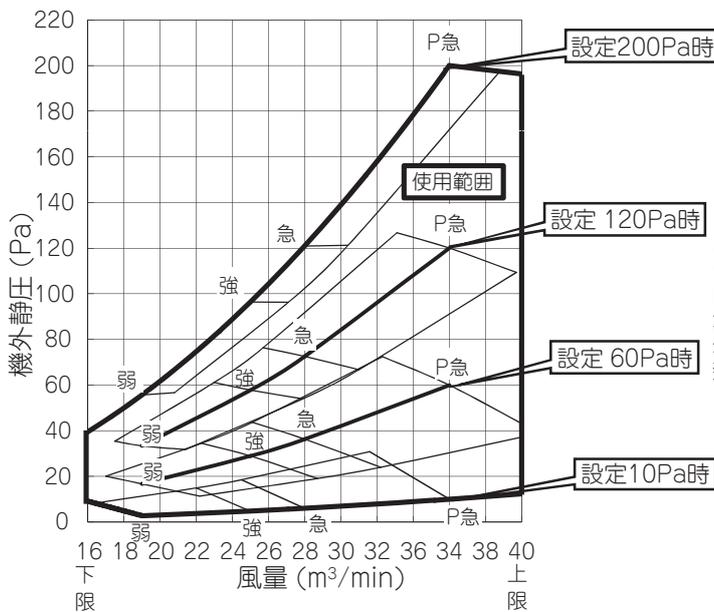
②P急タップの機外静圧特性



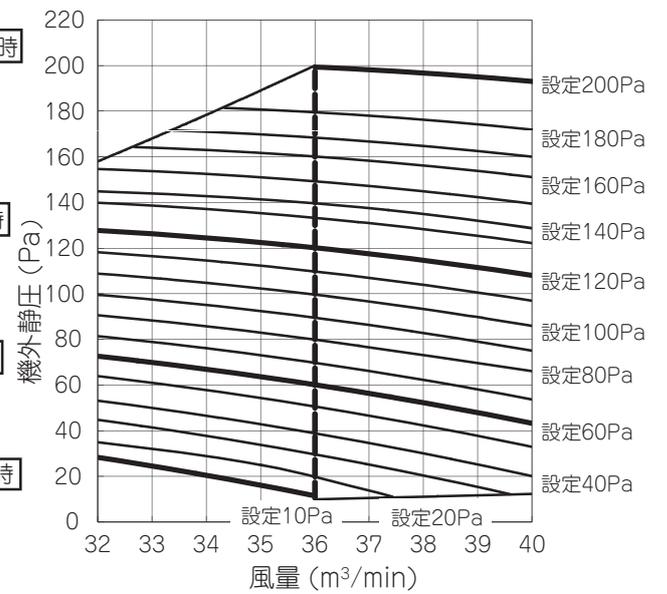
- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。  
 リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80~150Paとしています。

b)SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性

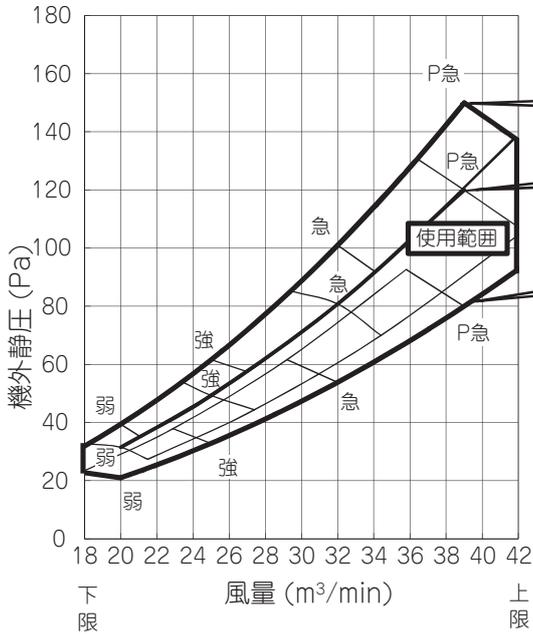


- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。  
 (3) 基板上の SW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10~200Paにすることも可能です。  
 切替方法は据付説明書4-19ページを参照ください。

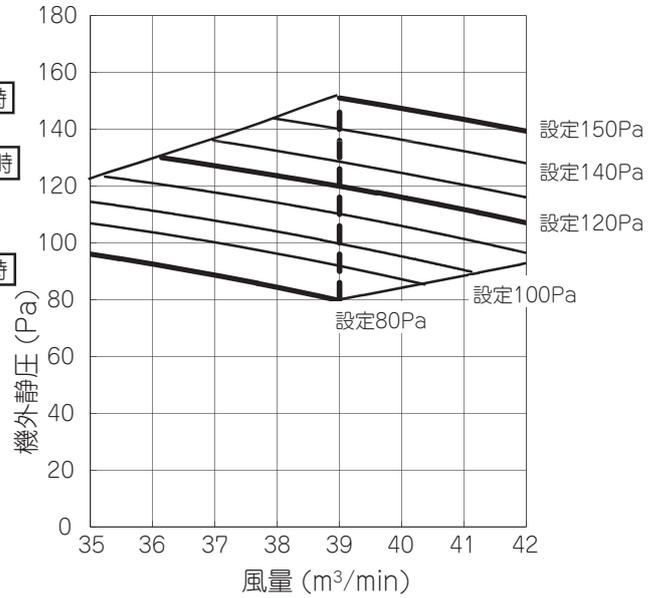
GUP1404M1A

a) SW8-4:OFF (出荷状態) の場合

①各タップの機外静圧特性



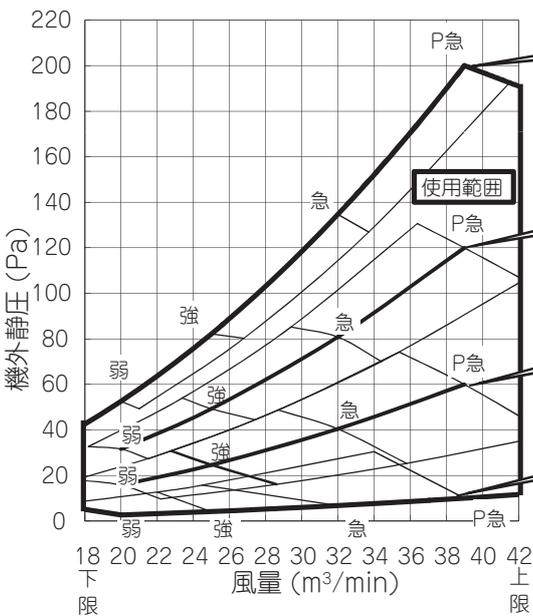
②P急タップの機外静圧特性



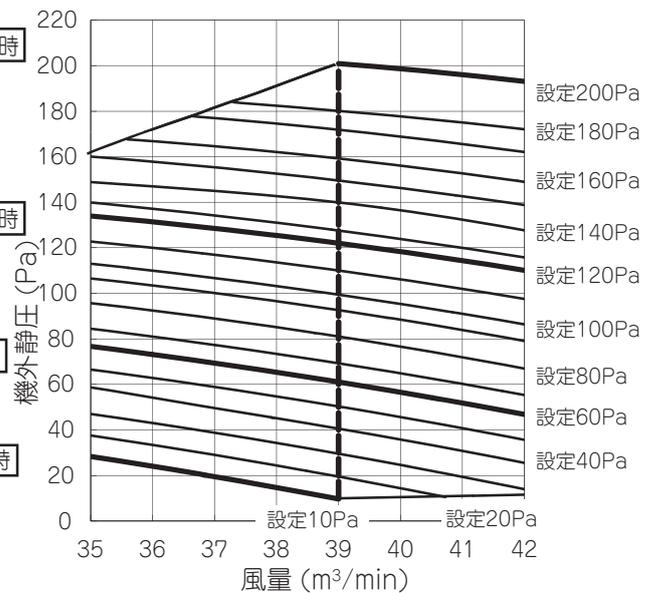
- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。  
 リスク回避のため、出荷状態で可能な機外静圧設定範囲を80~150Paとしています。

b) SW8-4:ONの場合

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



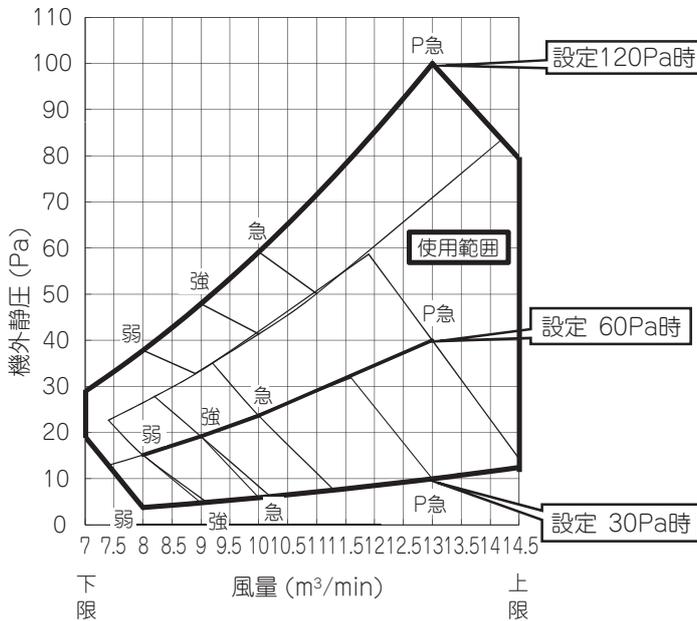
- 注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。  
 (2) リモコンからの機外静圧設定と実機外静圧が異なっていた場合には、水飛・不冷・不暖の原因となります。  
 (3) 基板上のSW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10~200Paにすることも可能です。  
 切替方法は据付説明書4-19ページを参照ください。

(b) 丸ダクト仕様

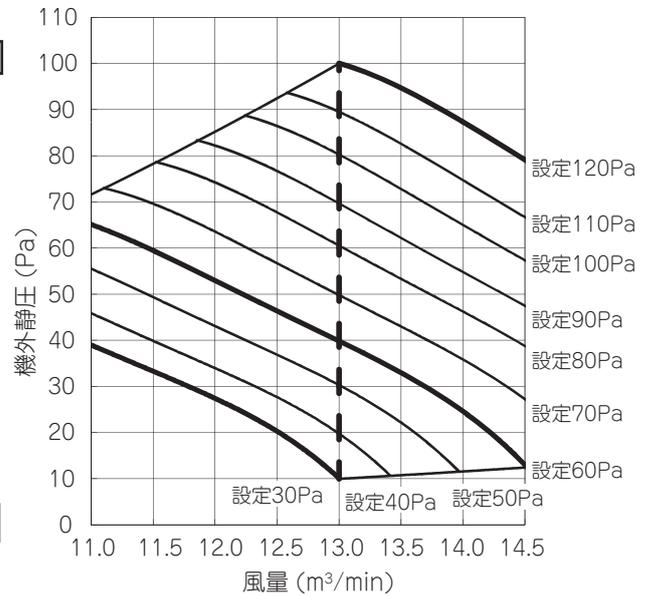
GUP454, 564M1A

SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上的SW8-4をONにしてください。

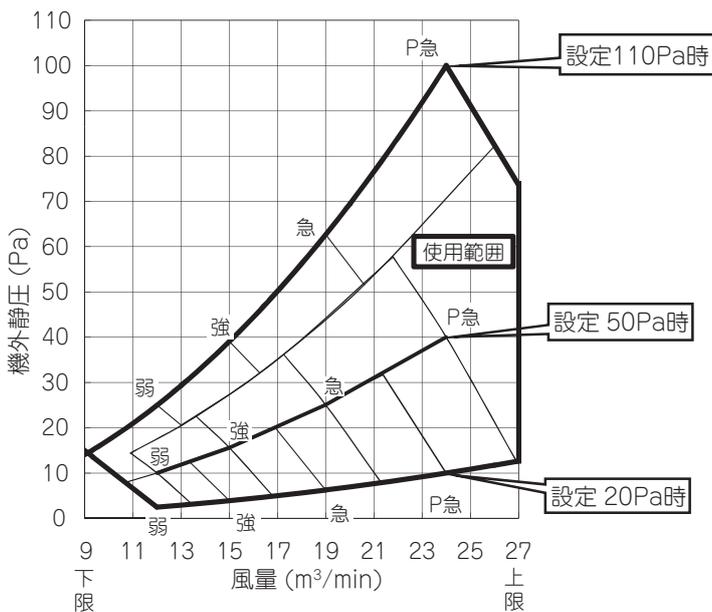
(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は、標準機(角ダクト)に対して機内圧損が増加するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書 4-20 ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120

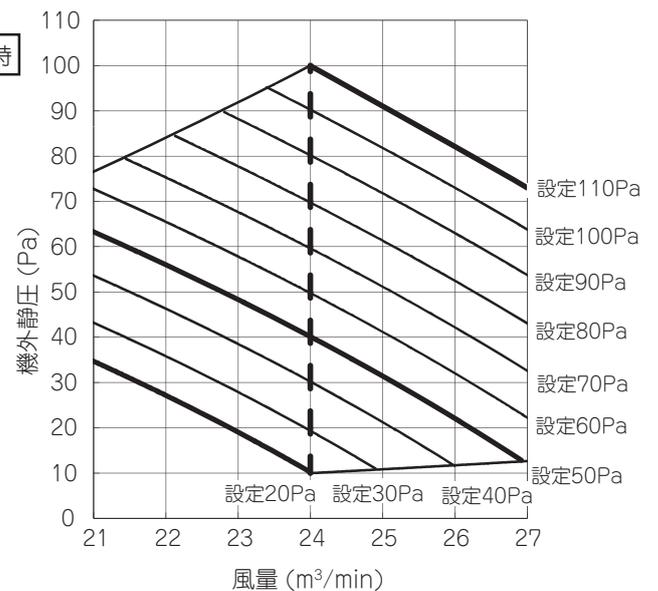
GUP714, 904M1A

SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上的SW8-4をONにしてください。

(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は、標準機(角ダクト)に対して機内圧損が増加するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書 4-20 ページをご覧ください。

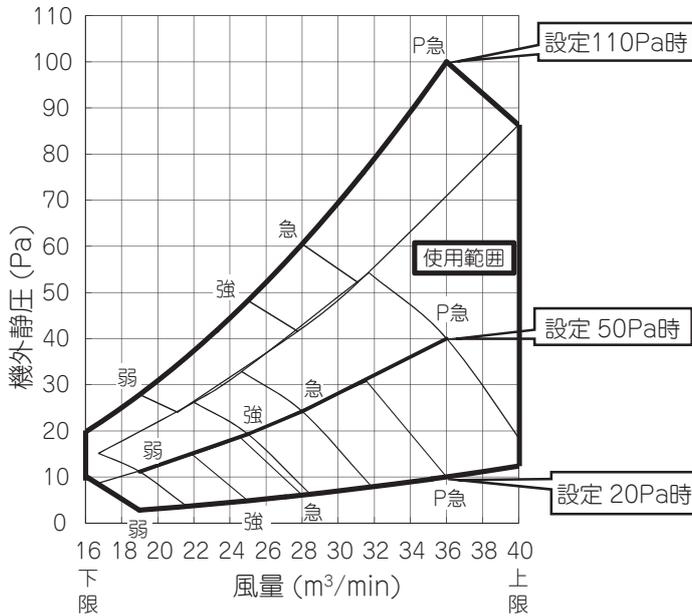
必要な機外静圧 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

PJG000Z194

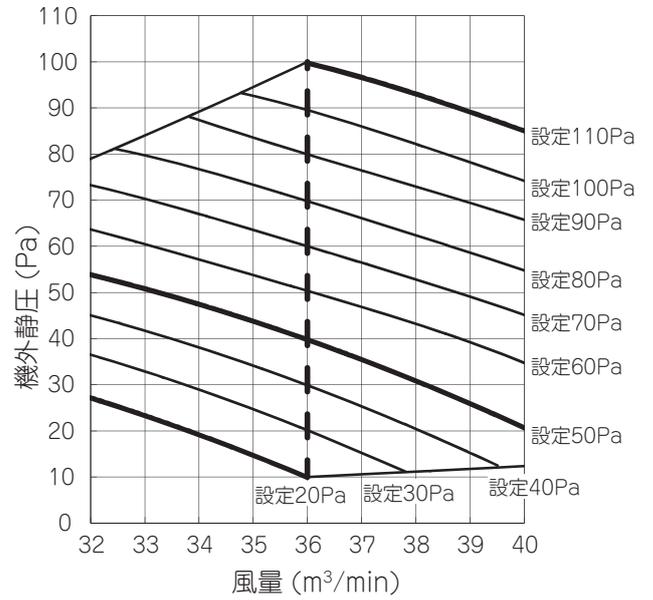
GUP1124M1A

SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。

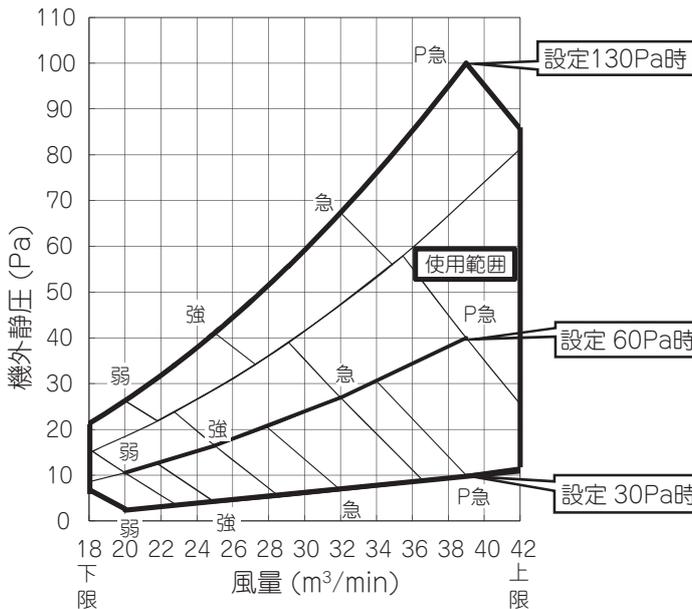
(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は、標準機(角ダクト)に対して機内圧損が増加するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書 4-20 ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110

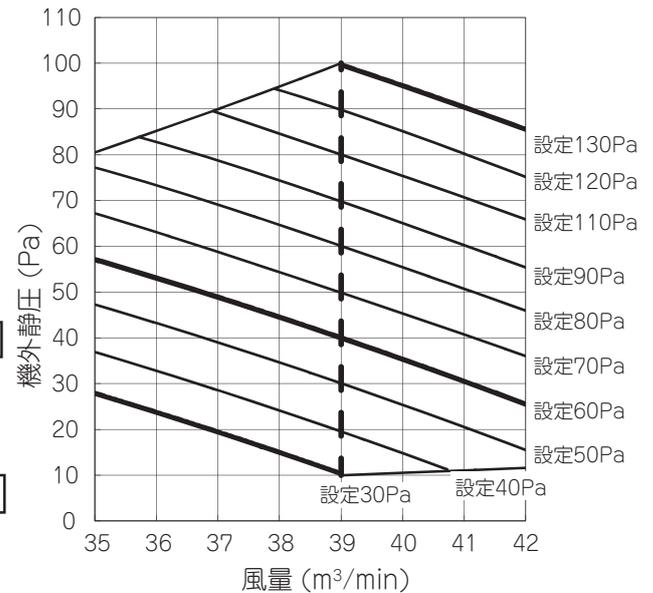
GUP1404M1A

SW8-4:ON

①各タップの機外静圧特性



②P急タップの機外静圧特性



注(1) 表中の [ 設定 00Pa ] とはリモコンから設定する機外静圧設定を示します。

(2) 丸ダクトを使用する場合には基板上のSW8-4をONにしてください。

(3) 丸ダクト変換キットを使用する場合は、標準機(角ダクト)に対して機内圧損が増加するため、リモコンからの機外静圧設定を下表により行ってください。実際の機外静圧とリモコンの設定は異なります。詳細は、据付説明書 4-20 ページをご覧ください。

必要な機外静圧 (Pa)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
リモコンの設定 (Pa)	30	40	50	60	70	80	90	110	120	130

PJG000Z194

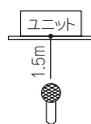
# 1-7 運転音

運転音は、JIS規格に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

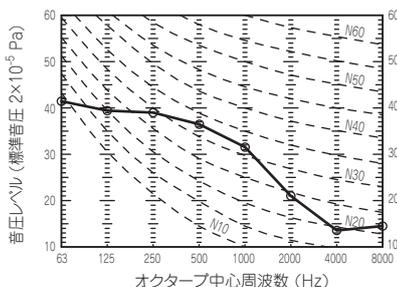
## (1) 天理カセテリア (GR)

### (a) サイレントパネル仕様

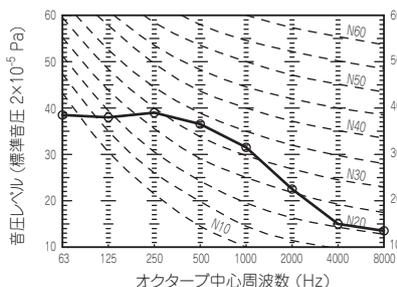
(測定条件: JIS B 8616・冷房 測定場所: 無響室)  
 (マイク位置: ユニット中央下方1.5m)



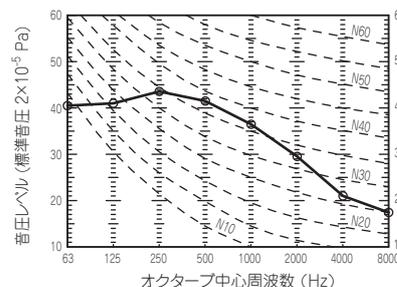
GRP224M1A



GRP284M1A

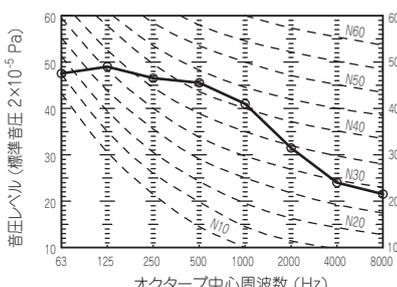


GRP364, 454, 564M1A



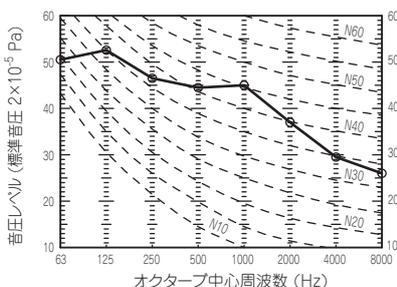
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP714, 904M1A



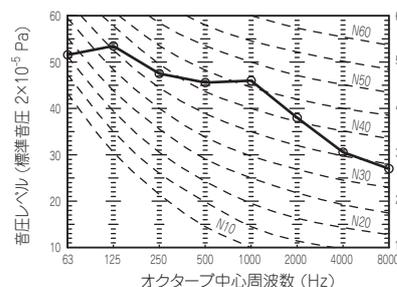
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP1124M1A



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

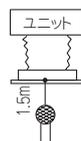
GRP1404M1A



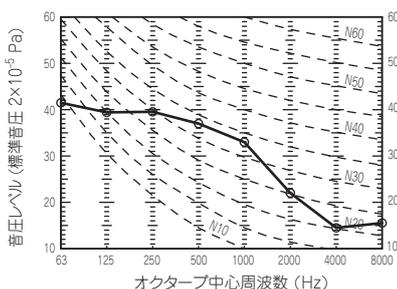
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

### (b) キャンバスパネル仕様

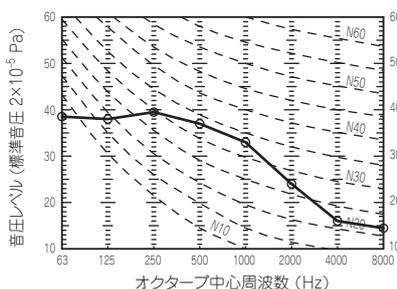
(測定条件: JIS B 8616・冷房 測定場所: 無響室)  
 (マイク位置: ユニット中央下方1.5m)



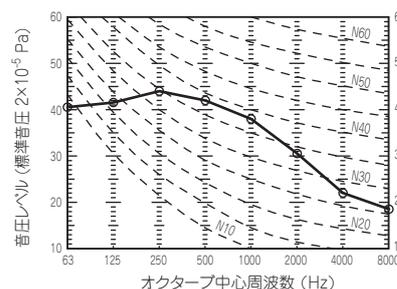
GRP224M1A



GRP284M1A

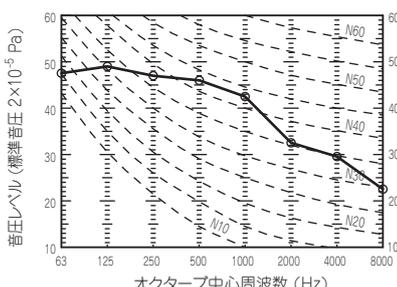


GRP364, 454, 564M1A



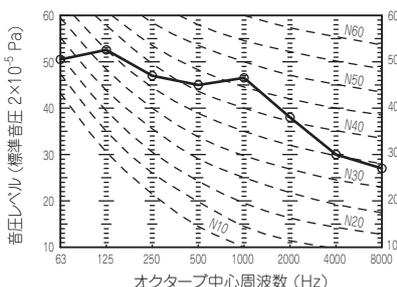
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP714, 904M1A



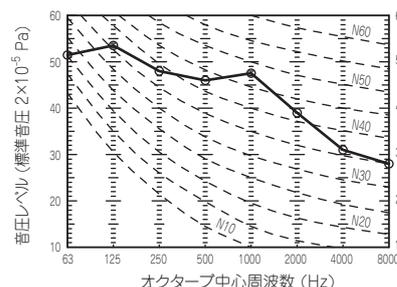
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP1124M1A



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP1404M1A



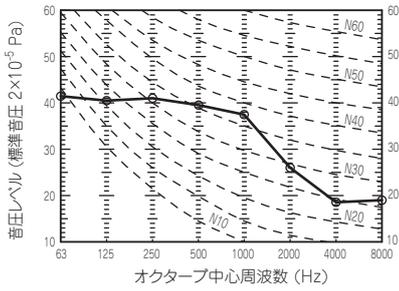
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

### (c) 天井リターン仕様

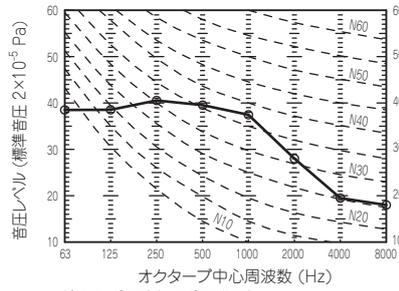
(測定条件: JIS B 8616・冷房 測定場所: 無響室)  
 (マイク位置: ユニット中央下方1.5m)



GRP224M1A

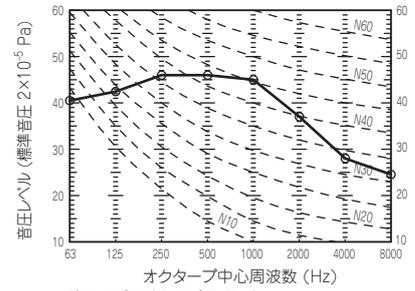


GRP284M1A



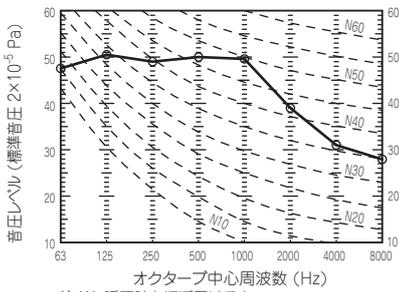
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP364, 454, 564M1A



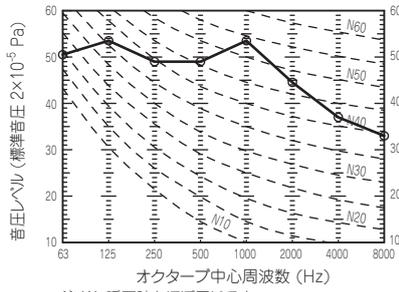
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP714, 904M1A



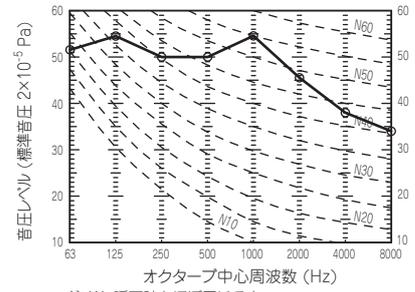
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP1124M1A



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

GRP1404M1A

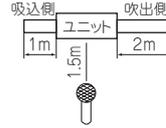


注(1) 暖房時もほぼ同じです。

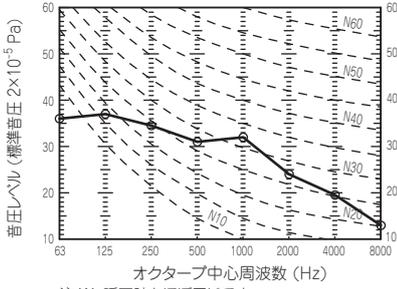
## (2) 高静圧ダクト形(GU)

### (a) 標準仕様

(測定条件: JIS B 8616・冷房 測定場所: 無響室)  
 (マイク位置: ユニット中央下方1.5m)

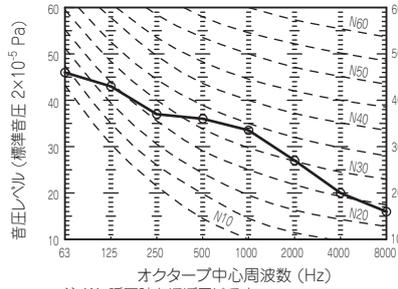


#### GUP454, 564M1A



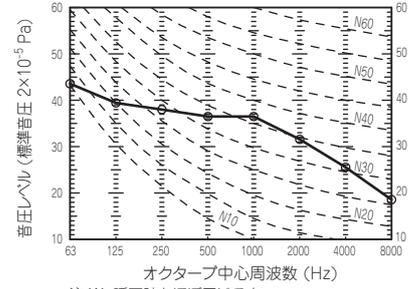
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

#### GUP714, 904M1A



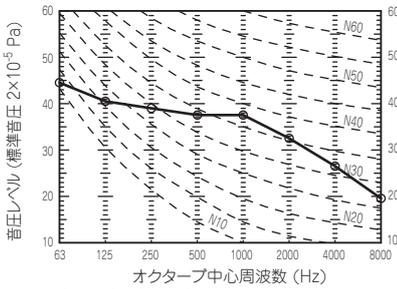
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

#### GUP1124M1A



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

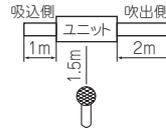
#### GUP1404M1A



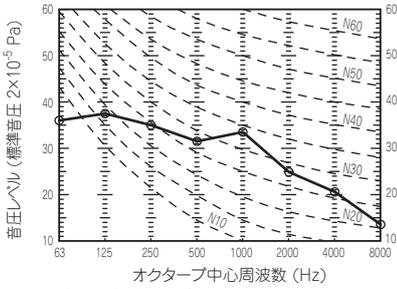
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

### (b) 丸ダクト仕様

(測定条件: JIS B 8616・冷房 測定場所: 無響室)  
 (マイク位置: ユニット中央下方1.5m)

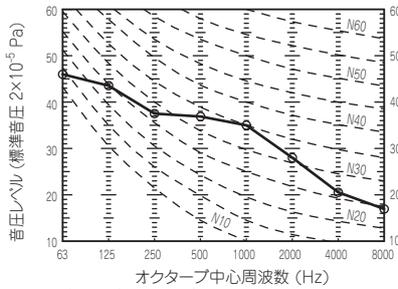


#### GUP454, 564M1A



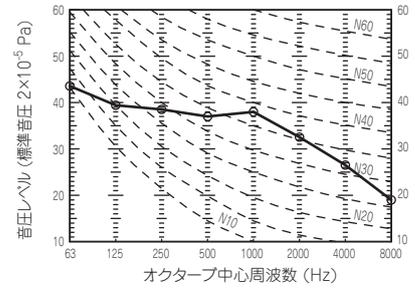
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

#### GUP714, 904M1A



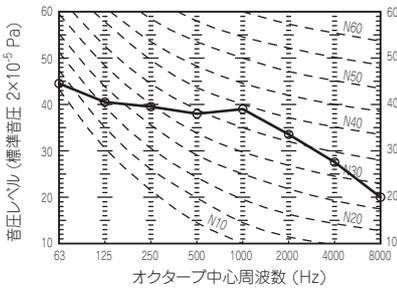
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

#### GUP1124M1A



注(1) 暖房時もほぼ同じです。

#### GUP1404M1A



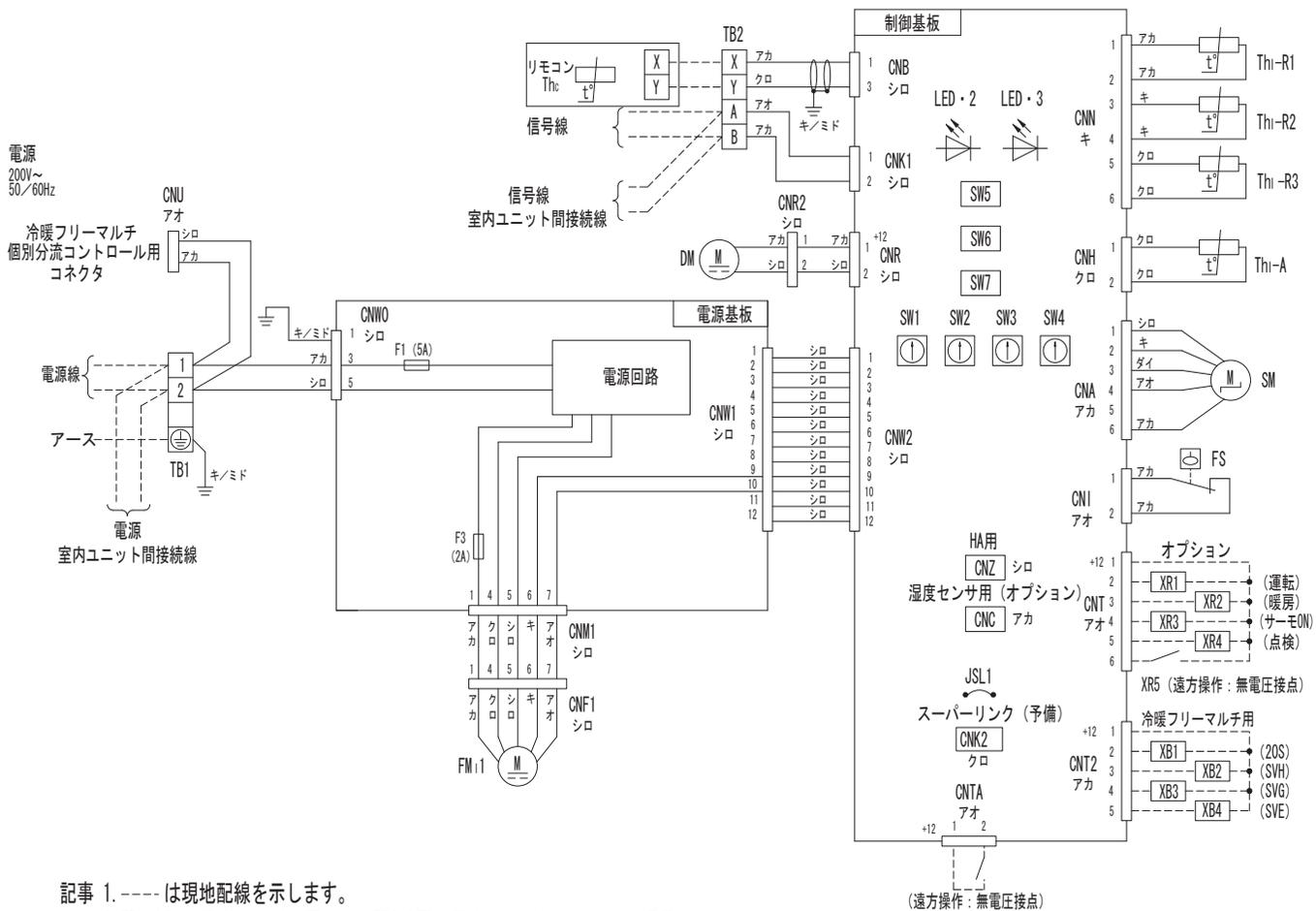
注(1) 暖房時もほぼ同じです。

# 1-8 電気配線図

## (1) 天理カセリア (GR)

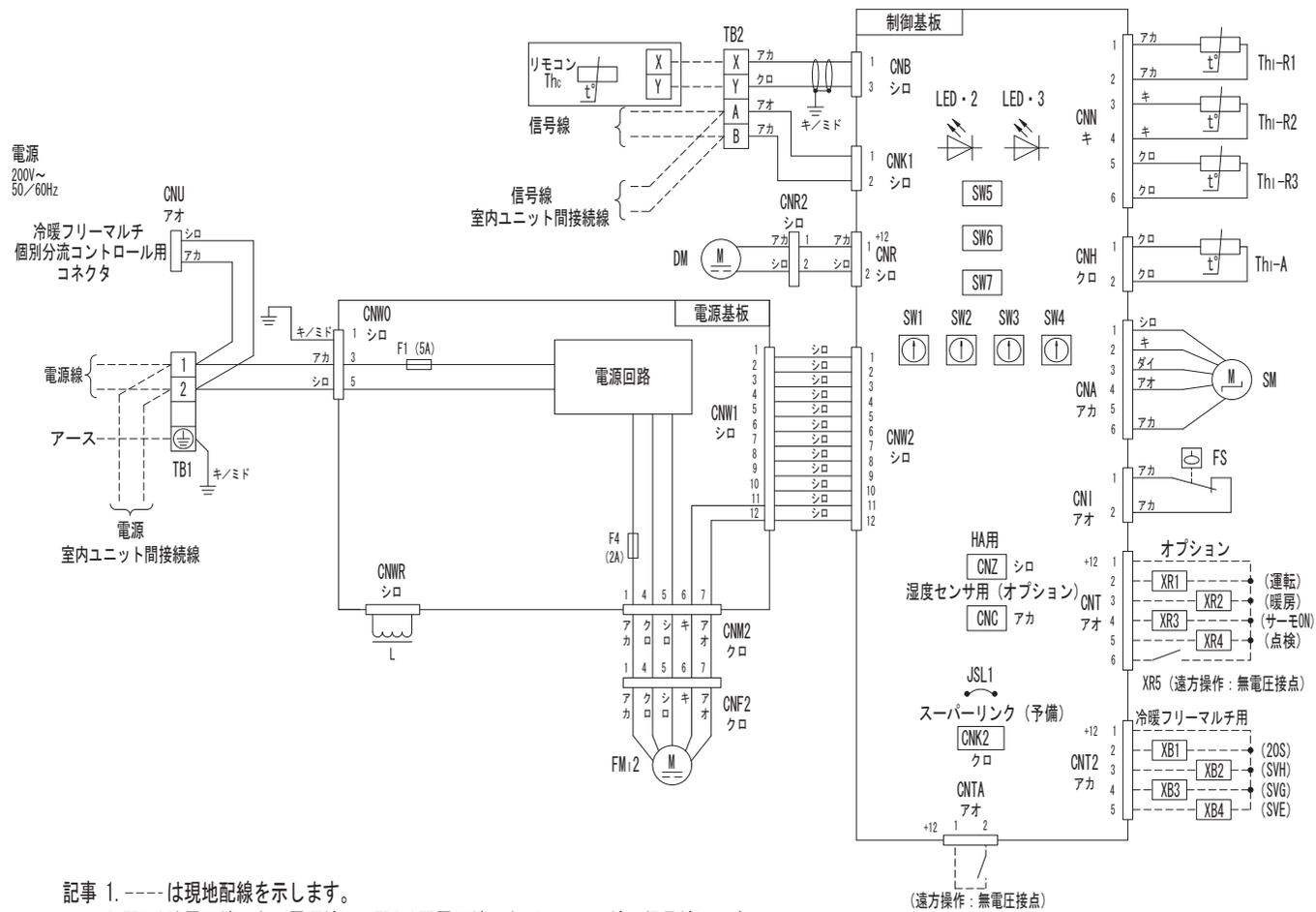
### ●記号説明

CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンモータ
F1, 3	ヒューズ
FMi1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク (予備) 切換
LED・2	表示灯 (緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤-点検表示)
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo. 10の位
SW2	室内アドレスNo. 1の位
SW3	室外アドレスNo. 10の位
SW4	室外アドレスNo. 1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo. 100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
TB1	端子台 (電源) (口印)
TB2	端子台 (通信) (口印)
Th c	リモコン付属サーミスタ
ThI-A	吸込空気センサ
ThI-R1, 2, 3	熱交センサ



- 記事 1. --- は現地配線を示します。
- TB1は強電用端子台 (電源線)、TB2は弱電用端子台 (リモコン線、信号線) です。
  - 室内外接続線 (信号線) 及び室内ユニット間接続線 (信号線) は、
    - ・シールド線、太さ0.75mm<sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで
    - ・シールド線、太さ1.25mm<sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで
    - ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm<sup>2</sup> とし、2000mまで
  - リモコン配線は0.3mm<sup>2</sup> X2心を使用してください。
  - リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

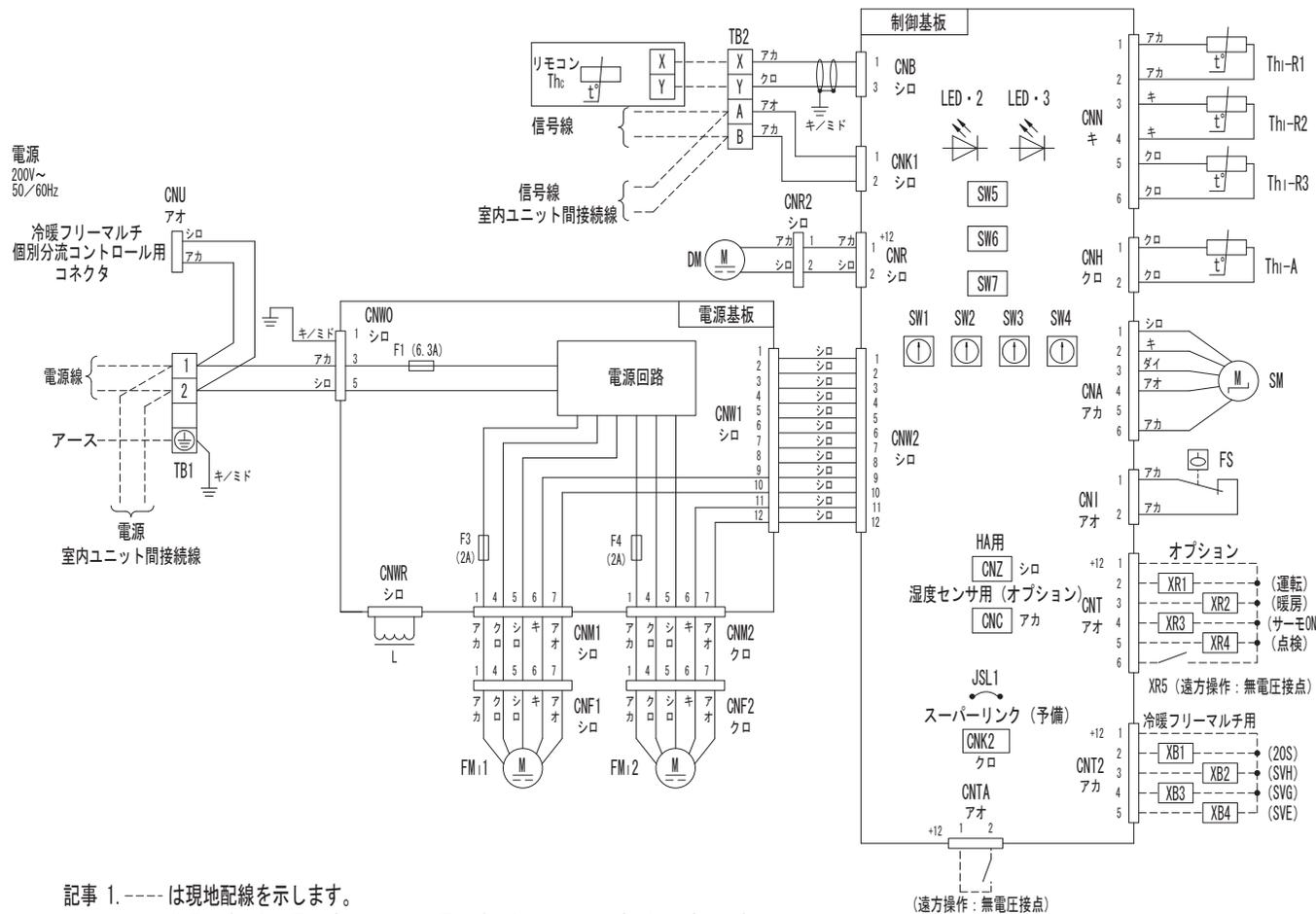
# GRP714, 904M1A



## ●記号説明

CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンモータ
F1, 4	ヒューズ
FMi2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク (予備) 切替
L	リアクタ
LED・2	表示灯 (緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤-点検表示)
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo. 10の位
SW2	室内アドレスNo. 1の位
SW3	室外アドレスNo. 10の位
SW4	室外アドレスNo. 1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo. 100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
TB1	端子台 (電源) (口印)
TB2	端子台 (通信) (口印)
Thc	リモコン付属サーミスタ
ThI-A	吸込空気センサ
ThI-R1, 2, 3	熱交センサ

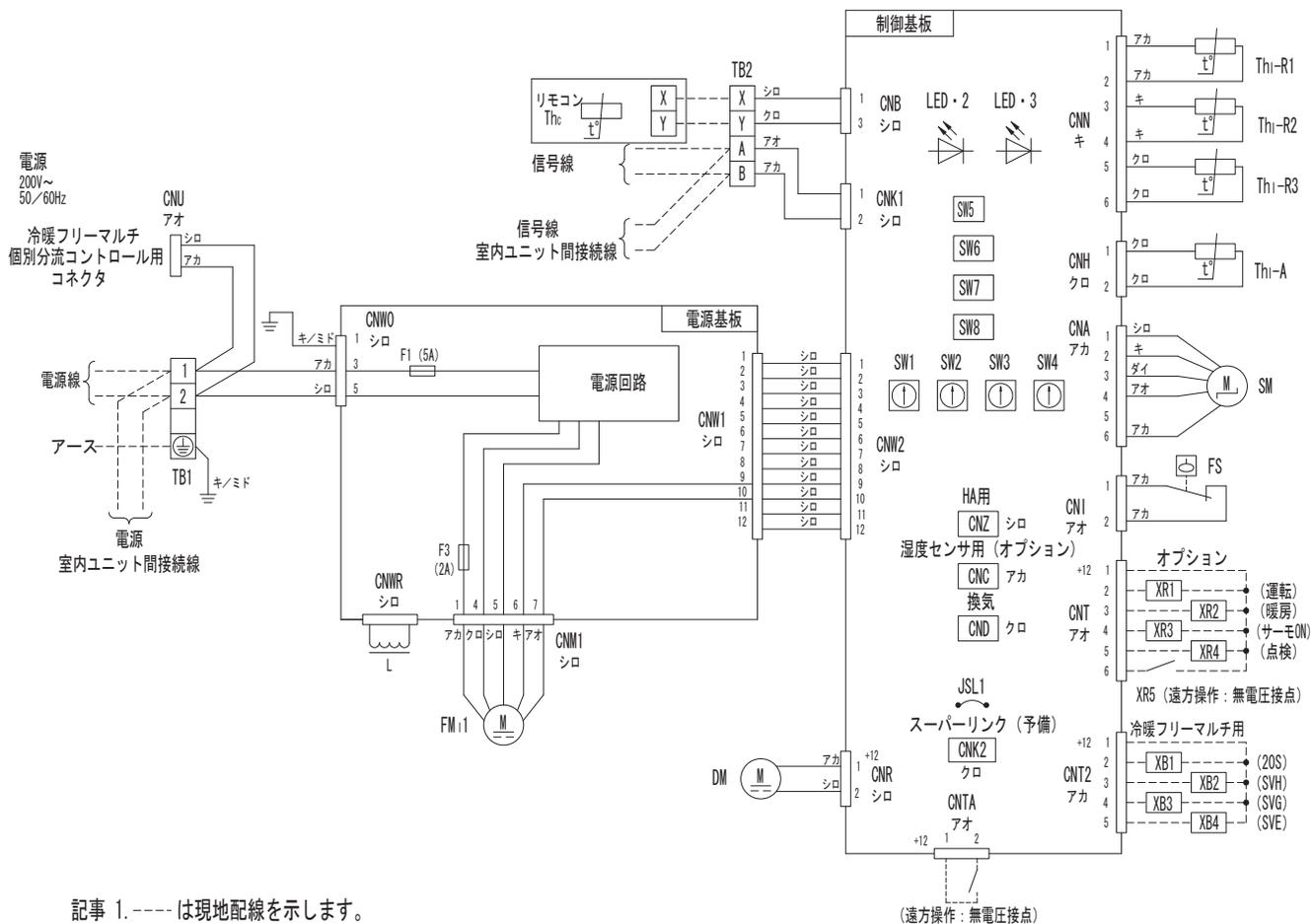
- 記事 1. ---- は現地配線を示します。
2. TB1は強電用端子台 (電源線)、TB2は弱電用端子台 (リモコン線、信号線) です。
3. 室内外接続線 (信号線) 及び室内ユニット間接続線 (信号線) は、
- ・シールド線、太さ0.75mm<sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで
  - ・シールド線、太さ1.25mm<sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで
  - ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm<sup>2</sup> とし、2000mまで
4. リモコン配線は0.3mm<sup>2</sup> X2心を使用してください。
5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。



●記号説明

CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンモータ
F1, 3, 4	ヒューズ
FM i, 2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク (予備) 切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯 (緑・マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤・点検表示)
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo. 10の位
SW2	室内アドレスNo. 1の位
SW3	室外アドレスNo. 10の位
SW4	室外アドレスNo. 1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo. 100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
TB1	端子台 [電源] (口印)
TB2	端子台 [通信] (口印)
Th c	リモコン付属サーミスタ
ThI-A	吸込空気センサ
ThI-R1, 2, 3	熱交センサ

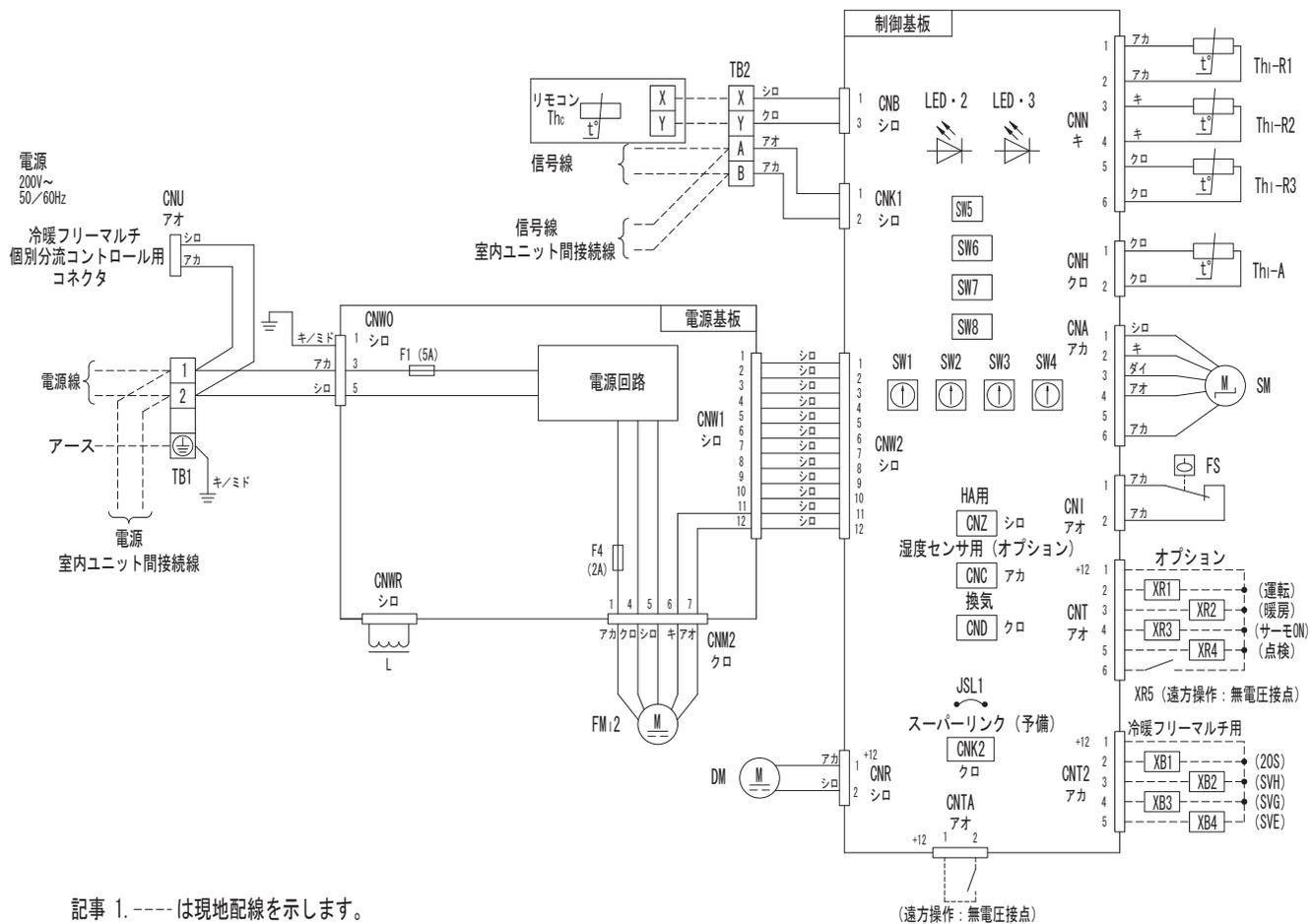
- 記事 1. ---- は現地配線を示します。
2. TB1は強電用端子台 (電源線)、TB2は弱電用端子台 (リモコン線、信号線) です。
3. 室内外接続線 (信号線) 及び室内ユニット間接続線 (信号線) は、
- ・シールド線、太さ0.75mm<sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで
  - ・シールド線、太さ1.25mm<sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで
  - ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm<sup>2</sup> とし、2000mまで
4. リモコン配線は0.3mm<sup>2</sup> X2心を使用してください。
5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。



● 記号説明

CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンモータ
F1, 3	ヒューズ
FM1	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク (予備) 切替
L	リアクタ
LED・2	表示灯 (緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤-点検表示)
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo. 10の位
SW2	室内アドレスNo. 1の位
SW3	室外アドレスNo. 10の位
SW4	室外アドレスNo. 1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo. 100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
SW8-4	機外静圧使用範囲切替 出荷時/最大
TB1	端子台 (電源) (□印)
TB2	端子台 (通信) (□印)
Thc	リモコン付属サーミスタ
Thi-A	吸込空気センサ
Thi-R1, 2, 3	熱交センサ

- 記事 1. ---- は現地配線を示します。  
 2. TB1は強電用端子台 (電源線)、TB2は弱電用端子台 (リモコン線、信号線) です。  
 3. 室内外接続線 (信号線) 及び室内ユニット間接続線 (信号線) は、  
 ・シールド線、太さ0.75mm<sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで  
 ・シールド線、太さ1.25mm<sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで  
 ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm<sup>2</sup> とし、2000mまで  
 4. リモコン配線は0.3mm<sup>2</sup> X2心を使用してください。  
 5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

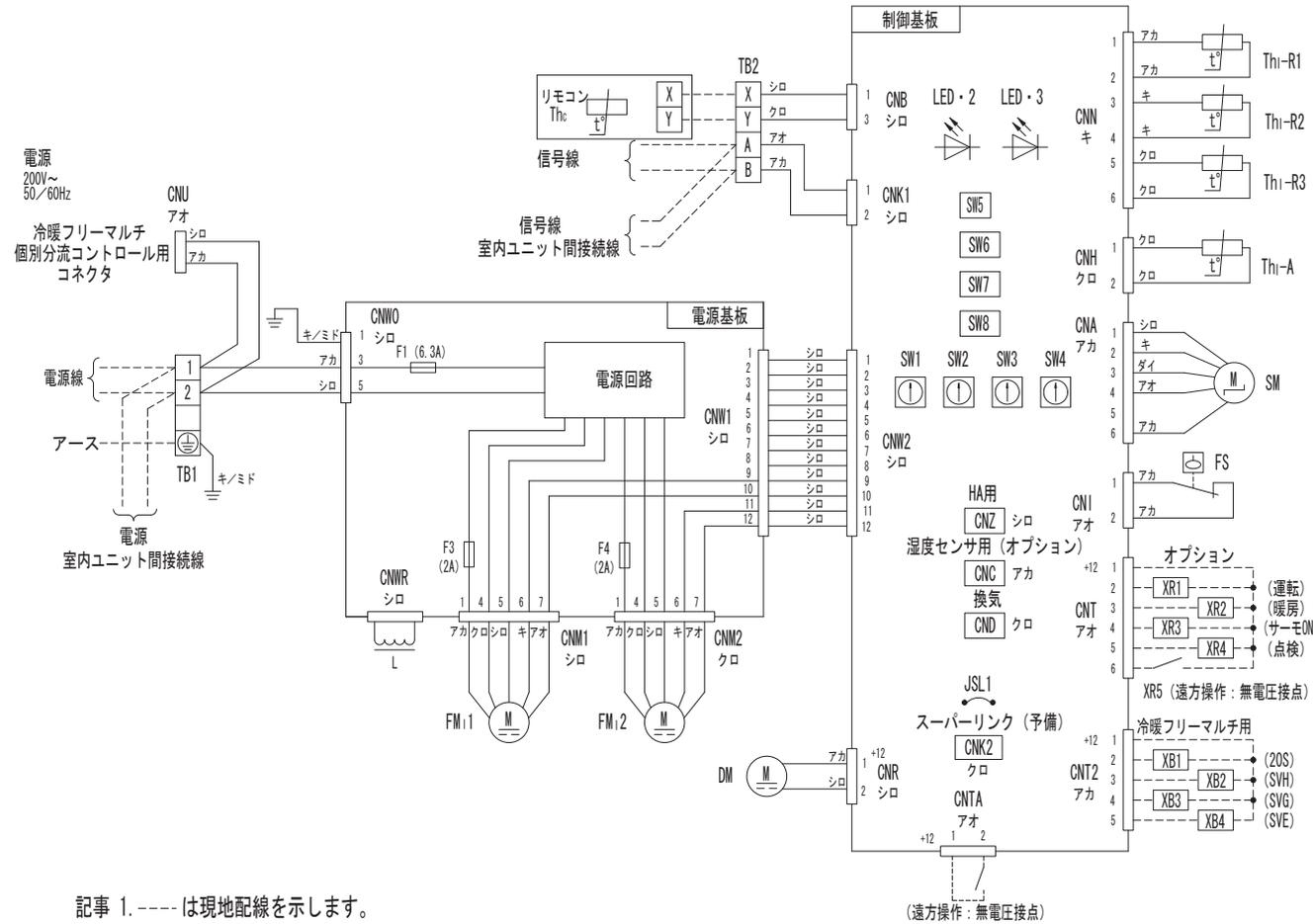


● 記号説明

CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンモータ
F1, 4	ヒューズ
FM12	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク (予備) 切換
L	リアクタ
LED・2	表示灯 (緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤-点検表示)
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo. 10の位
SW2	室内アドレスNo. 1の位
SW3	室外アドレスNo. 10の位
SW4	室外アドレスNo. 1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo. 100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
SW8-4	機外静圧使用範囲切替 出荷時/最大
TB1	端子台 (電源) (口印)
TB2	端子台 (通信) (口印)
Thc	リモコン付属サーミスタ
Thi-A	吸込空気センサ
Thi-R1, 2, 3	熱交センサ

- 記事 1. ---- は現地配線を示します。  
 2. TB1は強電用端子台 (電源線)、TB2は弱電用端子台 (リモコン線、信号線) です。  
 3. 室内外接続線 (信号線) 及び室内ユニット間接続線 (信号線) は、  
 ・シールド線、太さ0.75mm<sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで  
 ・シールド線、太さ1.25mm<sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで  
 ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm<sup>2</sup> とし、2000mまで  
 4. リモコン配線は0.3mm<sup>2</sup> X2心を使用してください。  
 5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

GUP1124, 1404M1A



●記号説明

CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンモータ
F1, 3, 4	ヒューズ
FM1, 2	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク (予備) 切替
L	リアクタ
LED・2	表示灯 (緑・マイコン正常表示)
LED・3	表示灯 (赤・点検表示)
SM	ステッピングモータ (電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo. 10の位
SW2	室内アドレスNo. 1の位
SW3	室外アドレスNo. 10の位
SW4	室外アドレスNo. 1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定/旧固定
SW5-2	室内アドレスNo. 100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
SW8-4	機外静圧使用範囲切替 出荷時/最大
TB1	端子台 [電源] (口印)
TB2	端子台 [通信] (口印)
Thc	リモコン付属サーミスタ
Thi-A	吸込空気センサ
Thi-R1, 2, 3	熱交センサ

- 記事 1. ---- は現地配線を示します。  
 2. TB1は強電用端子台 (電源線)、TB2は弱電用端子台 (リモコン線、信号線) です。  
 3. 室内外接続線 (信号線) 及び室内ユニット間接続線 (信号線) は、  
 ・シールド線、太さ0.75mm<sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで  
 ・シールド線、太さ1.25mm<sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで  
 ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm<sup>2</sup> とし、2000mまで  
 4. リモコン配線は0.3mm<sup>2</sup> X2心を使用してください。  
 5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。

# 1-9 防振設計用参考資料

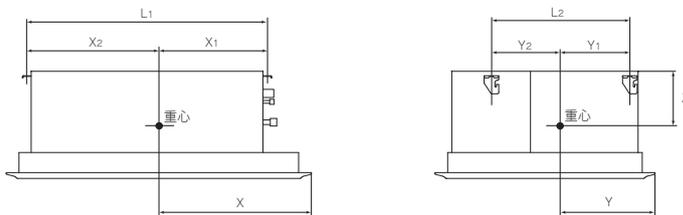
## (1) 天埋カセテリア (GR)

### (a) 耐震データ

形 式	項 目 製品外形寸法 <sup>(1)</sup> 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 <sup>(1)</sup> (kg)	重心位置 (mm) <sup>(2)</sup>								
			幅方向				奥行方向				高さ
			X	X1	X2	L1	Y	Y1	Y2	L2	Z
GRP224M1A GRP284M1A GRP364M1A GRP454M1A GRP564M1A	1040×750×368	39	494	327	459	786	343	257.5	214.5	472	167
GRP714M1A GRP904M1A	1240×750×368	45.4	616	449	537	986	343	257.5	214.5	472	173
GRP1124M1A GRP1404M1A	1658×850×368	71	798	631	773	1404	405	319.5	210.5	530	167

注(1) 上記は、サイレントパネル使用時を示します。

(2) L1 (X1, X2), L2 (Y1, Y2) 寸法は据付ボルトの位置を示します。



### (b) 防振データ

形 式	項 目 送風機回転数 <sup>(1)</sup> (min <sup>-1</sup> )
GRP224M1A	940
GRP284M1A	830
GRP364M1A	1040
GRP454M1A	
GRP564M1A	
GRP714M1A	1230
GRP904M1A	
GRP1124M1A	1260
GRP1404M1A	1350

注(1) 機外静圧10Pa設定で、P急運転時の数値を示します。

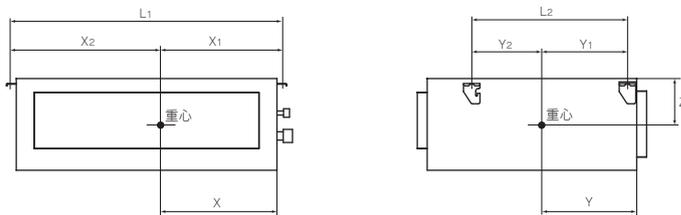
## (2) 高静圧ダクト形 (GU)

### (a) 耐震データ

形 式	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置 (mm) <sup>(1)</sup>								
			幅方向				奥行方向				高さ
			X	X1	X2	L1	Y	Y1	Y2	L2	Z
GUP454M1A GUP564M1A	750×635×280	29	300	318	468	786	275	247	225	472	115
GUP714M1A GUP904M1A	950×635×280	34	430	448	538	986	275	247	225	472	125
GUP1124M1A GUP1404M1A	1370×738×280	54	603	621	783	1404	343	315	215	530	120

注(1) L1 (X1, X2), L2 (Y1, Y2) 寸法は据付ボルトの位置を示します。

(2) 上記は丸ダクト変換キット取付時も同一です。



### (b) 防振データ

形 式	送風機回転数 <sup>(1)</sup> (min <sup>-1</sup> )
GUP454M1A GUP564M1A	1070
GUP714M1A GUP904M1A	1120
GUP1124M1A	990
GUP1404M1A	1020

注(1) 機外静圧10Paで、P急運転時の数値を示します。

## 2 特性・機能編の目次

1. 機能 .....	2-2
1-1 室内マイコン運転制御機能 .....	2-2
1-2 リモコン機能 .....	2-14

# 1. 機能

## 1-1 室内マイコン運転制御機能

### (1) 冷房・暖房運転時の機能品動作

機能品	冷房		送風	暖房			除湿
	サーモON	サーモOFF		サーモON	サーモOFF	ホットスタート(デフロスト)	
圧縮機	○	×	×	○	×	○	○/×
4方切換弁	×	×	×	○	○	○(×)	×
室外送風機	○	×	×	○	×	○(×)	○/×
室内送風機	○	○	○	○/×	○/×	○/×	○/×
ドレンポンプ <sup>(3)</sup>	○	× <sup>(2)</sup>	× <sup>(2)</sup>	○/× <sup>(2)</sup>			サーモON:○ サーモOFF:× <sup>(1)</sup>
加温器	×			○/× <sup>(4)</sup>			×

注(1) ○：運転 ×：停止 ○/×：室温制御以外の制御により運転/停止します。

(2) ドレンモータ遅延制御中はON。

(3) ワイヤードリモコンの室内機能設定によりドレンポンプON設定の選択が可能です。

(4) 加温器ドレン連動制御中はON。

### (2) 除湿運転

吸込空気温度センサ [Thi-A (リモコンセンサ有効時はリモコンによる)] により、室内の温度環境を同時に制御します。

1) 冷房運転で運転を開始し、吸込空気温度と設定温度の差が2℃以内の場合は、室内ファンタップを1タップダウンします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

注(1) 「P急」の場合「急」にタップダウンします。

(2) 室内風量のダウンは弱タップを下限とします。

2) 除湿運転中に吸込空気温度が設定温度より3℃より大きくなった場合、室内ファンタップをアップします。室内ファンタップ切換え後3分間はタップを保持します。

注(1) 室内風量のマップは設定風量を上限とします。

3) 上記制御中にサーモOFFが成立した場合、サーモOFF中はサーモON時の室内ファンタップを保持します。

4) 冷房停止後室内ファンをLoで15秒間残留運転を行います。

### (3) タイマー運転

#### (a) 切忘れタイマー

運転開始してから停止するまでの時間を設定します。設定時間は30～240分（10分単位）まで選択可能です。

注(1) リモコンより「切忘れタイマー」設定を有効にしてください。有効の場合、毎回タイマーが作動します。

#### (b) 時間切タイマー

運転後、停止させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。

#### (c) 時間入タイマー

停止後、運転させたい時間を1～12時間の範囲（1時間単位）で設定します。また、同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効/無効の設定が可能です。

#### (d) 時刻入タイマー

運転開始時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で、1回のみ毎回の切換が可能です。また、同時に室内温度・運転モード・風量・ウォームアップ有効/無効の設定が可能です。

注(1) 時刻入タイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

#### (e) 時刻切タイマー

運転停止時刻を設定します。設定時刻は5分単位で設定可能で、1回のみ毎回の切換が可能です。

注(1) 時刻切タイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

#### (f) ウィークリータイマー

1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。1日最大8パターンまでの設定が可能です。祭日および臨時休業など休日設定が可能です。

注(1) ウィークリータイマーを使用するには、時刻設定が必要です。

(g) タイマー運転の併用設定可能な組合せ

	切忘れタイマー	時間切タイマー	時間入タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ウィークリータイマー
切忘れタイマー		×	×	○	○	○
時間切タイマー	×		×	×	×	×
時間入タイマー	×	×		×	×	×
時刻切タイマー	○	×	×		○	×
時刻入タイマー	○	×	×	○		×
ウィークリータイマー	○	×	×	×	×	

注(1) ○：可，×：不可

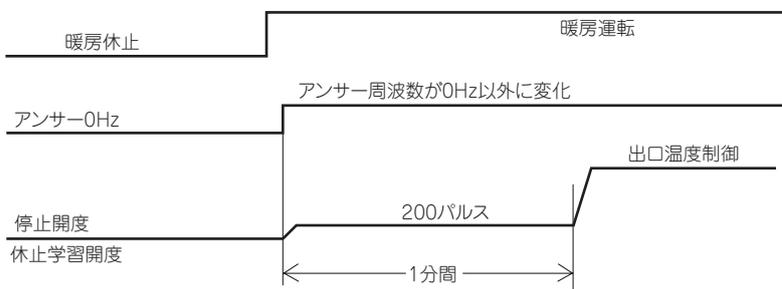
(4) 運転停止時のリモコン表示

- (a) 運転停止中(電源 ON)「室温」、「センタ/リモート」「フィルタサイン」、「点検」および「タイマ運転」は優先的に表示します。

(5) ホットスタート（暖房時コールドドラフト防止）

- (a) 開始条件

暖房運転開始時、アンサー周波数が0Hzから0Hz以外に変化した時、1分間は膨張弁開度を200パルスに固定します。



- (b) 制御内容

- (i) ホットスタート時の室内ファンモータ制御

- 1) 暖房運転開始後7分以内、サーモ状態（暖房サーモOFF時のファン制御）によりファンモードを決定します。

- a) サーモOFFの場合

- ・暖房サーモOFF時のファン制御設定により運転します。
- ・サーモOFF→サーモONに変化してもファンは熱交温度センサ（ThI-R1、R2の何れか高い方）が35℃以上になるまでサーモOFF時のファン制御で運転を続けます。
- ・熱交温度センサ（ThI-R1、R2の何れか高い方）が35℃以上になった時設定風量で運転します。

- b) サーモONの場合

- ・熱交温度センサ（ThI-R1、R2の何れか高い方）が25℃以下の時ファンはOFFで運転しません。
- ・熱交温度センサ（ThI-R1、R2の何れか高い方）が25℃以上になった時暖房サーモOFF時ファン制御設定。
- ・熱交温度センサ（ThI-R1、R2の何れか高い方）が35℃以上になった時設定風量で運転します。

- c) 暖房サーモOFF時のファン制御で「設定風量」で設定（リモコンから）の場合はサーモON / OFFに関わらずファンは設定風量で運転します。

- 2) サーモON中に、1度ファンモータがOFFからONとなった時熱交温度センサが25℃以下となっても室内ファンモータをOFFしません。

（注）デフロスト制御受信時はデフロスト時のファン制御に従います。

- 3) 一旦、ホットスタートを終了したら熱交温度センサの温度が低下してもホットスタートを再開しません。

- (ii) ホットスタート作動時はルーバは水平位置となります。

- (iii) デフロスト終了後連続7分間ファンモータOFFの場合に熱交温度センサ（ThI-R1、R2）の検知温度に係わらずONします。

- (c) 終了条件

- (i) ホットスタート制御中に下記の何れかの条件が成立した時本制御を終了し、ファンは設定風量で運転します。

- 1) 熱交温度センサ（ThI-R1、R2の何れかが高い方）が35℃以上のとき。
- 2) ホットスタート制御開始7分経過したとき。

## (6) ホットキープ

デフロスト制御開始時にホットキープ制御を行います。

### (a) 制御内容

- (i) 室内熱交温度(ThI-R1又R2で検知)が35℃以下となった場合、室内ファンを各設定の低速タップにします。
- (ii) ホットキープ時は、ルーバは水平位置となります。

### (b) 終了条件

室内ファンが各設定の低速タップ時、室内熱交温度が45℃以上となれば設定風量に戻ります。

## (7) フィルターサイン

運転時間(運転/停止スイッチがONとなっている時間)が180時間<sup>(1)</sup>になるとリモコン上の「フィルター清掃」を表示します。(運転/停止に関係なく、故障時、集中制御時也表示します。)

注(1) フィルターサインの時間設定はワイヤードリモコン室内機能「フィルターサイン設定」により下表の様に設定可能です。(工場出荷時は、設定1に設定されています)

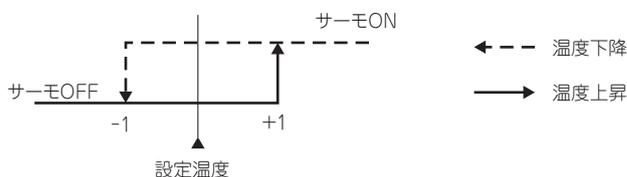
フィルターサイン設定	機 能
設定 1	設定時間：180 時間(工場出荷時)
設定 2	設定時間：600 時間
設定 3	設定時間：1000 時間
設定 4	設定時間：1000 時間(ユニット停止) <sup>(2)</sup>

(2) 設定 4 では、設定時間経過後フィルター清掃を表示させ更に24時間(停止中もカウント)経過後ユニットを停止します。

## (8) サーモ動作

### (a) 冷房

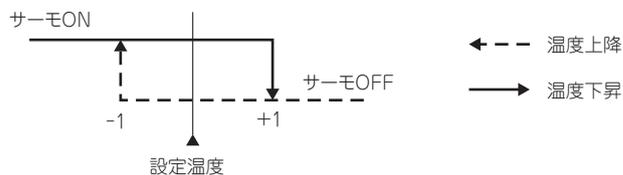
- (i) 室温制御(ファジー制御)によりサーモを動作させます。
- (ii) 設定温度に対し、サーモONとOFFは次の通りです。



- (iii) 冷房運転開始時(暖房から冷房も含む)室温が $-1 < \text{設定温度} < +1$ の間はサーモONとします。

### (b) 暖房

- (i) 室温制御(ファジー制御)によりサーモを動作させます。
- (ii) 設定温度に対し、サーモONとOFFは次の通りです。



- (iii) 暖房運転開始時(冷房から暖房も含む)室温が $-1 < \text{設定温度} < +1$ の間はサーモONとします。

### (c) 暖房サーモOFF中のファン制御

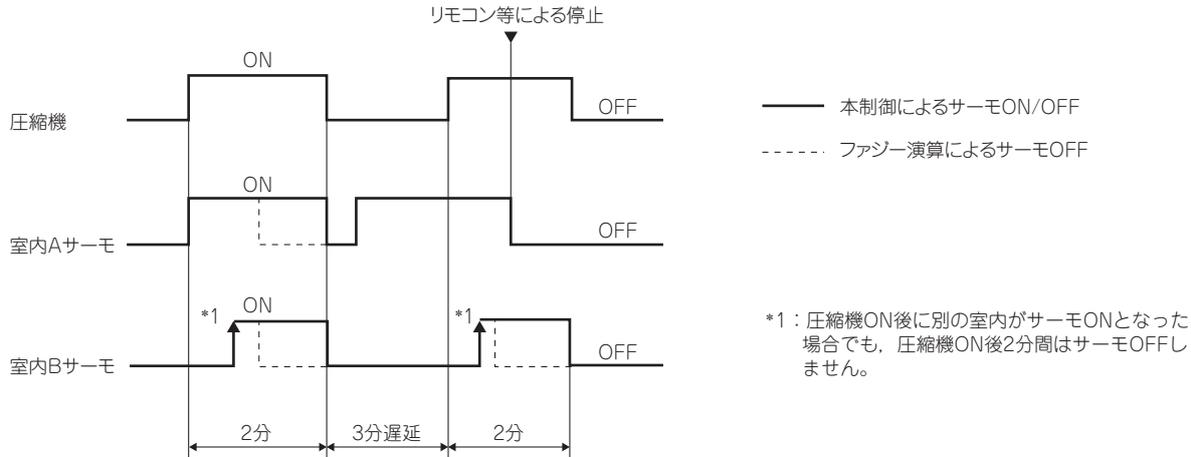
- (i) 暖房サーモOFF時のファン制御は下記がワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。
- ① 弱風 (工場出荷時), ② 設定風量, ③ 間欠, ④ 停止
- (ii) 「弱風 (工場出荷時)」を選択した場合下記のタップで運転します。
- ・ DCモータの場合：ULoタップ
- (iii) 「設定風量」を選択した場合、サーモOFF時も設定風量で運転します。
- (iv) 「間欠」を選択した場合、下記の制御を行います。
- 1) 暖房運転中にサーモOFFした室内ユニットは、室内ファンをOFFします。
  - 2) 室内ファンOFFを5分間固定とし、5分後に室内ファンULo (DCモータ) 運転を2分間行い、ここでルーバは水平制御とします。
  - 3) 室内ファンULo (DCモータ) 運転2分後に1) 項へ移行します。
  - 4) サーモONであれば、ホットスタート制御へ移行します。
  - 5) 暖房サーモOFFとなった場合、リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし、以後、ファンがULo (DCモータ) →停止のタイミングでのみ更新します。  
リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い、ファンOFF中も値を更新します。
  - 6) 暖房サーモOFF中にデフロストに入った場合、又はデフロスト中にサーモOFFした場合の室内ファンはOFFとします。(ホットスタート制御を優先する) 但し、吸込温度の更新は7分毎とします。
  - 7) 暖房サーモONとなった場合、または他の運転モード (含む停止) に切換えた場合は、その時点で本制御を中止し、それから運転状態に復帰します。  
注(1) 本項のサーモOFF中とは暖房運転で要求周波数=0Hzとなった時点から要求周波数≠0、且つアンサーバック周波数≠0となるまでの間をいいます。従って室外ユニットの制御による圧縮機OFF、又は要求周波数≠0でアンサーバック周波数=0の場合は本制御せず室内ファンはホットスタートによります。
- (v) 「停止」を選択した場合、サーモOFFした室内ユニットのファンをOFFします。

### (d) 冷房サーモOFF中のファン制御

- (i) 冷房サーモOFF時のファン制御は下記がワイヤードリモコンの室内機能設定から選択が可能です。
- ① 弱風 (工場出荷時), ② 設定風量, ③ 間欠, ④ 停止
- (ii) 「弱風 (工場出荷時)」を選択した場合下記のタップで運転します。
- ・ DCモータの場合：ULoタップ
- (iii) 「設定風量」を選択した場合、サーモOFF時も設定風量で運転します。
- (iv) 「間欠」を選択した場合、下記の制御を行います。
- 1) 冷房運転中にサーモOFFした室内ユニットは、室内ファンをOFFします。
  - 2) 室内ファンOFFを5分間固定とし、5分後に室内ファンULo (DCモータ) 運転を2分間行い、ここでルーバは水平制御とします。
  - 3) 室内ファンULo (DCモータ) 運転2分後に i) 項へ移行します。
  - 4) サーモONであれば、ファンは設定風量となり冷房運転を行います。
  - 5) 冷房サーモOFFとなった場合、リモコンに表示する温度は室内ファンが停止となった時点とし、以後、ファンがULo (DCモータ) →停止のタイミングでのみ更新します。  
リモコンでは運転データ表示操作により温度表示を行い、ファンOFF中も値を更新します。
  - 6) 冷房サーモONとなった場合、または他の運転モード (含む停止) に切換えた場合は、その時点で本制御を中止し、それから運転状態に復帰します。
- (v) 「停止」を選択した場合、サーモOFFした室内ユニットのファンをOFFします。

### (9) 圧縮機インチング防止制御

- (a) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は、(8)項でサーモOFFとなっても圧縮機ON後2分間(\*1)は、サーモOFFしません。圧縮機ON後2分以内にサーモOFFとなる場合は、その機種に定められた0Hz以外の最低要求周波数を出力します。



- (b) 室内ユニットは一旦サーモONとなった場合は、(8)項でサーモOFFとなってもサーモON後2分間は、サーモOFFしません。サーモON後2分以内にサーモOFFとなる場合は、その機種に定められた0Hz以外の最低要求周波数を出力します。
- (c) サーモON中に油戻し制御を開始したユニットは油戻し制御中に-1℃になってもサーモOFFしません。

### (10) ドレンポンプ制御

- (a) 冷房運転、自動の冷房及び除湿運転にてインバータ周波数が0Hz以外の場合に作動します。
- (b) ドレンポンプがONし(a)項によりOFFの領域となってから、5分間ドレンポンプONを継続し、その後停止します。また異常停止の場合も5分間遅延を継続します。
- (c) 圧縮機ON→OFF時にドレンポンプを5分間遅延運転させます。
- (d) 上記以外の状態(暖房、送風、停止、冷房サーモOFF)でもドレン検知によりドレンポンプ制御を行います。
- (e) 油戻し制御の1)項の冷房時の膨張弁開とする制御において、そのユニットのドレンポンプを油戻し制御時間+5分遅延の間ONします。
- (f) ワイヤードリモコン室内機能設定により下記設定が可能です。
- (i) 標準：冷房時ドレンポンプON (出荷時)
  - (ii) 暖房：(i)+暖房時ドレンポンプON
  - (iii) 暖房 送風：(i)+暖房時、送風時ドレンポンプON
  - (iv) 送風：(i)+送風時ドレンポンプON

### (11) ドレン異常検知

- (a) フロートスイッチ (FS) とタイマによりドレン検知スイッチをON-OFFします。



- [\*1] ドレン検知可能区間においてフロートスイッチ「開」を3秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「ON」にします。
- [\*2] フロートスイッチ「閉」を10秒間連続検知した時、ドレン検知スイッチを「OFF」にします。

- (i) 電源ON後30秒以降異常時検知します。
  - (ii) ドレンポンプOFF後10秒間はドレン異常検出を行いません。
  - (iii) ドレン検知スイッチ「ON」により、ドレンポンプを強制ONにします。
  - (iv) ドレン検知スイッチ「OFF」により、ドレンポンプ強制ONを解除します。
- (b) 室内ユニットは、各運転状態によりA制御またはB制御を行いません。

	室内ユニットの運転モード			
	停止 <sup>(1)</sup>	冷房	除湿	送風 <sup>(2)</sup>
圧縮機ON中		A 制御		
圧縮機OFF中		B 制御		

注(1) 冷房、除湿、送風、暖房からの停止、異常停止を含む  
 (2) 運転モード不一致による「送風」運転を含む

(i) A制御

- 1) フロートスイッチがドレン異常を検知すると異常停止 (E9 表示) しドレンポンプを運転します。異常検知後、ドレンモータ ON を継続します。
- 2) フロートスイッチがドレン異常を検知している間は運転します。

(ii) B制御

フロートスイッチがドレン異常を検知するとドレンモータを5分間ONしドレンモータOFF後10秒の時点でフロートスイッチをチェックし正常ならば通常の停止、異常ならばE9を表示しドレンモータをONします。(ドレン検知中はONのまま。)

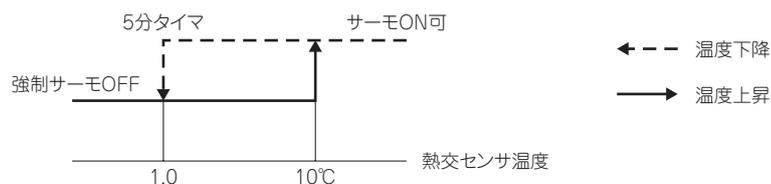
(12) 運転チェック／ドレンポンプ試運転モード

- (a) 室内基板上のディップスイッチ (SW7-1) をON状態で電源を投入することにより運転チェック／ドレンポンプ試運転モードに入ります。なお、電源投入後の切換えは無効 (禁止) です。
- (b) ディップスイッチ (SW7-1) ONで電源投入後60秒以内にリモコン通信が確定した場合は、運転チェックモードに入ります。また、リモコン通信が確定しない場合は、ドレンポンプ試運転モードに入ります。  
注(i) ドレンポンプ試運転モードを選択する場合は、室内基板上的のリモコン用コネクタ (CNB) を抜きリモコン通信を断ってください。
- (c) 運転チェックモード  
室外ユニットとの通信は行われず、リモコン操作により各運転モードを行います。
- (d) ドレンポンプ試運転モード  
ドレンポンプ試運転確定後、ドレンポンプのみ運転を行い運転中は、室内ユニットのマイコンによる保護機能は、無効となります。

(13) 室内熱交アンチフロスト (凍結防止制御)

サーモOFF制御

- (a) 「冷房」「除湿」運転中、熱交センサ (ThI-R1, 2) の検知温度により、サーモOFFを行います。



- (b) サーモONしたら4分間は、凍結防止保護の強制サーモOFF制御を動作させません。
  - (i) サーモON4分経過時点で熱交センサThI-R1かつR2の検知温度が、強制サーモOFF温度 (1.0℃) 以上の場合はサーモON可の状態から検知を開始します。
- (c) サーモONしたら4分経過後、熱交センサThI-R1またはR2の何れかが、5分連続して強制サーモOFF温度 (1.0℃) 以下となったら強制サーモOFFさせます。  
また、復帰はThI-R1かつR2がサーモON可能領域に入ったらサーモONさせます。
- (d) 室外ユニットへ『アンチフロスト』信号を送ります。
- (e) ワイヤードリモコン室内機能設定フロスト防止温度により強制サーモOFF温度の切換ができます。  
温度低: 1.0℃ (工場出荷時)  
温度高: 2.5℃

(14) 加湿器対応制御 (オプション加湿器組込時の対応)

- (a) ワイヤードリモコン室内機能設定で下記を設定し加湿器対応制御を行います。

- (i) ドレンポンプ連動設定
- (ii) 暖房ファン残留運転
- (iii) 暖房ファン間欠運転

(注) 「残留運転」「間欠運転」両方を実施する場合は「残留運転」終了後「間欠運転」を行います。

(b) 開始条件

- (i) 暖房運転休止 (「暖房停止」または「暖房サーモOFF」) になったとき。
- (ii) 室外ユニットが「冷房モード」から「暖房モード」に変わったとき。

(c) 優先度

- (i) ヒータ残留運転を優先します。
- (ii) 暖房サーモOFF時のファン制御より本制御を優先します。  
但し、暖房サーモOFF時のファン制御において、設定風量選択時は、設定風量を優先します。
- (iii) デフロスト中、室内熱交温度が25℃以下の場合は、室内ファンをOFFします。
- (iv) 異常停止「E16」(ファンモータ異常)、「E20」(ファンモータ回転異常)「E63」(緊急停止)の場合はファンを停止します。

(v) その他異常停止時は本制御を行います。

(注) 熱交温度センサ (ThI-R3) が断線した場合は、温度条件が成立しない為停止します。温度情報に左右されない暖房ファン残留運転は行います。

(vi) 室外ユニットからの膨張弁開度指令を優先します。

**(d) ドレンポンプ連動制御**

(i) 開始条件

リモコン設定により下記のいずれかの条件時にドレンポンプをONします。

- 1) 標準：冷房運転中〔冷房（圧縮機）ON〕
- 2) 暖房：①+暖房運転中〔冷房（圧縮機）ON, 暖房（圧縮機）ON / OFF共〕
- 3) 暖房 送風：①+暖房運転中+送風運転中〔冷房（圧縮機）ON, 暖房（圧縮機）ON / OFF共〕
- 4) 送風：①+送風運転中〔冷房（圧縮機）ON / OFF共〕

(ii) 制御内容

・ドレンポンプを運転

	冷房 (圧縮機) ON	冷房 (圧縮機) OFF	暖房 (圧縮機) ON	暖房 (圧縮機) OFF	送風
①標準	○	×	×	×	×
②暖房	○	×	○	○	×
③暖房 送風	○	×	○	○	○
④送風	○	○	×	×	○

(iii) 終了条件

下記のいずれかの条件が成立してから5分間ドレポンプはONを継続します。

- 1) 運転停止（異常停止を含む）
- 2) 上表の○→×に切換えた場合

**(e) 暖房ファン残留運転：0.5時間**

(i) 開始条件

(b)開始条件から30分間

(ii) 制御内容

- 1) 風量弱で送風運転
- 2) ルーバー位置水平（フリー停止，4位置によらず）
- 3) 90パルスに固定
- 4) 圧縮機OFF時も有効

(iii) 終了条件

- 1) 30分経過後
- 2) 運転を開始

**(f) 暖房ファン残留運転：2時間／6時間**

30分間は、「暖房ファン残留運転：0.5時間」を行います。

(i) 開始条件（下記条件を全て満たした場合）

- 1) 『暖房ファン残留運転：0.5時間』終了後
- 2) (b)開始条件から120分間／360分間
- 3) 熱交温度センサ (ThI-R3) 温度が40℃以上

(ii) 制御内容

- 1) 風量弱で送風運転
- 2) ルーバー位置水平（フリー停止，4位置によらず）
- 3) 90パルスに固定

(iii) 制御休止条件

- 1) 熱交温度センサ (ThI-R3) 温度が35℃未満に下がった場合120分／360分タイマのカウンタを止めて送風運転を停止します。  
膨張弁は、『休止及び停止ユニットの膨張弁制御』によります。

- (iv) 終了条件
  - 1) 積算で120分/360分経過後送風運転を停止します。  
膨張弁は、『休止及び停止ユニットの膨張弁制御』によります。
  - 2) 運転を開始した場合  
120分/360分タイマーをクリアして終了。

**(g) 暖房ファン間欠運転**

- (i) 開始条件（下記条件が全て成立した場合）
  - 1) (b)開始条件から
  - 2) パネルスイッチ（CN-Y又はCN-V1-5）がONの時。
  - 3) A分毎に温度判定する。前回判定からA分経過後、温度判定します。

制御	A
5休5風	10
20休5風	25

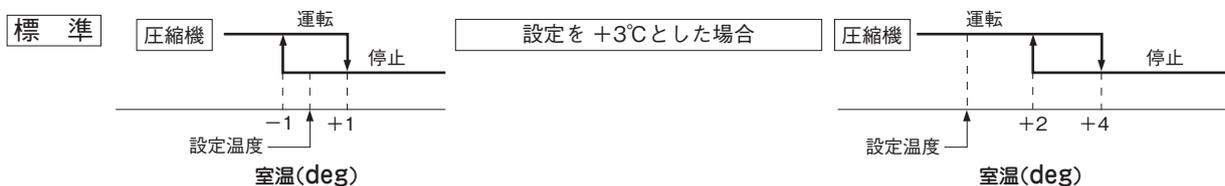
- 4) 熱交温度センサ（Th1-R3）検知温度が $>25^{\circ}\text{C}$ 以上高い場合。  
（間欠送風運転開始の都度判定し、判定後は次判定まで保持）
- (ii) 制御内容
  - 1) ルーバ位置水平（フリー停止、4位置によらず）
  - 2) 風量弱で送風 5分運転。
- (iii) 休止条件（下記いずれかが成立した場合）⇒次回判定まで休みます。
  - 1) パネルスイッチ（CN-Y又はCN-V1-5）がON→OFF
  - 2) デフロスト信号受信
- (iv) 終了条件
  - 1) 送風運転を積算し、600分間経過後 タイムUP
  - 2) 運転開始（停止→停止以外のモードへ変わった時）
  - 3) 室外ユニットが暖房から暖房以外のモードに変更の時。

**(15) ファンモータ異常**

- (a) ファンモータ運転後、30秒間連続して回転数が $200\text{min}^{-1}$ 未満を60分以内に4回検知した時は異常停止「E16」をします。
- (b) ファンモータが回転指令出力後、2分間連続して要求回転数 $-50\text{min}^{-1}$ （GU形： $-500\text{min}^{-1}$ ）に達しないことを検出すると、ファンモータ異常として異常停止「E20」をします。

**(16) 暖房時室温検知温度補正**

標準仕様では、サーモの設定温度で圧縮機をON / OFFしていますが天井に暖気が籠り易い据付状況で早目にサーモOFFしてしまう場合、ワイヤードリモコン室内機能「暖房室温補正」により設定の変更が可能です。設定温度+3, +2, +1 $^{\circ}\text{C}$ のいずれかの温度で圧縮機及びヒータをON / OFFさせ、暖房フィーリング向上させることができます。但し設定温度の上限を $30^{\circ}\text{C}$ とします。



**(17) 吸込温度補正**

吸込温度センサの検知温度とユニット据付後の計測温度との誤差が生じて、補正が必要となった場合に補正する機能です。

- (a) ワイヤードリモコン室内機能「吸込温度補正」により  $0.5^{\circ}\text{C}$ 単位で変更が可能です。
  - ・  $+1.0^{\circ}\text{C}$ ,  $+1.5^{\circ}\text{C}$ ,  $+2.0^{\circ}\text{C}$ ,      ・  $-1.0^{\circ}\text{C}$ ,  $-1.5^{\circ}\text{C}$ ,  $-2.0^{\circ}\text{C}$ ,
- (b) 補正後の温度をリモコンや室外ユニットに送信し、補正後の温度で制御を行います。  
注(1) 検知温度補正は室内ユニットセンサのみ有効です。

(18) 温度センサ（吸込・室内熱交）断線・短絡検知

(a) 断線検知

吸込温度センサ検知温度が-20℃以下、熱交温度センサ検知温度が-40℃以下を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。（吸込温度センサ：E7、熱交温度センサ：E6）

(b) 短絡検知

吸込温度センサ検知温度が48℃以上、熱交温度センサ検知温度が70℃以上を連続5秒間検知した場合は圧縮機を停止します。（吸込温度センサ：E7、熱交温度センサ：E6）

(19) 運転許可・禁止・コインタイマ用制御

ワイヤードリモコン室内機能「運転許可/禁止」で設定内容を有効及びCnTまたはCnTAに外部信号の入力によりエアコン操作可能・操作不能を制御します。CnT（遠方発停監視キット等）またはCnTAに外部入力を入れてください。（市販のコインタイマーの信号等によりエアコン使用可・使用不可を制御する場合に使用）

(a) ワイヤードリモコン室内機能「運転許可/禁止」で設定内容を有効にすることにより運転許可・禁止モードが変わる。

通常運転（出荷時）	有効（運転許可・禁止モード）
CnTまたはCnTA入力をONすると運転しOFFすると停止に切り替えます。 CnTまたはCnTA入力とリモコン入力は後押し優先で発停可能です。	CnTまたはCnTA入力をONすると運転許可となります。 OFFすると運転禁止に切り替えます。

(b) CnTまたはCnTA入力ONの場合（運転許可）

- (i) エアコンはリモコン信号線からの信号に対応して運転・停止等の操作は可能です。  
（「センター」モード設定時はセンターからのみ操作可能）
- (ii) ワイヤードリモコン室内機能「外部入力1設定」の内容によりCnTまたはCnTA入力OFF → ONとなった時のエアコン運転・停止状態を切換えます。

レベル入力	パルス入力
エアコンは停止のままで(a)項の信号によりスタートする。（出荷時）	CnTまたはCnTA入力をONするとエアコンは運転を開始します。以降(a)項の信号による。（出荷時）

(c) CnTおよびCnTA入力OFFの場合（運転禁止）

- (i) CnTの場合
    - a) エアコンはリモコンからの信号に対応した運転操作は不可能です。
    - b) CnT入力ON → OFFとなったとき、エアコンは停止します。
  - (ii) CnTAの場合  
エアコンはリモコンからの運転操作は不可能です。
- (d) プルラール制御中は、親機のみ本制御を受け付けます。  
子機は制御を受け付けません。子機は親機の入力に連動します。

■遠方運転入出力

外部入力機能切換	外部入力方式	動作
運転/停止	①レベル	外部端子入力 (CnT または CnTA) OFF → ON → OFF → ON 運転指令エッジ↑      ↓停止指令エッジ
		運転/停止 停止      運転      停止      運転
		運転/停止 (競合) 停止      運転      停止      運転 ↑リモコン停止    ↑リモコン運転
	②パルス	外部端子入力 (CnT または CnTA) OFF → ON → OFF → ON 運転/停止反転 ONエッジ      運転/停止反転 ONエッジ
		運転/停止 停止      運転      停止
		運転/停止 (競合) 停止      運転      停止      運転      停止 ↑リモコン停止    ↑リモコン運転

■CnTとCnTAの組み合わせ優先順位

		CnTA						
		①運転停止レベル	②運転停止パルス	③運転許可/禁止レベル	④運転許可/禁止パルス	⑤冷暖切換レベル	⑥冷暖切換パルス	⑦緊急停止
CnT	①運転停止レベル	CnT①	CnT①	CnT①+CnTA③	CnT①	CnT①/CnTA⑤	CnT①/CnTA⑥	CnT①<CnTA⑦
	②運転停止パルス	CnT②	CnT②	CnT②+CnTA③	CnT②	CnT②/CnTA⑤	CnT②/CnTA⑥	CnT②<CnTA⑦
	③運転許可/禁止レベル	CnT③>CnTA①	CnT③>CnTA②	CnT③+CnTA③	CnT③	CnT③/CnTA⑤	CnT③/CnTA⑥	CnT③<CnTA⑦
	④運転許可/禁止パルス	CnT④	CnT④	CnT④+CnTA③※	CnT④	CnT④/CnTA⑤	CnT④/CnTA⑥	CnT④<CnTA⑦
	⑤冷暖切換レベル	CnT⑤/CnTA①	CnT⑤/CnTA②	CnT⑤/CnTA③	CnT⑤/CnTA④	CnT⑤	CnT⑤	CnT⑤/CnTA⑦
	⑥冷暖切換パルス	CnT⑥/CnTA①	CnT⑥/CnTA②	CnT⑥/CnTA③	CnT⑥/CnTA④	CnT⑥	CnT⑥	CnT⑥/CnTA⑦
	⑦緊急停止	CnT⑦>CnTA①	CnT⑦>CnTA②	CnT⑦>CnTA③	CnT⑦>CnTA④	CnT⑦/CnTA⑤	CnT⑦/CnTA⑥	CnT⑦+CnTA⑦

注(1) ※部のCnTAによる運転禁止設定中は、以下の運転指令を受け付けず。  
 ・リモコンからの個別運転指令、室外からの試運転指令およびオプションからの運転指令

参考：上記記号および組み合わせ記号の説明

1. CnT“番号”の場合、CnT“番号”採用し、CnTAを無効とする。
2. CnTA“番号”の場合、CnTA“番号”採用し、CnTを無効とする。
3. CnT“番号”/CnTA“番号”の場合、CnT“番号”とCnTA“番号”は共に独立した機能とする。
4. CnT“番号”+CnTA“番号”の場合、CnT“番号”とCnTA“番号”は競合機能
5. CnT“番号”>CnTA“番号”の場合、CnT“番号”はCnTA“番号”より機能の優先順位が高い。
6. CnT“番号”<CnTA“番号”の場合、CnTA“番号”はCnT“番号”より機能の優先順位が高い。  
 (上記“番号”の部分には、①～⑦の番号が入ります)

(20) 外部制御（遠方表示）／遠方操作

リモコンは必ず接続してください。リモコンが無いと遠方操作は行いません。

(a) 外部制御（遠方表示）用出力（オプションの遠方発停監視キットが利用できます）

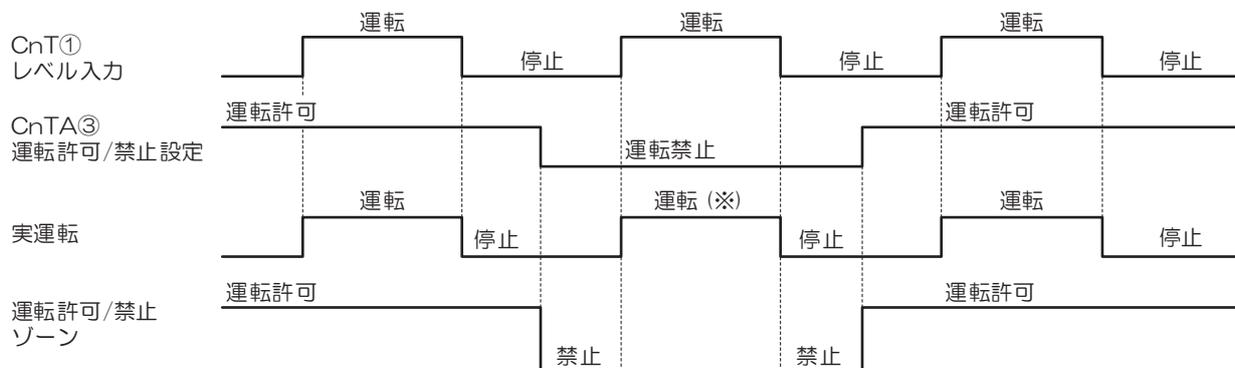
室内制御基板上に下記の出力アウトプット用コネクタ（CnT）を持っています。遠方発停監視キットを接続して各々の無電圧接点を取り出してください。

- ・ **運転出力（CnT-2）**：運転中、DC12Vリレー駆動用出力をアウトプットします。
- ・ **暖房出力（CnT-3）**：暖房運転中、DC12Vリレー駆動用出力をアウトプットします。
- ・ **圧縮機ON出力（CnT-4）**：圧縮機が運転中、DC12Vリレー駆動用出力をアウトプットします。
- ・ **異常出力（CnT-5）**：異常発生時、DC12Vリレー駆動用出力をアウトプットします。

(b) 遠方操作用入力（CnT-6またはCnTA）

室内制御基板上に遠方操作用入力（スイッチ入力、タイマー入力）コネクタ（CnTまたはCnTA）を持っています。但し、エアコンの操作が「センターモード」となっている時は、CnTまたはCnTAによる遠方操作は無効となります。

(i) CnT①運転停止レベル > CnTA③運転許可/禁止レベルの場合



(※) CnTレベル入力をCnTA運転禁止よりも優先する。

(ii) CnT③運転許可/禁止レベル + CnTA③運転許可/禁止レベルの場合



(※) 運転禁止ゾーンはCnT運転禁止ゾーンとCnTA運転禁止ゾーンのOR判定とする。

■外部入力機能

外部入力機能切換	外部入力方式	動作	
運転許可/禁止	③レベル	外部端子入力 (CnT または CnTA)	
		運転/停止	<p>センターモードが否かに拘わらず、室内より強制停止</p>
		運転/停止 (競合)	<p>↑ オプション運転指令</p>
	④パルス	外部端子入力 (CnT または CnTA)	<p>↑ 運転指令エッジ</p>
		運転/停止	<p>センターモードが否かに拘わらず、室内より強制停止</p>
		運転/停止 (競合)	<p>↑ オプション運転指令</p>

注(1) CnTとCnTAの組合わせ優先順位については、2-11ページをご覧ください。

(c) 冷房・暖房外部入力機能切換

リモコンは必ず接続してください。リモコンが無いと遠方操作は行いません。

- (i) リモコンからの室内機能設定で、「外部入力1設定：冷房/暖房」となっている場合に、CnT-6またはCnTA-2により冷房/暖房切換えます。
- (ii) 室内機能設定で、外部入力1方式切換：レベル入力時
  - ・CnT-6またはCnTA-2：OPEN → 運転モードを冷房
  - ・CnT-6またはCnTA-2：CLOSE → 運転モードを暖房
- (iii) 室内機能設定で、外部入力1方式切換：パルス入力時  
外部入力か OPEN → CLOSE となった場合、運転モードを反転（冷房 → 暖房、暖房 → 冷房に切換える）します。
- (iv) 外部入力により冷房/暖房切換を受けた場合は、リモコンに運転モードを送信します。

■冷房/暖房外部入力機能切換

外部入力機能切換	外部入力方式	動作	
冷房/暖房切換	⑤レベル	外部端子入力 (CnT または CnTA)	
		冷房/暖房	
		冷房/暖房 (競合)	<p>↑ リモコン冷房, 除温, 自動指令 ↑ リモコン暖房, 自動指令</p>
	⑥パルス	外部端子入力 (CnT または CnTA)	<p>↑ 「冷/暖切換」設定後、現在の運転モードによって冷/暖切換を行う。 暖房時：暖房専用設定（冷房禁止区間）にする。 冷房、除温、自動、送風時：冷房専用設定（暖房禁止区間）にする。</p>
		冷房/暖房	
		冷房/暖房 (競合)	<p>↑ 「冷/暖」+ 「パルス」に設定 ↑ リモコン冷房, 除温, 自動指令 ↑ リモコン暖房, 自動指令</p>

注(1) CnTとCnTAの組合わせ優先順位については、2-11ページをご覧ください。

(d) 緊急停止信号処理

外部入力により運転停止する方法については、Cn-TまたはCnTAへの遠方発停により対応していますが、マルチ室内ユニットでは、入力を入れた室内ユニットにのみ有効です。1リモコン複数室内ユニット制御のシステムでは、ワイヤードリモコン機能設定において、外部入力設定『全台同一運転』に設定することにより、1台の室内ユニットへ入力されたCn-T発停信号により1リモコンに接続された複数台制御が可能ですが、本、緊急停止信号は、同一室外ユニットに接続された全室内ユニットを緊急停止させる際に使用します。

- (i) ワイヤードリモコンから緊急停止制御「有効」にすることにより緊急停止制御を有効とします。
- (ii) 緊急停止[E-63]を室外ユニットから受信した場合、リモコンへ送信し、停止状態とします。

### (e) 外気処理出力

- (i) 室内コントローラは次に示す信号を CnD より出力します。リモコンから外気処理運転信号（連動設定時は運転スイッチ、非連動設定時は換気スイッチ）を受けたら出力 ON、停止信号を受けたら出力 OFF します。
- (ii) 出力リレーはDC12Vオプションとし、リレー負荷はLY2F（オムロン）を最大とします。
- (iii) 連動設定時、リモコン接続室内ユニットのどれかが異常停止状態になっている時には、その室内ユニットに連動している外気処理ユニットの運転は不可とします。正常運転中の室内ユニットに連動している外気処理ユニットは、通常通り「運転」スイッチ操作より運転開始します。非連動設定時は室内ユニットが異常停止状態でも「換気」スイッチ操作により運転開始します。
- (iv) 連動設定時、外気処理ユニットと室内ユニット両者とも運転中より室内ユニットを停止すると、外気処理ユニットも連動して停止させます。
- (v) 連動設定時に室内ユニットが異常停止した時は、外気処理ユニットも連動して停止させます。
- (vi) 室内ユニット複数台接続時センターコンソール等から室内ユニットを発停させた場合、連動設定時には外気処理ユニットは発停しますが、非連動設定時は停止のままとします。
- (vii) 連動、非連動の設定はリモコンのみで設定できます。

## (21) 複数台制御 —— 1リモコンによる16台グループ制御

### (a) 機能

1個のリモコンスイッチで複数台のユニット（室内ユニット・最大16台）をグループ制御できます。リモコンスイッチでセットした「運転モード」でグループの全ユニットは号機No.<sup>(1)</sup>順に順次運転・停止させることができます。各ユニットのサーモ、保護機能は独立して機能します。

注(1) 号機Noは室内制御基板上のSW1, SW2, SW5-2で設定します。

### (b) リモコンへの表示

- (i) **センタ又はリモート別、暖房準備**：運転中のユニットでリモートモードの（リモートモードが無い時は、センタモード）最若号機ユニットの表示
- (ii) **点検表示、フィルタサイン**：いずれか初発のユニット対応で表示

### (c) 接続ユニットの確認

リモコンのTOP画面より「メニュー」→「次ページ」「サービス・メンテナンス」→「エアコンNO.表示」の順にボタンをタッチして行くと接続室内ユニットが表示されます。

### (d) 異常時

- (i) グループの一部ユニットに異常が発生した場合（保護装置作動）当該ユニットは異常停止しますが、他の正常なユニットはそのまま運転を継続します。
- (ii) **配線要領**  
各ユニットの室内・外接線は各ユニット毎に通常と同じ配線をしてください。グループ制御用にリモコンの端子台（X、Y）を使用し各室間に渡り配線をしてください。  
リモコン信号用配線は電源電線又は他の電気機械器具電線（AC100V以上）とは分離して配線してください。

## (22) ハイパワー運転

最大能力で、最長15分間運転します。

## (23) 省エネ運転

設定温度を冷房28℃、暖房22℃、自動25℃で固定して運転します。（最大能力を80%に制限します。）

## (24) ピークカットタイマー

最大能力を制限することで消費電力を制限します。

## (25) ウォームアップ制御

運転開始設定時間にお部屋が設定温度近くになるように、マイコンが運転開始時間を予測して、5～60分前から運転を開始します。

# 1-2 リモコン機能

## [RC-DX2リモコン]

### (a) リモートコントローラの運転モード選択

- (i) TOP画面上より「運転モード」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「運転モード」選択画面が表示されますので、ご希望の運転モードをタッチしてください。
- (iii) 運転モード選択後、TOP画面に戻ります。

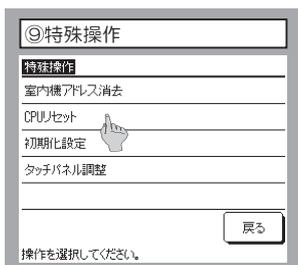
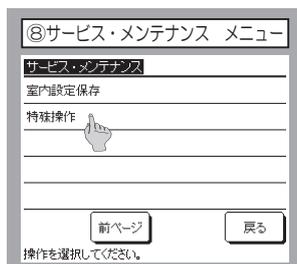
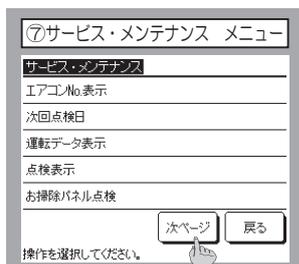
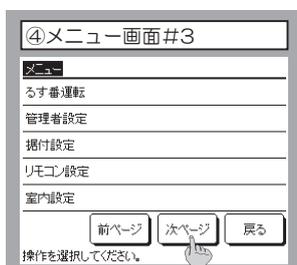
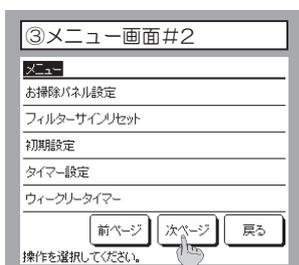
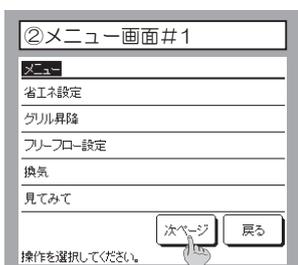


注(1) 室内ユニット-室外ユニットの組み合わせにより、選択できない運転モードは表示されません。  
 (2) 自動を選択すると、室温と外温に応じて、冷房・暖房自動切換運転を行います。

### (b) CPUリセット

下記手順にてリモートコントローラよりCPUをリセットしてください。

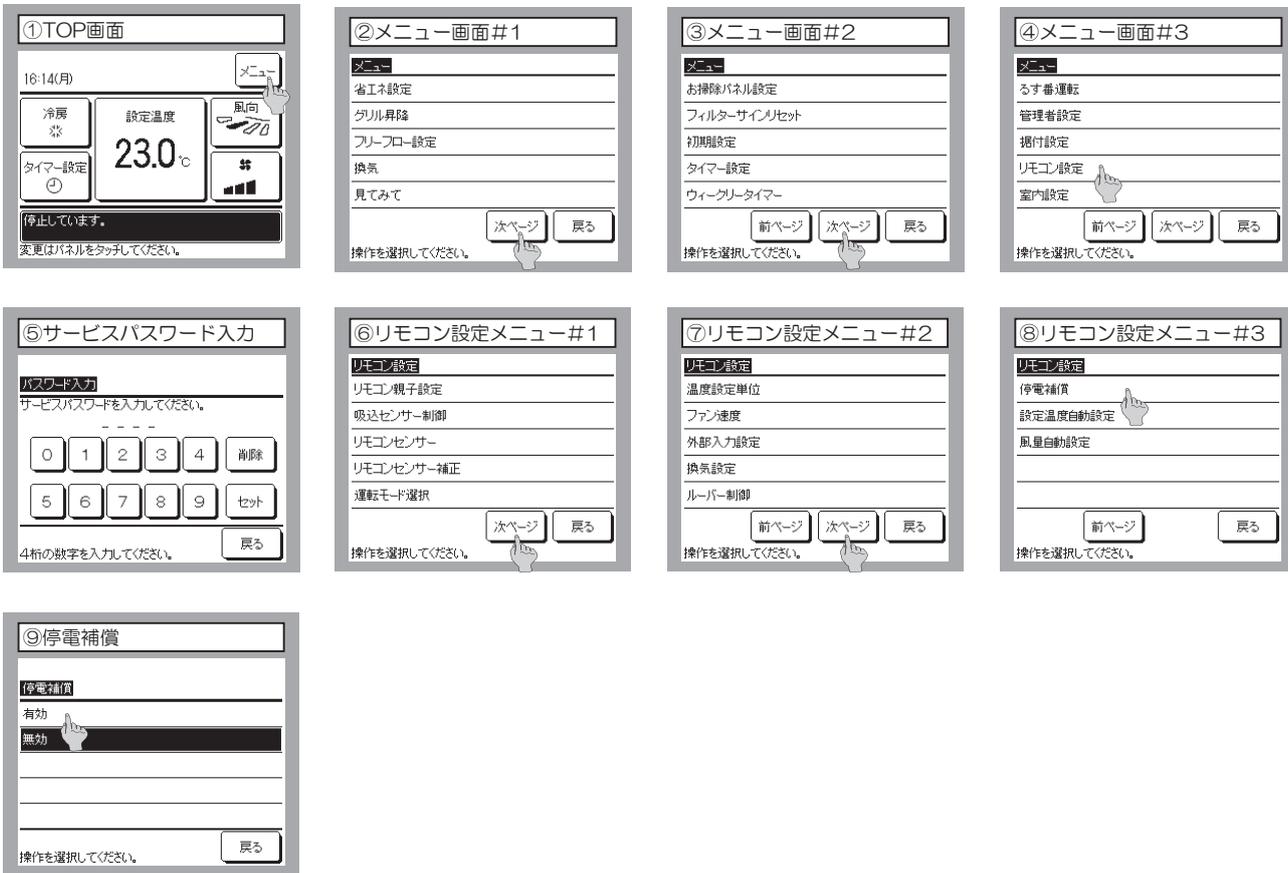
- (i) TOP画面上より「メニュー」「次ページ」「サービス・メンテナンス」と順にボタンをタッチすると「サービスパスワード入力」画面が表示されますので、サービスパスワードを入力し「セット」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「サービス・メンテナンス」画面が表示されますので、「次ページ」「特殊操作」「CPUリセット」と順にボタンをタッチしてください。接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット(停電復帰状態)されます。



(c) **停電保障機能**

下記手順にてリモートコントローラより停電保障機能を有効設定してください。

- (i) TOP画面上より「メニュー」「次ページ」「リモコン設定」と順にボタンをタッチすると「サービスパスワード入力」画面が表示されますので、サービスパスワードを入力し「セット」ボタンをタッチしてください。
- (ii) 「リモコン設定」画面が表示されますので、「次ページ」「停電保障」「有効」と順にボタンをタッチしてください。運転中に停電した場合、停電復旧(電源投入後の制御終了)しだい、停電前の状態に戻ります。



- 常にリモコンの状態を記憶しており停電から復帰後、記憶内容により運転を再開します。但しタイマーモードはキャンセルされますがウィークリタイマー設定は全曜日とも休日設定で復帰します。復電後、時刻合わせを行い各曜日の休日設定を解除することにより、ウィークリタイマー設定が有効になります。
- 停電保障で記憶される内容は以下のとおりです。
  - 注(1) ⑥、⑦項は停電保障有効・無効にかかわらず記憶されます。
  - ① 停電時 運転中／停止中  
時刻切タイマーモード、時間タイマーモードで運転中は、停止中を記憶します。(復電時タイマーモードはキャンセルされますが、ウィークリタイマー設定は全曜日が休日設定となります。)
  - ② 運転モード
  - ③ 風量モード
  - ④ 室温設定
  - ⑤ ルーバのオートスイング／停止  
但し停止位置(4位置)はキャンセルされます。
  - ⑥ 「お掃除パネル設定」「管理者設定」「据付設定」「リモコン設定」「室内設定」により設定された内容は室内ユニットが記憶します。
  - ⑦ ウィークリタイマー設定(その他のタイマー設定は記憶しません。)

(d) 設定および表示内容(組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。)

表示内容		詳細内容
1. リモコンネットワーク		
1	複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内機を接続、制御できます。 室内機側にアドレス設定します。
2	親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスオプション)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。
2. TOP画面・SW操作		
1	メニュー	制御・設定・詳細確認等の項目を選択します。3～20項
2	運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿 を設定します。
3	設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。
4	風向	風向を設定します。 4位置／フリー
5	風量	風量を設定します。
6	タイマー設定	タイマー運転を設定します。
7	運転／停止SW	運転開始します。／停止します。
8	ハイパワーSW	ハイパワー運転を開始します。
9	省エネSW	省エネ設定で運転を開始します。
3. 省エネ設定		
1	切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ●設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ●設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。
2	ピークカットタイマー 管理者パスワード	最大能力を制限することで消費電力を削減します。 制御の開始時刻と終了時刻、能力制限率を設定します。 ●1日最大4パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●能力制限率は0・40～80%(20%単位)から選択可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。
3	設定温度自動復帰 管理者パスワード	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ●暖房モード／冷房モード他 各々設定可能です。 ●設定時間は20～120分まで選択可能です。 ●設定時間は10分単位で設定可能です。
4. グリル昇降		
1	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作] の設定が必要です。
2	降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ●0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ●設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ●接続室内ユニット毎に設定できます。
3	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。 ●回収日を日付設定している場合は次回設定ができます。
5. フリーフロー設定		
	フリーフロー設定	各吹出口のルーバの作動範囲(上限位置・下限位置)を設定します。
6. 換気		
1	換気 換気機器を組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定] の設定が必要です。 ●換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。

表示内容	詳細内容
7. 見てみて	
見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによって表示できない場合があります。
8. お掃除パネル設定	管理者パスワード
1 お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。
2 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。
3 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。
4 ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。
5 ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。
9. フィルターサインリセット	
フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。
次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。
10. 初期設定	
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。
2 時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。
3 サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。
4 コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。
5 バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。
6 ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。
11. タイマー設定	
1 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
2 時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。
3 時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
4 時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。
12. ウィークリー タイマー設定	
1 ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。
13. るす番運転	
1 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時、お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。

表示内容	詳細内容
14. 管理者設定	管理者パスワード
1 操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定][言語切換設定]
2 室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。
3 設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。
4 設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5°C/1.0°C)を設定します。
5 設定温度表示切換	設定温度の表示の仕方を切り換えます。
6 リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示)のあり/なしを設定します。
7 管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。
15. 言語切換	リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語/Englishの選択が可能です。
16. 据付設定	サービスパスワード
1 据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。
2 サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。
3 試運転	試運転の開始/停止を制御できます。
冷房試運転	設定5°C 30分間運転します。
ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。
お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合
周波数固定運転	インバーターコンプレッサの運転Hzを固定します。
4 グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合
5 ダクト機静圧補正	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。
6 自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。
7 親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。
17. リモコン機能設定	サービスパスワード
1 リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。
2 吸込センサー制御	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。 ●個別/親機/平均の選択が可能です。
3 リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。
4 リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能
5 運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。
6 温度単位設定	設定温度の単位を設定できます。 ●°C/°Fの選択が可能です。
7 ファン速度	ファン速度選択が可能です。
8 外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。
9 換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。
10 ルーバー制御	[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。
11 停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。
12 設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。
13 風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。

表示内容	詳細内容
18. 室内機能設定	サービスパスワード
1 高天井設定	室内ユニットの風量タップを設定します。
2 フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。
3 外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。
4 外部入力1方式	外部入力1の信号方式を換えられます。
5 外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。
6 外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。
7 暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。
8 吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。
9 冷房ファン制御	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
10 暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。
11 フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。
12 フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。
13 ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。
14 冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
15 暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。
16 暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。
17 送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。
18 外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。
19 運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。
20 サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。
21 風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。
22 室内過負荷アラーム設定	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、過負荷アラーム信号を送信します。
19. サービスメンテナンス	サービスパスワード
1 エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。
2 次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。
3 運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。
4 点検表示	
異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。
異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。
異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。
定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。
5 お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。
6 室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。
7 特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。
20. 困ったときは・・・	
1 連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。
2 サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。
21. 点検表示	
点検表示確認	異常発生時の表示
22. パソコン接続	
USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。

### 3 故障診断編の目次

1. トラブル項目と診断 .....	3-2
1-1 異常表示内容 .....	3-2
1-2 異常項目一覧表 .....	3-3
1-3 リモコンによる異常運転データの確認 .....	3-5
1-4 電装品故障診断要領 .....	3-6

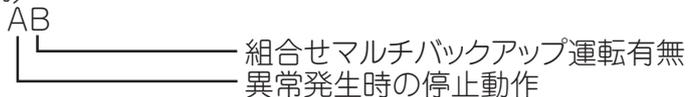
# 1. トラブル項目と診断

## 1-1 異常表示内容

(1) 異常検出  
異常発生時のリモコン表示、室外機LED表示、異常内容については異常項目一覧表の通り。

(2) 異常処理  
異常項目一覧表に示す異常処理(異常発生時の停止動作)については以下の通りである。

(例)



	異常発生時の停止動作
A	エンジン即時停止(3分強制クーリング)
B	エンジン即時停止(標準クーリング)
C	ポンプダウン停止
E	室外機運転禁止
F	異常発生した熱交ファンのみ停止
X	異常発生室内機のみ停止
Z	運転継続

	組合せマルチ機のバックアップ運転の有無
B	バックアップ運転有
N	バックアップ運転無

(3) 異常解除  
異常発生時の解除方法は以下の通りである。

	異常解除
a	リセット指示にて復帰
b	異常状態正常復帰後、リセット指示にて復帰
c	一旦電源オフ
d	異常状態正常復帰後、自動復帰(復帰後、再運転)
e	異常状態正常復帰後、自動復帰(復帰後、正常停止)

# 1-2 異常項目一覧表

n: 室内機 NO.

リモコン 異常コード*	室外機 異常コード*	異常内容	異常詳細	異常確定 迄の回数	異常処理	異常解除
E1	1-n	リモコン-室内機間通信異	リモコン-室内機間で通信を開始した後に、2分間連続でリモコン-室内機間の通信が途絶えた場合。 (リモコンでの検出時は E 1 表示, 室内機での検出時は 1-n表示)	1回	XN	e:通信再開後、自動復帰
E2	2-n	室内アドレス重複	室内機のアドレスが重複している場合。(室内機検出) 1回CN, ENc	1回	CN, EN	c
-	3-0	室内機未接続	室外ユニット電源投入後、又は配線換後から10分経過しても正常通信が確認されない場合。(室外機検出)	1回	EN	d
E3	-	ペアリング異常	室内機と通信出来る室外機が無い場合。(室内機検出)	1回	-	c e:室外機通信開始時
E5	-	室内-室外機間通信異常	室外機-室内機間で通信を開始した後に室内機が室外機からの通信を2分間連続して受信出来ない場合。(室内機検出)	1回	-	e
-	5-n		室外機-室内機間で通信を開始した後に室外機が室内機からの通信を受信出来ない場合。(室外機検出 運転時:60秒,停止時:150秒)	1回	BN, EN	d
-	50-0		室外機が自送信データを正常受信出来ない場合。(室外機検出)	1回	CN, EN	d
E6	18-n	室内熱交液センサ断線/短絡	室内機制御仕様による <参考仕様>	1回	XN	a
	19-n	室内熱交ガスセンサ断線/短絡	(or) [1]電源投入後10秒以内に5秒連続-40℃以下 [2]圧縮機接続後2分から2分20秒の間に5秒連続-40℃以下 [3]電源投入後10秒以内に5秒連続70℃以上	1回	XN	a
	96-n	室内熱交中間センサ断線/短絡	[4]冷房/除湿運転中、圧縮機接続後2分から2分20秒の間に5秒連続C以上	1回	XN	a
E7	97-n	室内吸込センサ断線/短絡	室内機制御仕様による <参考仕様> (or) [1]室内吸込温度が5秒連続-20℃以下 [2]電源投入後10秒以内に5秒連続48℃以上	1回	XN	b:解除条件は室内機制御仕様による
E9	95-n	室内ドレン水異常	(or) [1]冷房、除湿で圧縮機接続時にドレン水有りを検出 [2]暖房でドレン水有りを検出 [3] [1],[2]以外でドレン水有りを検出し、5分後に再度ドレン水有りを検出した場合 (室内機検出、ドレンSW ONの場合にドレン水有り)	1回	XN	b:ドレン水有りを検出しなくなると、室内機が異常解除可能状態になった場合、解除可
E10	-	リモコンへの接続台数オーバー	1リモコン複数室内機接続において17台以上接続した場合 (リモコン検出)	1回	XN	c
E11	-	子機設定をリモコン複数台接続で実施	リモコンにて親機アドレスが設定されている状態で室内機複数台接続を検知した場合(リモコン検出)	1回	XN	c
E12	-	室内アドレス設定不良	アドレス設定不良(室内機検出)	1回	XN	c
E16	15-n	室内ファンモータ異常	室内機制御仕様による(ACサイリスタモータ/DCモータ機種のみ検出) <参考仕様> [1] ファンモータに対して回転数指示を出してから30秒経過してもファンモータの回転数が200min-1未満の場合、ファンモータに対し2秒間停止指令を出した後、再度回転数指示を与える [2] 60分間に4回[1]の状態を検出したら異常停止する	1回	XN	a

n:室内機 NO.

リモコン 異常コード*	室外機 異常コード*	異常内容	異常詳細	異常確定 迄の回数	異常処理	異常解除
E18	26-n	親子室内アドレス設定不良	リモコンにて親機アドレスを設定した時、または親機アドレスを設定した状態で運転開始時に親室内機が存在しない場合(室内機検出)	1回	XN	b
E19	29-n	運転チェックモード設定不良	運転チェックモード中に室内-室外間の通信が復帰した場合(室内機検出)	1回	XN	c
E20	16-n	ファンモータ回転異常	ファンモータ回転数指令電圧がMAX値に到達後、2分間継続して要求回転数-50min-1に達しない場合(室内機検出)	1回	XN	a
E21	-	・ラフリーナパネル収納不良 ・パネルスイッチ動作不良	・パネルスイッチ(PS)が1秒以上開を検出した場合(GTのみ)	1回	XN	b
-	24-0	極性未確定異常	電源投入後、3分経過しても極性の確定なし(室外機検出)	1回	EN	d
E28	-	リモコン吸込温度センサ断線	電源投入後10秒以内に5秒連続-50℃未満。 ※電源投入後10秒以降に断線を検知した場合は、自動的にリモコンセンサーの使用を止め、室内吸込センサーを使用する。(室内機検出)	1回	EN	e

## 1-3 リモコンによる異常運転データの確認

異常発生時の運転データを記憶し、リモコンから異常運転データの確認ができます。

[操作手順]

①TOP画面より「メニュー」→「次ページ」→「サービス・メンテナンス」→「サービスパスワード」入力→「セット」→「点検表示」→「異常時運転データ表示」の順でタッチする。

②リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合は、以下の表示となります。

1. 異常がある場合：「データ読み中」の後、異常時の運転データが表示されます。

表示内容

- ・異常コード
- ・番号およびデータ項目

2. 異常がない場合：「異常なし」を表示し、本モードを終了します。

③リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の表示となります。

1. 異常がある場合：「室内機選択」画面で対象室内ユニットを選択→「データ読み中」の後、異常時の運転データが表示されます。

表示内容

- ・室内機 No.
- ・異常コード
- ・番号およびデータ項目

2. 異常がない場合：「異常なし」を表示し、本モードを終了します。

注(1)「室内機選択」画面で接続台数が1ページを超える場合は、「次ページ」を選択してください。

④ **運転/停止** ボタンを押すと、TOP画面に戻ります。

◎設定の途中で、「戻る」をタッチすると、一回前の設定画面に戻ります。

注(1) 異常運転データの確認は、リモコン2台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

■異常運転データ(機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。)

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
05	室内熱交温度(ThI-R1)
06	室内熱交温度(ThI-R2)
07	室内熱交温度(ThI-R3)
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
13	吹出温度
21	外気温度
22	室外熱交温度(ThO-R1)
23	室外熱交温度(ThO-R2)
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT電流
30	SH制御値
31	実SH
32	実TDSH
33	圧縮機保護ステータスNo.
34	室外ファン速調
35	63H1ON/OFF
36	デフロスト ON/OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室外膨張弁開度(EEVC)
39	室外膨張弁開度(EEVH)

# 1-4 電装品故障診断要領

下記に記載する事項以外は、2012年冷熱ハンドブック サービス編をご覧ください。

## (a) 室内ユニット基板交換要領

**お願い** ワイヤードリモコン使用機種は制御基板交換後、電源を投入した後に「リモコンによる機能設定」を参照し室内ユニットの機能や用途に合わせて設定を行ってください。

### 安全上のご注意

- 交換工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠	警告	誤った作業を行った時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠	注意	誤った作業を行った時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 基板交換完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。

#### 警告

- 交換作業は、販売店または専門業者に依頼する。ご自分で作業をされ不備があると、感電や火災の原因になります。
- 作業は、この交換要領書に従って確実に行う。作業に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 元電源を切った後、交換工事をする。(高電圧のため電源切断後1分間は作業をしないこと。) 通電状態での基板交換は、感電・故障・動作不良の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 配線は確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災の原因になります。
- 基板交換の作業終了後、電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認する。交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。

#### 注意

- マイコン基板にコネクタを接続する際は、基板が変形しないように接続する。破損・故障の原因になります。
- コネクタは、確実に挿入しストッパが掛ける。火災・動作不良の原因になります。
- 配線は、かみ込んだり、つばらないように結束する。断線・変形して不具合・感電の原因になることがあります。

### (i) 制御基板

- 1) アドレス設定・仕様切換スイッチ設定をしてください。  
交換する基板と同一設定としてください。

項目	スイッチ	制御内容
アドレス	SW1.2 (青)	室内アドレス 00~99
	SW5-2	OFF 室内アドレス 100未満
		ON 室内アドレス 100以上
SW3.4 (緑)	室外アドレス	

項目	スイッチ	制御内容
新旧	SW5-1	OFF 新旧SL通信自動判定
		ON 旧SL通信に固定
試運転	SW7-1	OFF 通常運転
		ON 運転チェック/ドレンポンプ試運転
GHP	J1	無 シングル
		有 マルチ

- 2) 容量切換スイッチ (SW6, 8) により容量を設定してください。  
交換する基板と同一になります。

機種設定	SW6				SW8
	-1	-2	-3	-4	
P22	○	○	○	○	○
P28	○	○	○	○	○
P36	○	○	○	○	○
P45	○	○	○	○	○

機種設定	SW6				SW8
	-1	-2	-3	-4	
P56	○	○	○	○	○
P71	○	○	○	○	○
P80	○	○	○	○	○
P90	○	○	○	○	○

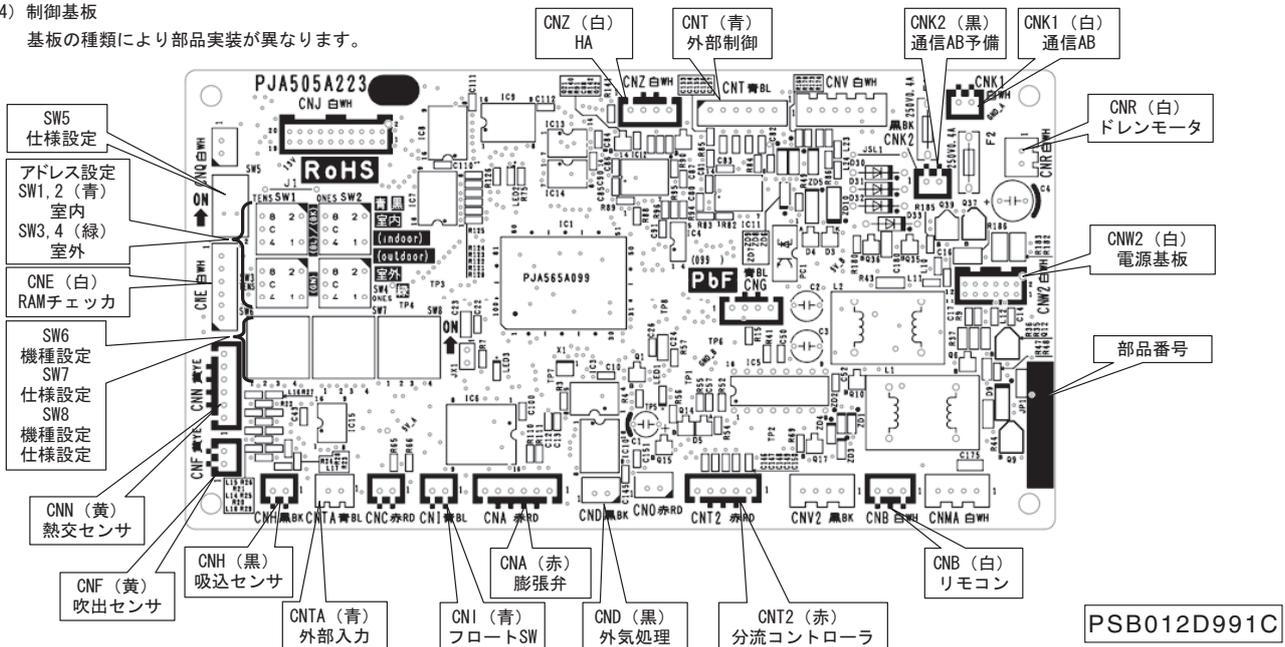
機種設定	SW6				SW8
	-1	-2	-3	-4	
P112	○	○	○	○	○
P140	○	○	○	○	○
P160	○	○	○	○	○



- 3) 基板を交換してください。
  - a) 基板にコネクタ接続されている配線を全て取り外した後、基板を交換してください。
  - b) 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
  - c) 基板へコネクタ接続してください。基板上的コネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(P56の場合)

- 4) 制御基板  
基板の種類により部品実装が異なります。

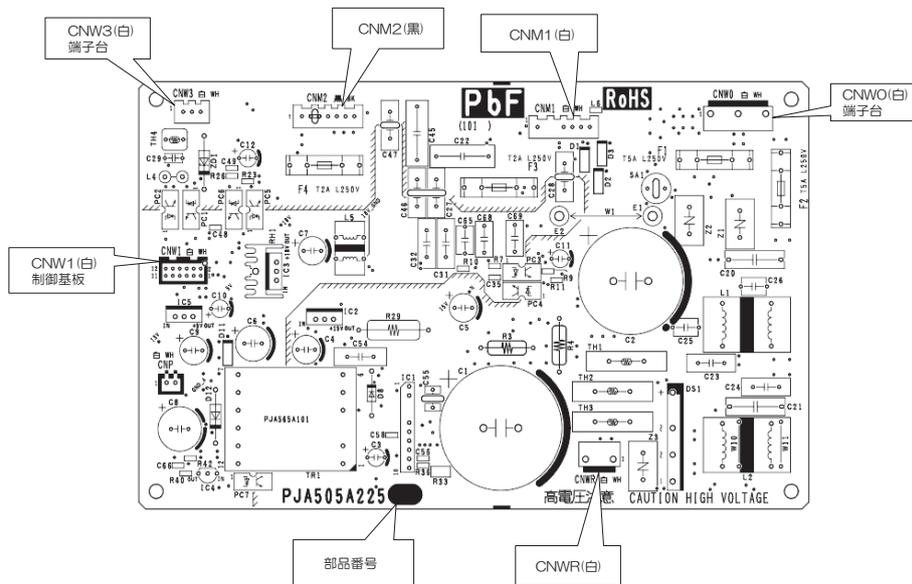


(ii) 電源基板

1) GRP224~564M1A

PSB012D993

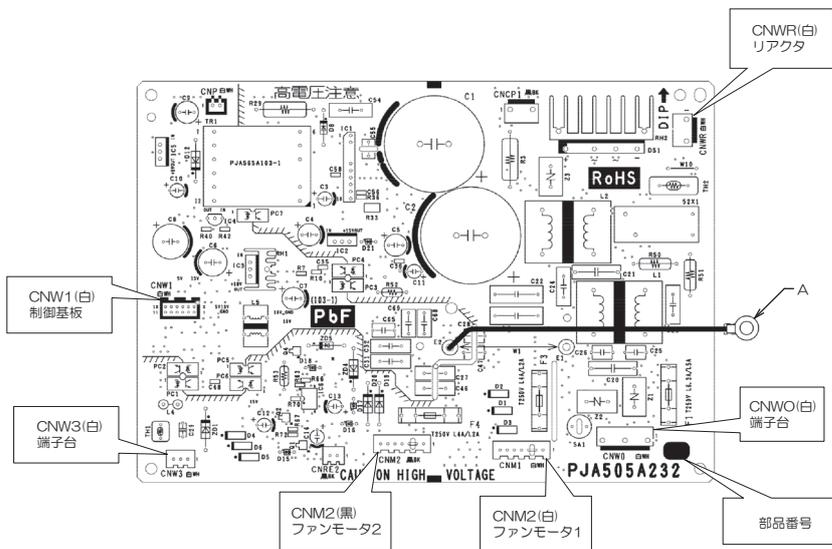
- a) 基板を交換してください。
- ① 端子台 (CNW0) に接続されている配線 (黄/緑) のBOXねじ止め部のねじを外してください。
  - ② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取り外した後、基板を交換してください。
  - ③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
  - ④ 基板へコネクタ接続してください。基板上的コネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。
  - ⑤ ①項で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。



2) GRP714~1404M1A, GUP454~1404M1A

PSC012D021

- a) 基板を交換してください。
- ① 基板に接続されているE2配線 (黄/緑) のねじ止め部のねじ (矢視A) を外してください。
  - ② 基板にコネクタ接続されている配線を全て取り外した後、基板を交換してください。
  - ③ 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
  - ④ 基板へコネクタ接続してください。基板上的コネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。
  - ⑤ ①項で外した配線を元の場所にねじ止めしてください (矢視A)。



## 4 据付編の目次

1. 据付用別売部品一覧 .....	4-2
2. 室内ユニットの据付 .....	4-3
3. 電気配線工事 .....	4-21
4. リモコンの取付 .....	4-29
5. リモコンによる機能設定 .....	4-34
6. リモコンによる操作要領 .....	4-51

# 1. 据付用別売部品一覧〔取扱先：三菱重工業(株)〕

## (1) 室内ユニット用

●天埋カセテリア (GR)

		22～56形	71～90形	112～140形
パネル	サイレントパネル	R-PNS-2AW	R-PNS-3AW	R-PNS-4AW
	キャンバスパネル	R-PNC-2AW	R-PNC-3AW	R-PNC-4AW
リモコン		RC-DX2		
ワイヤレスキット		RCND-KIT3		

## 2. 室内ユニットの据付

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。

電気配線（室内）は、電気配線工事説明書をご覧ください。リモコンの取付方法は、リモコン付属の説明書をご覧ください。ワイヤレスキットの取付方法は、ワイヤレスキット付属の説明書をご覧ください。

室外ユニットの据付方法、電気配線（室外）及び冷媒配管工事方法は、室外ユニットの付属の説明書をご覧ください。

また、故障診断は、室内ユニットの結線銘板をご覧ください。

### 安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**、に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。**⊘** 絶対に行わない **⚠** 必ず指示に従い行う
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法など）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書などをお渡しいただくよう依頼してください。

#### △警告

- |  |   |
|--|---|
| ●据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。<br>ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。                                      | ⚠ |
| ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。<br>据付けに不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災などの原因になります。   | ⚠ |
| ●小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13)<br>限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。   | ⚠ |
| ●設置工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する。<br>当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れ、火災、感電などの原因になります。  | ⚠ |
| ●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。<br>冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。  | ⚠ |
| ●据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。<br>強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、ケガの原因になります。  | ⚠ |
| ●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。<br>据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。   | ⚠ |
| ●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気などを入れない。<br>空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。                        | ⊘ |
| ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。<br>電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。            | ⚠ |
| ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。<br>接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。                                | ⚠ |
| ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。<br>カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災、感電などの原因になります。                          | ⚠ |
| ●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。<br>冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。                                 | ⚠ |
| ●配管、フレアナット、工具はR410A専用のもを使用する。<br>既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。                                | ⚠ |
| ●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締付ける。<br>フレアナットの締付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。  | ⚠ |
| ●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。<br>室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内機を腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。                     | ⊘ |
| ●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。<br>冷媒配管を取付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。       | ⚠ |
| ●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。<br>圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。 | ⚠ |
| ●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。<br>ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。                                  | ⚠ |
| ●改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。<br>修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。   | ⊘ |
| ●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。<br>据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。  | ⚠ |
| ●室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。<br>点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。                           | ⚠ |
| ●パネルやガードを外した状態で運転しない。<br>機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。   | ⊘ |
| ●元電源を切った後に電気工事を行う。<br>感電、故障や動作不良の原因になります。  | ⚠ |

## ⚠注意

- アース（接地）を確実に行う。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 ⚡
- 漏電遮断器は必ず取り付ける。  
漏電遮断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 !
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。  
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 !
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。  
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 ⊘
- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。  
万一ガスがユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。 ⊘
- 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。  
熱交の腐食、プラスチック部品の破損などの原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。 ⊘
- 工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。  
スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。 !
- 洗濯室など、水の掛かる所では使用しない。  
室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災などの原因になることがあります。 ⊘
- 食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。  
保存物の品質低下などの原因になることがあります。 ⊘
- 病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器、高周波の発生する機器の近くでは据付け、使用しない。  
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。 ⊘
- 直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。  
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。 ⊘
- 次の場所への据付けは避ける。  
・可燃性ガスの漏れる恐れがある所  
・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所  
・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場など）  
・高周波を発生する機械を使用する所  
・海浜地区等塩分の多い所  
・煙突の煙がかかる所  
・カーボン繊維や金属粉、パウダーなどが浮遊する所  
・車両・船舶等移動するものへの設置  
・化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所  
・積雪の多い所  
・標高1000m以上の所  
性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。 ⊘
- 次の場所への室内機の据付けは避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）  
・吸込口、吹出口に風の障害物がある所  
・強度が不十分で振動が発生する所  
・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所  
・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍）  
・ドレンの排水がとれない所  
性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。 ⊘
- エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。  
湿度が80%以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じることがあります。 ⊘
- 長期使用で傷んだままの据付け台を使用しない。  
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。 ⊘
- ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの進入を防止する。  
溶接作業時に発生するスパッタがユニットにあたった場合、ドレンパンなどに損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れなどの原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。 !
- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。  
不確実な場合、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。 !
- GHP（ガスヒートポンプ）の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。  
室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。 ⊘
- 冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れないことを確認してください。  
万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因となる場合があります。 !
- ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。  
試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。 ⊘
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。  
不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。 !
- 室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。  
小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。  
また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。 ⊘
- 製品の運搬は十分注意して行う。  
20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。  
素手でフィンなどに触れるとケガをすることがありますので保護具をご使用ください。 !
- 梱包材の処理は確実にを行う。  
梱包材にクギなどの金属あるいは、木片などを使用していますので放置状態にしますとケガをすることがあります。 !
- エアフィルタを必ず取付ける。  
内部に油・ゴミなどが詰まり、故障の原因になることがあります。 ⊘
- 濡れた手でスイッチを操作しない。  
感電の原因になることがあります。 ⊘
- 運転中の冷媒配管を素手で触れない。  
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。 ⊘
- エアコンを水洗いしない。  
感電の原因になることがあります。 ⊘
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。  
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 ⊘
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。  
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 ⊘

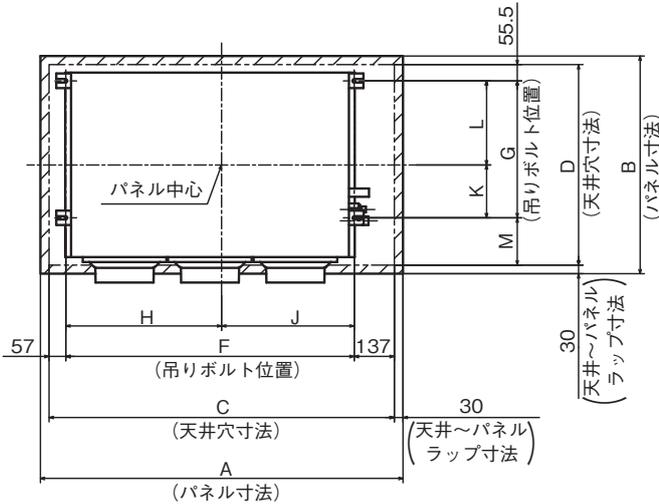


### ③据付け前の準備

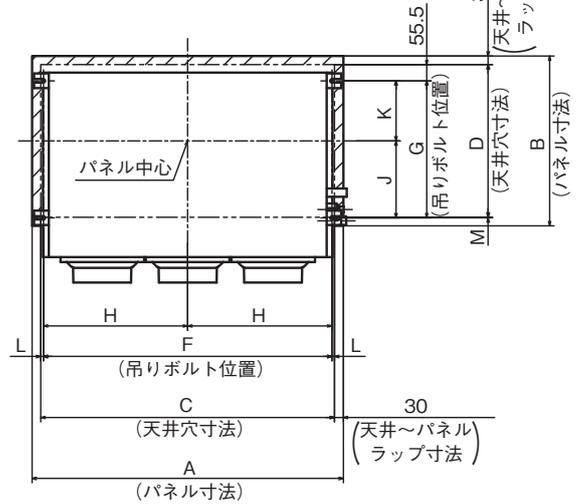
本内容を参照に最新設置基準に合わせ設置してください。

- 吊りボルトの長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
- システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合  
吊り長さ（吊りボルト長さ）500mm以上又は天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
- 強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合  
吊り長さ（吊りボルト長さ）1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
- 吊りボルト・ナット・バネ座金（M10）を4組現地に手配してください。

#### サイレントパネルと組み合わせの場合



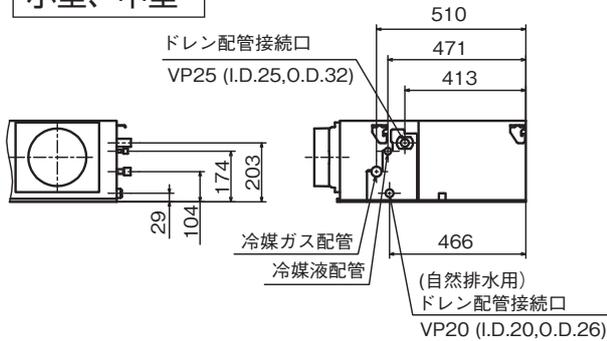
#### キャンバスパネルと組み合わせの場合



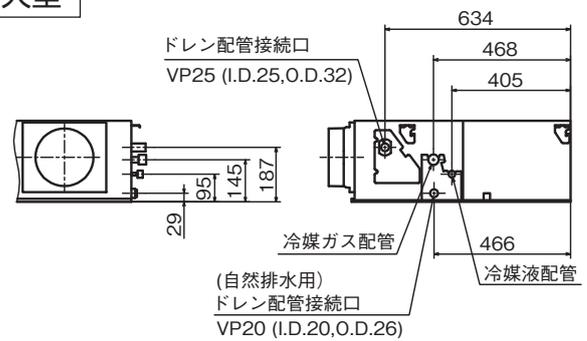
	A	B	C	D	F	G	H	J	K	L	M
小型	1040	750	980	690	786	472	433	353	182.5	289.5	162.5
中型	1240	750	1180	690	986	472	533	453	182.5	289.5	162.5
大型	1658	850	1598	790	1404	530	742	662	190.5	339.5	204.5

	A	B	C	D	F	G	H	J	K	L	M
小型	864	585	804	525	786	472	393	265	207	9	2.5
中型	1064	585	1004	525	986	472	493	265	207	9	2.5
大型	1484	585	1424	525	1404	530	702	323	207	10	60.5

#### 小型、中型



#### 大型

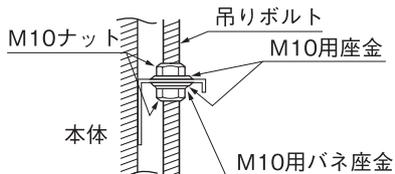


### ④室内ユニットの据付け

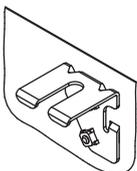
#### 据付

〈吊り込み〉

- ユニットを吊り込んでください。



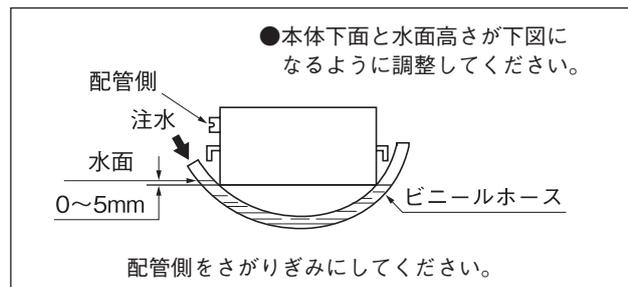
- 本体を据え付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。



#### 水平度の調整

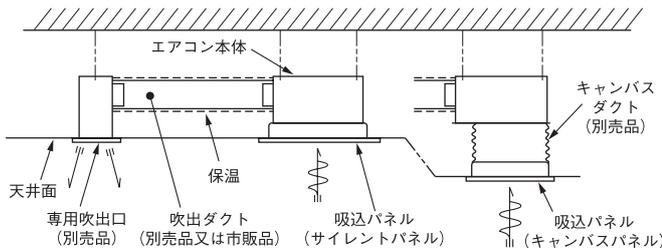
お願い

- 水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。



- 水平度がでていないとフロートスイッチの誤作動あるいは不動作の原因となります。

## ⑤ダクト工事



### お願い

○風量、機外静圧の計算を実施しダクトの長さ、形状、吹出口を選定してください。算出方法は、技術資料を参考にしてください。

#### ①吹出ダクト

- φ200円ダクトを接続してください。
- 各スポット間のダクト長さは、2対1以内としてください。
- ダクトは、最短長さとなるよう施工してください。
- 4スポットを3スポット、3スポットを2スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板を別売品として用意しています。中央いづれを塞いでください。
- 2スポットから1スポットへの改修は、行わないでください。

### お願い

●曲りは極力少なくしてください。(曲げRは極力大きくしてください。)

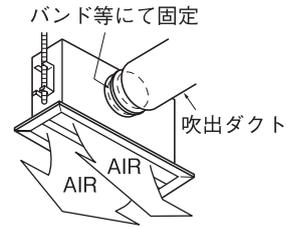


●本体・吹出口のダクトフランジとの接続は、バンドを締め固定してください。さらに固定部分に断熱材を貼り結露防止を行ってください。

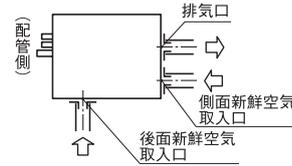
- 露付防止・吸音のため、吸音断熱付フレキシブルダクト使用を推奨いたします。(別売品 1 m、2 m、4 mがあります。)
- 天井貼付前にダクト工事を実施してください。

#### ②専用吹出口

- 専用吹出口は、室内全般に空気が流れるような所に据付けてください。
- ダクト接続は、φ200円形ダクト専用です。
- 専用吹出口の取付及びダクトとの接続は天井貼付前に行ってください。
- ダクト固定バンド部を断熱し、結露防止を行ってください。



#### ③給・排気ダクトの接続



#### ④新鮮空気取入

- 後面又は、側面のどちらか工事の容易な方の取入口を使用してください。
- 同時給排気を行う場合は、後面新鮮空気取入口を使用してください。(側面は使用不可)

#### ⑤排気 (必ず給気を併用してください。)

- 側面排気口を使用してください。

#### ⑥ダクト接続

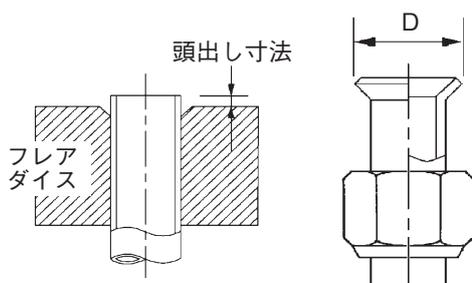
- 別売品の給排気用ダクトフランジ (φ125丸形ダクト接続用) を利用し、φ125丸形ダクトを接続してください(バンド締め)。
- ダクトは結露防止のため、保温してください。

## ⑥冷媒配管

### 冷媒配管時の注意事項

●冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの説明書又はカタログ・技術資料で確認すること。

1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品を使用すること。



配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット 締付けトルク N・m
		リジッド (クラッチ式)			
		R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ~ 0.5	0.7 ~ 1.3	8.9 ~ 9.1	14 ~ 18
9.52	0.8			12.8 ~ 13.2	32 ~ 42
12.7	0.8			16.2 ~ 16.6	49 ~ 61
15.88	1			19.3 ~ 19.7	68 ~ 72
19.05	1.2			23.6 ~ 24.0	100 ~ 120

2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R410A用のフレア加工をしてください。

●冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管 (C1220T、JIS H3300) をご使用ください。

また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等 (コンタミ) の付着がないことを確認してください。

冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。

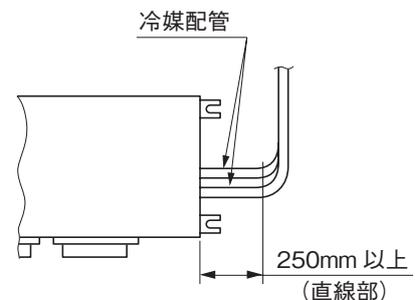
●R410A以外の冷媒は使用しないでください。

R410A以外 (R22など) の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。

●据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付けする直前までシールしてください。

冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。

●工具はR410A専用ツールを使用してください。

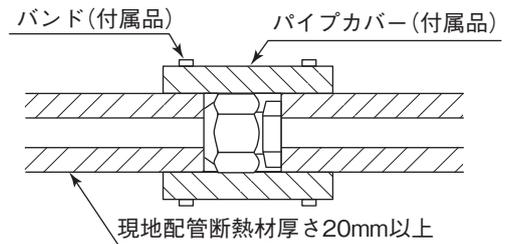


お願い  
冷媒配管工事は、上図のように直線部を250mm以上とって行ってください。(ドレンポンプのサービスに必要です。)

## ⑥冷媒配管のつづき

### 作業手順

- 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す。  
※ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。  
(このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。)  
●フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)
- 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。  
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。  
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。  
※フレア接続は、以下のように行ってください。  
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、2丁スパナ掛け(トルクレンチ使用)で締付けてください。
- 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、付属の継用手断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締付けてください。  
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。  
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
- 冷媒は室外ユニットに充填されています。  
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。



#### 注意

同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦係数が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。  
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

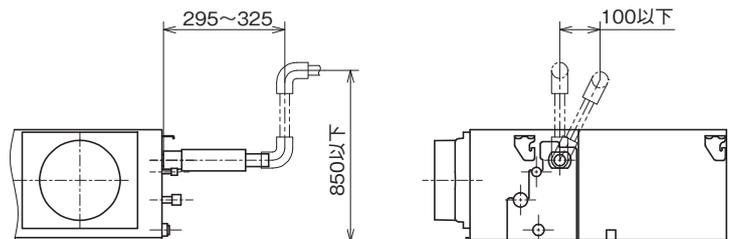
## ⑦ドレン配管

### ドレン配管時の注意事項

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。  
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
  - ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガス及び可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。  
室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
  - 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
  - 水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
  - 施工後、ドレンが排水されていることを、ユニットドレン口及びドレン配管最終出口部で確認してください。
  - ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。
- 試運転時にドレン排水が確実に行われていることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

### ドレンアップする場合

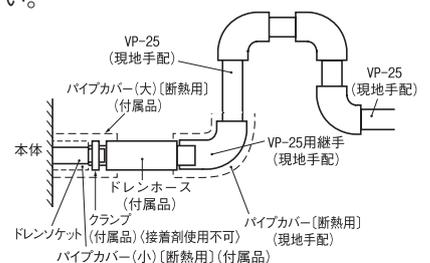
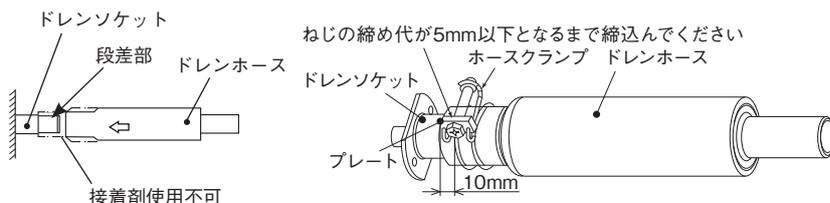
- ドレン配管の出口高さは、天井面より850mmまで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。



### 作業手順

- 付属のドレンホース(軟質塩ビ管)はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から10mm程度のところに取付け、ねじの締め代が5mm以下となるまで締込んでください。

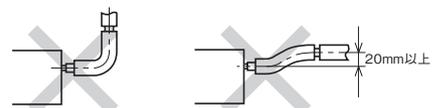
#### ●接着剤使用不可



- ドレンホース(硬質塩ビ管)に、VP-25用継手(現地手配)を接着・接続し、この継手に、VP-25(現地手配)を接着・接続してください。

※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管VP-25を使用してください。

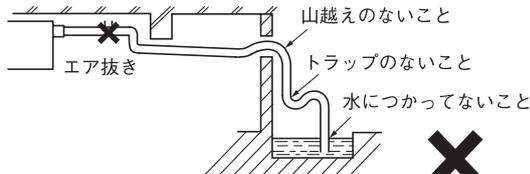
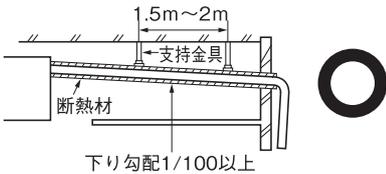
- 接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。  
乾燥後、フレキシブル部に力が加わった場合、フレキシブル部が破損することがあります。
- ドレンホースは、ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



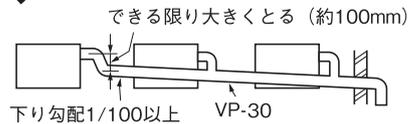
## ⑦ ドレン配管のつづき

3. ドレン配管は下り勾配 (1/100以上) とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。

- ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力加えないように注意して行い、できる限りユニット近傍で配管を固定してください。
- エア抜きは絶対に設けないでください。



- 複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約100mm下に集合配管がくるようにしてください。また集合配管はVP-30以上を使用してください。



4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。

- 結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。
- ※ ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー (小) をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー (大) にてパイプカバー (小)、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

### ドレン排水テスト

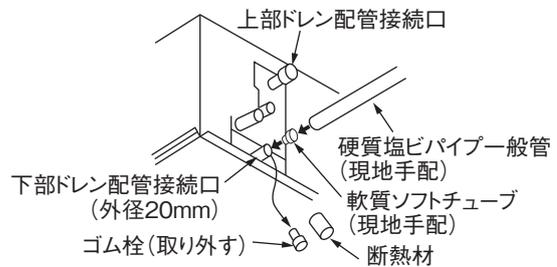
- ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部およびユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
- 暖房期の据え付けの際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。

1. 右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約1000ccほどの水を注入してください。注水ホースを50mm位差し込んで注水してください。(注水ホースは必ず下向きに差し込んでください。)
2. ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。※ ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
3. 排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。

グロメットをはずす。テスト後は、必ずはめておいてください。

### 下部ドレン配管工事要領 (配管接続)

ドレン配管に下り勾配 (1/50~1/100) が可能な場合下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



下部ドレン配管時に必ず必要です  
(ドレンモータ用のコネクタの取外し)

下図に示すようにドレンモータ用コネクタをコントロールボックス内のドレンモータ用コネクタCNRを取外してください。

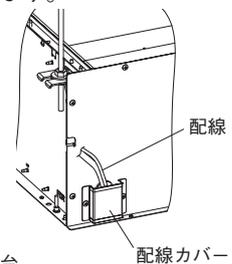
注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。

## ⑧ 電気配線取出し位置および電気配線接続

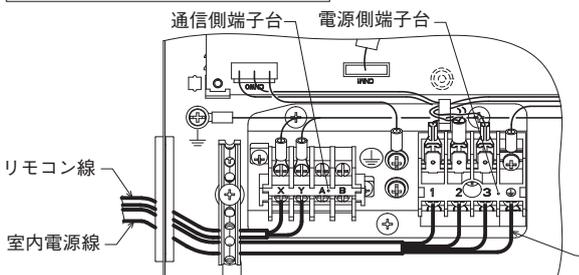
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
- 電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1. 電装箱の蓋 (ねじ2本) を取外してください。
2. 各配線をユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板を参照ください。
3. 各配線をクランプで固定してください。
4. 取外した部品を元通りに取付けて

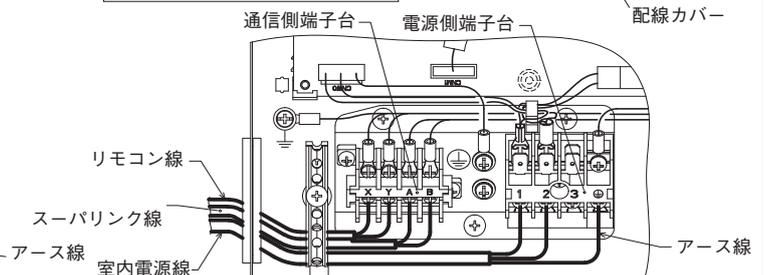
- 天井裏空気の吸込防止で配線カバーを取付けください。



### シングル機の配線接続



### マルチ機の配線接続



\* 配線を引張っても動かないようにバンドで固定してください。

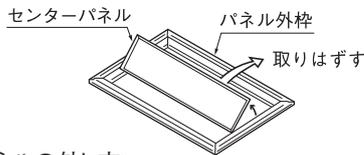
## ⑨ パネルの取付

### サイレントパネルの場合

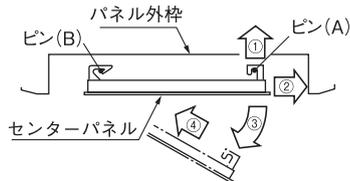
#### <付属品>

丸小ねじ (M5×35)		4個	パネル取付用
--------------	---	----	--------

① パネル内枠を外してください。

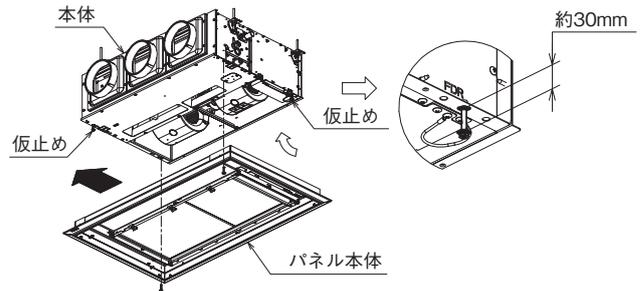


#### <センターパネルの外し方>



- ① 矢印①→②順でピン(A)より外してください。
- ② 矢印③のようにすこし開き矢印④の方向へ移動させてピン(B)より外してください。

- ② フィルタをパネルから外してください。
- ③ パネル外枠を本体に取付けてください。



- ④ パネル取付けねじ (パネル付属品) 4本のうち2本を図のように仮止めしてください。
- ⑤ パネル外枠を仮止めたねじに引っ掛け、図の矢印の方向へスライドさせ仮止めしてください。  
(注: パネル外枠の装着には方向性があります。)
- ⑥ 仮止めたねじ及び残りのねじ (2本) を締付けてください。
- ⑦ センターパネルを①項で外す逆の要領で取付けてください。  
(注: 4-11ページをご覧ください。)

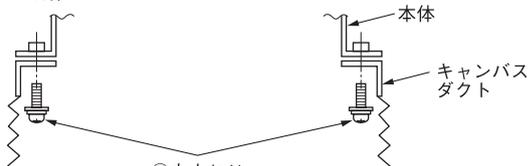
### キャンバスパネルの場合

注) キャンバスパネルの取付けには  
キャンバスダクト (別売品) が必要です。

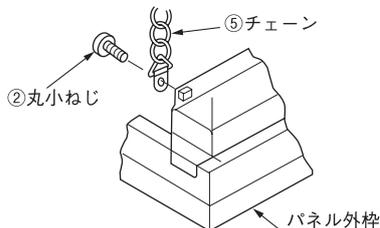
#### <付属品>

①	丸小ねじ (M4×16)		4個	パネル固定
②	丸小ねじ (M5×16)		8個	キャンバスダクト固定 チェーン固定
③	丸小ねじ (M5×25)		4個	チェーン固定
④	ホルダー		4個	
⑤	チェーン		4個	

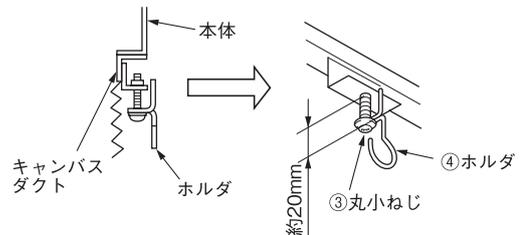
① キャンバスダクト (別売品) を本体に取付けてください。  
(4ヶ所)



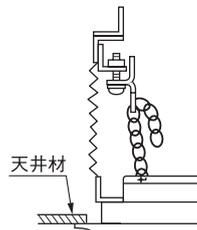
- ② センターパネルを上項に示す、サイレントパネルの場合と同じ要領で取外してください。
- ③ パネル外枠にチェーンを取付けてください。(4ヶ所)



- ④ パネル外枠を取付けてください。  
⑤ ホルダを下図に示すように仮止めしてください。

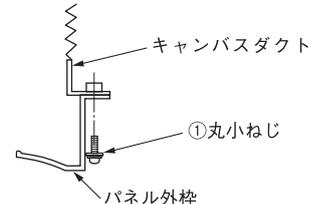


- ⑥ パネル外枠のチェーンをホルダに引っかけてください。



注) チェーンを引っかける際は、パネル外枠を天井材にできるだけ密着させた状態でチェーンにたるみのないように行ってください。

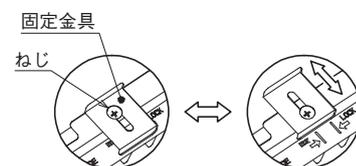
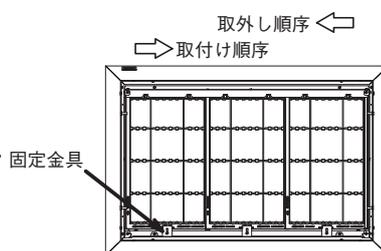
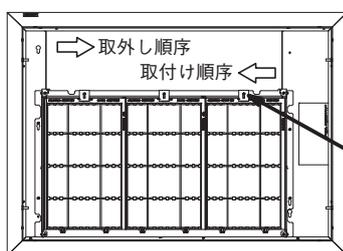
- ⑦ パネル外枠を天井材と密着するまで⑥項の③丸小ねじにより吊上げてください。
- ⑧ キャンバスダクトとパネル外枠をねじ止めしてください。



- ⑨ センターパネルを上項に示すサイレントパネルの場合と同じ要領で取付けてください。  
(注: 4-11ページをご覧ください。)

### フィルタの取付け方法

- パネルに貼付けのラベルを参照に取外し、取付の順番を確認してください。
- フィルタを取外し・取付は、ねじを緩め固定金具をスライドして行ってください。

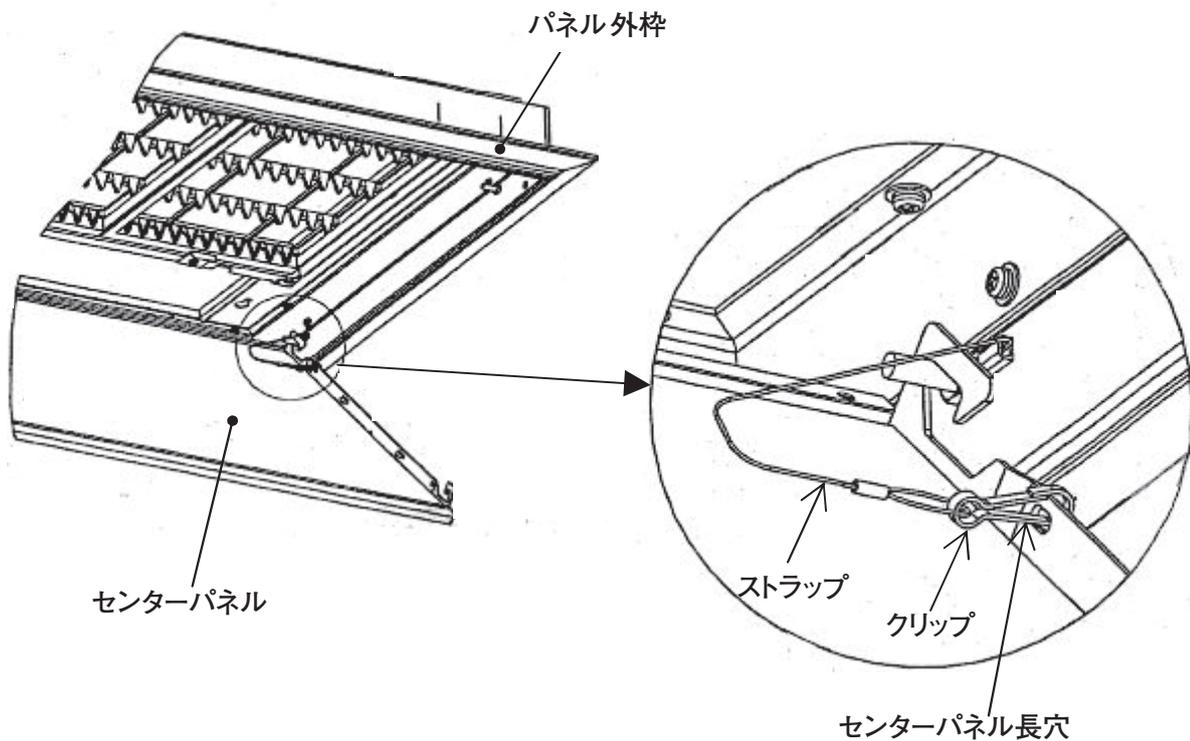


## パネル取付け時の注意点

センターパネルの落下防止のため、センターパネル取付け後、パネル外枠に取り付けられているストラップのクリップをセンターパネル長穴にはめてください。

クリップがパネル外枠に当たり、傷つく恐れがあるため、センターパネルを閉じる際、ストラップやクリップは図のようパネル内側を向くようにしてください。

(パネルの取付け作業については、据付説明書をご覧ください。)



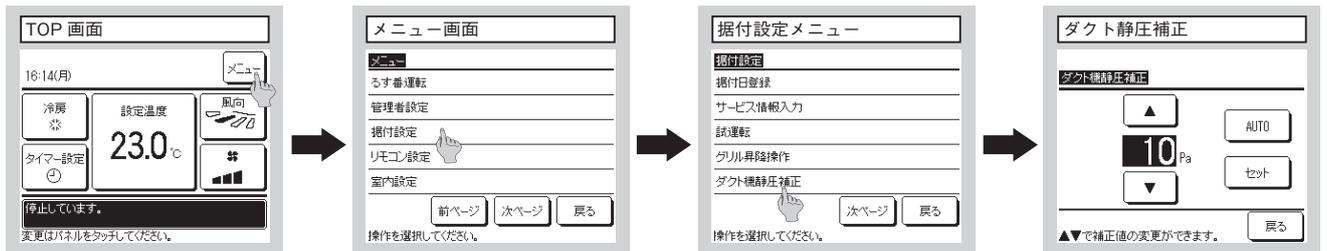
## ⑩機外静圧設定

ECOタッチリモコン（RC-DX2以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。  
 定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。  
 店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

### ●ECOタッチリモコンからの設定方法

- ①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
- ②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
- ③“▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。  
 (“AUTO”を選択した場合には、100Paで設定されます。)

詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。  
 風量特性については、技術資料を参照ください。



[メニュー] ボタンをタッチしてください。

[据付設定] ボタンをタッチしてください。

選択した画面に移ります。

機外静圧を選択し、[セット]をタッチしてください。

### 注意

- ・RC-DX2以降のECOタッチリモコン以外からは設定できません。

### 静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。

実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

リモコン設定時の有効機外静圧 (Pa) / 部の設定は使用範囲外になります。

リモコン設定		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
標準パネル		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
天井リターン	小型	15	25	35	45	55	65	75	85	95	/
	中型・大型	20	30	40	50	60	70	80	90	100	/
1スポット塞ぎ	中型	/	/	10	20	30	40	50	60	70	80
	大型	/	10	20	30	40	50	60	70	80	90

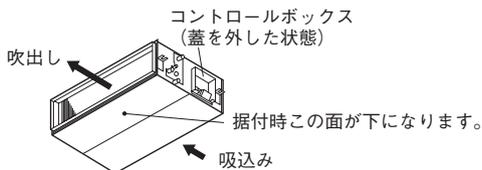
## ⑪ユニット据付工事完了後のチェック項目

●ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	
機外静圧設定は完了していますか。	水漏れ、冷えない	

## (2) 高静圧ダクト形 (GU)

○本機は高静圧ダクト機です。  
直吹きでは使用しないでください。



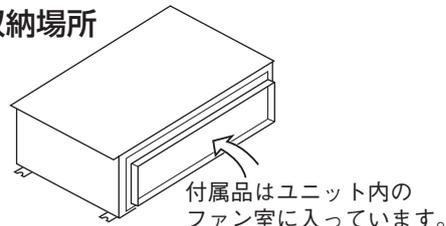
PJG012D005A

### ①据付けのまえに

- 据付はこの据付け説明書に従って正しく行ってください。
- 次の項目を確認してください。

○機種・電源仕様      ○配管・配線・小物部品      ○付属品

付属品収納場所  
(梱包時)



#### 付属品

本体吊り込み用	冷媒配管用			ドレン配管用			
平座金 (M10)	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	ドレンホース	ホースクランプ
8 個	1 個	1 個	4 本	1 個	1 個	1 個	1 個
ユニット吊下げ用	ガス管断熱用	液管断熱用	パイプカバー固定用	ドレンソケット断熱用	ドレンソケット断熱用	ドレン配管接続用	ドレンホース取付用

### ②室内ユニットの据付場所の選定

- ①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
- ・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
  - ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
  - ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
  - ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
  - ・侵入外気の影響のない所。
  - ・直射日光の当たらない所。
  - ・周囲の露点温度が28℃以下、相対湿度80%以下の所。
- 〔本ユニットは JIS 露点条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度・曇り気の状態で運転すると水滴が落下する恐れがあります。そのような条件下で使用できる可能性がある場合は、ユニット本体の全ておよび配管、ドレン配管にさらに10～20mmの断熱材を取付けてください。〕
- ・テレビ、ラジオより1m以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
  - ・ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
  - ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
  - ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接吸込まない所。
  - ・蛍光灯、白熱灯よりできるだけ離れた所。(ワイヤレス機種の場合、ワイヤレスリモコンでの正常な操作ができなくなることがあります。)
- ②据付けようとする場所がユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、ユニット落下によるケガの原因になります。

#### 室内ユニット据付スペース

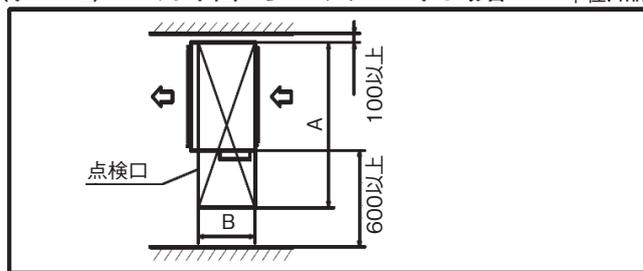
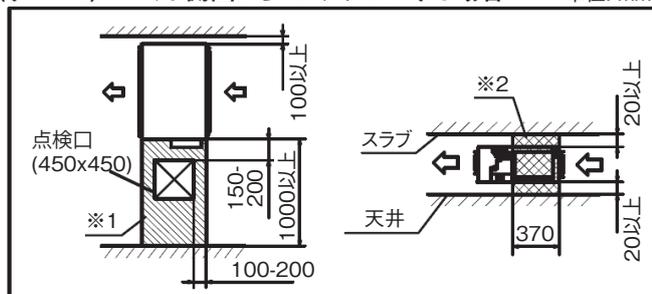
●据付高さは2.5m以上としてください。据付時、サービス時のために下記2ケースのどちらかを選んでください。

(ケース1) ユニット側面からメンテナンスする場合

単位: mm

(ケース2) ユニット下面からメンテナンスする場合

単位: mm



- ※1 ファンモータを側面へ引き出す構造となっております。障害になるものを設置しないでください。(印箇所)
- ※2 印箇所を横切らないように冷媒配管、ドレン配管、電気配線を設定してください。

(点検口サイズ)

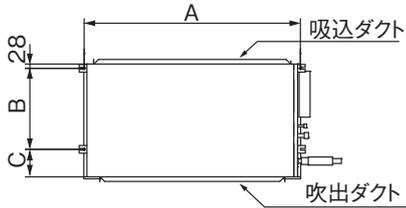
単位: mm

店舗VXPシリーズ	50, 56	63-80	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22-56	71-90	112-160
A	1100	1300	1720
B	620	725	

### ③据付け前の準備

- 吊りボルトの長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
  - システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合  
吊り長さ（吊りボルト長さ）500mm以上又は天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
  - 強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合  
吊り長さ（吊りボルト長さ）1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
- 吊りボルト・ナット・バネ座金（M10）を4組現地にて手配してください。

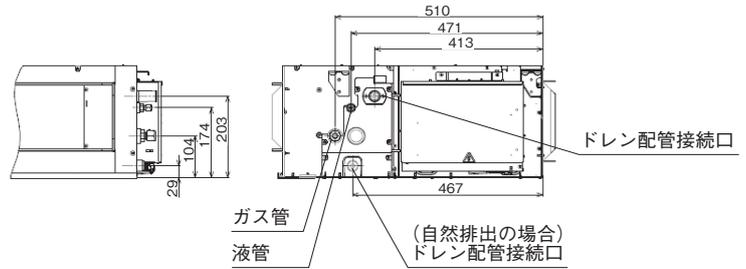
#### 吊りボルト位置、配管位置、ダクト寸法



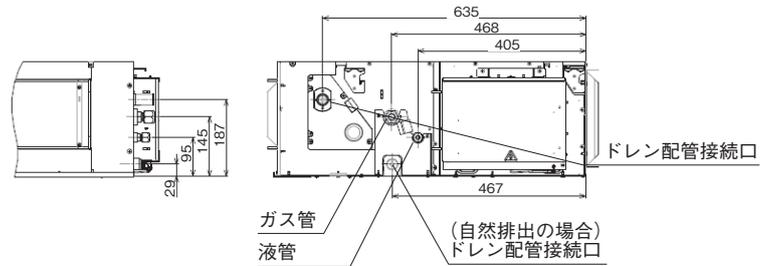
単位: mm

店舗VXPシリーズ	50,56	63-80	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22-56	71, 90	112-160
A	786	986	1404
B	472	472	530
C	135	135	180

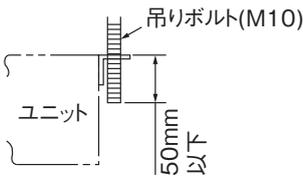
店舗VXPシリーズ	50-80
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22-90



店舗VXPシリーズ	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	112-160



吊りボルト締め付け時には下記長さになるように調整してください。

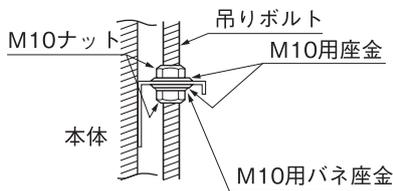


### ④室内ユニットの据付け

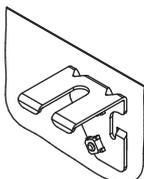
#### 据付

〈吊り込み〉

- ユニットを吊り込んでください。



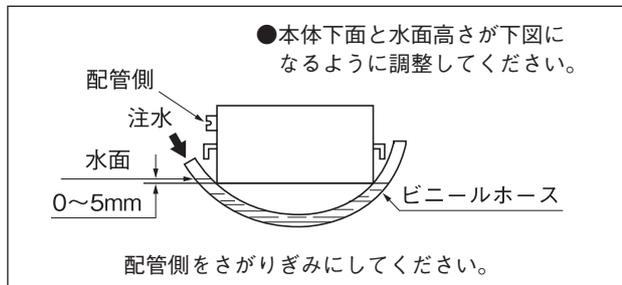
- 本体を据え付けたとき、本体と天井穴の寸法が出ないときは、据付金具が長穴になっていますので調整してください。



#### 水平度の調整

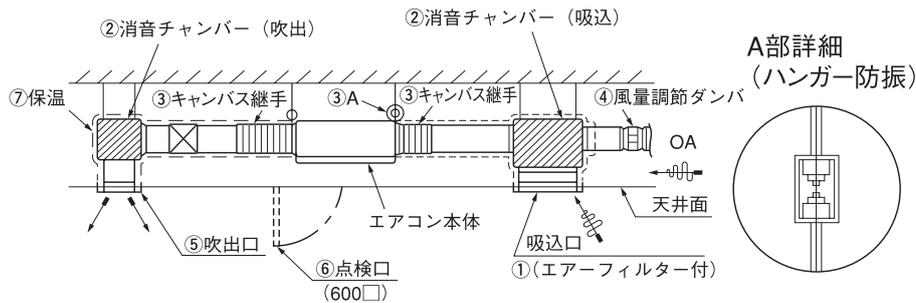
お願い

- 水準器を使用するか、下記の要領で水平度の調整を行ってください。



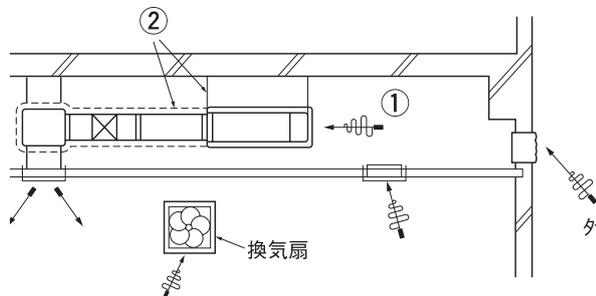
- 水平度がでていないとフロートスイッチの誤作動あるいは不動作の原因となります。

## ⑤ダクト工事



- ① エアコン本体にはエアフィルタが付属されていません。掃除の容易な吸込グリルにエアフィルタを組込んでください。または、吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。
- ② 消音チャンバーは据付ける室内の許容される騒音値によって取付けてください。特に低騒音とする必要がある場合は、さらに消音装置が必要です。(事務所、会議室などでは必ず取付けること)
- ③ エアコン本体の振動が天井およびスラブに伝わらないようにダクトはキャンパス継手、エアコン本体は防振ゴムにより防振してください。
- ④ OAダクトの接続口には、据付け後の風量調節ができるよう、風量調節ダンパを取付けてください。
- ⑤ 吹出口は室内全般に空気が流れるように位置、形状を選びさらに風量が調節出来る構造のものを使用してください。
- ⑥ 天井面に点検口を必ず設けてください。電装品、モータ、機能品のサービス、熱交換器洗浄のために必要です。
- ⑦ ダクトの保温施工は必ず実施し、ダクトへの結露を防止してください。保温材の厚さは65mm (JIS A 9501) です。
- ⑧ 送風機 (ファンモータ) に手が触れないようにダクトを接続してください。ただし、吸込側を直吸込みで使用する場合は吸込口にエアフィルタを取付けてください。

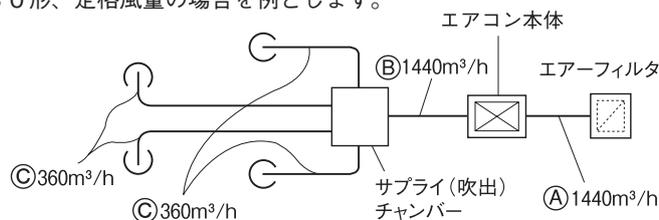
### 〈ダクト施工の悪い例〉



- ① 吸込側ダクトを使用せず、天井内を吸込ダクトにすると換気扇の能力や外気ガラリに吹きつける風の強さ、天候 (雨の日など) 等により天井内が高湿度となります。
  - (イ) ユニットの外板に結露し天井に滴下するおそれがあります。ユニットは上表の空気条件及び風量限界内で使用してください。コンクリート建築などで新築の場合も天井内ダクトにしなくても湿度が高くなる場合があります。この場合はユニット全体をグラスウール (25mm) で保温してください。(金あみなどでグラスウールをおさえてください。)
  - (ロ) ユニットの運転限界 (例: 外温 35°C DB のとき吸込空気温度 24°C WB) をこえる場合も考えられ、圧縮機のオーバーロードなどのトラブルの原因となります。
  - (ハ) 換気扇の能力、外気ガラリに吹きつける風の強さによってユニットの送風量が多くなり使用制限をこえてしまうため熱交換器のドレンがドレンパンへ流れず、外部に流れだすこともあり、(天井にドレンが滴下する) 水漏れの原因となります。
- ② ユニットの振動が天井とスラブの防振をしないとダクトに振動が伝わり、天井と吹出口の間で振動音が出たり、スラブにユニットの振動が伝わる場合があります。必ず防振してください。

### 〈簡易的なダクト寸法の決め方〉

ダクトの単位長さ当り摩擦抵抗を 1Pa/m として、ダクトは一边が吸込側は 170mm、吹出側は 200mm のものを使用する場合の方法を示します。80形、定格風量の場合を例とします。



	風量	ダクト (mm×mm)
①部	1440m³/h (24m³/min)	200×440
②部	1440m³/h (24m³/min)	170×540
③部	360m³/h (6m³/min)	170×180

### 〈空気条件、風量限界〉

店舗VXPシリーズ	50, 56	63-80	112-160
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22-56	71-90	112-160
最大風量 (m³/min)	17	30	58
室内側入口空気	乾球温度 (°C)	32	
	湿球温度 (°C)	29	

### 〈簡易ダクト寸法選定図〉

ダクトの形	1Pa/m	
	□角ダクト	
項目	寸法	
風量	(mm×mm)	
m³/h (m³/min)		
100	200×70	170×80
200	200×100	170×120
300	200×140	170×150
360 (6)	200×150	170×180
450	200×180	170×210
500	200×200	170×230
600 (10)	200×220	170×260
800	200×280	170×340
1000	200×330	170×400
1200 (20)	200×380	170×460
1400	200×430	170×530
1440 (24)	200×440	170×540
1600	200×480	170×600
1800 (30)	200×530	170×660
2000	200×580	170×720
2400 (40)	200×680	170×850
3000 (50)	200×830	170×1040

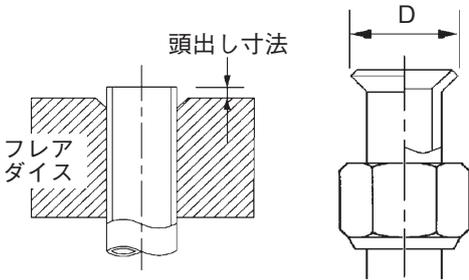
○ダクト抵抗の計算 (簡便的に下表の如く計算する)

直管部	長さ 1m 当り 1Pa で計算する 1Pa/m
曲り部	曲り部 1ヶ当り 直管に直して 3~4m とする
吹出部	25Pa で計算する
チャンバー	1個で 50Pa で計算する
吸込グリル (フィルタ付)	1個で 40Pa で計算する

## ⑥冷媒配管

### 冷媒配管時の注意事項

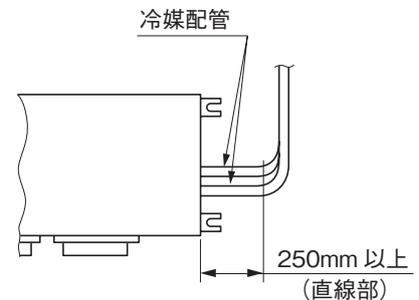
- 冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの説明書又はカタログ・技術資料で確認すること。
- 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品を使用すること。



配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアナット 締付けトルク N·m
		R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ~ 0.5	0.7 ~ 1.3	8.9 ~ 9.1	14 ~ 18
9.52	0.8			12.8 ~ 13.2	32 ~ 42
12.7	0.8			16.2 ~ 16.6	49 ~ 61
15.88	1			19.3 ~ 19.7	68 ~ 72
19.05	1.2			23.6 ~ 24.0	100 ~ 120

- 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R410A 用のフレア加工をしてください。

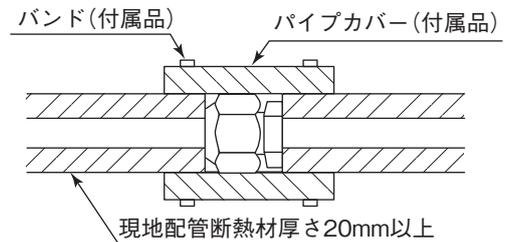
- 冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管 (C 1 2 2 0 T、J I S H 3 3 0 0) をご使用ください。また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等 (コンタミ) の付着がないことを確認してください。冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
- R 4 1 0 A 以外の冷媒は使用しないでください。R 4 1 0 A 以外 (R 2 2 など) の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付けする直前までシールしてください。冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- 工具は R 4 1 0 A 専用ツールを使用してください。



お願い  
冷媒配管工事は、上図のように直線部を250mm以上とって行ってください。(ドレンポンプのサービスに必要です。)

### 作業手順

1. 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す。  
※ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けて外してください。  
(このときガスが出るかもしれませんが、異常ではありません。)
- フレアナット飛びに注意してください。(内部に圧力がかかっている場合があります。)
2. 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。  
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。  
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。  
※フレア接続は、以下のように行ってください。  
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3~4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで上表の締付力で締めてください。
3. 室内ユニットのフレア部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締付けてください。  
●ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。  
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
4. 冷媒は室外ユニットに充填されています。  
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。



注意  
同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。

## ⑦ ドレン配管

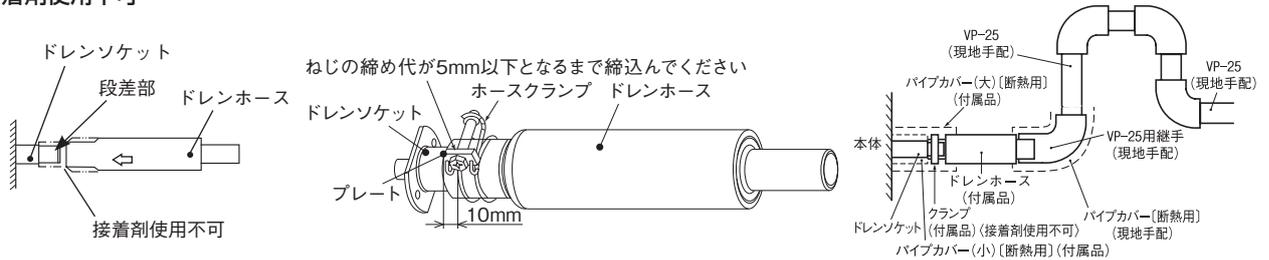
### ドレン配管時の注意事項

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。  
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ドレン配管はイオウ系ガスなど有害ガス及び可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。  
室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
- 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- 水漏れが起らないように、断熱工事を確実に行ってください。
- 施工後、ドレンが排水されていることを、ユニットドレン口及びドレン配管最終出口部で確認してください。
- ドレン配管は下り勾配 (1/100 以上) とし、途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けないでください。  
試運転時にドレン排水が確実に稼働していることを確認してください。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

### 作業手順

1. 付属のドレンホース (軟質塩ビ管) はソケット段差部まで確実に挿入してください。ホースクランプは、ホース先端部から 10mm 程度のところに取付け、ねじの締め代が 5mm 以下となるまで締込んでください。

#### ●接着剤使用不可



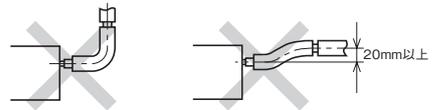
2. ドレンホース (硬質塩ビ管) に、VP-25 用継手 (現地手配) を接着・接続し、この継手に、VP-25 (現地手配) を接着・接続してください。

※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般管 VP-25 を使用してください。

#### ●接着剤は付属のドレンホース内部に流れ込まないようにしてください。

乾燥後、フレキシ部に力が加わった場合、フレキシ部が破損することがあります。

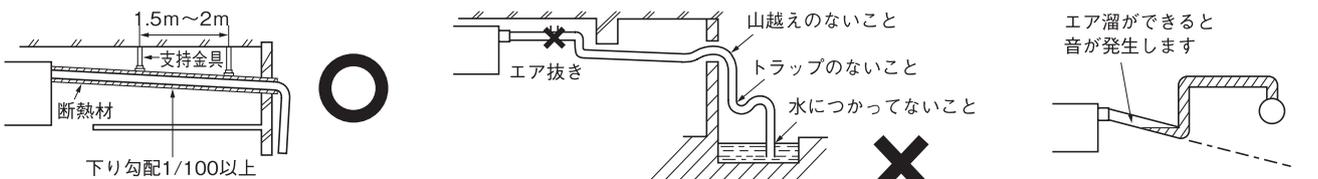
- ドレンホースは、ユニットあるいはドレン配管の据付時の微小なズレを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っ張って使用された場合は、破損し、水漏れに至ることがあります。



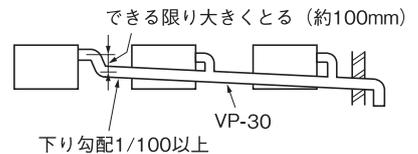
3. ドレン配管は下り勾配 (1/100 以上) とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。

- ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力が加えないように注意して行い、できる限りユニット近傍で配管を固定してください。

#### ●エア抜きは絶対に設けないでください。



- 複数台のドレン配管の場合、本体ドレン出口より約 100 mm 下に集合配管がぐるぐるとしてしてください。また集合配管は VP-30 以上を使用してください。



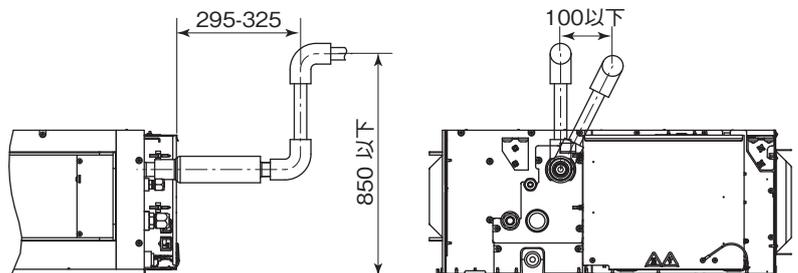
4. ドレン配管の断熱施工を行ってください。

- 結露が発生し、水漏れをおこすおそれがありますので、ドレンソケット部および室内にある硬質塩ビパイプは確実に断熱してください。

※ドレンソケット部は、排水テスト実施後、付属のパイプカバー (小) をドレンソケット部に装着した後、付属のパイプカバー (大) にてパイプカバー (小)、クランプおよびドレンホースの一部を覆い、テープにより隙間のないように巻いてください。

### ドレンアップする場合

- ドレン配管の出口高さは、天井面より 850 mm まで高くすることができます。天井内に障害物などがある場合、エルボなどを用いて施工してください。この場合、ドレン配管を立ち上げるまでの距離が長いと、運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローすることがありますので、右図寸法内で処理願います。

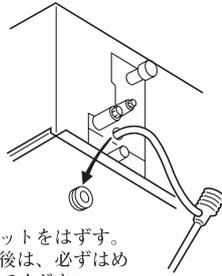


## ⑦ ドレン配管のつづき

### ドレン排水テスト

- ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていること、接続部およびユニットのドレンパン部からの水漏れのないことを確認してください。
- 暖房期の据え付けの際にも必ず実施してください。
- 新築の場合には天井を張る前に実施してください。

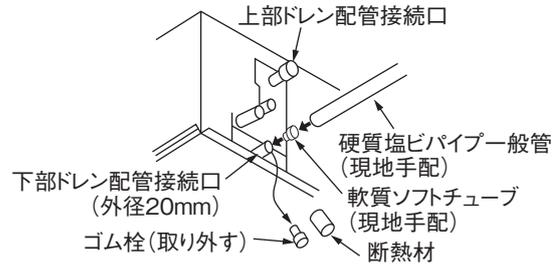
1. 右図要領にて給水ポンプなどを使用して、本体ドレンパンの中へ約1000ccほどの水を注入してください。注水ホースを50mm位差し込んで注水してください。(注水ホースは必ず下向きに差し込んでください。)
2. ドレン排水しているか排水口部でご確認ください。  
※ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかテストしてください。
3. 排水テスト後は、本体部まで配管の断熱をしてください。



グロメットをはずす。  
テスト後は、必ずはめておいてください。

### 下部ドレン配管工事要領 [配管接続]

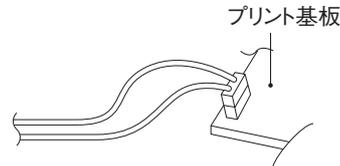
ドレン配管に下り勾配 (1/50~1/100) が可能な場合 下図要領にて下部ドレン配管接続が可能です。



#### 下部ドレン配管時に必ず必要です (ドレンモータ用のコネクタの取り外し)

下図に示すようにドレンモータ用コネクタをコントロールボックス内のドレンモータ用コネクタCNRを取り外してください。

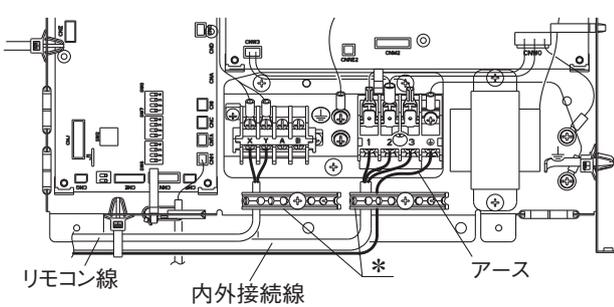
(注：コネクタを接続したままで使用すると、上部ドレン配管接続口よりドレン水が排出され水漏れとなります。)



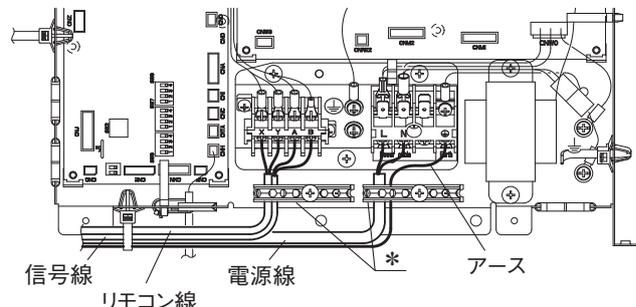
## ⑧ 電気配線取出し位置および電気配線接続

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
- 電源配線と通信配線は同一経路を通さないようにしてください。誤動作や故障の原因になることがあります。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。

1. 電装箱の蓋 (ねじ2本) を取外してください。
2. 各配線をユニット内に入れ、端子台に確実に接続してください。  
コントロールボックスの蓋に貼付の結線銘板を参照ください。
3. 各配線をクランプで固定してください。
4. 取外した部品を元通りに取付けてください。



シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続

\*配線を引張っても動かないようにバンドで固定してください。

## ⑨ 機外静圧設定

ECOタッチリモコン（RC-DX2以降）を使用し、機外静圧を設定することができます。

定格風量になるように各タップのファン回転数を変化させます。

店舗シリーズをツイン機として設定する場合は、室内ユニット同士が同一風量になるように個々に設定してください。

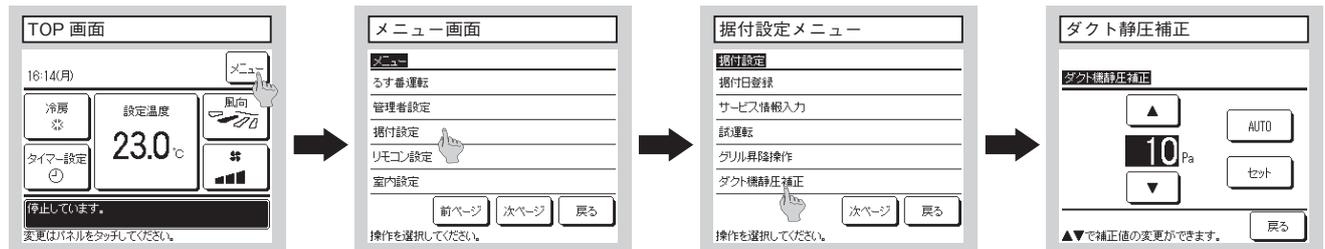
### ● ECOタッチリモコンからの設定方法

- ①メニュー画面より据付設定を選択し、サービスパスワードを入力します。
- ②据付設定メニューより、ダクト機静圧補正を選択します。
- ③“▲”、“▼”で機外静圧を設定し、“セット”をタッチしてください。

（“AUTO”を選択した場合には、150Paで設定されます。）

詳細な設定方法については、ECOタッチリモコン付属の据付説明書を参照ください。

風量特性については、技術資料を参照ください。



[メニュー] ボタンをタッチしてください。

[据付設定] ボタンをタッチしてください。

選択した画面に移ります。

機外静圧を選択し、[セット]をタッチしてください。

### 注意

- ・RC-DX2以降のECOタッチリモコン以外からは設定できません。

### 静圧設定上の注意

実際の機外静圧を計算し、設定してください。

実際の機外静圧よりも機外静圧設定が高い場合には風量が過大となり、水漏れが発生する恐れがあります。また、実際の機外静圧よりも機外静圧設定が低い場合には風量が過小となり、不冷・不暖の原因になります。

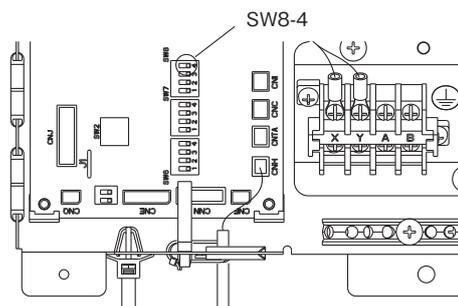
工場出荷状態では上記のリスクを減らすため、機外静圧設定範囲を80-150Paとしております。

実際の機外静圧は80-150Paの範囲で使用してください。実際の機外静圧が80Paより低い場合には水漏れとなる恐れがあります。

（機外静圧設定を10～70Paで設定した場合、機外静圧設定は80Paとなります。

機外静圧設定を160～200Paで設定した場合、機外静圧設定は150Paとなります。）

また、コントローラのSW8-4をONにすることにより、機外静圧設定範囲を10-200Paに変更することが可能です。但し、上記リスクが高くなるため、実際の機外静圧を把握してない場合には使用しないでください。



SW8-4:OFF（機外静圧設定範囲：80～150Pa）



SW8-4:ON（機外静圧設定範囲：10～200Pa）

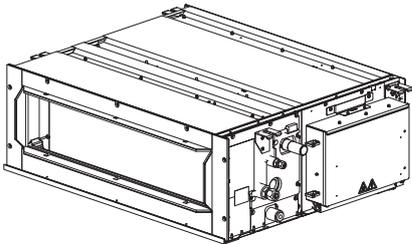
## ⑩丸ダクト変換キット使用時の静圧設定について

丸ダクト変換キット(オプション)を使用する場合、工場出荷時の機内圧損に対して増加します。その為、機外静圧設定時には下表に従って設定してください。

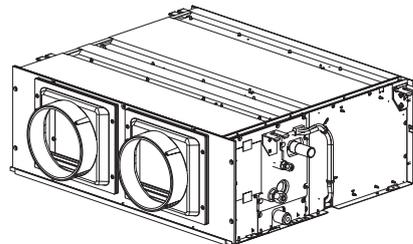
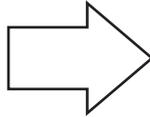
例えば、80形の場合、機外静圧を100Paにする場合には、下表に従って機外静圧設定を110Paにしてください。

### 注意

- ・機外静圧設定範囲は10-100Paとなります。10-100Paの内で設定してください。
- ・⑨機外静圧設定に示すSW8-4をONにして使用ください。
- ・実際の機外静圧と設定する機外静圧設定が一致することを確認してください。異なっていると水漏れや不冷・不暖の原因になります。



工事出荷時



丸ダクト変換キット  
装着時

### 丸ダクト変換キット使用時の機外静圧設定 対応表

店舗 VXP シリーズ	—	50,56	63	71-80	112	140	160	
ビル空調、ガスヒートポンプシリーズ	22	28-56	—	71-90	112	140	160	
オプション型式	U-UM-1A	U-UM-2A	U-UM-3A		U-UM-4A			
設定する機外静圧 (Pa)	10	20	30	10	20	20	30	40
	20	30	40	20	30	30	40	50
	30	40	50	30	40	40	50	60
	40	50	60	50	50	50	60	70
	50	70	70	60	60	60	70	80
	60	80	80	70	70	70	80	90
	70	90	90	90	80	80	90	100
	80	100	100	100	90	90	110	110
	90	120	110	110	100	100	120	130
	100	130	120	120	110	110	130	140

## ⑪ユニット据付工事完了後のチェック項目

●ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様通りですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	
機外静圧設定は完了していますか。	水漏れ、冷えない	

# 3. 電気配線工事

PSB012D998A

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

## 安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。  
**安全のため必ずお守りください。**
- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「**図記号**」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「**△警告**」「**△注意**」の意味

<b>△警告</b>	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
<b>△注意</b>	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ここで使われる「**図記号**」の意味は右のとおりです。 絶対に行わない 必ず指示に従い行う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

### △警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。  
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。  
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。  
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。  
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。  
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

### △注意

- アース（接地）を確実に行う。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。  
漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。  
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。  
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。  
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。  
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。  
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。  
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。  
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

## 制御の切換

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容
SW1	室内アドレス(10位)
SW2	室内アドレス(1位)
SW3	室外アドレス(10位)
SW4	室外アドレス(1位)
SW5-1	ON 旧SL通信仕様固定
(注1) SW5-1	OFF 新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW5-2	室内アドレス(100位)
SW6-1~4	機種容量
SW7-1	ON 運転チェックドレンポンプ運転試
	OFF 通常運転

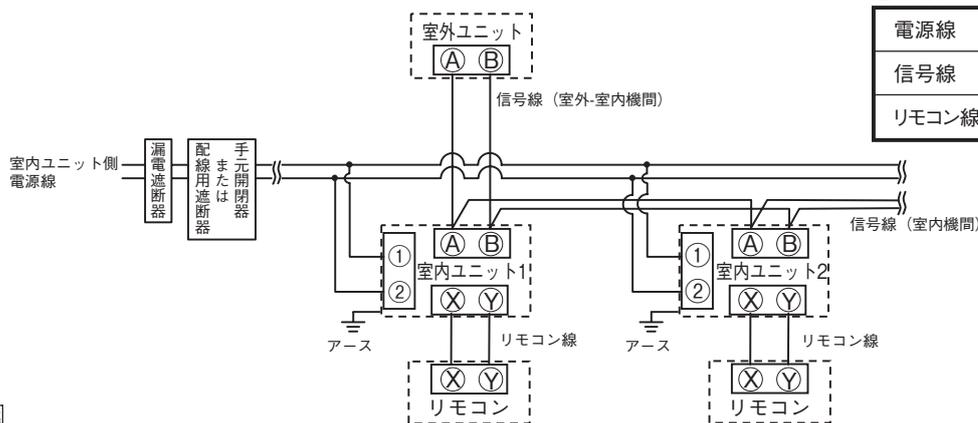
注1：通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。  
旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ、ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前  
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ、ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降  
SW5-1 が OFF（工場出荷設定）の場合は、通信仕様（新 SL/旧 SL）を自動判別します。  
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は、SW5-1 を ON にしてください。  
各通信仕様の特徴、制限は室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

# ①電源・室内外配線の接続

- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
  - ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
  - ②電源は、室外ユニット・室内ユニット各々別電源としてください。
  - ③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。  
注：電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
  - ④同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON、同時OFFになるようにしてください。
- 配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。
- 機器毎に設定された過電流及び漏電遮断器（感度電流30mA）を設置してください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 信号線を途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。
- 天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- 室内ユニットに接続する電源線は3.5mm<sup>2</sup>まで使用可能です。5.5mm<sup>2</sup>以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。
- 信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合があります、ご注意ください。
  - ①A-B信号線に誤って200V電源を接続しても初めの1回は保護します。
  - ②電源投入15分経過後リモコンからユニットNo.(アドレス)が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
  - ③焼損基板のジャンパー線J10SL1を切り、コネクタCnK(黄) CnK1(白)をCnK2(黒)に差し替える。
  - ④A-B端子台から基板までの配線に異常があれば交換してください。
- ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- 信号・リモコン用端子台に200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
  - ①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
  - ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
  - ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。
  - ④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。
- 補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認すること。

適合配線

電源線	2.0~3.5mm <sup>2</sup>
信号線	0.75~1.25mm <sup>2</sup>
リモコン線	0.3~2.0mm <sup>2</sup>



電源仕様

①室内機電源仕様(②~④以外の機種)									
機種容量	漏電遮断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線	
22-36形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm <sup>2</sup> ×2	298m	0.75~1.25mm <sup>2</sup> ×2	0.3mm <sup>2</sup> ×2心	2.0mm <sup>2</sup>	
45,56形					275m				
71-90形					179m				
112-280形					123m				
②高静圧ダクト、給気処理ユニット、加湿器付外気処理ユニット									
45-90形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm <sup>2</sup> ×2	149m	0.75~1.25mm <sup>2</sup> ×2	0.3mm <sup>2</sup> ×2心	2.0mm <sup>2</sup>	
112,140形					85m				
224,280形					28m				
③床置形システムパッケージ									
112形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm <sup>2</sup> ×2	51m	0.75~1.25mm <sup>2</sup> ×2	0.3mm <sup>2</sup> ×2心	2.0mm <sup>2</sup>	
140,160形					34m				
224,280形			20A 30mA 0.1sec	20A	3.5mm <sup>2</sup> ×2				
④全熱交換器付外気処理ユニット									
750,1000形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm <sup>2</sup> ×2	48m	0.75~1.25mm <sup>2</sup> ×2	0.3mm <sup>2</sup> ×2心	2.0mm <sup>2</sup>	

注1. 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。

注2. リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、③リモコンの取付けに従い、配線太さを見直してください。

## 冷暖フリーマルチの場合

分流コントローラの配線

- 本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）に付属の据付説明書をご覧ください。

## ②アドレス設定

アドレス設定は、(1) 手動アドレス設定、(2) 自動アドレス設定の2方法ができます。

自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。

設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

### ③ リモコンの取付け (別売部品)

● 次の位置へ取付けないでください。

- 直射日光の当たる所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- 取付面の凹凸がある所

#### リモコン取付・配線

- ① リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ② リモコン線は、 $0.3\text{mm}^2 \times 2$ 心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。(現地手配)
- ③ リモコン線の総延長は600mです。  
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 $0.5\text{mm}^2$ 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。  
100~200m以内・・・ $0.5\text{mm}^2 \times 2$ 心  
300m以内・・・ $0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心  
400m以内・・・ $1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心  
600m以内・・・ $2.0\text{mm}^2 \times 2$ 心
- ④ 誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
- ⑤ リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- ⑥ リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

#### 1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

- ① 1つのリモコンで複数台のユニット(最大16台)をグループ制御できます。  
同一モード、同一室温設定で運転します。
- ② グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
- ③ 室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。  
○ 室内ユニット基板上のロータリースイッチSW1, SW2及びディップスイッチSW5-2により、室内No.を重複しないように設定してください。
- ④ 右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。

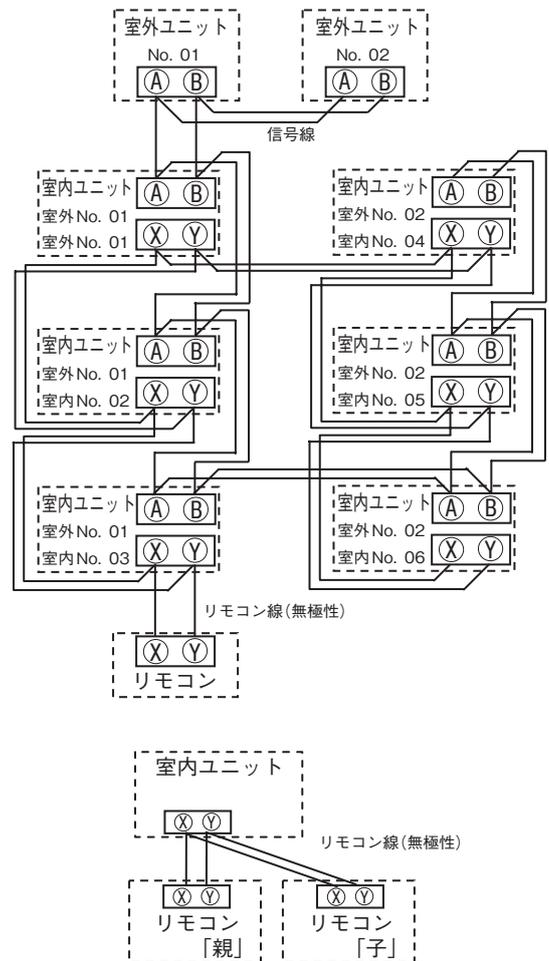
#### 複数リモコン使用時の親子設定

室内1台(又は1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン+ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

- 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



### ③ リモコンからの操作・確認方法

#### ecoタッチリモコンから操作

マルチ

1 リモコン系統内の接続ユニットの接続台数を確認します。

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]

2 リモコン系統内の接続ユニットの接続を個別に確認します。

停止中、[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]⇒[個別送風運転]

3 親子リモコン設定

[メニュー]⇒[次頁]⇒[リモコン設定]⇒[パスワード]⇒[リモコン親子設定]

4 運転データの確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[運転データ表示]

5 点検表示の確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[点検表示]

6 リモコンからの冷房試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]

7 リモコンからのドレンポンプ試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]

#### 標準表示リモコンから操作

エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台ずつ確認してください。

停止中、エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[運転切換]を押すと送風運転します。

子リモコンの切換えスイッチ (SW1) を「子」に設定してください

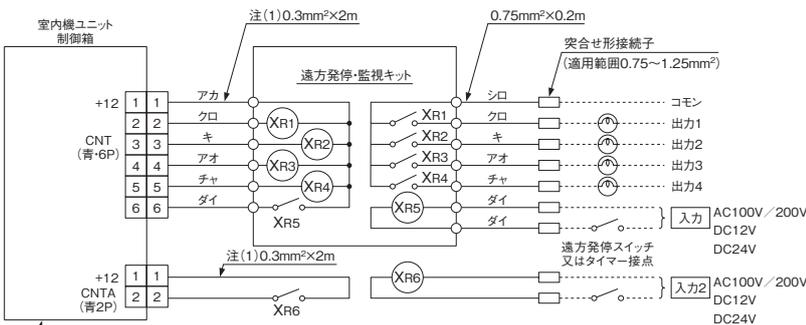
[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択

[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示▲⇒[セット]⇒データ確認中⇒データ表示

- ①[運転/停止]を押して、運転します。
- ②[運転切換]により、「冷房」を選択します。
- ③[試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。
- ④「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は、「冷房試運転」となります。

- ①[試運転]を3秒以上押します。表示が「冷房試運転▼」となります。
- ②[▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。
- ③[セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示：「セットで停止」

### ④ 室内基板CNTコネクタの機能



注(1) 2mより長くしないでください。

- X<sub>R1</sub>~4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)
- X<sub>R5,6</sub>は、DC12、24VまたはAC100V、200Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
- CNTコネクタ (現地側) メーカー、形式  
コネクタ：モレックス製 5264-06  
端子：モレックス製 5263T
- 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
- 冷暖フリーマルチ用分流コントローラの信号線を接続する場合、分流コントローラに付属の据付説明書に従い、CNTあるいはCNT2に接続してください。
- CNTAコネクタは、FDT他に搭載<仕様書で確認願います> (現地側) メーカー、形式  
コネクタ：日本圧着端子JST製 XAP02V-1-E  
端子：日本圧着端子JST製 SXA-01T-P0.6

出力1	エアコン運転出力(エアコンON時X <sub>R1</sub> =ON)
出力2	暖房出力
出力3	サーモON出力(サーモON時X <sub>R3</sub> =ON)
出力4	エアコン点検出力(エアコン点検時X <sub>R4</sub> =ON)
入力	X <sub>R5</sub> OFF⇒ON エアコン運転
	X <sub>R5</sub> ON⇒OFF エアコン停止
※現地切換により、機能・制御が変わります。	
入力2 ※ (FDT他)	X <sub>R6</sub> OFF⇒ON エアコン運転
	X <sub>R6</sub> ON⇒OFF エアコン停止
※現地切換により、機能・制御が変わります。	

※室内機能設定参照

## ⑤ リモコンからの操作・設定

A : ecoタッチリモコン付属の取扱説明書を参照してください。  
 B : ecoタッチリモコン付属の据付工事説明書を参照してください。  
 C : インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。  
 ○ : ecoタッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。  
 △ : ecoタッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。  
 ※1 RC-DX1、RC-DX1Gには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク			
1	複数室内機制御		○
2	親子リモコン設定	B	○
2. TOP画面・SW操作			
1	メニュー	A	
2	運転モード	A	○
3	設定温度	A	○
4	風向	A	○
5	風量	A	○
6	タイマー設定	A	○
7	運転/停止SW	A	○
8	ハイパワーSW	A	
9	省エネSW	A	
3. 省エネ設定			
1	切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	A	△
2	ピークカットタイマー 管理者パスワード	A	
3	設定温度自動復帰 管理者パスワード	A	△
4. グリル昇降			
1	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	A	○
2	降下長設定 管理者パスワード	A	○
3	ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	A	
5. フリーフロー設定			
	フリーフロー設定	A	○
6. 換気			
1	換気 換気機器を組合せの場合	A	○

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
7. 見てみて			
見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによって表示できない場合があります。	A	
8. お掃除パネル設定	管理者パスワード		
1 お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。	A	
2 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
3 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
4 ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
5 ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
9. フィルターサインリセット			
1 フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。	A	○
2 次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
10. 初期設定			
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。	A	△
2 時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。	A	
3 サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	A	
4 コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
5 バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	
6 ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。		
11. タイマー設定			
1 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
2 時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。	A	△
3 時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
4 時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。	A	△
5 タイマー設定内容確認	各タイマー設定内容を一覧できます。	A	
12. ウィークリータイマー設定			
1 ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△  △ △
13. るす番運転			
1 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時、お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。	A	

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
14. 管理者設定	管理者パスワード		
1 操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見えてみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定][言語切換設定※1]	A	△
2 室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。	A	△
3 設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
4 設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。	A	
5 設定温度表示切換※1	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
6 リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示※1)のあり/なしを設定します。	A	○ △
7 管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
15. 言語切換※1	リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語/Englishの選択が可能です。	A	
16. 据付設定	サービスパスワード		
1 据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。	B	
2 サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当※1以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。	B	
3 試運転	試運転の開始/停止を制御できます。		
冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。		○
ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。	B	○
お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合		
周波数固定運転	インバーターコンプレッサーの運転Hzを固定します。		○
4 グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
5 ダクト機静圧補正※1	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
6 自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
7 親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
17. リモコン機能設定	サービスパスワード		
1 リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
2 吸込センサー制御※1	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。 ●個別/親機/平均の選択が可能です。	B	
3 リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。	B	△
4 リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能	B	△
5 運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	B	△
6 温度単位設定※1	設定温度の単位を設定します。 ●℃/°Fの選択が可能です。	B	
7 ファン速度	ファン速度選択が可能です。	B	○
8 外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。	B	○
9 換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
10 ルーバー制御	[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。	B	○
11 停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
12 設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	B	
13 風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	B	

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
18. 室内機能設定	サービスパスワード		
1 高天井設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
2 フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
3 外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。	B	○
4 外部入力1方式	外部入力1の信号方式を換えられます。	B	○
5 外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。	B	
6 外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。	B	
7 暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。	B	△
8 吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	B	△
9 冷房ファン制御※1	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
10 暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
11 フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
12 フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
13 ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
14 冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
15 暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
16 暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
17 送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
18 外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
19 運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。	B	
20 サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
21 風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
22 室内過負荷アラーム設定※1	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CNT-5)から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
19. サービスメンテナンス	サービスパスワード		
1 エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
2 次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	AB	○
3 運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
4 点検表示			
異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。	B	△
異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。	B	○
異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。	B	
定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。	B	○
5 お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	
6 室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
7 特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。	B	△
20. 困ったときは…			
1 連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2 サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。	A	
21. 点検表示			
点検表示確認	異常発生時の表示	A	△
22. パソコン接続			
USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

# 4. リモコンの取付

PJZ012D088 

この据付説明書は、リモコン関連の据付方法・注意事項を記載しております。  
 室内ユニット・室外ユニット・他に付属の説明書と合わせてご覧ください。  
 正しく工事していただくために、工事前に、必ずこの説明書をよくお読みください。



## 1. 安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**⚠警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

**⚠注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。

状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

●本文中に用いられる「絵表示」の意味は次の通りです。

- |   |              |   |                  |
|---|--------------|---|------------------|
|  | 絶対にしないでください。 |  | 必ず指示どおりに行ってください。 |
|---|--------------|---|------------------|

●お使いになる方は、この取扱説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

### 警告

- |   |   |
|---|---|
| ●据付工事説明書に従って、専門業者が据付工事を行うこと。<br>施行不備があると感電、火災、故障の原因になります。   |   |
| ●元電源を切った後に電気工事をする。<br>感電、故障や動作不良の原因になります。   |  |
| ●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへは設置禁止。<br>油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。 |  |
| ●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには据付禁止<br>感電、火災、故障の原因になります。  |  |
| ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。<br>接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。  |  |
| ●リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。<br>露・水・虫などが浸入すると感電、火災、故障の原因になります。  |  |
| ●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。<br>インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤作動や故障の原因になります。<br>リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。 |  |

### 注意

- |  |   |
|--|---|
| ●リモコンを下記場所に設置しない。<br>リモコンの故障や変形の原因になることがあります。<br>(1) 直射日光の当たる場所<br>(2) 発熱器具の近く<br>(3) 取付面に凹凸がある所 |  |
| ●リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。<br>上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。           |  |

## 2. 部品確認

付属品	リモコン本体、木ねじ (φ 3.5 × 16) 2 本 取扱説明書・据付工事説明書
-----	--

### 現地手配部品

品名	所要量	記事
スイッチボックス 1 個用 又は 2 個用 (JIS C 8340)	1	壁面に直接据付ける場合は不要です。
薄鋼電線管 (JIS C 8305)	必要量	
ロックナット・ブッシング (JIS C 8330)	必要量	
モール (JIS C 8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です。
パテ	適量	隙間シール用
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル (0.3mm <sup>2</sup> × 2 線)	必要量	100m を超える場合は右表

延長距離が 100m を超える場合リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm<sup>2</sup> 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線する際は水分等が浸入しない様な処置をおこなってください。

200m 以内	0.5mm <sup>2</sup> × 2 心
300m 以内	0.75mm <sup>2</sup> × 2 心
400m 以内	1.25mm <sup>2</sup> × 2 心
600m 以内	2.0mm <sup>2</sup> × 2 心

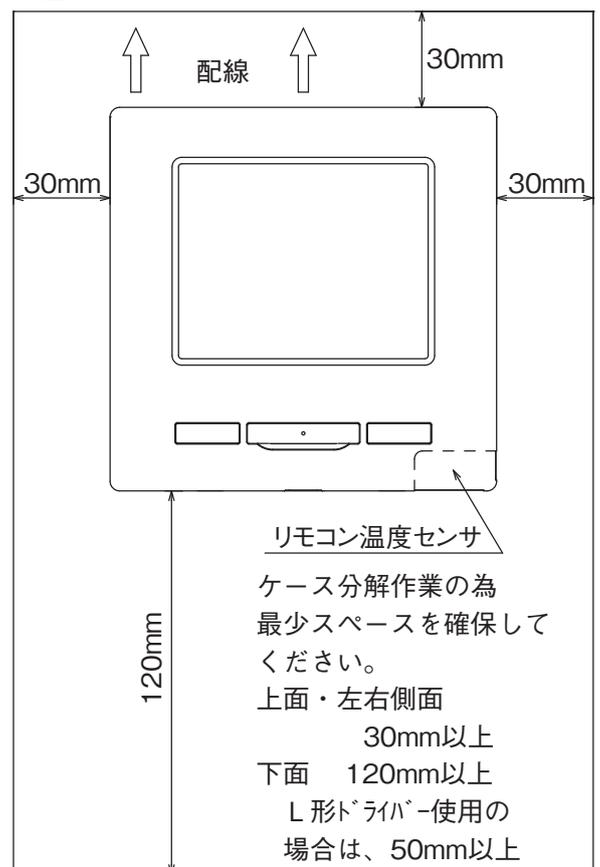
## 3. 据付場所

据付方式 「スイッチボックスを使用」  
「壁面に直接据付」  
配線方向 「背面」  
「上面中央」「上面左」

### 据付場所選定の注意事項

- 据付面が平らで強度を有すること。  
リモコンケースが変形しないこと。
- リモコンが正確な室内温度を検知できる所  
モコンの温度センサーを使用して室内温度を検知する場合は、必ず守ってください。
  - ・リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に設置してください。
  - ・リモコンは、熱源の影響を受けない場所に設置してください。
  - ・リモコンは、ドアの開閉による室外空気の影響を受けない場所に設置してください。
 直射日光やエアコンから吹き出した風が直接あたる場所壁面温度と室内空気温度の差がない場所
- エアフィルタ自動昇降機能付パネルを採用される場合は、グリルの昇降が確認しやすい場所。

### 設置スペース



### お願い

リモコン設置壁面付近の温度と実際の室温と差が大きい場所に据付ないでください。  
検知した室温と実際の室温に差がでることトラブルの原因になります。  
リモコンの検知温度補正は、検知温度全体を補正するため差を解消することはできません。



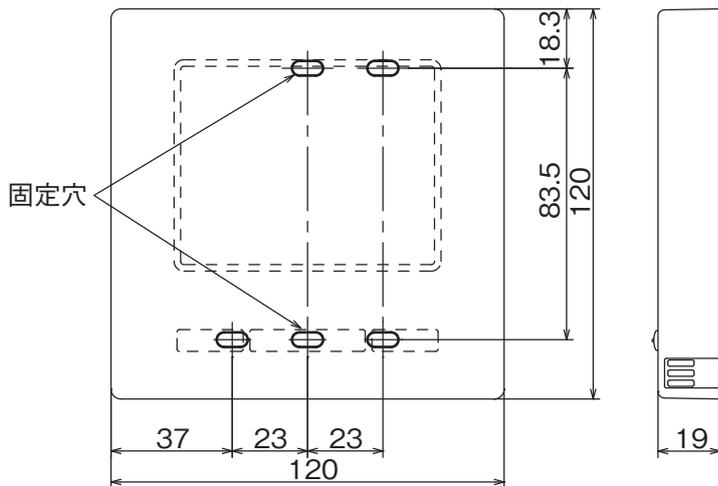
### お願い

直射日光のあたる場所、周囲温度が 40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けないこと。  
日焼け・変形・誤作動・故障の原因になります。

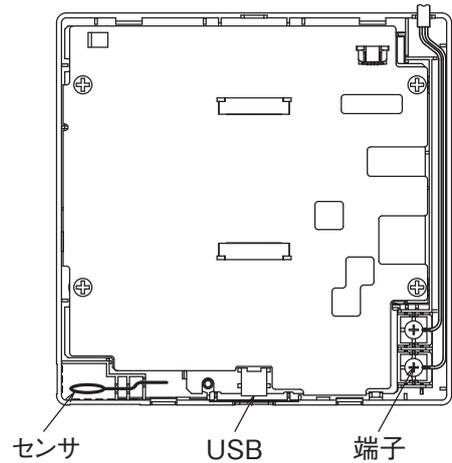


## 4. 据付・配線工事

正面から見た取り付け寸法図



裏面から見た基板面



- ① リモコンの上下ケースの分離  
 ・リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を挿し込んで軽くねじって外してください。

取り外した上ケースは、水分・ゴミが付かない様に注意してください。

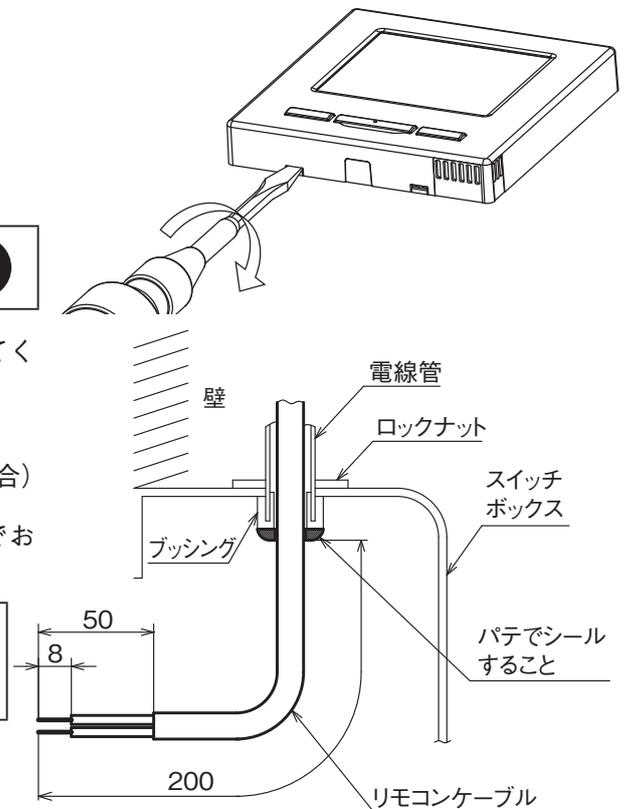


- ② リモコン端子 X, Y と室内ユニットの端子 X, Y を接続してください。  
 配線 X, Y の極性はありません。

**スイッチボックスを使用する場合** (配線方向「背面」の場合)

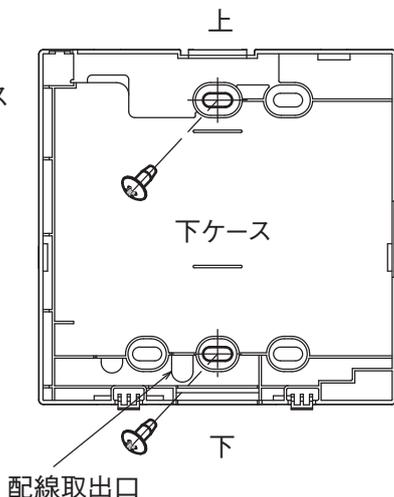
- ③ スwitchボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。

リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。  
 ● 露・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

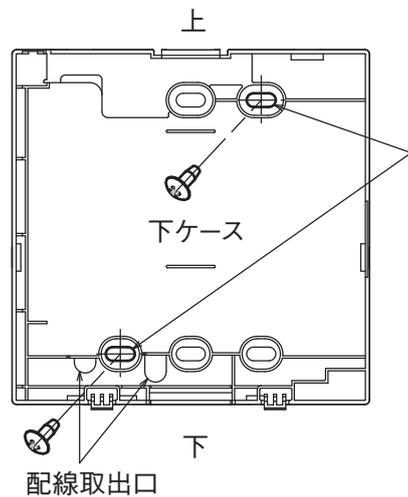


- ④ 下ケースに配線を通した後、スイッチボックスに2箇所固定してください。

1個用  
 スwitchボックス  
 の場合



2個用  
 スwitchボックス  
 の場合



ねじ取付部の薄肉部分をナイフ等で、切りとってからねじをしめてください。

## 4. 据付・配線工事 (つづき)

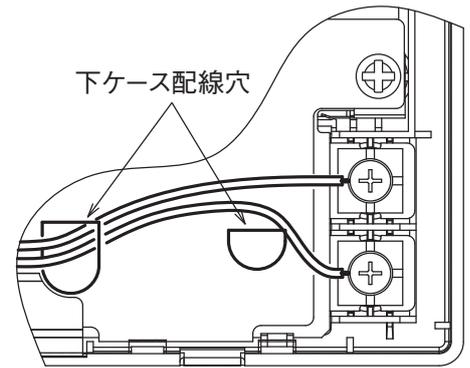
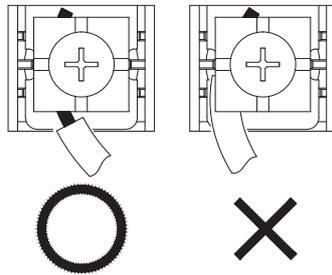
- ⑤斜め2箇所で固定の場合は、ケース薄肉部をきり欠いてください。
- ⑥リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
- ⑦リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。

### 配線接続時のご注意

リモコンケース内を通る配線は 0.5 mm<sup>2</sup> 以下とし、シースをかみこまない様に接続してください。

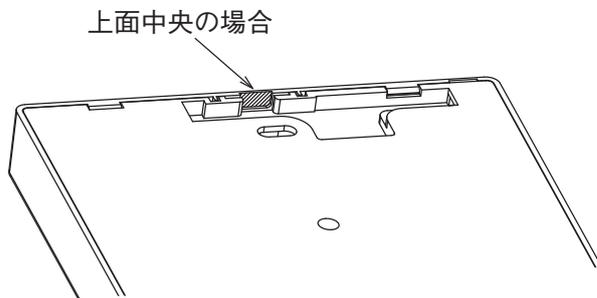
配線接続は、手締め(0.7N・m以下)で行ってください。

電動ドライバーを使用すると、故障や変形の原因になることがあります。



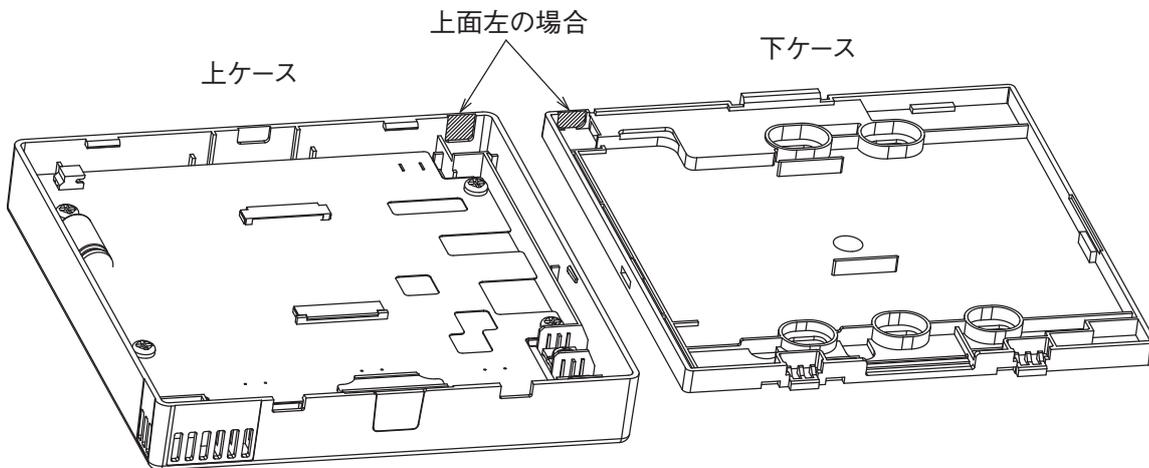
**スイッチボックスを使用しない場合** (配線取出 「上面中央」「上面左」の場合)

- ③ケース薄肉部を配線太さに合わせ切り欠いてください。



上面中央の場合は、上下ケース分解前に実施してください。基板内部への影響が少なく作業がやり易くなります。

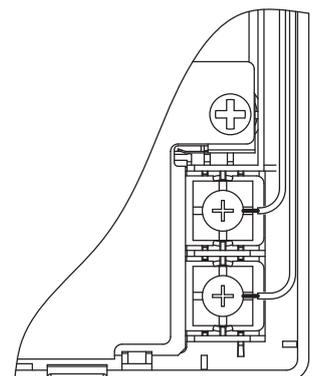
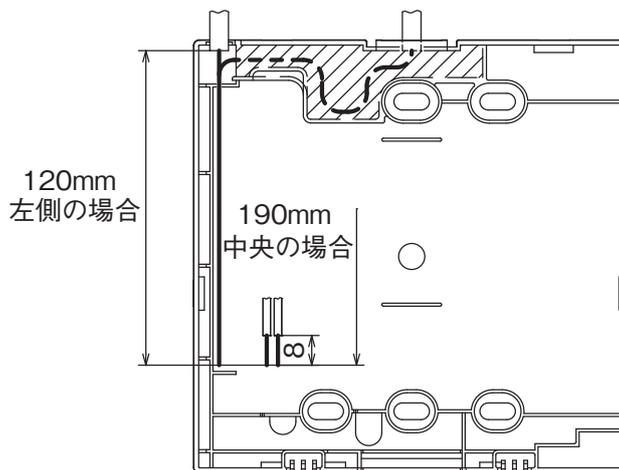
上面左の場合は、基板内部への影響を与えない様に行い、切り取った破片が内部に残らない様に注意してください。



切り欠き部が大きいと、水分・ホコリ・虫の浸入の原因になります。必要に応じてパテ等で封止してください。

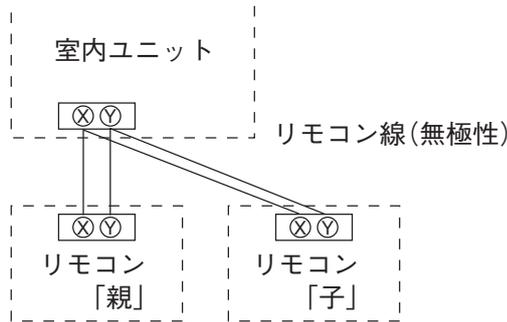


- ④リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で平らな面に固定してください。
- ⑤上面中央の場合はケース背面に配線を通してください。(斜線部分)
- ⑥リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
- ⑦リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。



## 5. 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台又は1グループに対して最大2個までのリモコンを接続できます。  
片側が親リモコン、反対側が子リモコンになります。  
リモコンは、親・子で操作できる範囲が異なります。



6項の操作で「親」「子」の設定をしてください。

リモコン機能	親	子
運転/停止 室温 風量 風向 操作	○	○
ハイパワー 省エネ運転 操作	○	○
省エネ運転設定	○	—
リモコンセンサー	○	—
グリル昇降操作	○	○※
試運転メニュー操作	○	—
室温設定範囲の設定	○	—
室内機の設定	○	—
フリーフロー設定	○	—
運転データ表示	○	—
異常履歴の表示	○	○
お掃除パネル操作	○	—

○※ eco タッチリモコン同士で親子となった場合に有効。詳細は、技術資料で確認してください。

### お知らせ パソコン接続について

USB コネクタ (mini-B) を介してパソコンからの設定が可能です。

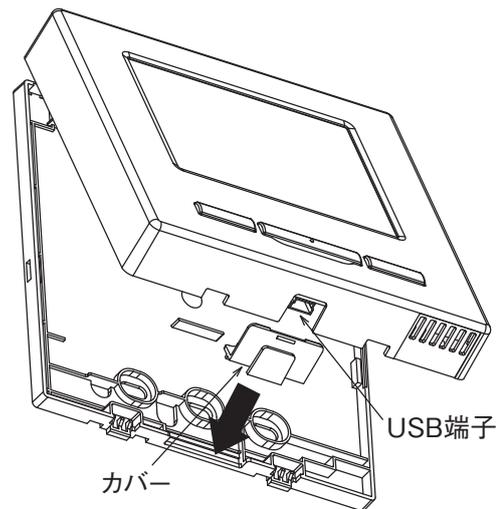
上ケース下面カバーを外して接続してください。

使用後はカバーを元の位置にはめてください。  
ホコリ・虫などが浸入すると、感電・故障の原因になります。



接続には、専用のソフトが必要です。  
詳細は、ホームページ・技術資料を参照してください。

専用ソフトを使用しないで、パソコン接続をしないこと。パソコンは、他のUSB機器と同時に接続しないこと。  
リモコン・パソコンの誤作動・故障の原因になります。



### お知らせ パスワード初期化

管理者パスワード (日常使用する項目設定用) とサービスパスワード (据付・試運転・メンテナンス用) があります。

- 管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます (取扱説書参照)。  
管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で [ハイパワー] [省エネ] ボタンを同時に5秒長押しするとパスワードは初期化されます。
- サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。  
管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。



### お知らせ リモコン・室内機 との組合せ

- (1) RC-D3・RC-D4 形リモコン・ワイヤレスオプションと親子での使用が可能です。
- (2) 室内ユニット 3形以降のタイプと組合せが可能です。
- (3) 室内ユニット 3D形以前のタイプと組合せの場合、使用できない制御があります。  
操作できない機能を操作・設定しようとする時、「操作無効です」と表示されます。

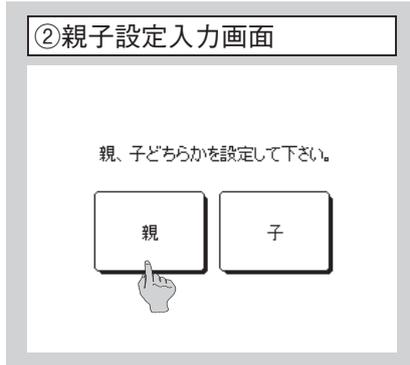
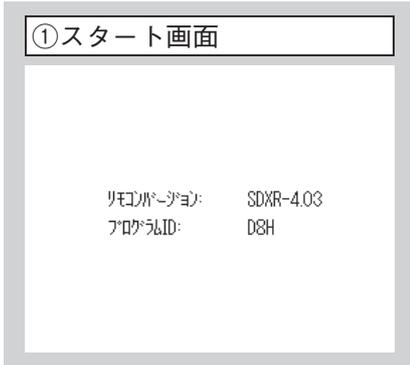
# 5. リモコンによる機能設定

室内ユニットの機能や用途に合わせて、リモコンより機能設定をすることができます。  
設定方法は以下のとおりです。

## 1. 電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

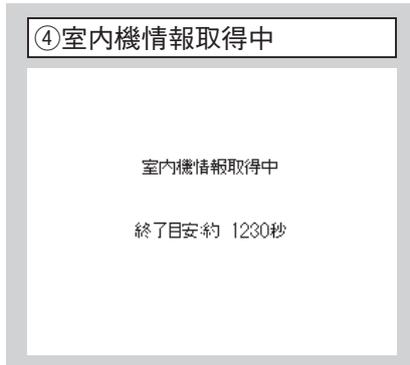
- (1) 親子が設定されていない場合、①⇒②親子入力画面を表示します。  
枠で囲まれた [親] [子] どちらかをタッチしてください。 初期設定作業を開始します。  
誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。
- (2) リモコンの親子が設定されている場合、⑥設定継続確認画面を表示します。
- (3) ecoタッチリモコン2個の親子の場合、1個目を [親] で設定開始すると 2個目は自動で [子] になります。



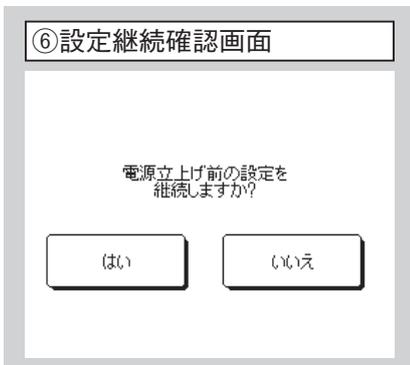
[親] ⇒③⇒④⇒⑤  
[子] ⇒①⇒⑧⇒⑤

**ご注意**

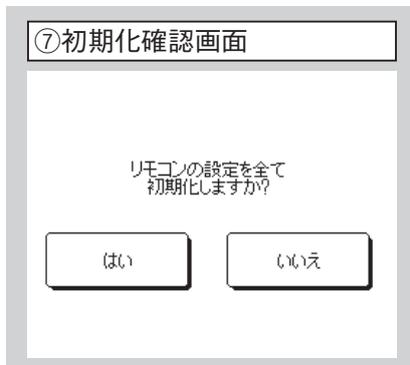
リモコン 1台の場合は、[親] をタッチしてください。  
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。  
複数リモコンの場合は、片方の設定で、設定作業を開始します。



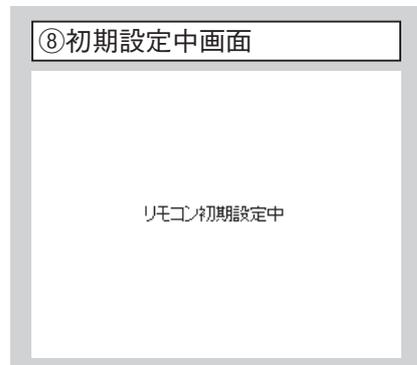
通信が10分間確定しない場合、赤LEDが点滅します。



[はい] 継続 ⇒⑧⇒⑤  
[いいえ] 変更 ⇒⑦



[はい] ⇒①⇒②  
[いいえ] ⇒⑥



表示15秒間タッチされない場合は「はい」継続を認識して⑤画面に変わります。

初期化すると出荷状態に戻ります。

ラクリーナパネルを採用のお客様へ

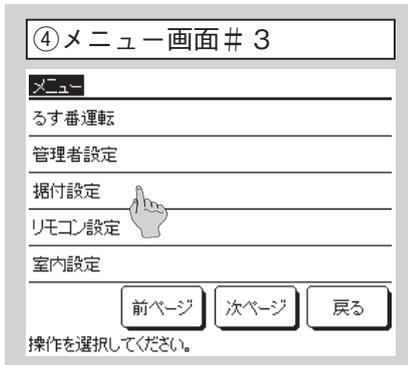
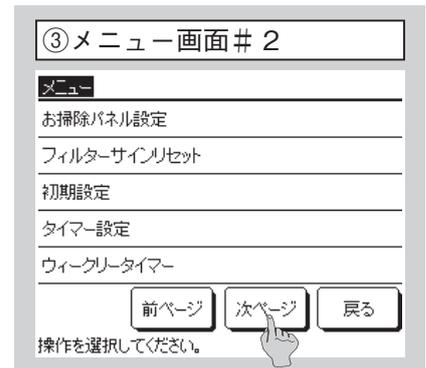
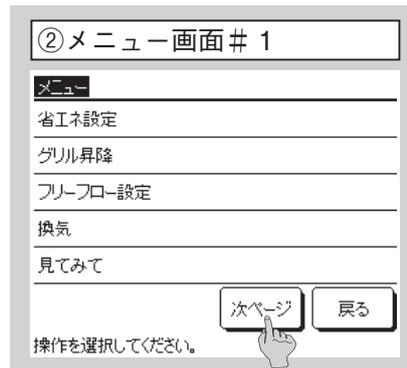
[2. 据付設定 ⑰グリル昇降操作設定] を行ってください。

## 2. 据付設定 試運転

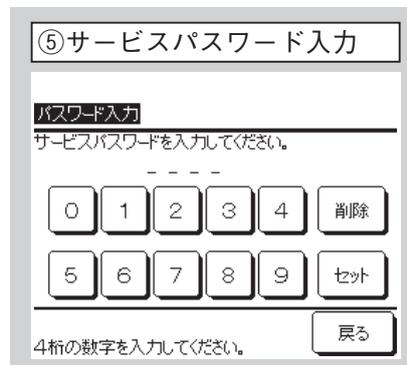
TOP画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ 据付設定



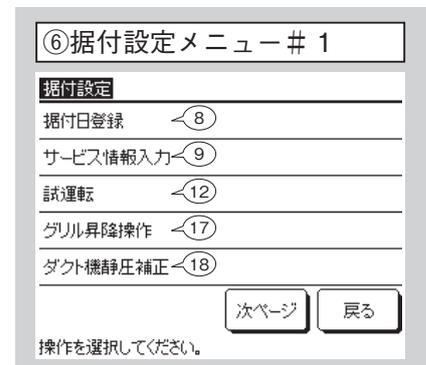
[メニュー] ボタンをタッチしてください。



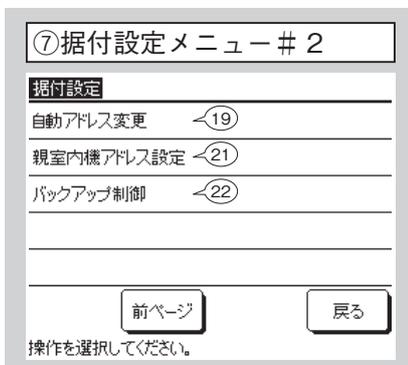
[据付設定] ボタンをタッチしてください。



サービスパスワードは9999です。



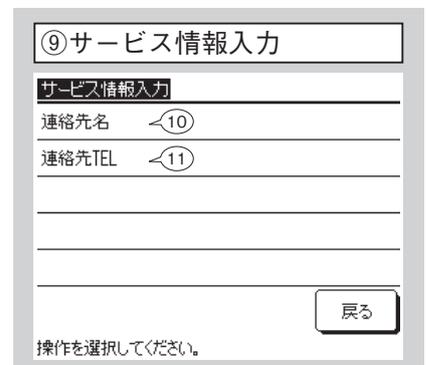
選択した画面に移ります。



選択した画面に移ります。



[▲] [▼] で設定してください。  
[セット] で登録されます。



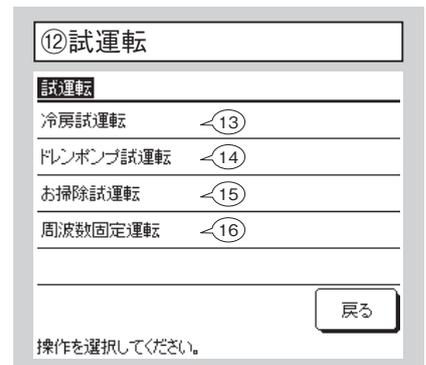
お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。



連絡先名を半角26文字相当以内で入力し、[セット] ボタンをタッチしてください。

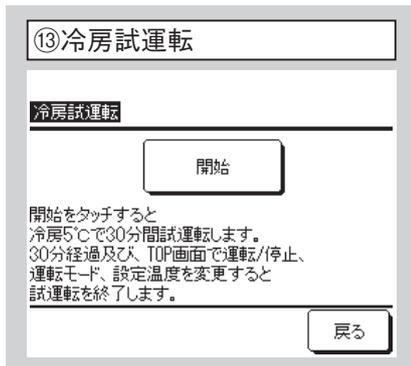


連絡先電話番号を13文字以内で入力し、[セット] ボタンをタッチしてください。

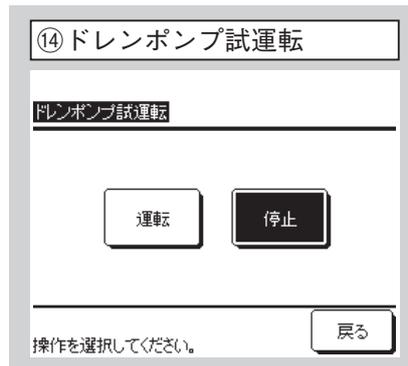


冷暖房運転は、冷房運転中及び停止中に操作可能です。周波数固定運転は、運転中及び停止中に操作可能です。

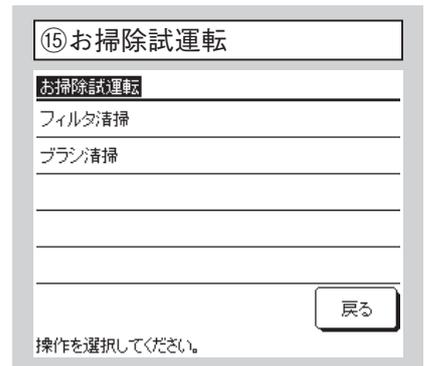
## 2. 据付設定 試運転 (つづき)



室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を30分間5°Cに下げて運転します。

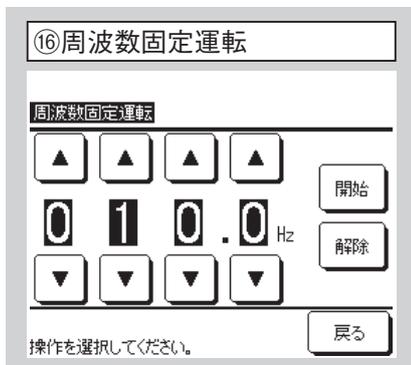


ドレンポンプのみで運転が可能です。

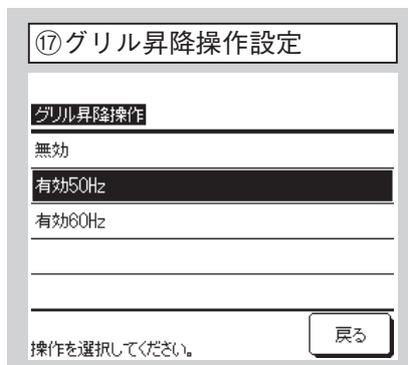


フィルタ自動清掃機能付 お掃除パネルを組合せの場合に操作できます。お掃除パネルの説明書をご覧ください。

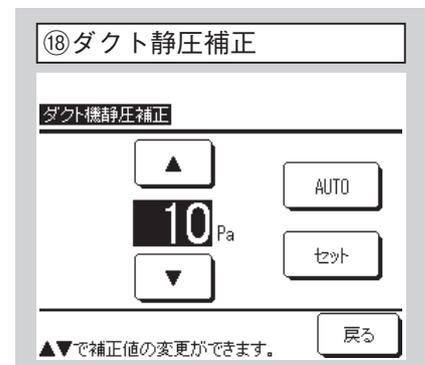
### ラクリーナパネル設定



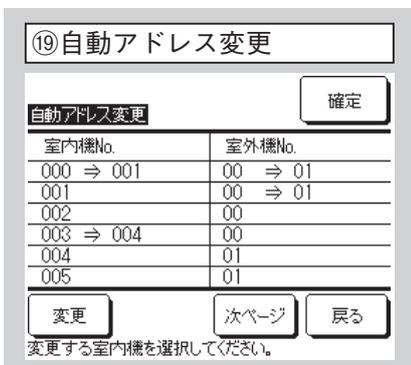
インバータ室外ユニットの運転周波数を固定する事ができます。  
[開始] ボタンより開始します。室外ユニットにより有効に制御できない場合があります。



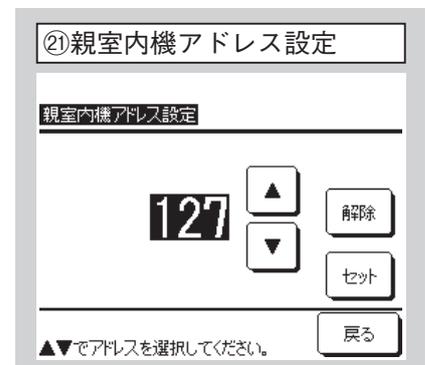
ラクリーナパネルを組合せに関する設定を行ってください。組合せの際は、据付場所電源周波数をタッチしてください。



機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットに組み合わせの場合に操作できます。機外静圧を選択し、[セット]をタッチしてください。  
[AUTO] ボタンを選択し、[セット]をタッチすると、室内ユニットが自動で静圧設定を行います。  
※機種により自動静圧設定ができない機種もあります。

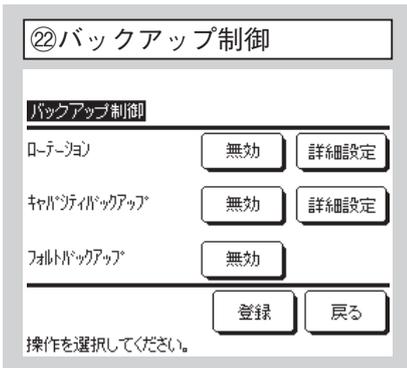


個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して  
[変更] をタッチすると右の新アドレス入力画面に変わります。  
[セット] をタッチすると左画面に戻り新アドレスが表示されます。  
[確定] をタッチすると登録されます。



個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ、冷房-暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

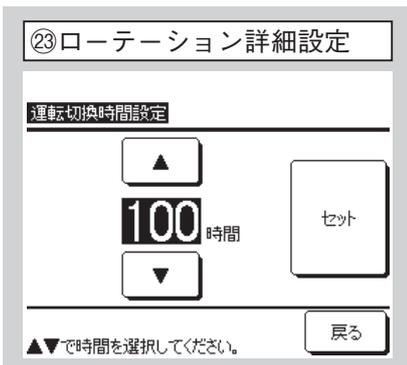
## 2. 据付設定 試運転 (つづき)



1台のリモコンに室内ユニット2台(2グループ)が接続されている時に、以下の制御が可能です。

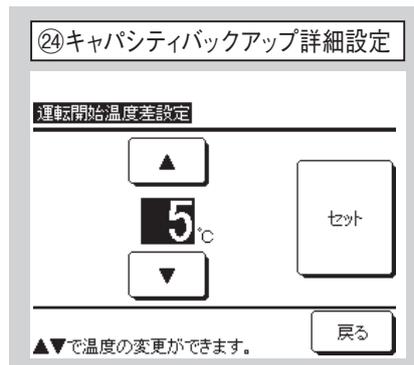
- ①ローテーション：2台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
- ②キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を1台⇔2台へ切り換えます。
- ③フォルトバックアップ：室内ユニット2台中1台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう1台の室内ユニットが運転を開始します。

[有効/無効]を選択し([無効]をタッチすると[有効]に変わります。)、[登録]ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。



ローテーションの運転を切り換える時間を設定します。

10～990時間の間で10時間刻みで設定可能です。設定後バックアップ制御画面に戻って[登録]をタッチしてください。



キャパシティバックアップの1台⇔2台を切り換える設定温度と室温の温度差を設定します。

2～5°Cの間で1°C刻みで設定可能です。設定後バックアップ制御画面に戻って[登録]をタッチしてください。

### バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバックアップ制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内機2台(2グループ)の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内機が先に運転開始します。

### お知らせ

日常使用に関する下記設定は、取扱説明書・技術資料を参照してください。

初期設定

時刻設定 時刻表示設定 サマータイム補正 コントラスト バックライト ブザー音

省エネ設定

切忘れタイマー ピークカットタイマー 温度設定自動復帰

フリーフロー設定

タイマー設定

時間入 時間切 時刻入 時刻切 タイマー設定内容の確認 ウィークリータイマー

るす番運転

管理者設定

操作制限設定 室外清音タイマー設定 設定温度の範囲設定 温度設定刻み切換 設定温度表示切換  
リモコン表示設定 管理者パスワード

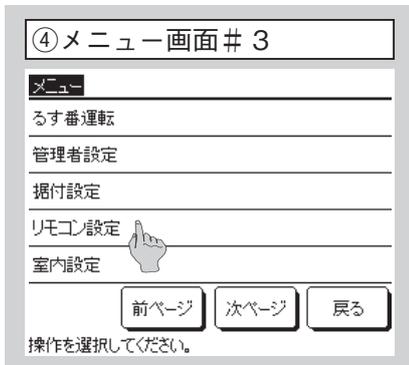
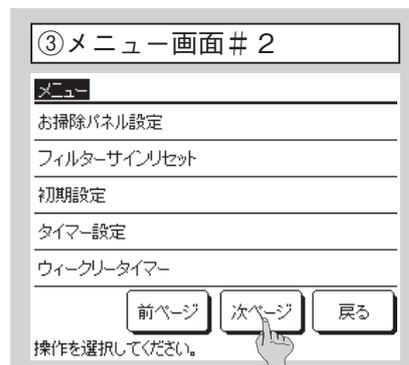
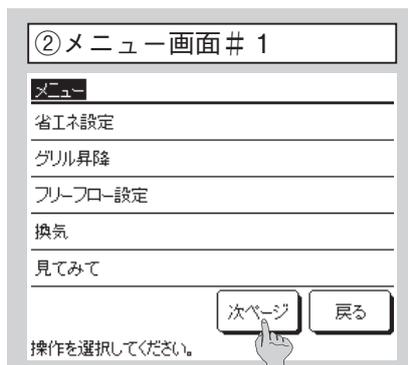
### 3. リモコン機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ リモコン設定



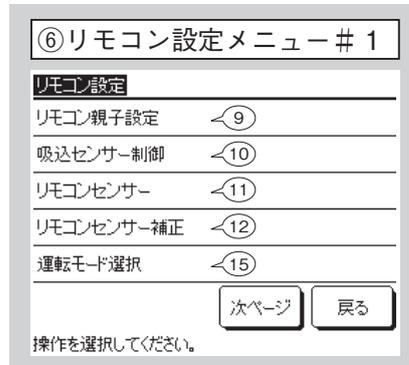
[メニュー] ボタンをタッチしてください。



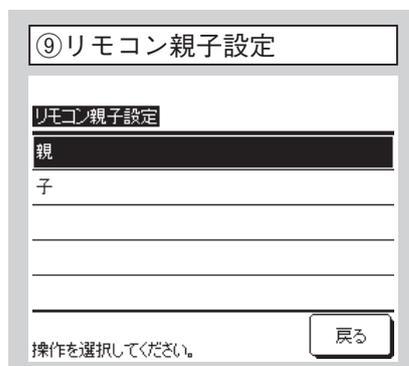
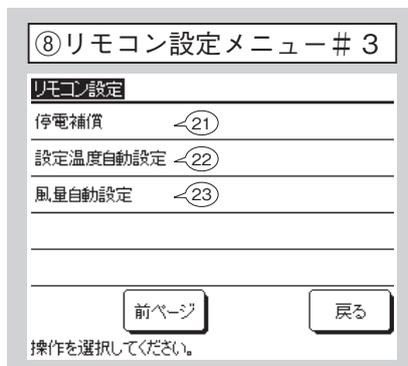
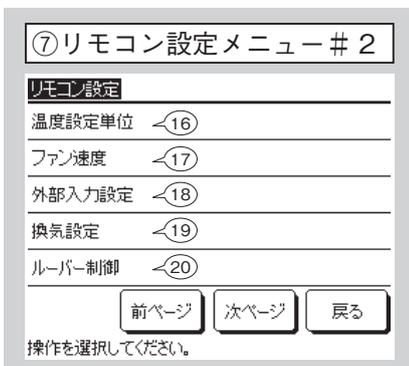
[リモコン設定] ボタンをタッチしてください。



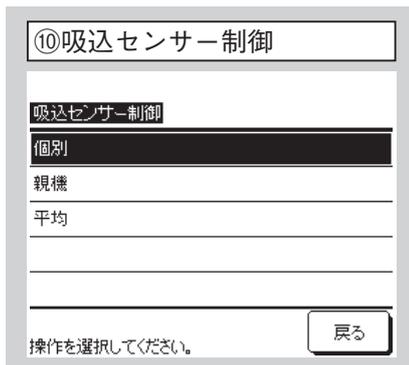
サービスパスワードは9999です。



選択した画面に移ります。



リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。



室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

- ①個別：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルラール接続されている場合はプルラール親機の吸込温度を基準とします。
- ②親機：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。1台のリモコンに、プルラール接続が複数接続されている場合は、プルラール親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
- ③平均：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

### 3. リモコン機能設定 (つづき)

⑪ リモコンセンサー

リモコンセンサー

無効

有効

有効(暖房のみ)

有効(冷房のみ)

操作を選択してください。 戻る

#### お知らせ

リモコンセンサー有効中  
(1) 室温表示は、リモコンセンサー検知温度になります。

⑫ リモコンセンサー補正

リモコンセンサー補正

冷房時補正 <⑬

暖房時補正 <⑭

操作を選択してください。 戻る

室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。  
 [無効] 本体側センサーになります。  
 [有効] リモコン側センサーになります。  
 [有効(暖房のみ)] 暖房中リモコン側、暖房以外で運転中は本体側になります。  
 [有効(冷房のみ)] 暖房以外で運転中はリモコン側、暖房中本体側になります。

リモコンセンサー検知温度の補正ができます。  
 [冷房時補正] ⇒ ⑬ 画面へ  
 [暖房時補正] ⇒ ⑭ 画面へ

⑬ 冷房時補正

冷房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1℃

▲

▼

セット

戻る

⑭ 暖房時補正

暖房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

0℃

▲

▼

セット

戻る

⑮ 運転モード

運転モード選択

自動	無効	有効
冷房	無効	有効
暖房	無効	有効
除湿	無効	有効

設定を選択してください。 セット 戻る

冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。  
 -3～+3の範囲で設定します。

暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。  
 -3～+3の範囲で設定します。

各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。  
 冷房又は暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

⑯ 温度設定単位

温度設定単位

℃

°F

操作を選択してください。 戻る

⑰ ファン速度

ファン速度

4速

3速

2速(急-弱)

2速(急-強)

1速

操作を選択してください。 戻る

⑱ 外部入力方式

外部入力設定

個別

全台

操作を選択してください。 戻る

設定温度の単位を設定します。

ファン速度選択の変更が可能です。  
 室内ユニットにより対応できない場合があります。

1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnTの入力の適用範囲が設定されます。  
 [個別] CnT入力された室内ユニットのみに適用されます。  
 [全台] リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

### 3. リモコン機能設定 (つづき)

①9 換気設定

換気設定

無効

連動

単独操作

操作を選択してください。

換気組合せが設定されます。  
[無効] 接続無し  
[連動] エアコン運転／停止に、換気も連動します。  
[単独操作] メニューから換気を選択により換気単独で運転／停止します

②0 ルーバー制御

ルーバー制御

4位置停止

フリー停止

操作を選択してください。

[4位置停止] 吹出ルーバーを4段階で設定可能  
[フリー停止] リモコンSW操作直後の位置に停止します。

②1 停電補償

停電補償

有効

無効

操作を選択してください。

運転中に停電した場合、  
[有効] 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。  
[無効] 停電復旧後、停止します。

②2 設定温度自動

設定温度自動設定

有効

無効

操作を選択してください。

[有効] 室温設定画面から自動の選択が可能になります。  
[無効] 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

②3 風量自動設定

風量自動設定

有効

無効

操作を選択してください。

[有効] 風量設定画面から自動の選択が可能になります。  
[無効] 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

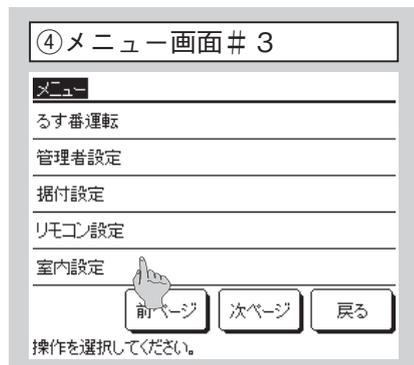
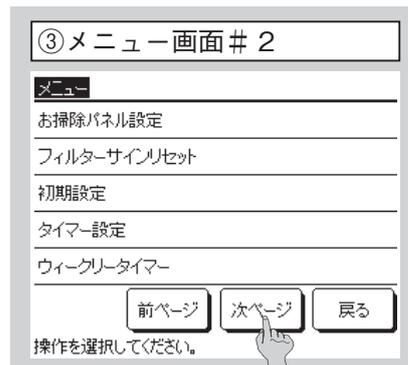
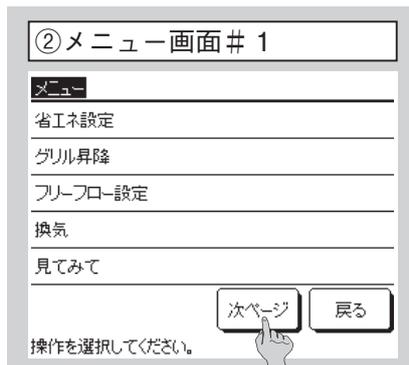
## 4. 室内機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

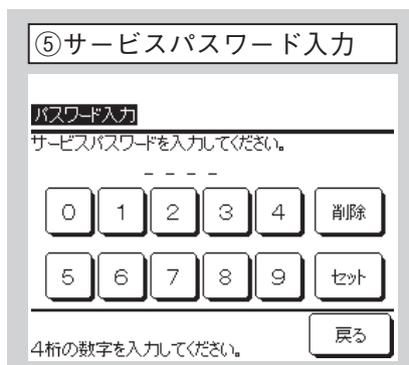
TOP画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ 室内設定



[メニュー] ボタンをタッチしてください。



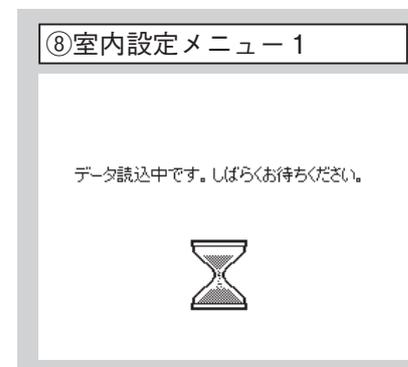
[室内設定] ボタンをタッチしてください。



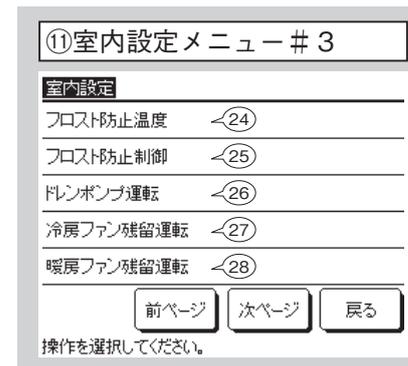
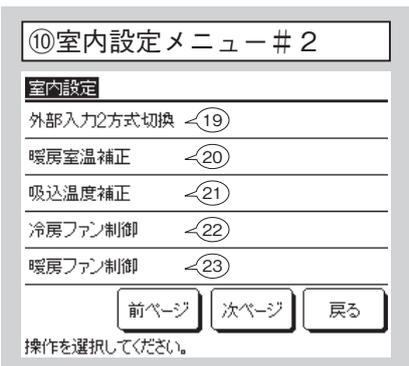
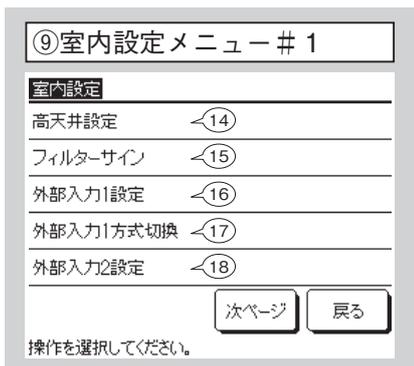
サービスパスワードは9999です。



複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。  
[アドレス] 各室内ユニット毎に個別設定されます。  
[全台] 全台同一設定されます。



室内ユニットからデータ受信後⑨へ



選択した画面に移ります。

## 4. 室内機能設定 (つづき)

⑫室内設定メニュー# 4

室内設定

暖房ファン間欠 <29>

送風サーモ運転 <30>

外調機設定 <31>

運転モード自動設定 <32>

サーモ判定切換 <37>

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

⑬室内設定メニュー# 5

室内設定

風量自動切換 <39>

室内過負荷アラーム <40>

前ページ 戻る

操作を選択してください。

⑭高天井設定

高天井設定

標準

高天井1

高天井2

戻る

操作を選択してください。

室内ユニットの風量タップを設定します。組合せ室内ユニットにより対応しない場合があります。

⑮フィルターサイン

フィルターサイン

表示なし

設定1

設定2

設定3

設定4

戻る

操作を選択してください。

	標準	FDTお掃除
表示なし	無し	無し
設定1	180Hr	1,00Hr
設定2	600Hr	2,000Hr
設定3	1,000Hr	2,500Hr
設定4	1,000Hr後 運転停止	2,500Hr後 運転停止

フィルターサイン点灯時間を設定します。

⑯外部入力1設定

外部入力1設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

戻る

操作を選択してください。

室内ユニット CnT 入力時の制御を設定します。詳細は、技術資料を参照願います。

⑰外部入力1方式

外部入力1方式切換

レベル入力

パルス入力

戻る

操作を選択してください。

室内ユニットCnTへの入力信号方式を設定します。詳細は、技術資料を参照願います。

⑱外部入力2設定

外部入力2設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

戻る

操作を選択してください。

外部入力2を装備している室内ユニットと組合せた場合に操作できます。詳細は、技術資料を参照願います。

⑲外部入力2方式

外部入力2方式切換

レベル入力

パルス入力

戻る

操作を選択してください。

⑳暖房室温補正

暖房室温補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+2.0℃

▲

▼

セット

戻る

暖房サーモ判定温度を補正します。  
0℃ / +1℃ / +2℃ / +3℃

㉑吸込温度補正

吸込温度補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1.5℃

▲

▼

セット

戻る

本体吸込センサー検知温度を補正します。  
-2℃ / -1.5℃ / -1℃ / 0℃ / +1℃ / +1.5℃ / +2℃

㉒冷房ファン制御

冷房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

戻る

操作を選択してください。

冷房サーモ OFF 中のファン速度設定  
[弱風] 弱風運転  
[設定風量] サーモ ON 中と同風量  
[間欠] 2分 Lo(ULo)運転 / 5分停止  
[停止] 停止

## 4. 室内機能設定 (つづき)

⑳ 暖房ファン制御

暖房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

操作を選択してください。 戻る

暖房サーモ OFF 中のファン速度設定  
 [弱風] 弱風運転  
 [設定風量] サーモ ON 中と同風量  
 [間欠] 2分Lo(ULo)運転 / 5分停止  
 [停止] 停止

㉑ フロスト防止温度

フロスト防止温度

温度 低

温度 高

操作を選択してください。 戻る

フロスト防止制御温度の切替ができます。

㉒ フロスト防止制御

フロスト防止制御

有効

無効

操作を選択してください。 戻る

フロスト防止制御後、ファン速度が  
 [有効] アップします。  
 [無効] 変化しません。

㉓ ドレンポンプ運転

ドレンポンプ運転

通常

暖房時連動運転

暖房/送風時連動運転

送風時連動運転

操作を選択してください。 戻る

[通常] 冷房・除湿時に運転  
 [暖房時連動] 通常+暖房  
 [暖房/送風時連動] 全運転中  
 [送風時連動] 通常+送風

㉔ 冷房ファン残留運転

冷房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。 戻る

冷房運転、停止又はサーモOFF後の  
 残留時間を設定します。  
 設定1 : 0.5 時間  
 設定2 : 2 時間  
 設定3 : 6 時間

㉕ 暖房ファン残留運転

暖房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。 戻る

暖房運転、停止又はサーモOFF後の  
 残留時間を設定します。  
 [設定1] 0.5 時間  
 [設定2] 2 時間  
 [設定3] 6 時間

※残留時間が異なる場合があります。

㉖ 暖房ファン間欠

暖房ファン間欠

非連動

20分停止5分送風

5分停止5分送風

操作を選択してください。 戻る

暖房運転、停止又はサーモOFF後の  
 ファン制御を設定します。  
 [非連動] 停止  
 [20分停止5分送風] 25分毎に条件  
 チェックして5分送風  
 [5分停止5分送風] 10分毎に条件  
 チェックして5分送風

㉗ 送風サーモ運転

送風サーモ運転

無効

有効

操作を選択してください。 戻る

サーキュレーター運転として使用する場合  
 [無効] 送風時連続運転  
 [有効] 送風時リモコンと本体の温  
 度差を見て送風運転 / 停止します。

㉘ 外調機設定

外調機設定

圧力制御標準

圧力制御切替

操作を選択してください。 戻る

マルチシステムにて、外調機の場合  
 に設定します。  
 [圧力制御標準] 通常  
 [圧力制御切替] 運転中の室内ユ  
 ニットが全て、この設定の場合、  
 圧力制御値が変わります。

## 4. 室内機能設定 (つづき)

③② 運転モード自動設定

運転モード自動設定

自動1・2・3切換 ←33

自動1関連設定 ←34

自動2関連設定 ←35

自動3関連設定 ←36

戻る

操作を選択してください。

③③ 自動1・2・3切換

自動1・2・3切換

自動1

自動2

自動3

戻る

操作を選択してください。

自動運転、冷房／暖房切替方式を3方式から選択できます。各方式の条件を設定をします。

③④ 自動1関連設定

自動1関連設定

冷房切替温度 ←37

暖房切替温度 ←38

戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切替温度を設定します。切替わり温度は1～4℃の範囲で設定できます。

③⑤ 自動2関連設定

自動2関連設定

冷房切替温度 ←37

暖房切替温度 ←38

冷房室外温度 ←39

暖房室外温度 ←40

戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切替温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

③⑥ 自動3関連設定

自動3関連設定

冷房室外温度 ←39

暖房室外温度 ←40

冷房室内温度 ←41

暖房室内温度 ←42

戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

設定温度－冷房切替温度  
 <室内吸込温度の場合  
 ⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切替温度  
 >室内吸込温度の場合  
 ⇒運転モード：暖房

「設定温度－冷房切替温度<室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度<室外吸込温度」の場合  
 ⇒運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切替温度>室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度>室外吸込温度」の場合  
 ⇒運転モード：暖房

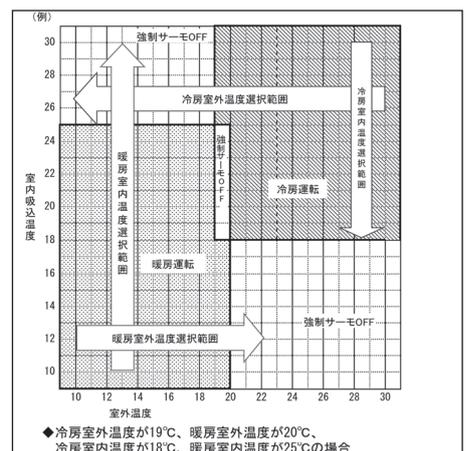
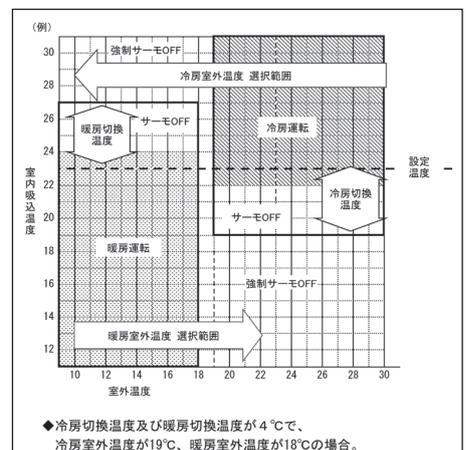
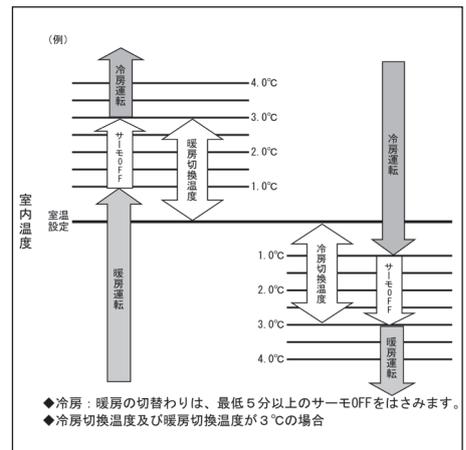
「設定した冷房室内温度<室内吸込温度」かつ「設定した冷房室外温度<室外吸込温度」の場合  
 ⇒運転モード：冷房

「設定した暖房室内温度>室内吸込温度」かつ「設定した暖房室外温度>室外吸込温度」の場合  
 ⇒運転モード：暖房

自動1：設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切替わります。

自動2：設定温度と室温の温度差及び外気温度で冷房／暖房が切替わります。

自動3：室温及び外気温度で、冷房／暖房が切替わります。



## 4. 室内機能設定 (つづき)

③⑦冷房切換温度

冷房切換温度  
▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動1、自動2で冷房切換温度を設定します。

1～4℃の範囲で設定できます。

③⑧暖房切換温度

暖房切換温度  
▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動1、自動2で暖房切換温度を設定します。

1～4℃の範囲で設定できます。

③⑨冷房室外温度

冷房室外温度  
▲▼で補正温度の変更ができます。

18℃

▲

▼

セット

戻る

自動2、自動3で冷房室外温度を設定します。

10～30℃の範囲で設定できます。

④⑩暖房室外温度

暖房室外温度  
▲▼で補正温度の変更ができます。

20℃

▲

▼

セット

戻る

自動2、自動3で暖房室外温度を設定します。

10～22℃の範囲で設定できます。

④⑪冷房室内温度

冷房室内温度  
▲▼で補正温度の変更ができます。

22℃

▲

▼

セット

戻る

自動3で冷房室内温度を設定します。

18～30℃の範囲で設定できます。

④⑫暖房室内温度

暖房室内温度  
▲▼で補正温度の変更ができます。

24℃

▲

▼

セット

戻る

自動3で暖房室内温度を設定します。

10～30℃の範囲で設定できます。

④⑬サーモ判定切換

サーモ判定切換

通常制御/室外温度制御 <44

室外温度\_冷房補正 <45

室外温度\_暖房補正 <46

戻る

操作を選択してください。

④⑭通常制御/外気温度制御

通常制御/室外温度制御

通常制御

室外温度制御

戻る

操作を選択してください。

室温制御、サーモ ON / OFF 切換方式・条件の設定

[通常制御] 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。

[外気温度制御] 外気温度±補正值と室内温度でサーモ判定します。室温設定は無効となります。

## 4. 室内機能設定 (つづき)

④⑤ 室外温度 \_ 冷房補正

室外温度 冷房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です。

2

▲

▼

セット

戻る

④⑥ 室外温度 \_ 暖房補正

室外温度 暖房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です。

3

▲

▼

セット

戻る

④⑦ 風量自動切換

風量自動切換

自動1

自動2

戻る

操作を選択してください。

室外温度と冷房／暖房補正值によりサーモ判定します。

- (a) 室外温度 \_ 冷房補正：冷房中にサーモ判定します。  
 室内温度 > (室外温度 - 冷房補正值) でサーモ ON します。  
 冷房補正值は 0 ~ 10°C で設定できます。
- (b) 室外温度 \_ 暖房補正：暖房中にサーモ判定します。  
 室内温度 < (室外温度 + 暖房補正值) でサーモ ON します。  
 暖房補正值は 0 ~ 5°C で設定できます。

風量自動の切換範囲を設定

- [自動 1] 急 ⇄ 強 ⇄ 弱  
 [自動 2] P 急 ⇄ 急 ⇄ 強 ⇄ 弱

④⑧ 室内過負荷アラーム設定

室内過負荷アラーム

キャンセル

▲

7

▼

7°C

セット

戻る

▲▼で温度の変更ができます。

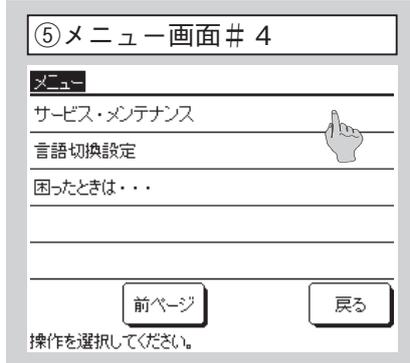
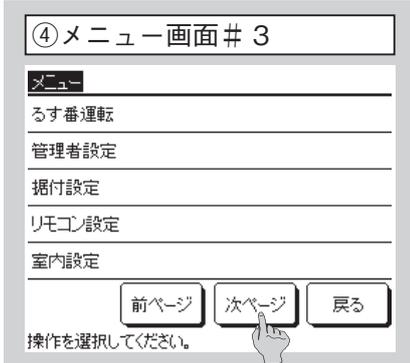
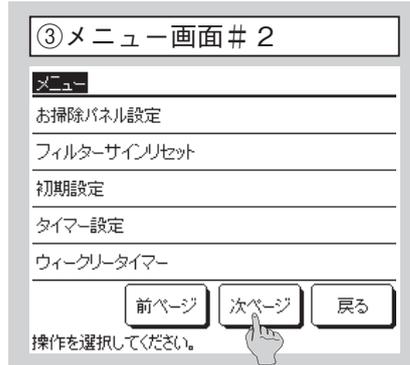
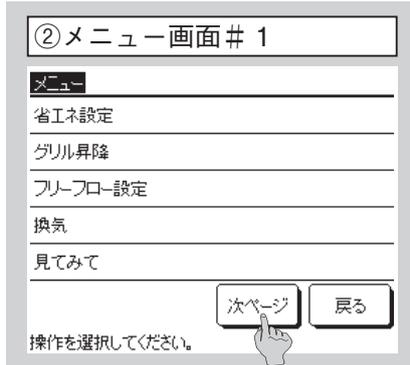
運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。

## 5. サービス・メンテ方法

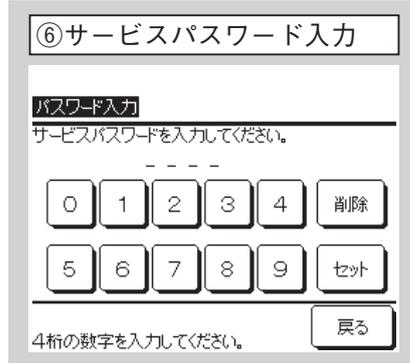
TOP 画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ サービス・メンテナンス



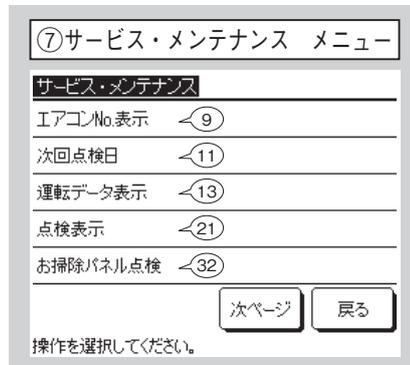
[メニュー] ボタンをタッチしてください。



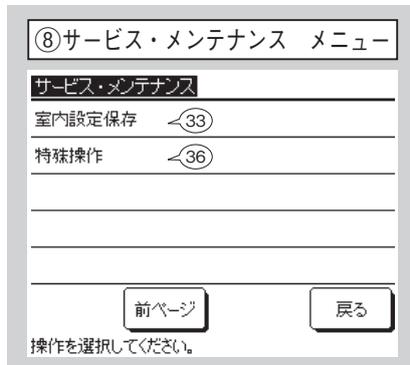
[サービス・メンテナンス] ボタンをタッチしてください。



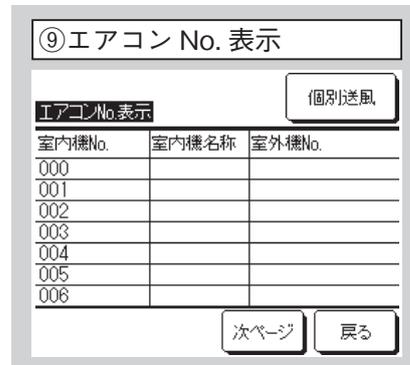
サービスパスワードは9999です。



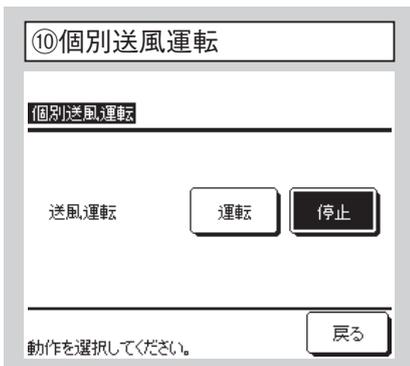
選択した画面に移ります。



選択した画面に移ります。



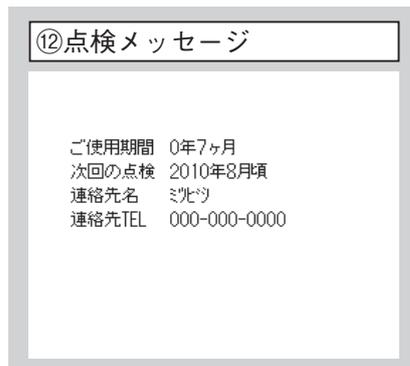
8台以上接続の場合は、次ページ以降に表示ができません。室内ユニット選択後 [個別送風] ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。



[運転] をタッチすると、送風運転開始。  
[停止] をタッチすると、送風運転停止。



次回点検日を入力すると、点検月の運転開始/停止時メッセージが表示されます。表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。  
[設定なし] をタッチするとメッセージは表示されません。



## 5. サービス・メンテ方法 (つづき)

⑬ 運転データ画面 1

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
01 運転モード	冷房	✓		
02 設定温度	28°C	✓		
03 吸込温度	28°C	✓		
04 リモコン温度	29°C			
05 室内熱交温度1	10°C			

選択表示 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑭ 運転データ画面 2

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
06 室内熱交温度2	10°C			
07 室内熱交温度3	10°C			
08 室内ファン速度	5速			
09 要求周波数	51.2Hz			
10 アパー周波数	32Hz			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑮ 運転データ画面 3

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
11 室内EEV開度	256P			
12 室内運転時間	100H			
13 吹出	21°C			
21 外気温度	22°C			
22 室外熱交温度1	29°C			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

運転データが表示されます。[全更新] タッチで全データが更新されます。

データを自動更新させて表示したい場合、6項目まで選択できます。6項目選択後、[選択表示] ボタンをタッチすると⑳の画面に変わります。

⑯ 運転データ画面 4

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
23 室外熱交温度2	29°C			
24 コパ回轉数	51.2Hz			
25 高圧圧力	1.2MPa			
26 低圧圧力	0.2MPa			
27 吐出管温度	78°C			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑰ 運転データ画面 5

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
28 ドム下温度	27°C			
29 電流	8A			
30 SH制御	48°C			
31 SH	48°C			
32 TDSH	48°C			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑱ 運転データ画面 6

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
33 保護制御	No.1			
34 室外ファン速度	5速			
35 63H1	ON			
36 フォット	ON			
37 コパ運転時間	100H			

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑲ 運転データ画面 7

運転データ				全更新
室内機	000	室外機		
項目	データ	表示		
38 室外EEV1開度	512P			
39 室外EEV2開度	512P			

選択表示 前ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑳ 運転データ個別表示画面

運転データ	
運転モード	冷房
設定温度	28°C
吸込温度	29°C
リモコン温度	28°C
室内熱交温度1	10°C
室内熱交温度2	15°C

戻る

㉑ 点検表示メニュー

点検表示	
異常履歴表示	←(22)
異常時運転データ表示	←(23)
異常時運転データ消去	←(30)
定期点検リセット	←(31)

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

㉒ 異常履歴表示 (例)

異常履歴表示			消去
時刻	室内機	異常コード	
2011/01/19 PM 6:57	Q14	E16	
2011/01/19 PM 6:57	Q15	E15	
2011/01/19 PM 6:57	Q12	E14	

戻る

㉓ 異常時運転データ表示 1

異常時運転データ表示				
室内機	000	異常コード	E09	室外機
項目	データ			
01 運転モード	冷房			
02 設定温度	28°C			
03 吸込温度	26°C			
05 室内熱交温度1	10°C			
06 室内熱交温度2	10°C			

次ページ 戻る

㉔ 異常時運転データ表示 2

異常時運転データ表示				
室内機	000	異常コード	E09	室外機
項目	データ			
07 室内熱交温度3	10°C			
08 室内ファン速度	5速			
09 要求周波数	51.2Hz			
10 アパー周波数	32Hz			
11 室内EEV開度	256P			

前ページ 次ページ 戻る

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。  
[消去] ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

異常発生直前の運転データが表示されます。

## 5. サービス・メンテ方法 (つづき)

### ⑲異常時運転データ表示 3

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
12	室内運転時間		100H
13	吹出		21°C
21	外気温度		22°C
22	室外熱交換温度1		29°C
23	室外熱交換温度2		29°C

前ページ 次ページ 戻る

### ⑳異常時運転データ表示 4

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
24	コファ回転数		512Hz
25	高圧圧力		1.2MPa
26	低圧圧力		0.20MPa
27	吐出管温度		76°C
28	ドム下温度		27°C

前ページ 次ページ 戻る

### ㉑異常時運転データ表示 5

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
29	電流		8A
30	SH制御		48°C
31	SH		3°C
32	TDSH		48°C
33	保護制御		No.1

前ページ 次ページ 戻る

異常発生直前の運転データが表示されます。

### ㉒異常時運転データ表示 6

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
34	室外ファン速度		5速
35	⑧SH1		ON
36	チカスト		ON
37	コファ回転時間		100H
38	室外EEV1開度		512P

前ページ 次ページ 戻る

### ㉓異常時運転データ表示 7

異常時運転データ表示			
室内機	000	異常コード E09	室外機
項目	データ		
39	室外EEV2開度		512P

前ページ 戻る

### ㉔異常時運転データ消去

異常時運転データ消去

はい

戻る

操作を選択してください。

異常時運転データが消去されます。

### ㉕定期点検リセット

定期点検リセット

定期点検をリセットしますか?

はい

戻る

設定を選択してください。

定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

### ㉖お掃除パネル点検

お掃除パネル点検

駆動部個別点検

位置認識指令

位置合わせ制御

点検お掃除運転

戻る

操作を選択してください。

フィルタ自動清掃パネル組込みの場合、お掃除パネル説明書を参照ください。

### ㉗室内設定保存

室内設定保存

室内設定を保存

室内設定自動保存 (34)

保存データの転送 (35)

戻る

操作を選択してください。

[室内設定を保存] リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。  
 [室内設定自動保存] 毎日の自動保存時刻を設定します。  
 [保存データの転送] リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

### ㉘室内設定自動保存

室内設定自動保存

設定時刻に室内設定を自動保存します。

▲ AM 0:00 ▼ セット

設定なし 戻る

▲▼で時間を選択し、セットを押してください。

毎日の自動保存時刻を設定します。  
 [設定なし]を選択すると、自動保存は行いません。

### ㉙保存データの転送

室内機選択

000 001 002 003

004 005 006 007

次ページ 戻る

室内機No.を選択してください。

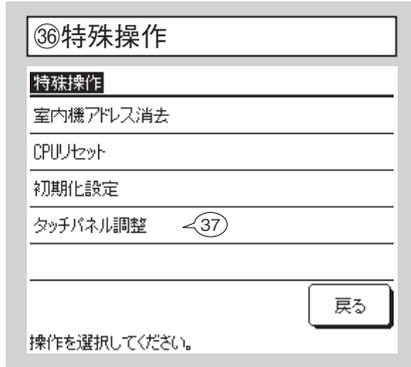
転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

### お知らせ

室内機基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか?

リモコンに室内機設定を保存しておくこと、[保存データの転送]により、保存されたデータを室内機に書込まれます。

## 5. サービス・メンテ方法 (つづき)



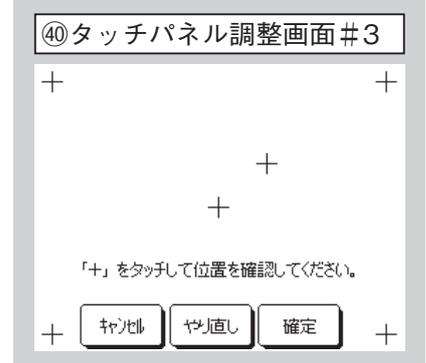
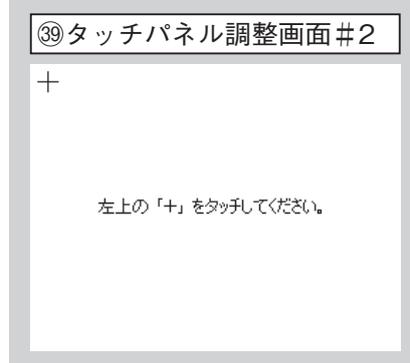
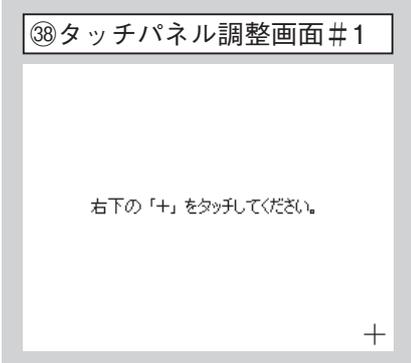
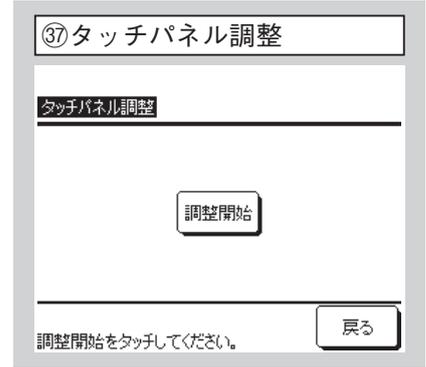
選択した画面に移ります。

[室内機アドレス消去] マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。

[CPUリセット] 接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。

[初期化] 接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。

[タッチパネル調整] 表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。



表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

画面の指示にそって、[+] マーク中心をタッチしてください。

[確定] で終了します。

# 6. リモコンによる操作要領

## (1) ドレンポンプ強制運転

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。  
リモコンを次の手順で操作してください。

### (i) ドレンポンプ試運転の開始

- ① TOP画面より「メニュー」→「次ページ」→「据付設定」を選択し、「試運転」→「ドレンポンプ試運転」と順に選択すると「運転」/「停止」画面が表示されます。
- ② 「運転」を選択するとドレンポンプ試運転を開始します。

注(1) ドレンポンプ試運転を行うためには、サービスパスワードが必要です。

### (ii) ドレンポンプ運転の解除

- ① 画面の「停止」を選択又は、「運転/停止」ボタンを押すとドレンポンプ試運転を解除します。  
エアコンは停止状態となります。

(iii) リモコンの設定画面については、4-35ページの2項据付設定試運転をご覧ください。

## (2) 試運転

### (a) リモコンからの試運転

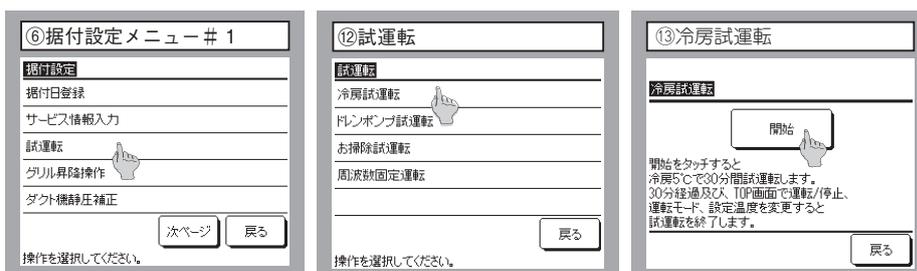
#### (i) 冷房試運転操作

##### a) 冷房試運転の開始

- ① TOP画面より「メニュー」→「次ページ」→「据付設定」を選択します。  
据付設定を選択すると「パスワード入力」画面が表示されますので、パスワードを入力してください。  
(パスワードは4桁です。)



- ② 据付設定画面から「試運転」を選択します。  
試運転設定画面から「冷房試運転」を選択します。  
冷房試運転設定画面から「開始」ボタンをタッチしてください。冷房試運転を開始します。



##### b) 冷房試運転の解除

下記のいずれかの操作が行われたとき、冷房試運転は解除され、「冷房試運転中」表示は消灯します。

- ① 「運転/停止」スイッチが押されたとき。
- ② 温度設定が変更されたとき。
- ③ 冷房以外のモードに変えたとき。
- ④ 冷房試運転開始より、30分経過したとき。

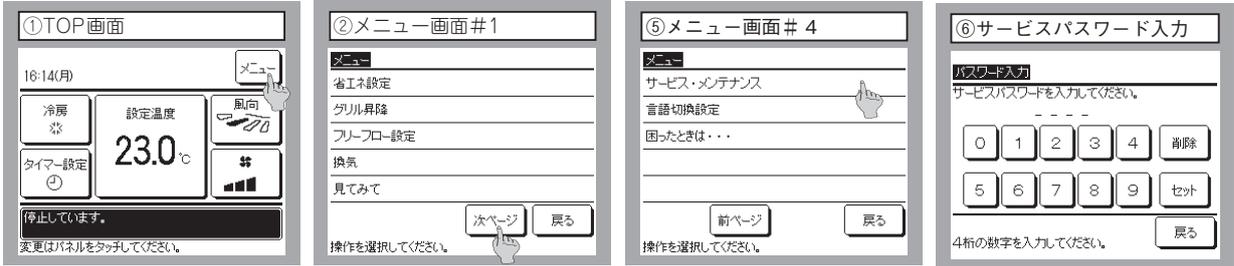
(ii) 運転データの確認方法

リモコン操作により、運転データの確認ができます。

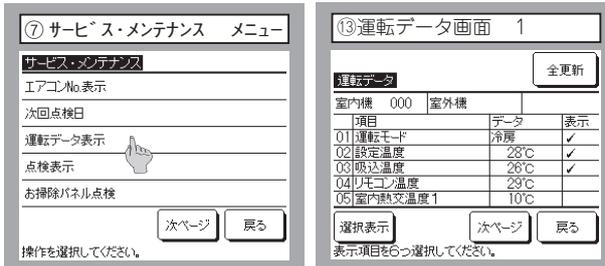
〔操作手順〕

① TOP画面より「メニュー」→「次ページ」→「サービス・メンテナンス」を選択します。

サービス・メンテナンスを選択すると「パスワード入力」画面が表示されますので、パスワードを入力してください。（パスワードは4桁です。）



② サービス・メンテナンス画面より「運転データ表示」を選択すると、運転データが表示されます。



注 (1) 運転データ画面の切換えは、「次ページ」または「前ページ」のボタンをタッチしてください。

③ 運転データ一覧表については、下表をご覧ください。

番号	データ項目
01	運転モード
02	設定温度
03	吸込温度
04	リモコンセンサ温度
05	室内熱交温度 (ThI-R1)
06	室内熱交温度 (ThI-R2)
07	室内熱交温度 (ThI-R3)
08	室内ファン速調
09	要求周波数
10	アンサー周波数
11	室内膨張弁開度
12	室内運転積算時間
13	吹出温度
21	外気温度
22	室外熱交温度 (Tho-R1)
23	室外熱交温度 (Tho-R2)
24	圧縮機周波数
25	高圧
26	低圧
27	吐出管温度
28	ドーム下温度
29	CT 電流
30	SH 制御値
31	実 SH
32	実 TDSH
33	圧縮機保護ステータス No.
34	室外ファン速調
35	63H1 ON/OFF
36	デフロスト ON/OFF
37	圧縮機運転積算時間
38	室内膨張弁開度 (EEVC)
39	室内膨張弁開度 (EEVH)

## 5 別売部品編の目次

1. ワイヤレスキット (RCN-KIT3G) .....	5-2
2. コンパクトリモコン (RCH-D3) .....	5-4
3. フィルタキット (天理カセテリア用).....	5-8
4. 丸ダクト変換キット (高静圧ダクト形用).....	5-9

# 1. ワイヤレスキット (RCN-KIT3G)

PJZ012D059

## 警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をします。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

## 注意

- ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。  
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。
- (1)直射日光の当たる場所 (2)発熱器具の近く (3)湿気の多い所・水の掛る所 (4)取付面が発熱・結露する場所 (5)油の飛沫や蒸気が直接触れる場所 (6)取付面に凹凸がある所 (7)室内ユニットの吹き出し空気が当たる場所
- (8)蛍光灯(特にインバータータイプ)の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所 (9)他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所 (10)ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所
- ワイヤレスキット上ケースを取り外したまま放置しない。  
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱か袋に入れて保護してください。

## お願い

- ・取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかたをご指導ください。
- ・ワイヤレスリモコンの取扱説明書は、室内ユニット又は室外ユニットに付属されております。
- ・本ワイヤレスキットに付属の説明書と合せてご覧ください。

## 1 付属品

次の付属品を確かめてください。

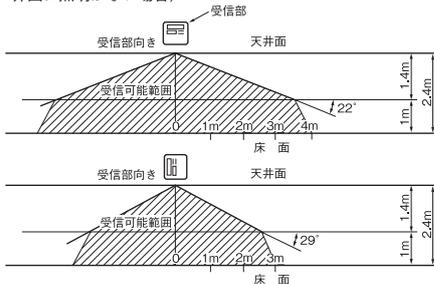
① 受光アダプタ	1	① リモコン用ホルダー	1
② 配線 (3m)	1	② 同上用木ネジ	2
③ パーツセット (A)	1	③ リモコン用電池	2
④ パーツセット (B)	1	④ 受光アダプタ用ネジ	2
⑤ パーツセット (C)	1	⑤ バンド	1
⑥ ワイヤレスリモコン	1	⑥ クランプ	5
⑦ 取扱説明書	1	⑦ 同上用ネジ	5
		⑧ 受光部取付用ブラケット	1
		⑨ 同上用ネジ	2
		⑩ 取付金具	2
		⑪ JISボックス取付用ネジ	2

## 2 ワイヤレスリモコンの操作距離

### (1) 天井面に取付けた場合

#### ① 標準的受信距離

【条件】受信部照度 **300ルクス** (一般事務所で受信アダプタ周辺1m以内の天井面に照明がない場合)

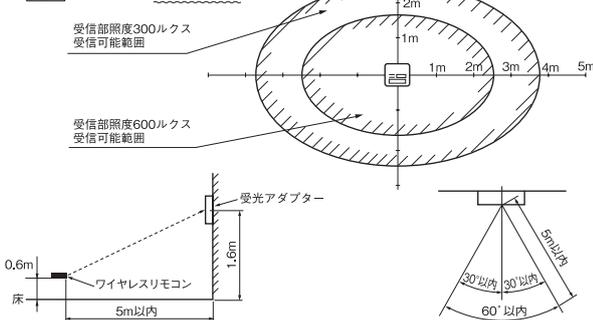


#### ② 平面から見た時の受信部照度と受信距離の関係

【条件】天井高さ2.4m、床面より1mの高さより、リモコン操作をした場合の受信部照度と受信距離との関係。照度が2倍になると受信距離は2/3となる。

### (2) 壁面に取付けた場合

【条件】受信部照度 **800ルクス**



## 3 受光アダプタ取付

天井あるいは、壁面(以後あわせて壁面と呼ぶこととします)への取付け方法として、下記3種類の取付けが可能です。設置場所に応じて選んでください。

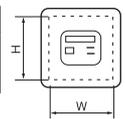
### (取付け方法)

- (A) 壁面への木ネジによる直接取付け
- (B) JISボックス(現地手配)による取付け
- (C) 付属ブラケットによる取付け

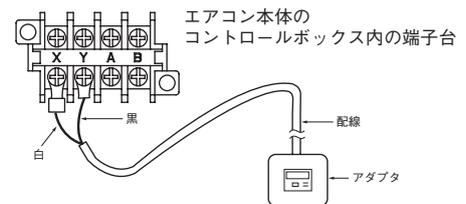
#### (1) 壁面への穴あけ(壁面開口)

取付用の穴を付属配線(3m)で接続可能な壁面位置に、下表の寸法にてあけてください。

(A) 壁面への木ネジによる直接取付け	88mm(H) × 101mm(W)
(B) JISボックスによる取付け	108mm(H) × 108mm(W)
(C) 付属ブラケットによる取付け	



#### (2) 受光アダプタ用配線



### 注意

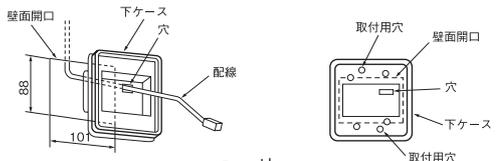
配線を端子台200Vに接続しないこと。プリント基板が焼損します。

#### (3) 受光アダプタ取付け

側面についているネジをはずし、上ケースと下ケースに分割してください。下記4種(A~D)のうちのいずれかの方法により取付けてください。

#### (A) 壁面への木ネジによる直接取付け

▷壁面が木製などのもので、直接木ネジにより取付けても強度的に問題のない場合にこの方法で取付けてください。



#### (B) JISボックスによる取付け (JISボックス：現地手配)

- ①配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ②下ケースを壁面開口にはめてください。この時、下ケース後面凸部と壁面開口とのすきは両側ともできるだけ等しくなるようにしてください。
- ③上図2ヶ所の取付用穴を用いて付属の木ネジにより下ケースを壁に固定してください。(他の4ヶ所の穴は使用しません)
- ④配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。
- ⑤接続したコネクタを①項にて配線を通した下ケースの穴より裏側へ出してください。
- ⑥上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ネジをしめてください。

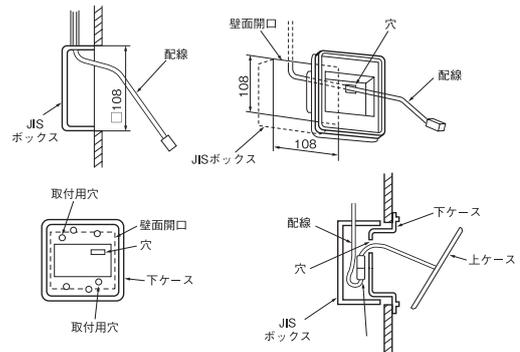
#### (B) JISボックスによる取付け (JISボックス：現地手配)

① JISボックスと配線をあらかじめ設置しておきます。

【使用可能JISボックス】

JIS C 8435 埋込用四角アウトレットボックス中浅形

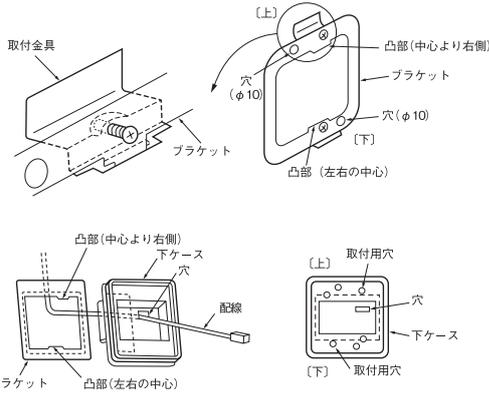
JIS C 8340 中形四角アウトレットボックス



- ②配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ③上図2ヶ所の取付け用穴を用いて付属しているネジにより下ケースはJISボックスに固定してください。(他の4ヶ所の穴は使用しません)
- ④配線と上ケースから出ている配線とをコネクタにより接続してください。
- ⑤接続したコネクタを②項にて配線を通した下ケースの穴より、下ケースとJISボックスの間へ入れてください。
- ⑥上ケースを下ケースに元通りはめ込み、ネジをしめてください。

### C 付属ブラケットによる取付け

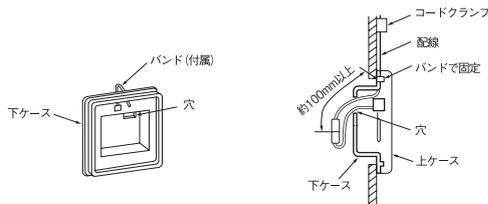
石膏ボード(7~18mm)などに取付ける場合は、この方法により取付けてください。より薄い壁面に取付ける場合は別途、松下電工製取付金具(WN3990:3~7mm用)を手配願います。



- ① 上図の様に付属ブラケットの凸部(2ヶ所)に取付金具を引掛け、ネジにより仮止めしてください。(ブラケットには上下および表裏があります。上下凸部の位置およびブラケットにあるφ10の穴と取付金具の取付面との位置関係を上図にてご確認ください。)
- ② 壁面開口より取付金具の端部を壁面裏側へ入れ、さらにネジをしめてブラケットを壁面に固定してください。
- ③ 配線を裏面側から下ケースの穴に通してください。
- ④ 下ケースをブラケットにはめ込み、上図2ヶ所の取付用穴を用いて下ケースをブラケットに固定してください。(他の4ヶ所の穴は使用しません)
- ⑤ 以降(A)の①~⑥を参照して取付けてください。

### D 配線露出取付

配線を露出させて取付ける場合は下記の通りに行なってください。



- ① 上ケース側面の薄内部をニッパー、ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。(この部分に配線を通します。)
- ② 下ケースの配線取出部の穴に付属のバンドを通します。
- ③ 3項の受光アダプタ取付方法(A)~(C)のいずれかの方法に従い、下ケースを壁面に固定してください。ただし、配線は下ケースの穴に通さないでください。
- ④ バンドでの固定部から配線のコネクタの先端までの長さを100mm以上とした状態でバンドにより配線を固定してください。(ただし、JISボックスにより下ケースを取付けた場合は約100mmとしてください。)
- ⑤ 配線と上ケースより出ている配線をコネクタにより接続してください。
- ⑥ 接続したコネクタおよび不要な配線を下ケースの穴より裏側へ出してください。
- ⑦ 上ケースを下ケースに元通りにはめ込み、ネジをしめてください。
- ⑧ 配線は付属のコードクランプで適宜固定してください。

## 4 リモコン

### リモコンホルダーの据付

#### お願い

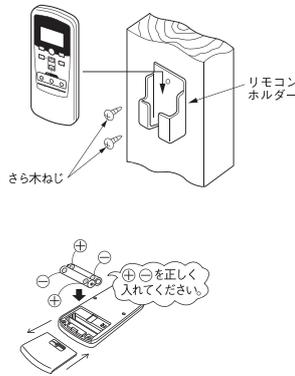
- 次の位置は避けてください。
- 1) 直射日光の当たる場所
  - 2) 発熱器具の近く
  - 3) 湿気の多い所・水のかかる所
  - 4) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
  - 5) 取付面に凹凸がある所

#### ホルダー取り付け時の注意

- ・垂直になるよう、調節してください。
- ・ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・土壁等へは取り付けしないでください。

### 電池の入れ方

- ① 裏ボタンを外します。
- ② 乾電池を入れます。(単四2本)
- ③ 裏ボタンを取り付けます。



## 5 冷房試運転操作

- 安全を確認して元電源を投入してください。
- 受信部バックアップスイッチを押しながらリモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼付けの結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

## A 混信による誤動作を防ぐ方法 ①②両方を実施

他の家電製品と混信する場合又は、2個の受光アダプタが近接して混信する場合に設定します。

### ①ワイヤレスリモコンの設定変更

**風向** ボタンを押しながらリセットボタンを押すか電池投入をすると設定が混信防止設定へ切り換わります。

**ご注意** ※一度電池を取り外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

### ②受光アダプタ基板の改修

SW1-1をOFF(切換)にしてください。

## B フィルター自動昇降機能への対応方法

フィルター自動昇降機能が装備された室内機に対応させる場合に設定します。ワイヤレスリモコンの設定変更

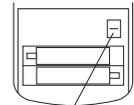
次の①②いずれかの方法によりリモコン設定を変更してください。

① **フィルター** ボタンを押しながら、リセットボタンを押すか電池投入すると設定がフィルター自動昇降対応となります。

② リモコン裏ボタンを外し、ジャンパー線を切断すると、フィルター自動昇降モード有効に切り換わります。

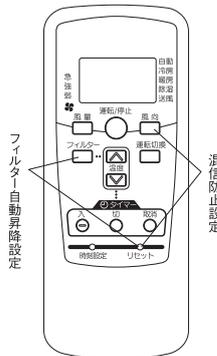
(設定を実施すると、フィルター自動昇降モード時、ディスプレイに「**フィルター**」と表示されます。)

**ご注意** ※①の方法により設定した場合、一度電池を取り外すと初期設定(工場出荷時設定)へ戻ります。電池を取り外した時は、再度、上記操作を行ってください。

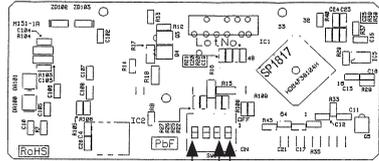


フィルター自動昇降設定ジャンパー線

### ●ワイヤレスリモコン



### ●受光アダプタ基板



SW1-4 (室内機停電補償) SW1-1(混信防止) SW1-2(親子切換)

SW1-1	混信による誤動作防止	※ ON: 通常 OFF: 切換
SW1-2	受信部の親子切換	※ ON: 親 OFF: 子
SW1-4	室内機停電補償	※ ON: 有効 OFF: 無効

※出荷時設定

※上記(A)と(B)のワイヤレスリモコンの設定を同時に行う場合は、「**風向**」ボタン及び「**フィルター**」ボタンを同時に押しながら、リセットボタンを押すか電池投入をしてください。

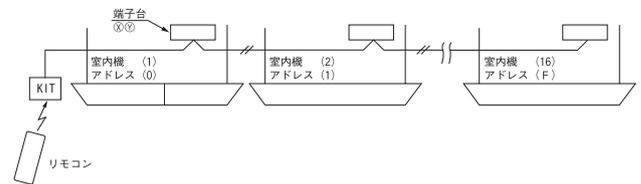
## C 1リモコンによる複数台室内ユニット制御方法

室内ユニット最大16台まで接続可能です。

① 各室内ユニット間を2心の渡り線にて配線してください。渡り線については下記を参照願います。

② 店舗シリーズの場合: 室内基板上のロータリースイッチSW2により、リモコン通信アドレスを重複しないように「O」~「F」に設定してください。

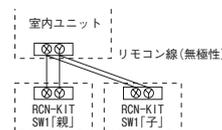
渡り線の太さと、長さの制限(最大総長600m)	
標準	0.3mm×100m以内
	0.5mm×200m以内
	0.75mm×300m以内
	1.25mm×400m以内
	2mm×600m以内



③ ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合: 室内基板上のロータリースイッチSW1、SW2、ディップスイッチSW5-2により、リモコン通信アドレスを重複しないように「000」~「127」設定してください。

## D 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(又は1グループ)に対して最大2個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW1-2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

# 2. コンパクトリモコン (RCH-D3)

PJZ012D068

室内機の据付説明書と共にお読みください。

**警告**

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。  
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。  
感電、故障や動作不良の原因になります。

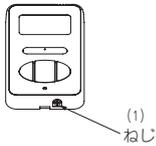
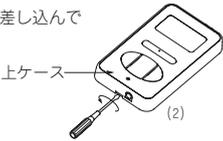
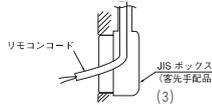
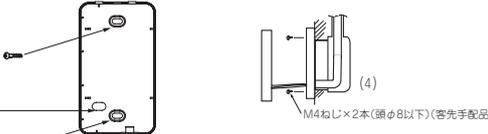
**注意**

- 下記の様な所にリモコンを設置しない。  
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。  
(1) 直射日光の当たる場所 (4) 取付面が発熱・結露する場所  
(2) 発熱器具の近く (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所  
(3) 湿気の多い所・水の掛る所 (6) 取付面に凹凸がある所
- リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。  
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱または梱包袋に入れて保護してください。

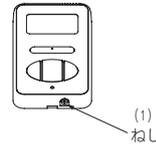
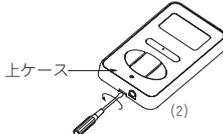
付属品	リモコン本体、木ねじ(φ3.5×16) 2本
客先手配品	リモコンコード (2心)(注.リモコンコードを延長する場合の注意)を参照ください。 [埋込取付の場合] JIS ボックス、M4 ねじ (2本) [露出取付の場合] コードクランプ (適時)

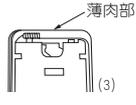
### 1. 取付要領

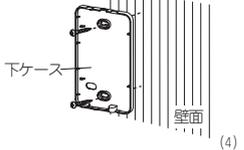
#### 埋込取付の場合

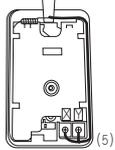
- リモコンの下面のねじを必ず外してください。  

- リモコンの上ケースを外してください。  
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。  

- JIS ボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。  
[使用可能 JIS ボックス]  
JIS C 8336 1個用スイッチボックス  

- M4 ねじ2本(推奨長さ12~16mm)を用意して、下ケースを JIS ボックスに取り付けてください。  
ねじ穴の周囲の壁の高さより、ねじ頭の大きなねじを、使用しないでください。  

- リモコンコードを端子台に接続してください。  
リモコンの端子(X, Y)と室内機の端子(X, Y)とを接続してください。(X, Yの極性はありません。)
- リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取り付け、外したねじで固定してください。

#### 露出取付の場合

- リモコンの下面のねじを必ず外してください。  

- リモコンの上ケースを外してください。  
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。  


- リモコンコードの取り出し方向は、上部中央から可能です。  
リモコン上ケースの上方の薄肉部をニッパ・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。  


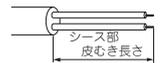
- リモコンの下ケースを付属の木ねじ2本で平らな壁に取り付けます。  


- リモコンコードを端子台に接続してください。  
リモコンの端子(X, Y)と室内機の端子(X, Y)とを接続してください。(X, Yの極性はありません。)  
配線経路は右図の通りとなります。  


リモコンケース内を通る配線は、0.3mm<sup>2</sup>(推奨)~最大0.5mm<sup>2</sup>以下としてください。

また、シース部を皮むきしてください。  
各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

X 配線 : 160mm  
Y 配線 : 150mm



- リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取り付け、外したねじで固定してください。
- 露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないように、コードクランプ等で壁面に固定します。

### 2. リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長600m

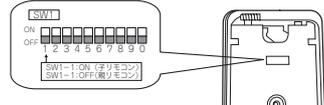
- リモコンコードは0.3mm<sup>2</sup>×2心です。  
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。  
但し、リモコンケース内を通る配線は0.3mm<sup>2</sup>(推奨)~最大0.5mm<sup>2</sup>以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続の際は、水分等が浸入しない様な処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のない様確実に行ってください。  
100~200m 以内 ..... 0.5mm<sup>2</sup> × 2心  
300m 以内 ..... 0.75mm<sup>2</sup> × 2心  
400m 以内 ..... 1.25mm<sup>2</sup> × 2心  
600m 以内 ..... 2.0mm<sup>2</sup> × 2心

### 3. 複数リモコン使用時の親子設定

- 室内機1台(又は1グループ)に対して最大2個までのリモコンを接続でき

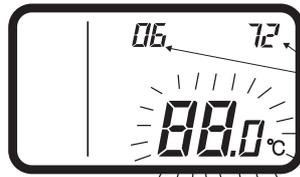
スイッチ	設定	機能内容
SW1-1	ON	子リモコン
	OFF	親リモコン

- 子リモコンの切換スイッチ SW1-1 を「子」(ON) に設定してください。工場出荷時は「親」(OFF) 設定です。  
(注)・リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。  
・親リモコンを室温検知させる位置に取り付けてください  
・リモコンを複数接続した場合、エアコンの運転は、後操作したリモコンに従います。



#### 4. 電源投入時の表示

- (1) 電源投入時、最初の2秒間全点灯した後、下記表示となります。  
リモコンLCD上部に表示される番号は、ソフトウェアの管理番号を表示させているものであり、異常コードの表示ではありません。



ソフトウェア管理番号  
(左記記号は一例です。  
別の番号が出る場合もあります。)

- (2) その後、リモコンと室内機の通信が確定するまで、リモコンには、「88.0℃」が点滅します。
- (3) 室内機1台(又は1グループ)に、1個のリモコンを接続する場合は、必ず親子リモコン(出荷時設定)としてください。  
子リモコンにすると通信ができません。
- (4) リモコンと室内機の通信ができない状態が30分程度続くと、「E」表示がでます。  
室内機及び室外機の配線、及びリモコンの親子設定等をご確認願います。



#### 5. 吸込温度の確認方法

リモコン操作により、吸込温度の確認ができます。

- (1) **エアコンNo**ボタンを5秒以上押す。  
温度設定表示部に、「88」が点滅します。  
(データを読み込む間約2秒間点滅)



その後、吸込温度を表示します。

(例) 吸込温度:「27℃」(点灯)

(注) 吸込温度は、通常の場合室内機の吸込温度を表示しますが、リモコンセンサ有効の場合は、リモコンセンサ検知温度が表示されます。

- (2) **運転/停止**ボタンを押す。  
終了します。

【リモコンセンサが無効で、一つのリモコンに複数台の室内機が接続されている場合】

- (1) **エアコンNo**ボタンを5秒間押す。  
室内機No表示部:「U 000」(点滅)  
(接続されている室内機の、最も若い番号を表示。)



- (2) **TEMP△**または**TEMP▽**ボタンを押す。  
室内機の番号を選びます。

- (3) **MODE**ボタンを押す。  
室内機Noを確定します。

(例) 室内機No表示部:「U 000」

温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間約2~10秒間点滅)

その後、吸込温度を表示します。**エアコンNO**ボタンを押すと、室内機選択表示(例「U 000」)に戻ります。

- (4) **運転/停止**ボタンを押す。  
終了します。

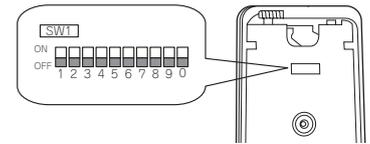
## 6. 機能設定

リモコンと室内機の各機能は、リモコンと室内機を接続した際に、標準的な使い方である初期設定に自動的に設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更はいりません。但し、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。設定内容は記録して保管してください。

### (1) 基板上の切換スイッチによる機能設定項目

スイッチNo	設定	設定内容	初期設定
SW1-1	ON	子リモコン	
	OFF	親リモコン	○
SW1-2	ON	リモコンセンサ有効	
	OFF	リモコンセンサ無効	○
SW1-3	ON	「運転切換」ボタン禁止	
	OFF	「運転切換」ボタン有効	○
SW1-4	ON	「運転/停止」ボタン禁止	
	OFF	「運転/停止」ボタン有効	○

スイッチNo	設定	設定内容	初期設定
SW1-5	ON	「温度設定」ボタン禁止	
	OFF	「温度設定」ボタン有効	○
SW1-6	ON	「風量調整」ボタン禁止	※注1
	OFF	「風量調整」ボタン有効	※注1
SW1-7	ON	停電補償有効	
	OFF	停電補償無効	○
SW1-8, 9, 0	ON		
	OFF	未使用	



- ・子リモコンはSW1-1以外は設定無効です。
- ・風量1速の室内機は「風量調整」ボタン有効にはできません。

### (2) ボタン操作による機能設定項目

分類	機能番号	機能	設定番号	設定	初期設定	備考
リモコン機能	01	室内ファン速度	01	ファン速度3速	※注1	ファン風量が、急-強-弱の3速となります。
			02	ファン速度2速 (Hi-Lo)	※注1	ファン風量が、急-弱の2速となります。
			03	ファン速度2速 (Hi-Me)		ファン風量が、急-強の2速となります。
			04	ファン1速	※注1	ファン風量が1速のみで固定されます。
	03	冷房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ+3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+3.0℃温度補正する。
			03	リモコンセンサ+2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+2.0℃温度補正する。
			04	リモコンセンサ+1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+1.0℃温度補正する。
			05	リモコンセンサ-1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-1.0℃温度補正する。
			06	リモコンセンサ-2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-2.0℃温度補正する。
			07	リモコンセンサ-3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、-3.0℃温度補正する。
	04	暖房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ+3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+3.0℃温度補正する。
			03	リモコンセンサ+2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+2.0℃温度補正する。
			04	リモコンセンサ+1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+1.0℃温度補正する。
			05	リモコンセンサ-1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-1.0℃温度補正する。
			06	リモコンセンサ-2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-2.0℃温度補正する。
			07	リモコンセンサ-3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、-3.0℃温度補正する。
	05	換気設定	01	換気接続なし	○	
			02	エアコンと連動		シングル機は室内基板CNT、マルチ機は室内基板CNDに換気機器を接続すると、室内機の運転に連動し、換気機器の運転/停止を行います。
	06	「自動」運転設定	01	「自動」運転有効	※注1	
			02	「自動」運転無効	※注1	「自動」運転不可
	07	運転許可/禁止	01	無効	○	
			02	有効		運転許可/禁止制御を有効にします。
08	外部入力切替	01	レベル入力	○		
		02	パルス入力			
09	高天井設定	01	標準	注2		
		02	高天井1	注2		
		03	高天井2	注2		
10	冷房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	冷房停止後、ファン残留運転なし。	
		02	0.5時間		冷房停止後、0.5時間ファン残留運転する。	
		03	1時間		冷房停止後、1時間ファン残留運転する。	
		04	6時間		冷房停止後、6時間ファン残留運転する。	
11	暖房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	暖房停止、または暖房サーモOFF後、ファン残留運転なし。	
		02	0.5時間		暖房停止、または暖房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。	
		03	2時間		暖房停止、または暖房サーモOFF後、2時間ファン残留運転する。	
		04	6時間		暖房停止、または暖房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。	
12	暖房室温補正	01	補正なし	○		
		02	室温補正+3.0℃		暖房時の設定温度を+3.0℃補正します。	
		03	室温補正+2.0℃		暖房時の設定温度を+2.0℃補正します。	
		04	室温補正+1.0℃		暖房時の設定温度を+1.0℃補正します。	
13	暖房ファン制御	01	弱風	○	暖房サーモOFF時、弱風で運転します。	
		02	設定風量		暖房サーモOFF時、設定風量で運転します。電気集塵機を取り付けた場合は「設定風量」に設定してください。	
		03	間欠運転		暖房サーモOFF時、間欠運転します。	
		04	停止		暖房サーモOFF時、ファンは停止します。リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は、設定しないでください。	
14	吸込温度補正	01	補正なし	○		
		02	吸込温度補正+2.0℃		室内機の吸込温度を+2.0℃補正します。	
		03	吸込温度補正+1.5℃		室内機の吸込温度を+1.5℃補正します。	
		04	吸込温度補正+1.0℃		室内機の吸込温度を+1.0℃補正します。	
		05	吸込温度補正-1.0℃		室内機の吸込温度を-1.0℃補正します。	
		06	吸込温度補正-1.5℃		室内機の吸込温度を-1.5℃補正します。	
		07	吸込温度補正-2.0℃		室内機の吸込温度を-2.0℃補正します。	

注1：「※」印の初期設定は、接続される室内機及び室外機により異なり、下記の通り自動判別されます。

スイッチNo 機能番号	機能	設定	機種
SW1-6	風量調整	「風量調整」ボタン禁止	室内ファン風量切換えが1速のみの機種
		「風量調整」ボタン有効	室内ファン風量切換えが2速又は3速の機種
リモコン機能 01	室内ファン速度	ファン速度3速	室内機ファン風量3速の機種
		ファン速度2速 (Hi-Lo)	室内機ファン風量2速の機種
		ファン速度2速 (Hi-Me)	
リモコン機能 06	「自動」運転設定	「自動」運転有効	「自動」モード選択可能な機種
		「自動」運転無効	「自動」モードの無い機種

注2：高天井設定時のファンタップ

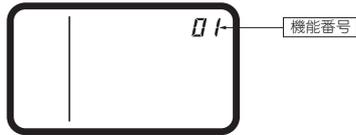
ファンタップ	室内風量設定		
	急-強-弱	急-弱	急-強
標準	Hi-Me-Lo	Hi-Lo	Hi-Me
高天井1・2	UHi-Hi-Me	UHi-Me	UHi-Hi

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。

注3：ツイン・トリプル・W ツイン機の場合、室内機能設定は親室内ユニット・子室内ユニット各々設定してください。但し、「07 運転許可/禁止」「08 外部入力切替」は親室内ユニットのみで設定可能です。

## 7. ボタン操作による機能設定の仕方

- (1) エアコンを停止させて、**[エアコンNo]**と**[MODE]**ボタンを同時に長押しする。  
右上に、機能番号「01」が点滅します



- (2) **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。  
機能番号を選択します。

- (3) **[MODE]**ボタンを押す。  
機能番号を確定する。

- (4) 【リモコン機能（01～06）を選んだ場合】

- ① 選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。

(例)

機能番号：「01」（点灯）

設定番号：「01」（点滅）



- ② **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。  
設定番号を選択します。

- ③ **[MODE]**ボタンを押す。

設定が完了します。

確定した機能番号と、設定番号をデータを送信する間約3～20秒間点灯します。

(例)

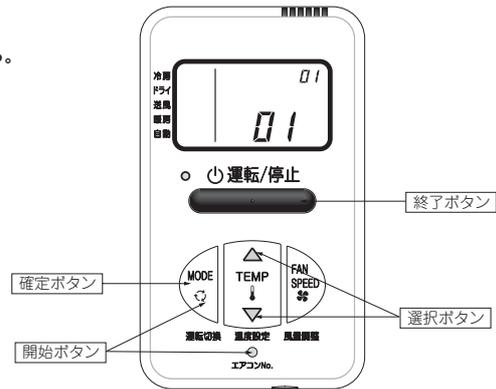
機能番号：「01」（3～20秒間点灯）

設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。終了する場合は、(5)へお進みください。

- (5) **[運転/停止]**ボタンを押す  
設定を終了します。



### 【室内機能（07～14）を選んだ場合】

- ① 温度設定表示部に、「88」が点滅します。

(データを読み込む間約2～10秒点滅)

↓

その後、選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。

(例)

機能番号：「07」（点灯）

設定番号：「01」（点滅）



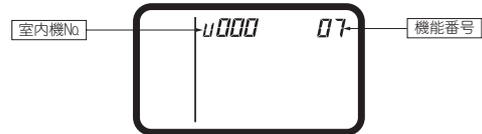
- ② へお進みください。

### 【注意】

- a. 一つのリモコンに、室内機を複数台接続している場合は、下記表示となります。

室内機No表示部：「U 000」（点滅）

(接続されている室内機の、最も若い番号を表示。)



- b. **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。

設定したい室内機の番号を選びます。

「U ALL」を選択すると、全台同一の設定ができます。

- c. **[MODE]**ボタンを押す。

室内機Noを確定します。

温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間2～10秒点滅)

**[エアコンNo]**ボタンを押すと室内機選択表示(例「U 000」点滅)に戻ります。

- ② **[TEMP△]**または**[TEMP▽]**ボタンを押す。

設定番号を選択します。

- ③ **[MODE]**ボタンを押す。

設定が完了します。

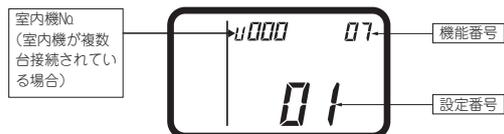
確定した室内機No、機能番号、設定番号をデータを送信する間約3～20秒間点灯します。

(例)

室内機No：「U 000」（3～20秒間点灯）

機能番号：「07」（3～20秒間点灯）

設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。終了する場合は、(5)へお進みください。

- ・設定の途中で、**[運転/停止]**ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- ・設定内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されています。

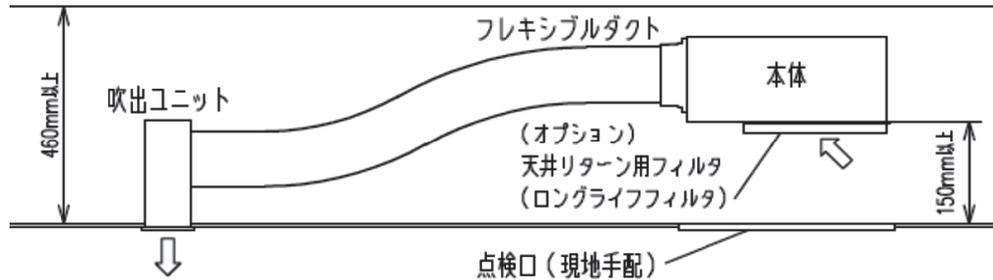
### 【現在設定の確認方法】

上記操作により、「機能番号」を選び、**[MODE]**ボタンを押した時に、最初に表示される「設定番号」が、現在設定されている内容です。(但し、「U ALL」(全台)を選んだ場合は、室内機Noの最も若い機種の設定番号が表示されます。)

### 3. フィルタキット（天埋カセテリア用）

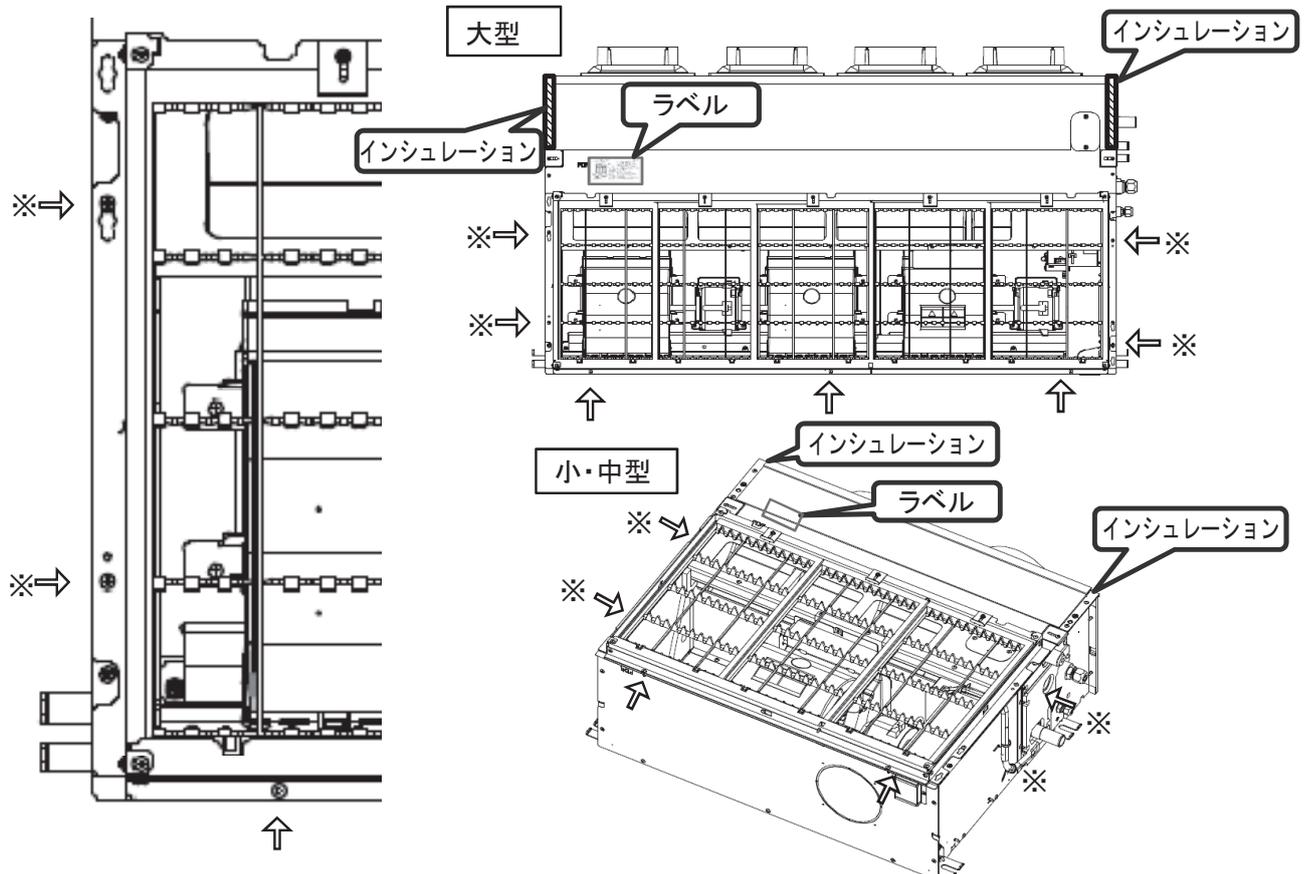
PJG012D011A

室内ユニット付属の据付説明書と合わせて、ご覧ください。  
 フィルタ清掃用・ユニット点検用に点検口を設置してください。  
 天井内が負圧にならない様に設計してください。



フィルターキット形式	R-FL-2A							R-FL-3A				R-FL-4A			
	P22	P28	P36	P40	P45	P50	P56	P63	P71	P80	P90	P112	P140	P160	
適用機種															
店舗				●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
ビル空調	●	●	●		●		●		●	●	●	●	●		
GHP	●	●	●		●		●		●		●	●	●		
内容物	フィルター	フィルター小 3枚							フィルター大 3枚				フィルター小 2枚 フィルター大 3枚		
	ねじ	6本							6本				7本		
	インシュレーション	2枚							2枚				2枚		

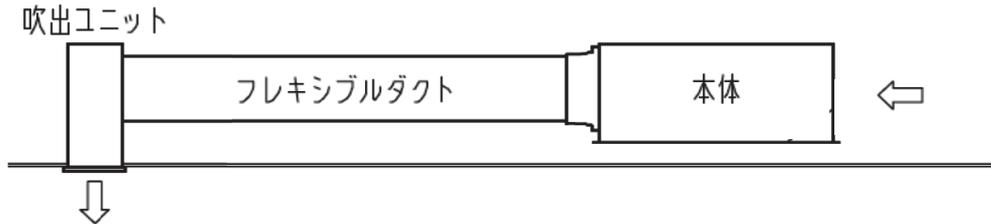
- ・ 付属のラベル『エアフィルターの取付け・取外し方』を貼り付けてください。
- ・ ⇒ 矢印部を付属のねじで固定してください。 小型・中型は6本 大型は7本
- ・ 機種によって、※部のねじがユニット側のねじと重なる場合があります。  
 その場合はユニット側のねじを取り外してから共締めしてください。
- ・ インシュレーションを下図に従って2か所貼り付けてください。
- ・ 室内ユニット付属の据付説明書を参照に静圧設定を行ってください。



## 4. 丸ダクト変換キット（高静圧ダクト形用） PJG012D012A

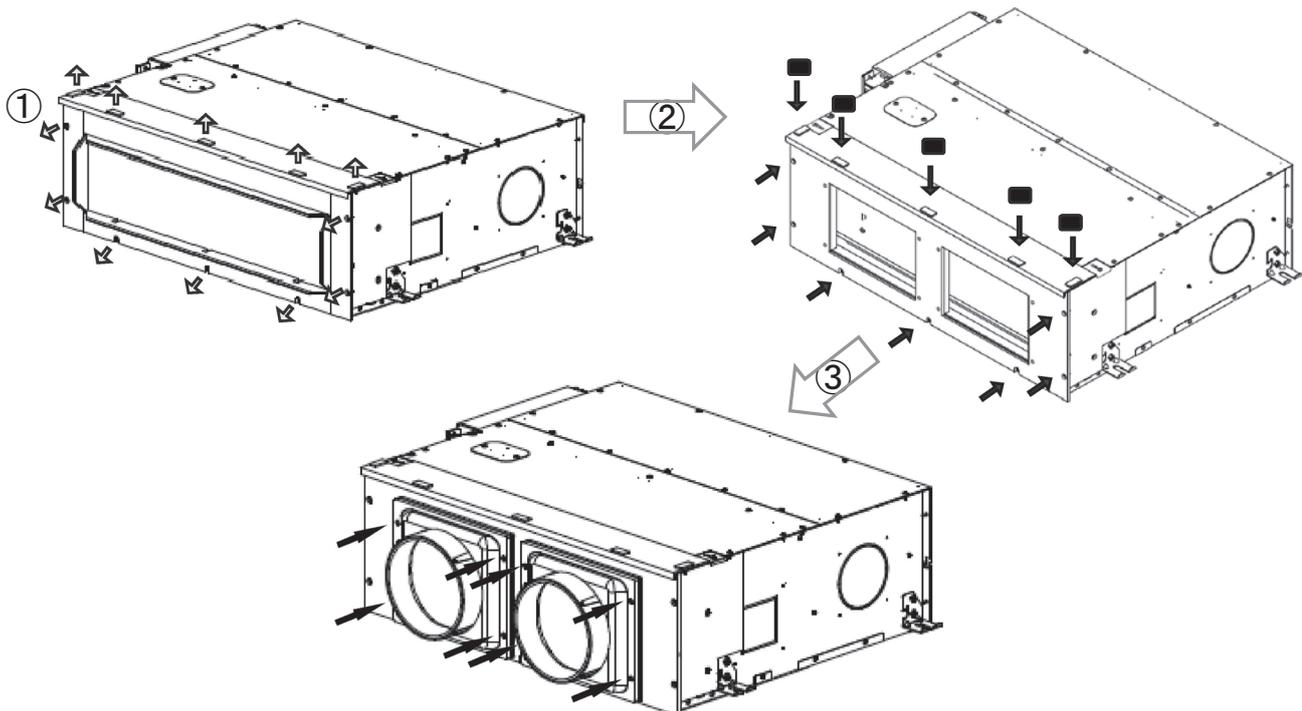
- 室内ユニット付属の据付説明書と合わせて、ご覧ください。
- φ200円形ダクトを接続してください。
- 各スポット間のダクト長さは、2対1以内としてください
- ダクトは、最短長さとなるよう施工してください。
- 4スポットを3スポット、3スポットを2スポットに改修する場合は、専用塞ぎ板を別売品として用意しています。中央いづれかを塞いでください。
- 2スポットから1スポットへの改修は、行わないでください。
- 室内ユニット付属の据付説明書を参照に静圧設定を行ってください。

注意： 設定可能な機外静圧は、10～100Paとなります。



シリーズ展開		小型						中型				大型			
		P22	P28	P36	P40	P45	P50	P56	P63	P71	P80	P90	P112	P140	P160
シリーズ展開	店舗						●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ビル空調	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●
	GHP					●	●		●		●	●	●	●	
丸ダクト変換キット	吹出口数	1口		2口				3口				4口			
	形式	U-UM-1A		U-UM-2A				U-UM-3A				U-UM-4A			
	付属ねじ(長さ12mm)	12本		12本				13本				14本			
	付属ねじ(長さ16mm)	4本		8本				12本				16本			
	断熱材	5枚		5枚				6枚				6枚			

- 本作業は、本体吊り込み前に実施してください。
- ① 熱交換器側の角ダクトフランジを取外してください。矢印のねじを外してください。➡
- ② フロントパネルを取付けてください。付属のねじ（長さ12mm）を使用してください。➡  
付属のインシュレーションを貼り付けてください。■
- ③ 丸ダクトを取付けてください。付属のねじ（長さ16mm）を使用してください。➡



三菱重工業株式会社 冷熱事業本部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地  
三菱重工空調システム株式会社 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-25-5 (ニッセイ五反田アネックスビル)

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。